

Ⅲ 調査の結果

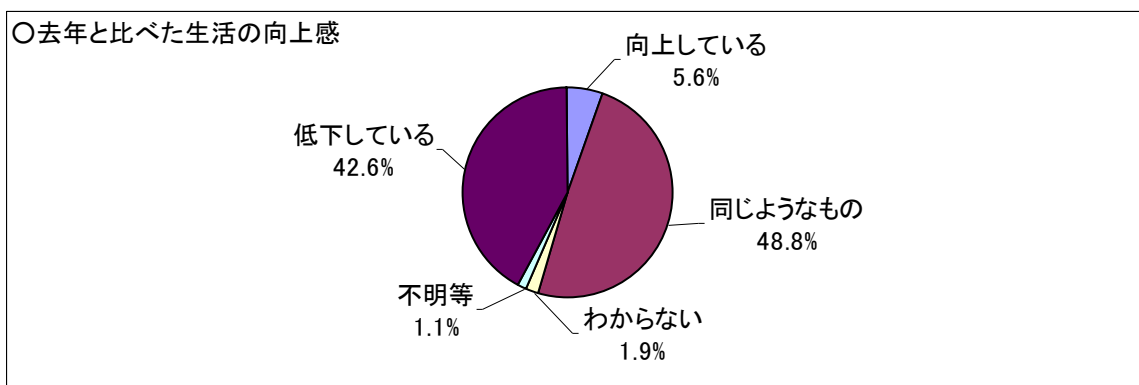
1 生活の向上感について

(1) 去年と比べた生活の向上感

問1 まず、あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に○印をつけてください。

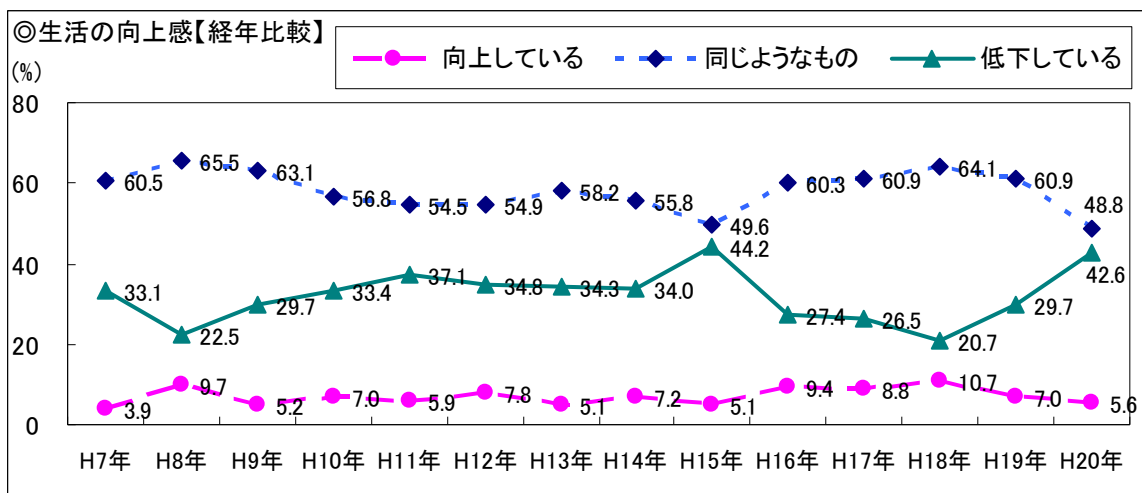
- | | |
|----------|-----------|
| 1 向上している | 2 同じようなもの |
| 3 低下している | 4 わからない |

○ 「同じようなもの」(48.8%)が半数近いが、「低下している」(42.6%)も4割を超えており、「向上している」(5.6%)は1割未満である。



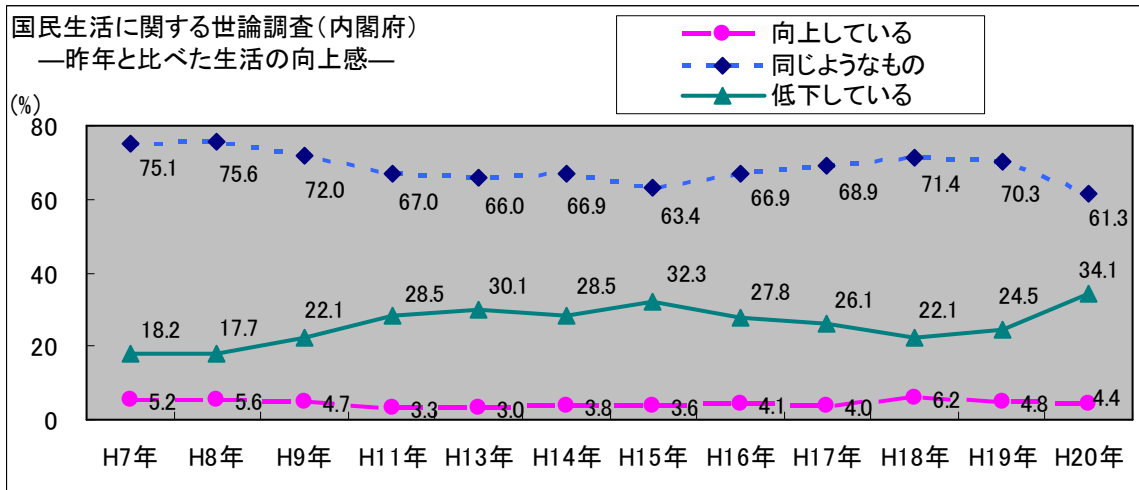
◆経年比較

○ 前年度調査結果と比べると、「同じようなもの」が12.1ポイント(60.9%→48.8%)、「向上している」が1.4ポイント(7.0%→5.6%)それぞれ減少し、「低下している」が12.9ポイント(29.7%→42.6%)増加している。



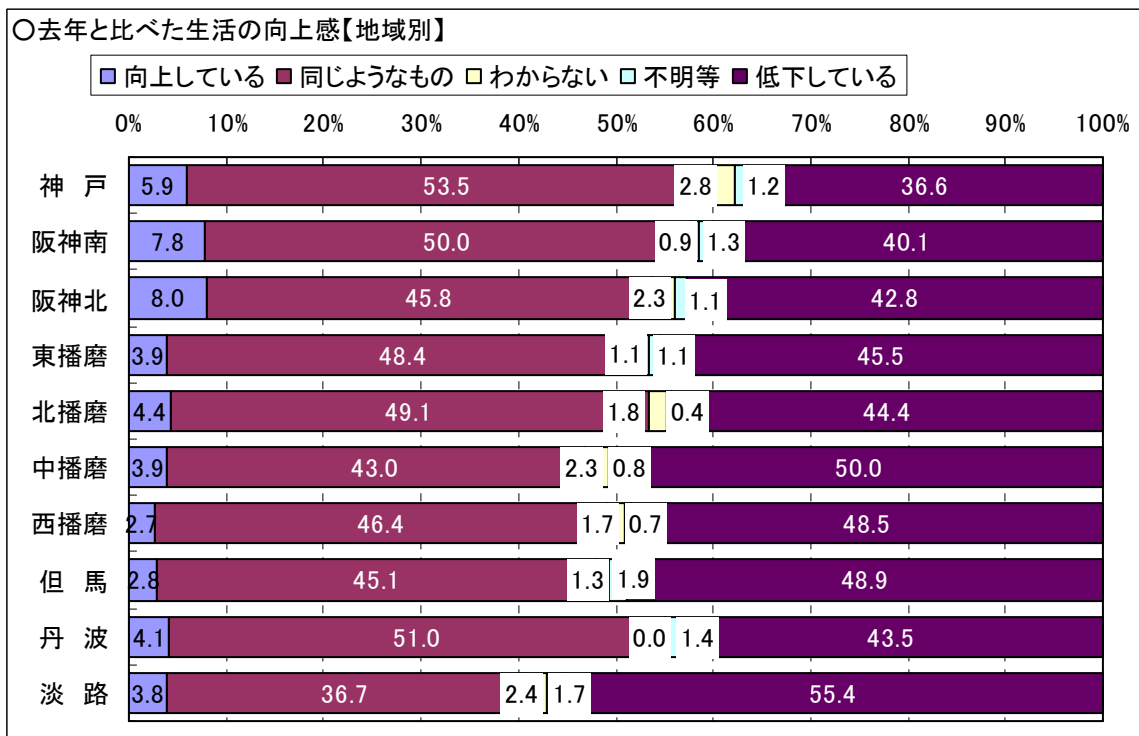
【参考：平成 20 年の全国調査】

- 内閣府が実施（平成 9～13 年は隔年実施）している「国民生活に関する世論調査」では、「同じようなもの」（61.3%）が 6 割、「低下している」（34.1%）が 3 割台半ば、「向上している」（4.4%）が 1 割未満となっている。前年より「同じようなもの」（-9.0 ポイント）や「向上している」（-0.4 ポイント）が減少し、「低下している」（+9.6 ポイント）が増えており、増減幅は本県調査結果の方が大きい、同様の傾向を示している。



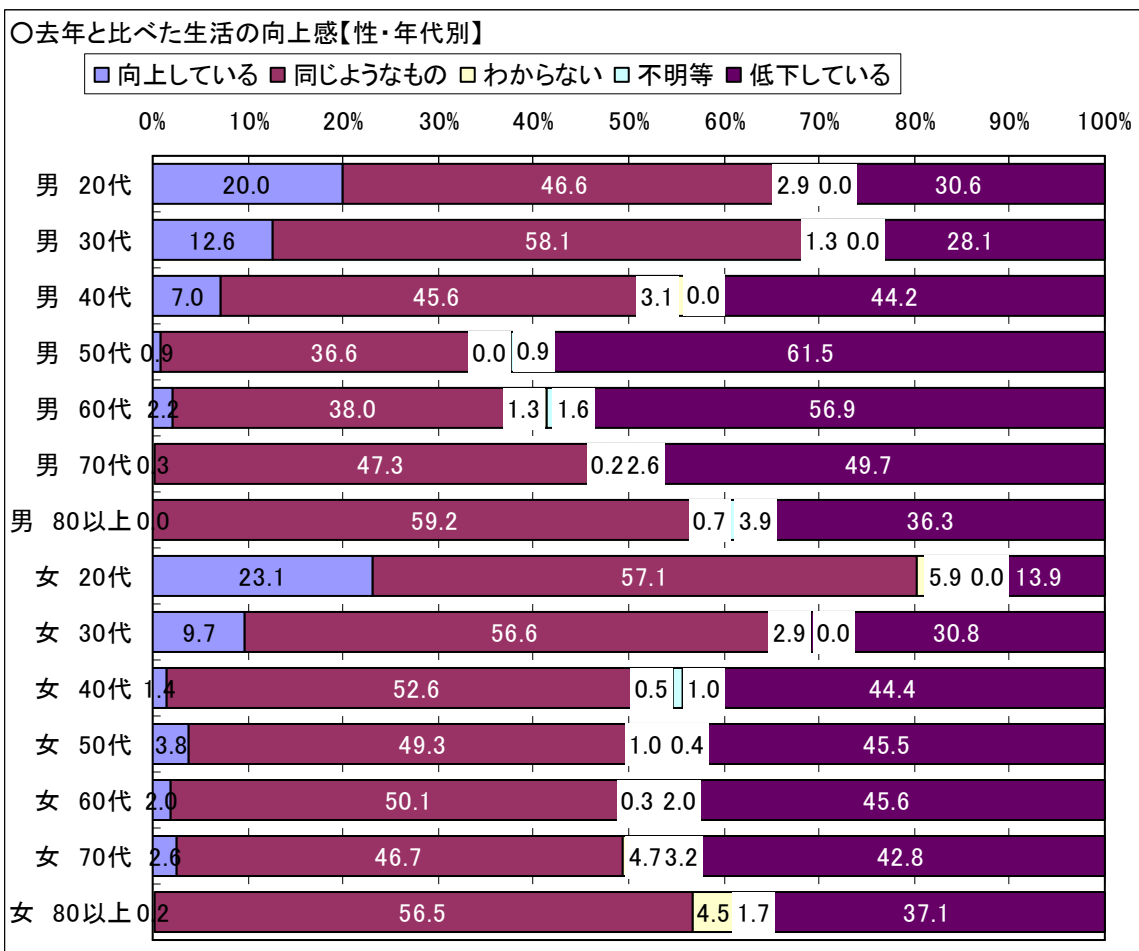
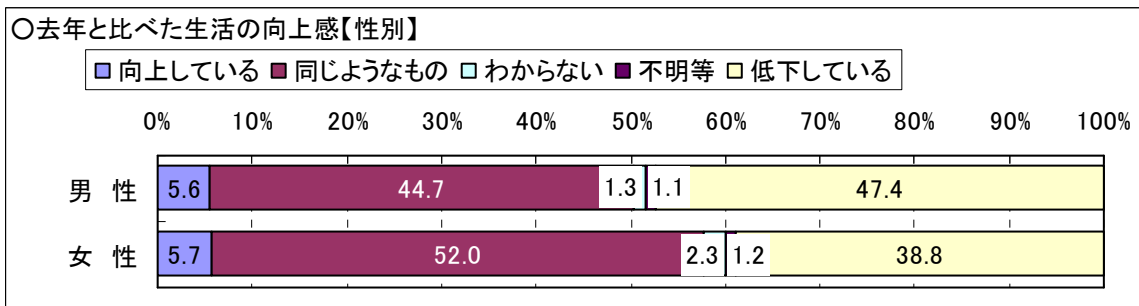
◆地域別

- 「向上している」は、最も多い阪神北(8.0%)も含め、いずれの地域も 1 割未満である。「同じようなもの」は、神戸(53.5%)で最も多く、丹波(51.0%)が続き、4 割台の地域が多いなか、淡路(36.7%)では 4 割を下回っている。逆に、「低下している」は、淡路(55.4%)で最も多く、神戸(36.6%)で最も少ない。
- 中播磨、但馬、淡路の 3 地域では、「同じようなもの」に「向上している」を加えても「低下している」を下回っている。



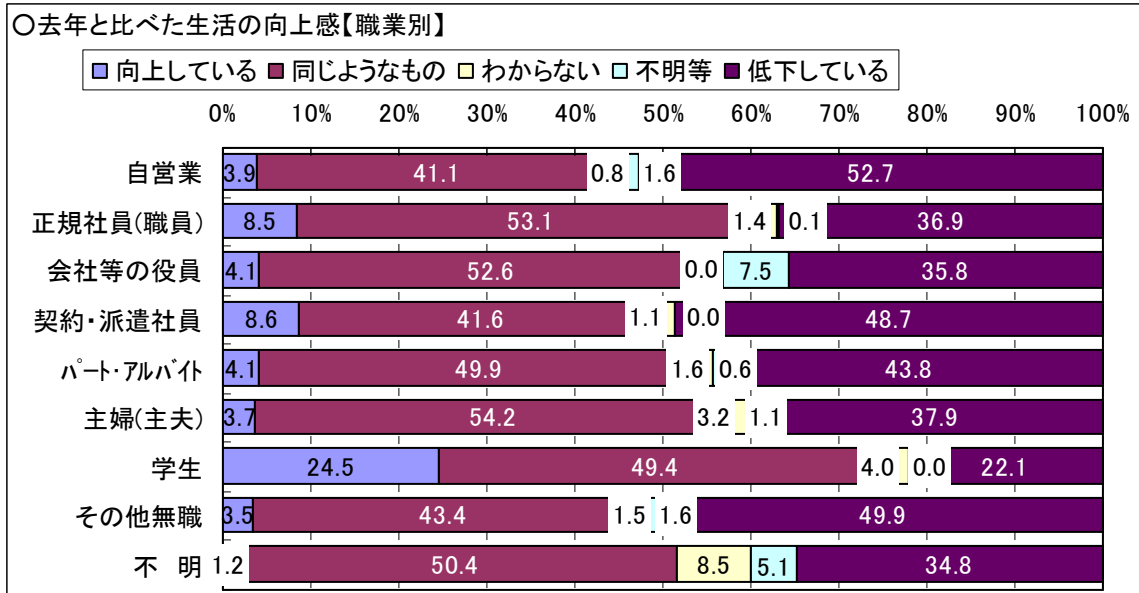
◆性別／性・年代別

- 性別で見ると、「同じようなもの」は、女性(女:52.0%、男:44.7%)で多く、「低下している」は、男性(男:47.4%、女:38.8%)が多い。「向上している」は、男女で特段の差はない。
- 性・年代別にみると、男性では、「向上している」は、20代(20.0%)では2割あるが、30代(12.6%)、40代(7.0%)と減少し、50代以降ではわずかである。「同じようなもの」は、80代(59.2%)と30代(58.1%)で6割近くになるが、他の年代では5割に満たず、50代(36.6%)と60代(38.0%)では4割を下回っている。逆に、「低下している」は、50代(61.5%)で6割、60代(56.9%)で5割を超えるなど、40代から70代にかけて多くなっているが、20代(30.6%)や30代(28.1%)で約3割、80歳以上(36.3%)では3割台半ばに止まる。
- 女性でも、「向上している」は、20代(23.1%)で2割、30代(9.7%)で1割あるが、40代以降ではわずかである。「同じようなもの」は、20代(57.1%)で最も多く、50代(49.3%)と70代(46.7%)を除いて5割を超えている。「低下している」は、20代(13.9%)から40代(44.4%)にかけて増加するが、男性とは異なり、5割を超えるような年代は生じていない。



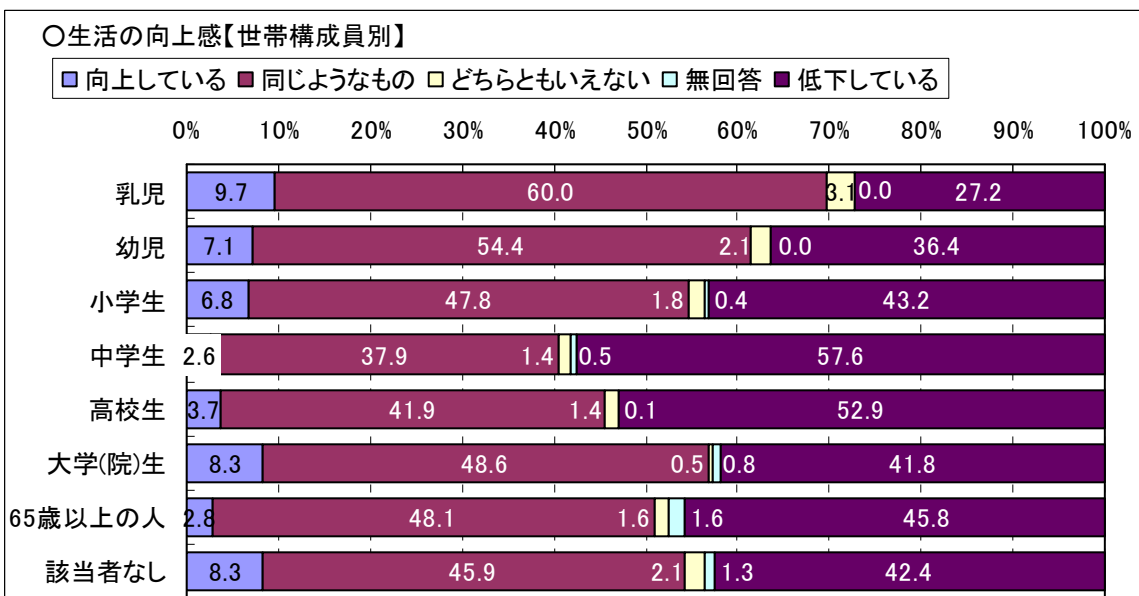
◆職業別

- 職業別でみると、「向上している」は、学生(24.5%)で2割を超えるが、他は1割未満である。「同じようなもの」は、主婦(54.2%)、正規社員(53.1%)、会社等の役員(52.6%)で5割を超えるが、他の職業では4割台である。一方、「低下している」は、自営業(52.7%)で5割を、その他無職(49.9%)や契約・派遣社員(48.7%)、パート・アルバイト(43.8%)では4割を超えており、学生(22.1%)でのみ3割を下回っている。



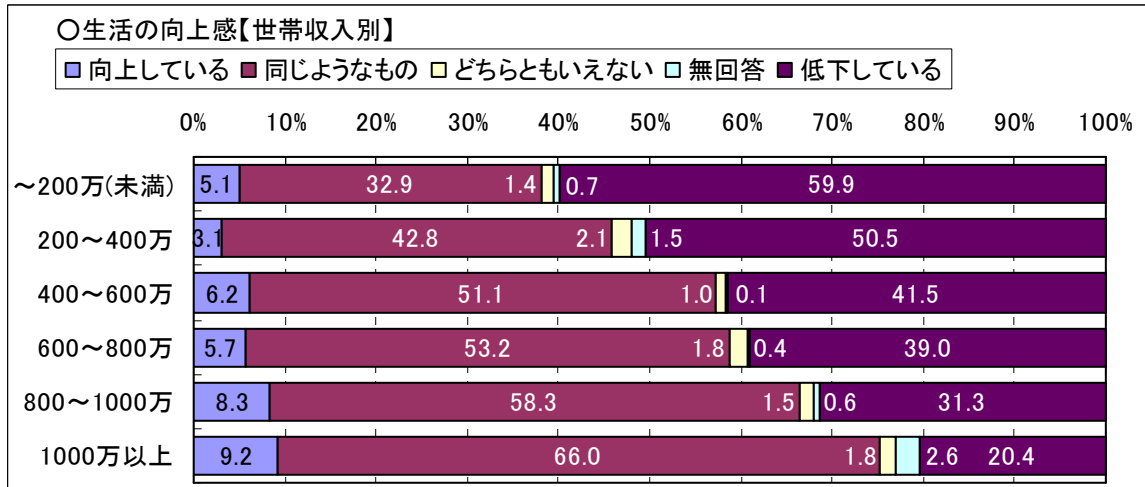
◆世帯構成員別

- 世帯構成員別でみると、乳児のいる世帯では、「同じようなもの」(60.0%)が6割で、「低下している」(27.2%)は2割台あるが、幼児、小学生、中学生と世帯構成員の年齢が上がるにつれて、「同じようなもの」が減少して「低下している」が増加しており、中学生(57.6%)や高校生(52.9%)のいる世帯では、「低下している」が5割を超えている。
- なお、小学生以下や大学生、65歳以上の人いる世帯は、該当者のいない世帯と同じく、「同じようなもの」が「低下している」を上回っている。



◆世帯収入別

- 収入が 200 万円未満の世帯では、「低下している」(59.9%)が約 6 割に及ぶが、世帯収入が多くなるほど、「低下している」が減少して「同じようなもの」が増えており、400 万円以上の世帯では、「同じようなもの」が 5 割を超えて「低下している」を上回っている。



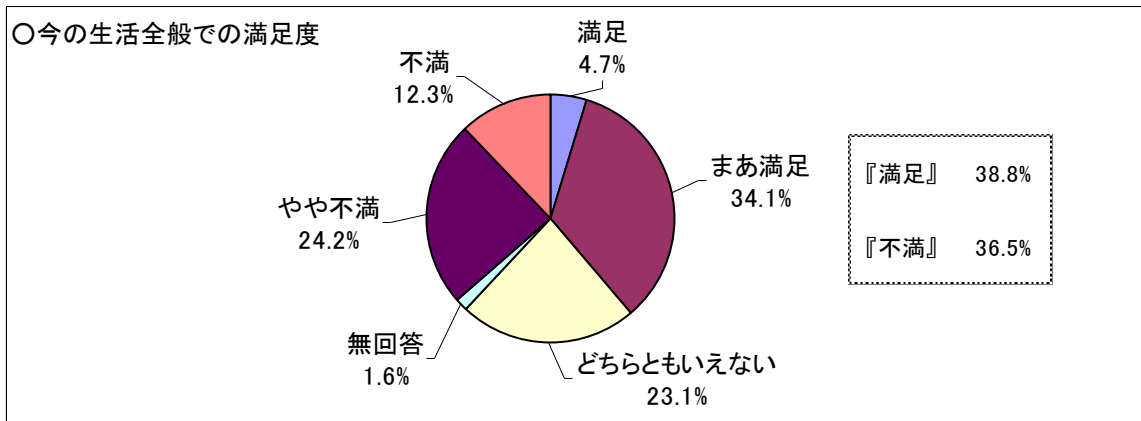
2 生活満足度について

(1) 今の生活全般での満足度

問2 あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○印をつけてください。

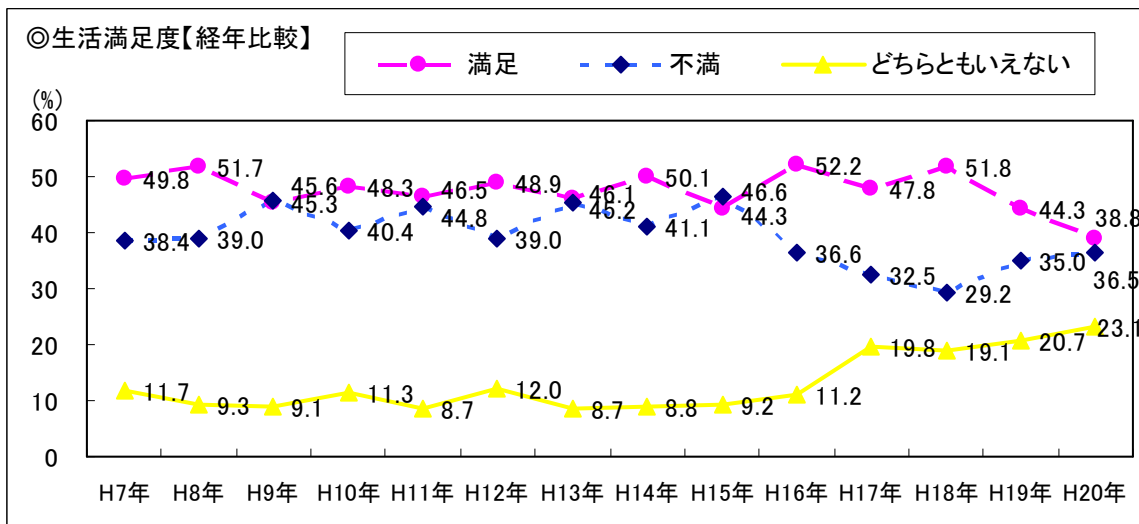
- 1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない
4 やや不満 5 不満

- 生活全般に対する満足度では、『満足』（「満足」と「まあ満足」の合計 38.8%）と『不満』（「不満」と「やや不満」の合計 36.5%）はともに3割台後半で、『満足』が『不満』が上回るがその差は2.3ポイントに止まる。また、「どちらともいえない」(23.1%)との回答が2割を超えている。



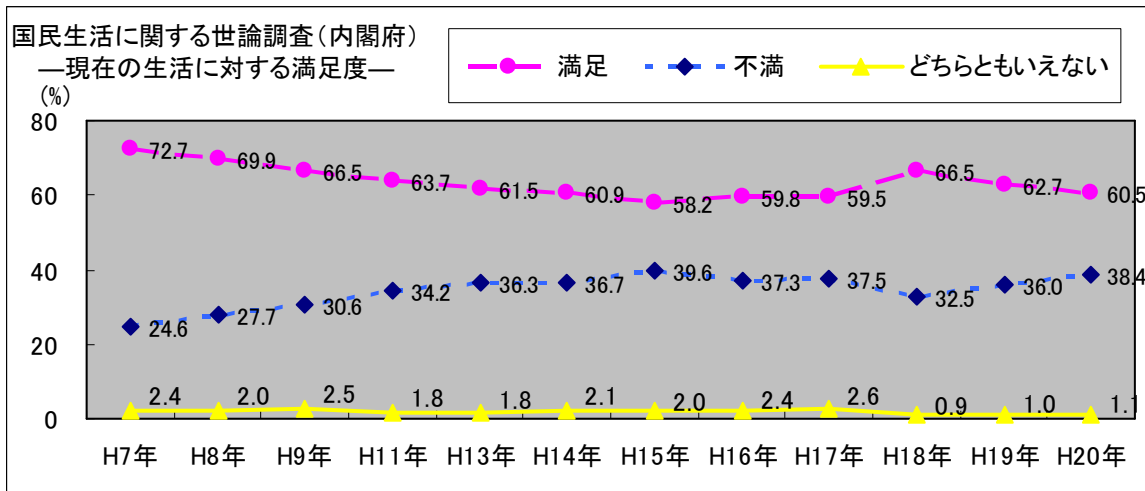
◆経年比較

- 『満足』は、過去最低となった前年より更に5.5ポイント減少(44.3%→38.8%)している。『不満』は、前年より1.5ポイントの増加(35.0%→36.5%)に止まっているが、「どちらともいえない」が、過去最高となった前年より更に2.4ポイント増加(20.7%→23.1%)している。



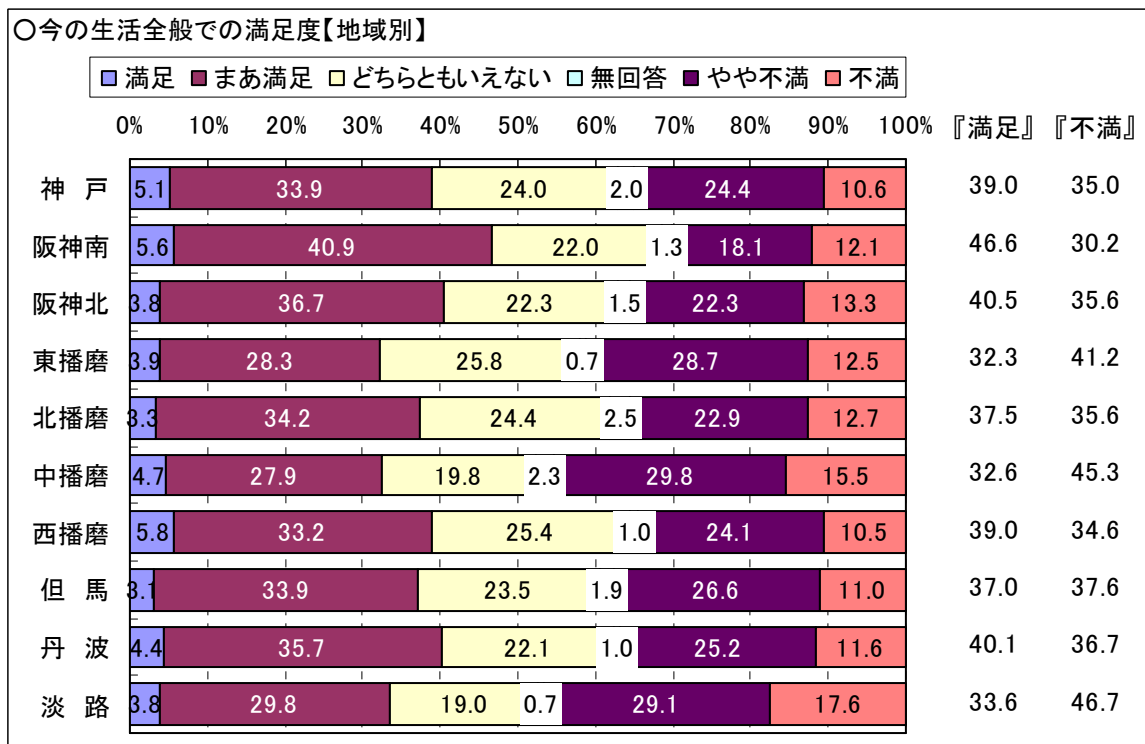
【参考:平成 20 年の全国調査】

- 内閣府が毎年(平成 9～13 年は隔年)実施している「国民生活に関する世論調査」では、『満足』(『満足している』と『まあ満足している』の合計)が、平成 18 年から 2 年連続減少(66.5%→62.7%→60.5%)する一方、『不満』(『不満だ』と『やや不満だ』の合計)は、平成 18 年から 2 年連続増加(32.5%→36.0%→38.4%)しており、本県調査と同様に『満足』が減少し、『不満』が増加する傾向にある。



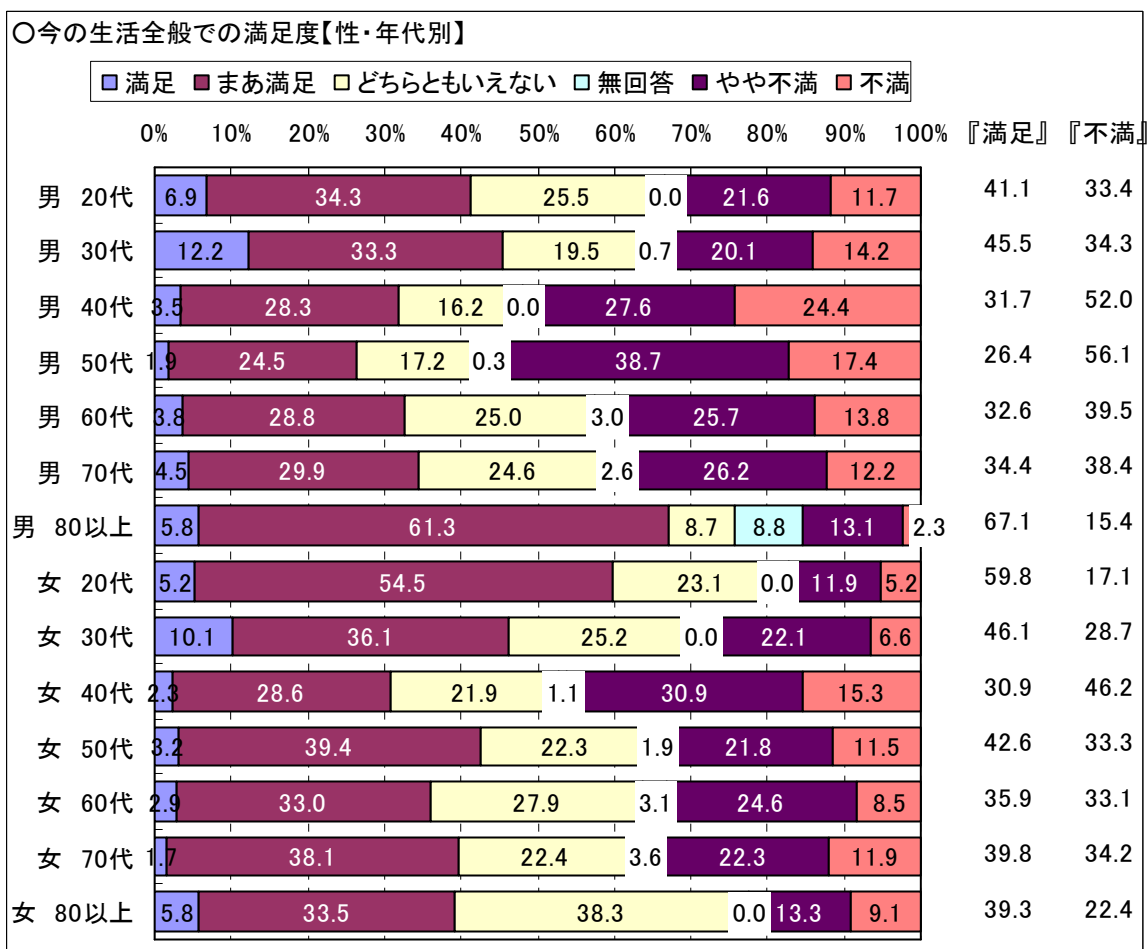
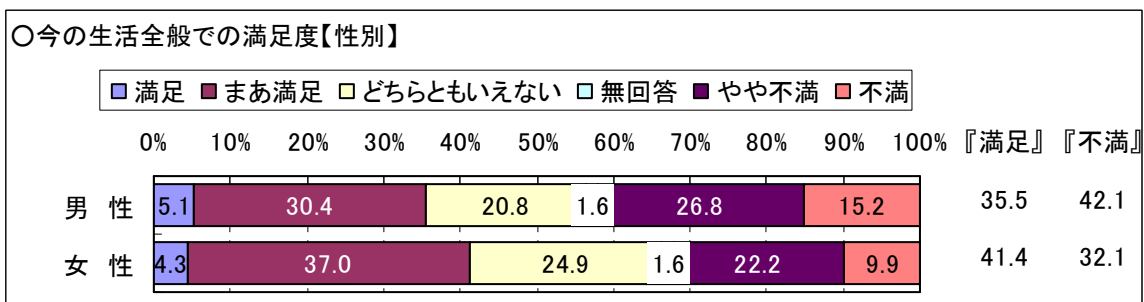
◆地域別

- 『満足』は、阪神南(46.6%)で 4 割台半ばを超え、阪神北(40.5%)や丹波(40.1%)など 4 割前後の地域が多いなか、東播磨(32.3%)や中播磨(32.6%)、淡路(33.6%)では 3 割台前半に止まっている。
- 一方、『不満』は、最も少ない阪神南(30.2%)を含め 3 割台の地域が多いなか、淡路(46.7%)、中播磨(45.3%)、東播磨(41.2%)では 4 割を超え、この 3 地域では、『不満』が『満足』を 10 ポイント前後上回っている。



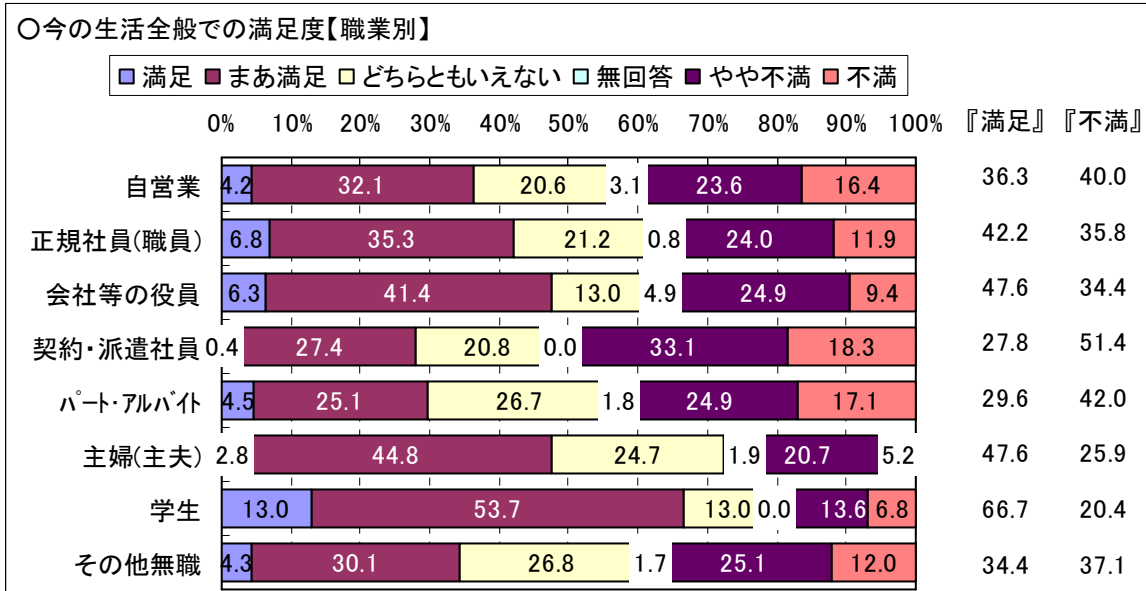
◆性別／性・年代別

- 性別では、『満足』は男性(35.5%)より女性(41.4%)が多い。逆に、『不満』は女性(32.1%)より男性(42.1%)が多く、その差は10ポイントある。男性では『不満』が『満足』を上回っている。
- 性・年代別でみると、男性では、『満足』は80歳以上(67.1%)で3分の2を超え、30代(45.5%)や20代(41.1%)で4割を超えるが、40代から70代にかけては3割前後である。一方、『不満』は40代(52.0%)と50代(56.1%)で5割を超え、他の年代では80歳以上(15.4%)を除き3割台となっており、40代から70代では『不満』が『満足』を上回っている。
- 女性では、『満足』は20代(59.8%)で約6割あるが、30代(46.1%)、40代(30.9%)で3割まで減少し、50代以降は4割前後となっている。一方、『不満』は20代(17.1%)の1割台から30代(28.7%)、40代(46.2%)と4割台半ばまで増加するが、50代以降では80歳以上(22.4%)を除き3割台前半となっており、『不満』が『満足』を上回っているのは40代のみである。



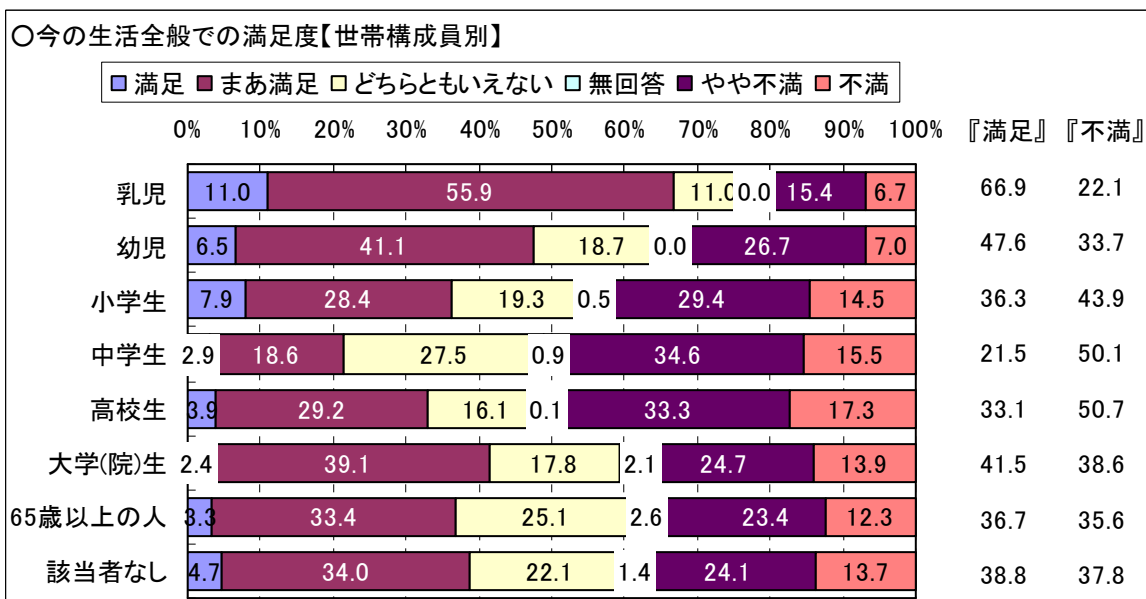
◆職業別

- 職業別で見ると、『満足』は、学生(66.7%)で6割を超え、会社等の役員(47.6%)や主婦(47.6%)、正規社員(42.2%)では4割を超えるが、契約・派遣社員(27.8%)やパート・アルバイト(29.6%)では2割台に止まる。
- 一方、『不満』は、契約・派遣社員(51.4%)で5割を超え、パート・アルバイト(42.0%)や自営業(40.0%)では4割台であるが、主婦(25.9%)や学生(20.4%)では2割台に止まる。



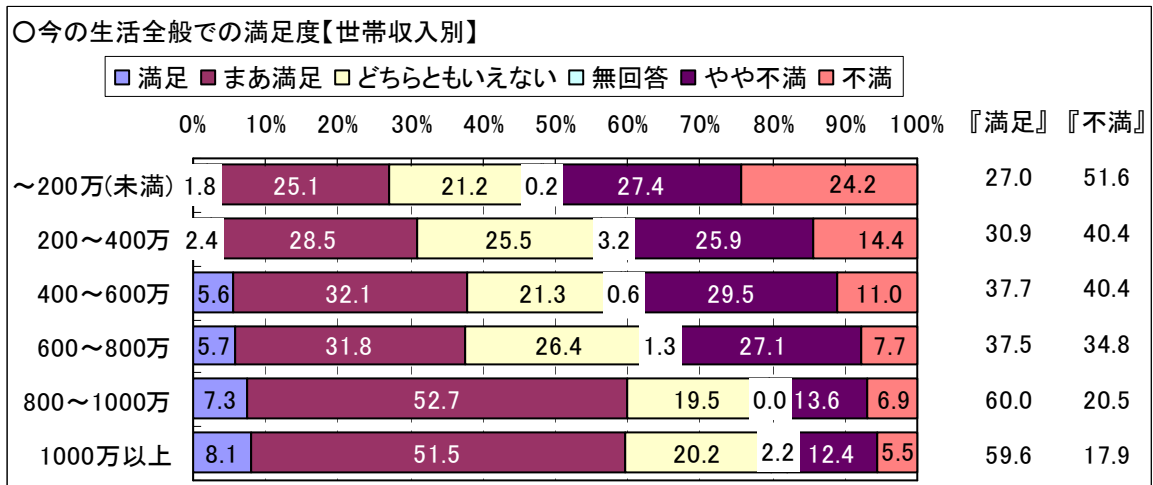
◆世帯構成員別

- 世帯構成員別で見ると、乳児のいる世帯では、『満足』(66.9%)が6割を超え、『不満』(22.1%)は2割台に止まるが、幼児、小学生、中学生と世帯構成員の年齢が上がるにつれて、『満足』が減少して『不満』が増加している。『満足』は中学生(21.5%)のいる世帯で2割強と最も少なく、『不満』は高校生(50.7%)や中学生(50.1%)のいる世帯で5割となっている。
- なお、幼児以下や大学生、65歳以上の人のいる世帯は、該当者のいない世帯と同じく、『満足』が『不満』を上回っている。



◆世帯収入別

- 収入が200万円未満の世帯では、『不満』(51.6%)が5割を超え、『満足』(27.0%)は3割を下回るが、世帯収入が多くなるほど、『不満』が減少して『満足』が増える傾向にあり、600万円以上の世帯では、『満足』が『不満』を上回り、800万円以上の世帯では『満足』は約6割に及んでいる。



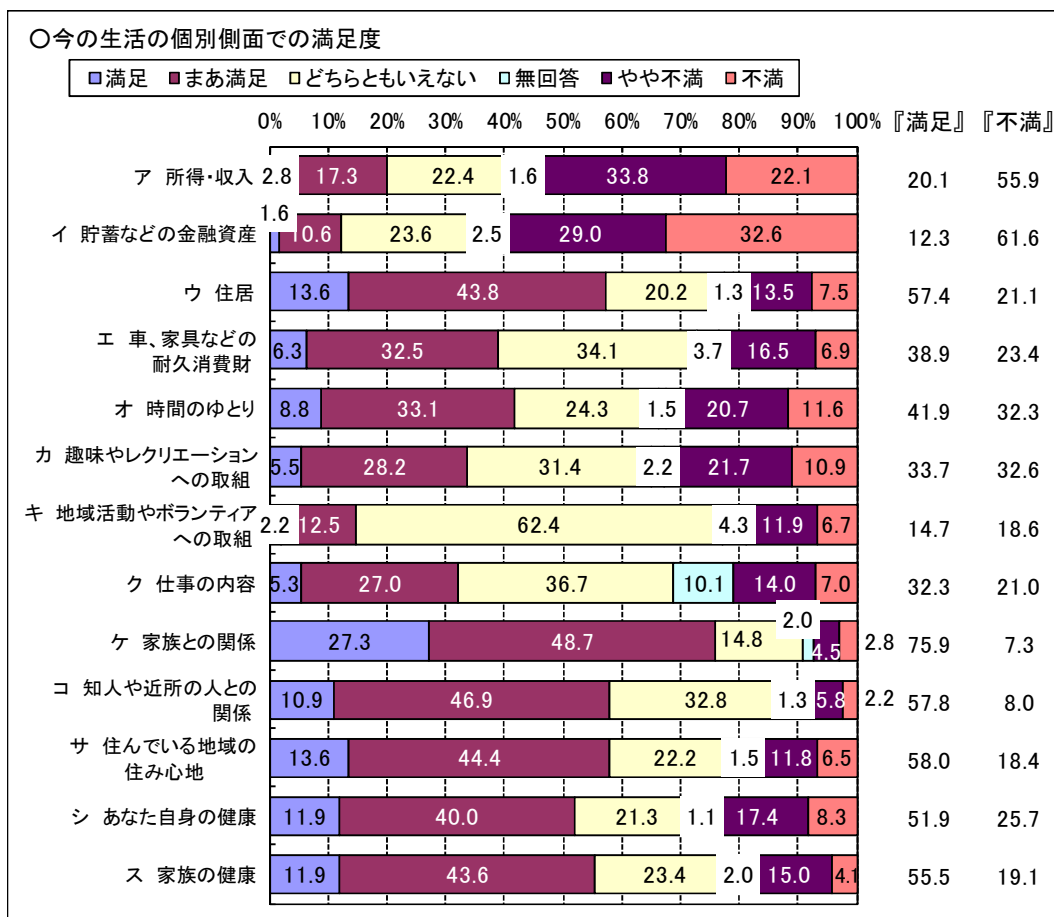
(2) 今の生活の個別側面での満足度

問3 あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれどの程度満足していますか。ア～スの項目それぞれで1つ選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ア 所得・収入 | イ 貯蓄などの金融資産 |
| ウ 住居 | エ 車、家具などの耐久消費財 |
| オ 時間のゆとり | カ 趣味やレクリエーションへの取組 |
| キ 地域活動やボランティアへの取組 | ク 仕事の内容 |
| ケ 家族との関係 | コ 知人や近所の人との関係 |
| サ 住んでいる地域の住み心地 | シ あなた自身の健康 |
| ス 家族の健康 | |

1：満足 2：まあ満足 3：どちらともいえない 4：やや不満 5：不満

- 生活の個別側面で『満足』（「満足」と「まあ満足」の合計）が多いのは、「ケ 家族との関係」（75.9%）で7割台半ば、「サ 住んでいる地域の住み心地」（58.0%）や「コ 知人や近所の人との関係」（57.8%）、「ウ 住居」（57.4%）、「ス 家族の健康」（55.5%）、「シ あなた自身の健康」（51.9%）の5項目で5割台となっている。他の項目では3～4割台が多いが、「イ 貯蓄などの金融資産」（12.3%）と「キ 地域活動やボランティアへの取組」（14.7%）では1割台、「ア 所得・収入」（20.1%）では2割にとどまる。
- 一方、『不満』（「やや不満」と「不満」の合計）は、「イ 貯蓄などの金融資産」（61.6%）と「ア 所得・収入」（55.9%）で6割前後あるが、他の11項目では、「カ 趣味やレクリエーションへの取組」（32.6%）と「オ 時間のゆとり」（32.3%）を除いて3割を下回っており、『不満』が『満足』を上回っているのは、「ア 所得・収入」、「イ 貯蓄などの金融資産」、「キ 地域活動やボランティアへの取組」の3項目に止まる。
- また、「どちらともいえない」は、「キ 地域活動やボランティアへの取組」（62.4%）で6割を超えており、これと「ク 仕事の内容」（36.7%）の2項目では、「どちらともいえない」が『満足』や『不満』を上回っている。



- 問3では、ア～スの各項目ごとに満足～不満のレベルを問う設問としていることから、項目間の属性別の傾向を全体として把握するため、『満足』（「満足」と「まあ満足」の合計）、『不満』（「やや不満」と「不満」の合計）のそれぞれで当該属性内における最大値と最小値の差を一覧で表示した。また、参考値として生活全般の満足を聞いた問2についても掲載している。例えば、「ア 所得・収入」については、『満足』『不満』とも収入別での差が最も大きく、次いで職業別で大きく、逆に性別や地域別の差が小さいことが表れている。
- なお、他の各項目については、次からの項目別結果において、それぞれ掲載している。

◎問3 今の生活の個別側面での満足度

最大値  最小値 

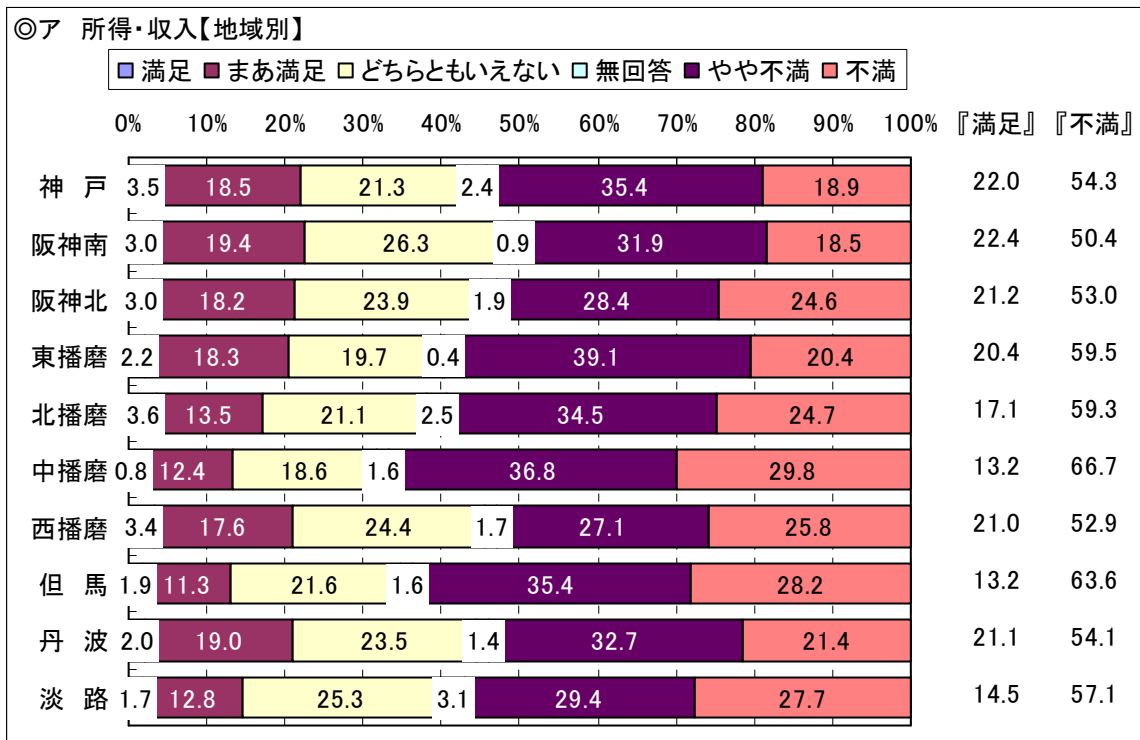
設問	問2 (参考値)	問3					
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ
属性	満足：不満	満足：不満	満足：不満	満足：不満	満足：不満	満足：不満	満足：不満
地域別	14.3：16.5	9.2：16.2	8.2：13.2	20.2：11.3	12.4：10.2	17.2：9.5	13.4：13.4
性別	5.8：10.0	1.5：6.1	2.5：2.4	0.4：1.1	3.2：3.4	6.4：3.9	5.6：6.1
年代別	20.5：28.4	12.6：23.6	11.3：33.5	17.7：13.2	13.1：8.3	40.9：45.9	19.0：31.2
年代別(男性)	40.7：40.7	19.1：35.9	35.4：44.1	30.7：15.8	21.1：19.1	54.7：51.9	26.1：32.2
年代別(女性)	28.9：29.0	12.9：17.0	5.5：28.7	11.5：17.7	20.3：12.1	37.5：41.5	17.6：30.1
職業別	38.9：31.0	36.2：37.8	27.9：28.8	27.6：13.3	31.9：19.5	45.4：52.9	33.4：35.2
世帯収入別	33.1：33.7	39.0：45.4	23.3：30.9	30.5：22.9	40.1：27.7	15.7：22.3	17.8：10.3
世帯構成員別	45.3：28.6	21.6：17.0	22.9：19.0	16.1：12.6	20.0：16.6	31.3：26.5	21.5：20.6
居住年数別	27.4：29.2	12.5：17.5	7.9：13.2	24.0：15.3	27.2：17.2	19.0：19.0	16.9：17.1

設問	問3						
	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス
属性	満足：不満	満足：不満	満足：不満	満足：不満	満足：不満	満足：不満	満足：不満
地域別	17.2：7.5	8.7：9.5	16.4：5.0	13.7：5.9	16.6：8.7	9.4：7.2	13.1：9.1
性別	0.1：7.7	7.5：6.3	0.2：0.6	8.2：1.9	1.4：2.6	2.4：1.5	2.1：2.3
年代別	8.1：12.8	16.8：24.2	15.3：7.9	14.8：8.4	11.0：7.0	29.4：25.4	24.0：17.3
年代別(男性)	14.5：15.9	20.2：26.7	15.8：9.5	25.3：11.0	14.0：6.9	20.1：21.9	17.6：16.8
年代別(女性)	12.3：12.8	24.0：22.5	21.6：7.2	11.5：9.6	11.9：11.7	43.7：34.2	31.2：17.1
職業別	10.9：17.6	50.8：20.4	21.8：16.2	33.0：8.1	17.3：6.2	28.0：25.1	25.7：20.1
世帯収入別	5.1：8.7	28.8：7.2	26.6：8.6	17.2：3.4	25.2：13.1	25.0：19.0	26.2：14.2
世帯構成員別	7.9：13.2	17.4：18.9	19.1：5.9	25.5：5.2	18.3：7.4	29.7：21.5	23.2：17.8
居住年数別	11.1：8.9	8.9：12.2	17.5：8.6	8.7：4.0	10.4：12.9	13.3：15.4	15.7：13.5

◎ア 所得・収入

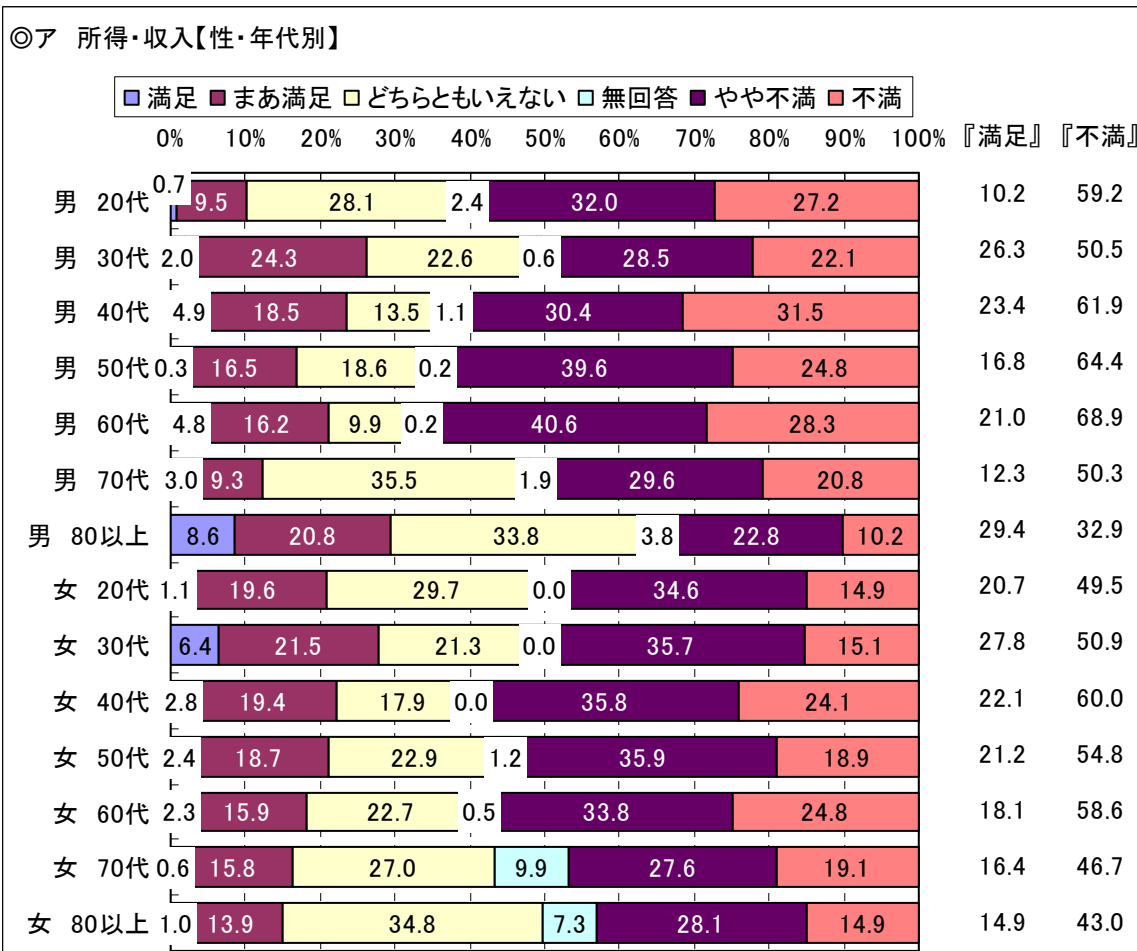
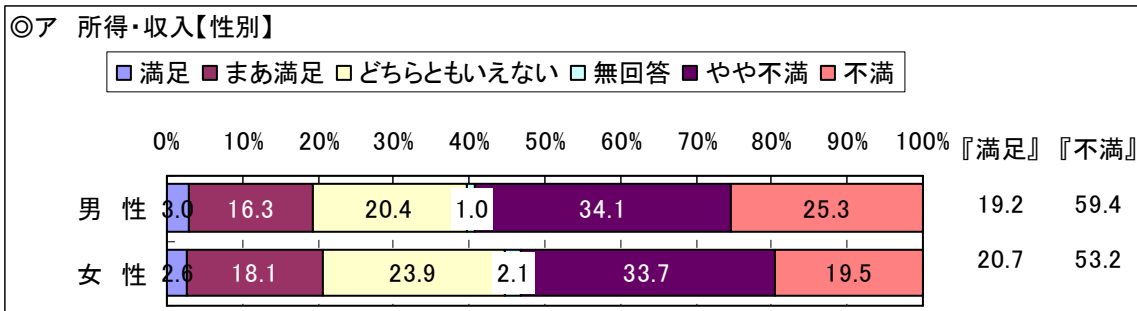
◆地域別

- 『満足』は、最も多い阪神南(22.4%) を含めて2割前後の地域が多いが、中播磨(13.2%)と但馬(13.2%)、淡路(14.5%)では1割台前半にとどまる。
- 『不満』は、中播磨(66.7%)と但馬(63.6%)で6割を超え、他の地域ではいずれも5割台である。



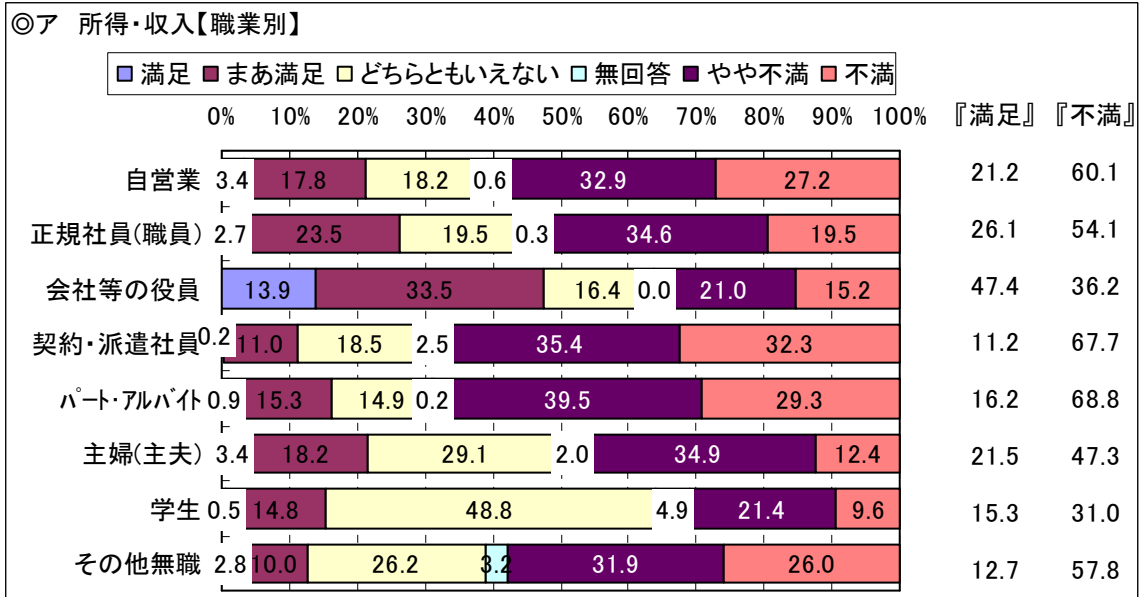
◆性別／性・年代別

- 性別で見ると、『満足』は男女で特段の差はなく、『不満』は女性(53.2%)より男性(59.4%)でやや多い。
- 性・年代別で見ると、男性では、『満足』は、最も多い80歳以上(29.4%)で約3割あるが、2割前後の年代が多く、20代(10.2%)と70代(12.3%)では1割強に止まる。一方、『不満』は、20代(59.2%)の約6割から30代(50.5%)で5割に落ち込むが、40代(61.9%)から60代(68.9%)にかけて7割近くに及び、70代(50.3%)、80歳以上(32.9%)と3割台まで低下している。なお、「どちらともいえない」が、70代(35.5%)と80歳以上(33.8%)で最も多い回答となっている。
- 女性では、『満足』は、30代(27.8%)をピークに、年代が上がると減少する傾向にあり、男性とは逆に80歳以上(14.9%)で最も少ない。一方、『不満』は、20代(49.5%)と30代(50.9%)での約5割から、男性と同様に40代(60.0%)、50代(54.8%)、60代(58.6%)にかけて多くなるものの6割に止まっており、70代以降は4割台である。なお、「どちらともいえない」が、80歳以上(34.8%)で最も多い回答となっている。



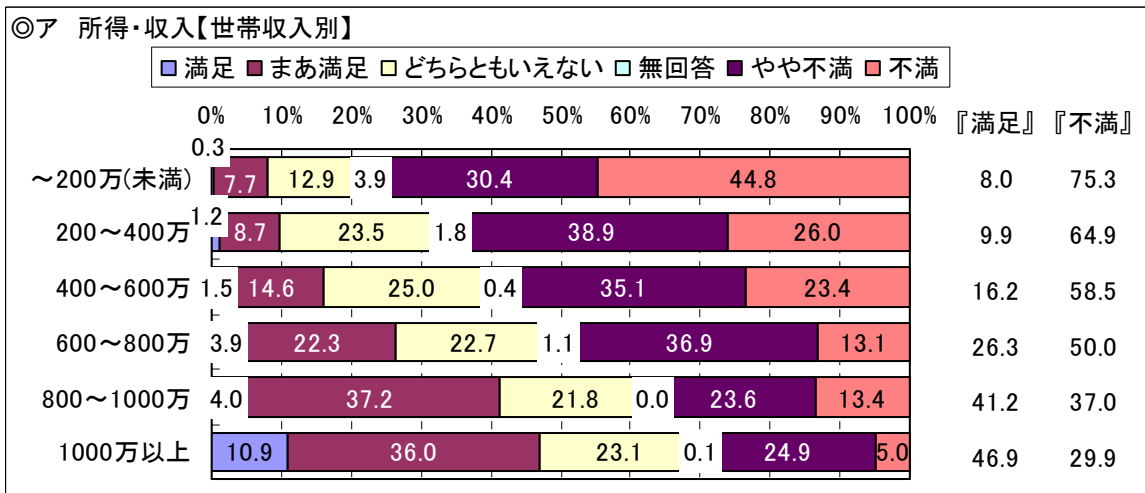
◆職業別

- 職業別で見ると、会社等の役員のみ『満足』(47.4%)が『不満』(36.2%)を上回っている。
- 他の職業ではいずれも『不満』が『満足』を上回っており、パート・アルバイトと契約・派遣社員では、その差が50ポイントを超えている。



◆世帯収入別

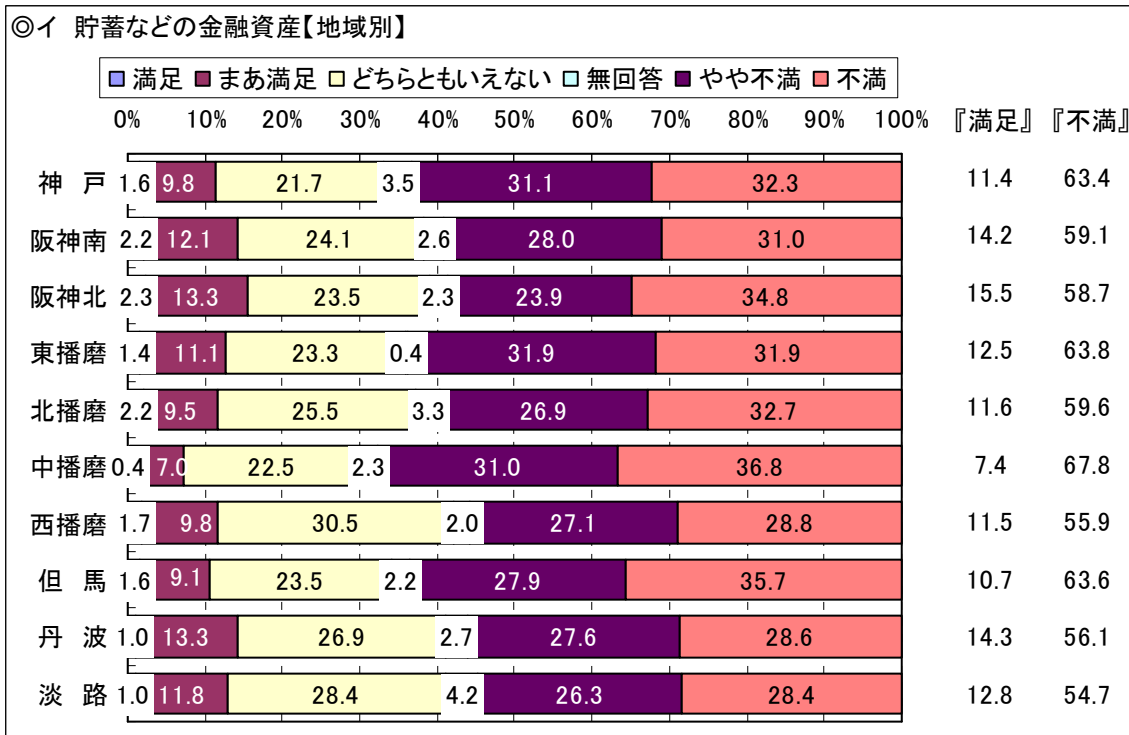
- 収入が200万円未満の世帯では、『不満』(75.3%)が4分の3を超え、『満足』(8.0%)は1割に満たないが、世帯収入が多くなるほど、『不満』が減少して『満足』が増え、800万円未満の世帯では『不満』が5割以上を占めるのに対し、800万円以上の世帯では『満足』が4割を超えて『不満』を上回っている。



◎イ 貯蓄などの金融資産

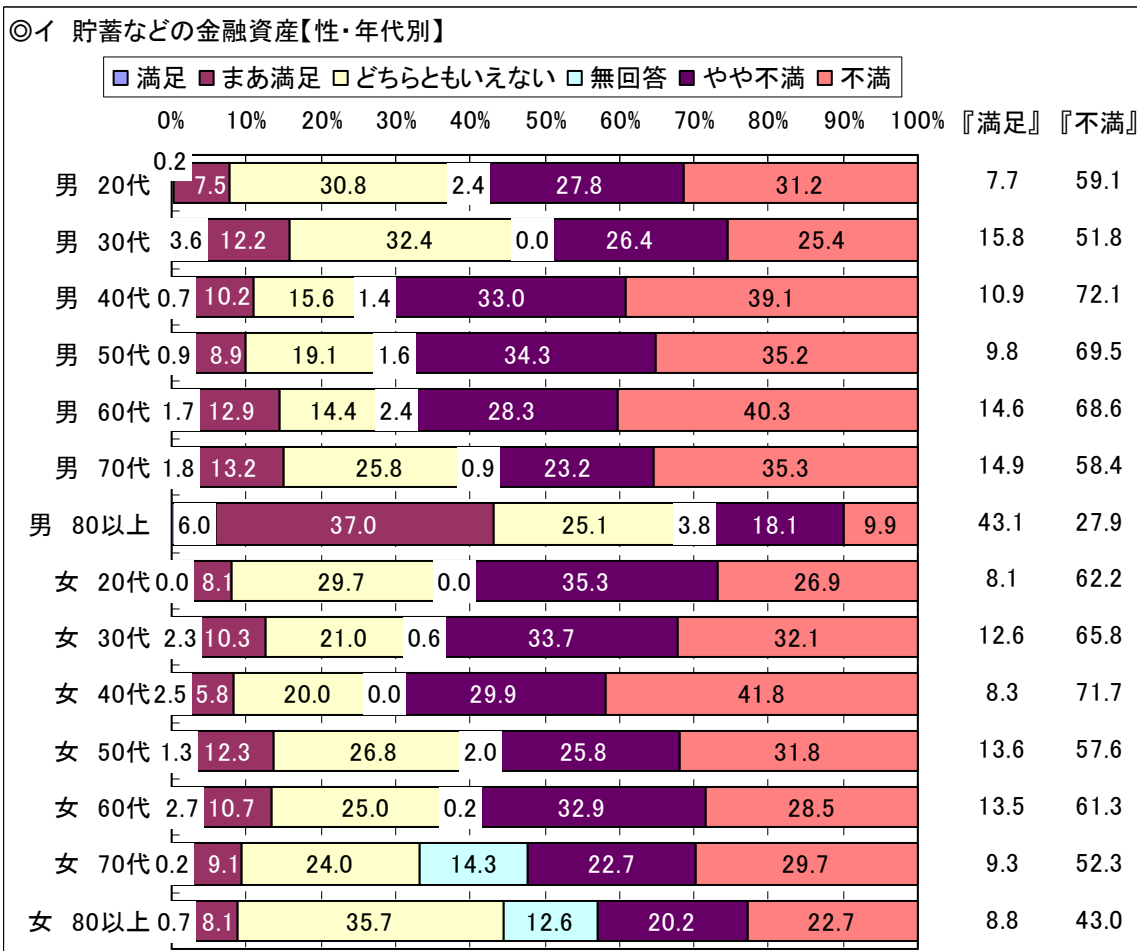
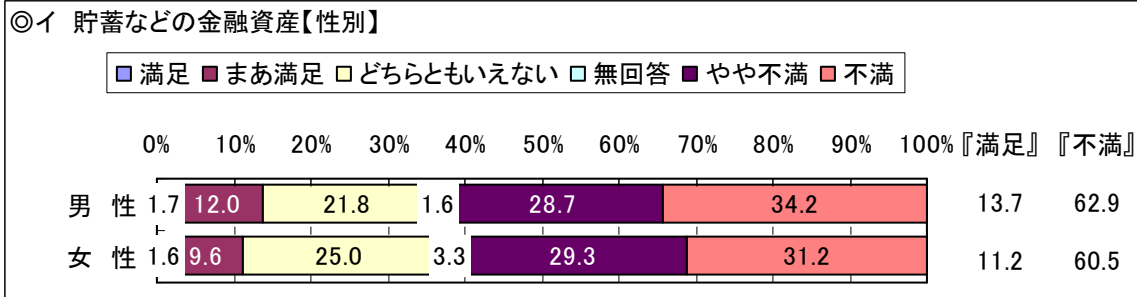
◆地域別

- 『満足』は、最も多い「阪神北」(15.5%)でも1割台半ばに止まり、中播磨(7.4%)では1割に満たない。
- 『不満』は全地域で5割を超え、最も少ない淡路(54.7%)で5割台半ば、最も多い中播磨(67.8%)では6割台半ばとなっている。



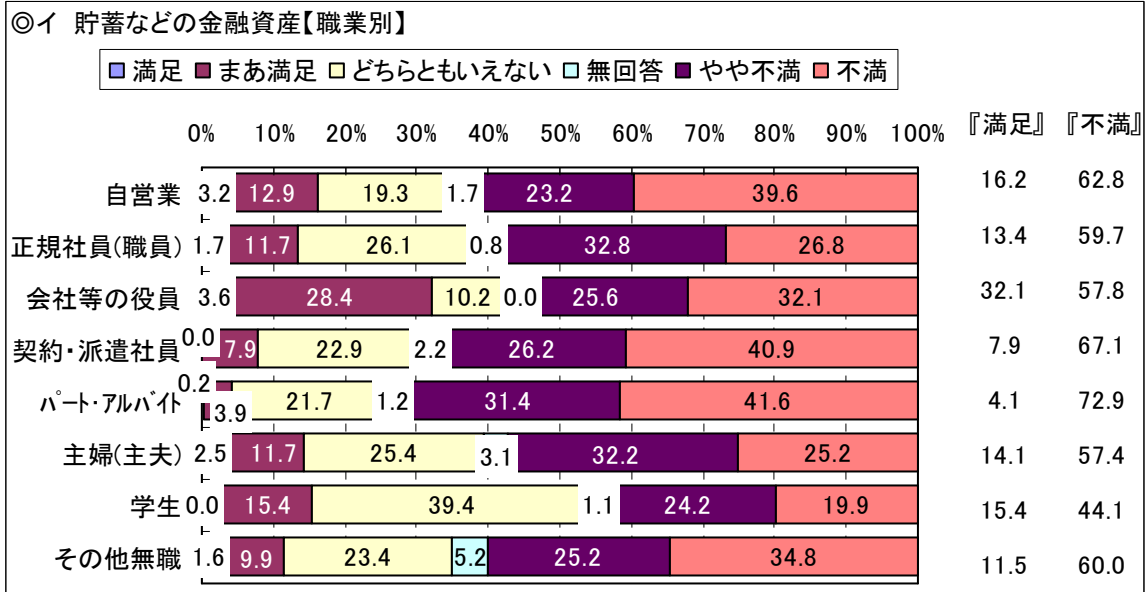
◆性別／性・年代別

- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別でみると、『満足』は、男女ともいずれの年代でも概ね1割前後であるが、男性の80歳以上(43.1%)では4割を超えている。
- 『不満』は、男女ともに40代(男72.1%、女71.7%)で最も多く7割を超える。男性では、30代(51.8%)で5割前半に落ち込み、50代(69.5%)、60代(68.6%)では7割近いのに対し、女性では、30代(65.8%)での落ち込みがないが、50代(57.6%)、60代(61.3%)では男性ほど多くはない。なお、男性の80歳以上でのみ『満足』(43.1%)が『不満』(27.9%)を上回っている。



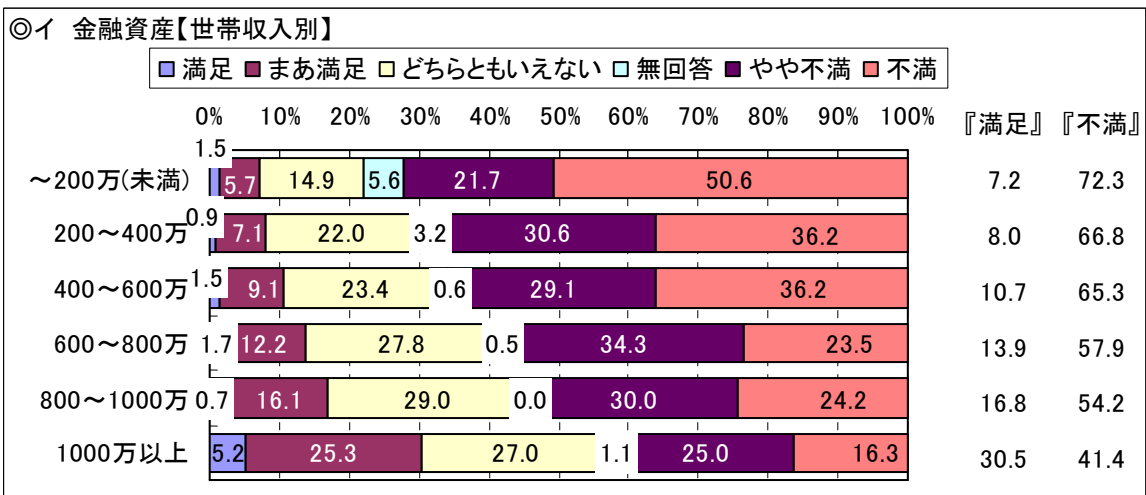
◆職業別

- 職業別でみると、『満足』は、パート・アルバイト(4.1%)、契約・派遣社員(7.9%)では1割に満たず、最も多い会社等の役員でも『不満』(57.8%)が『満足』(32.1%)を上回っている。
- 『満足』と『不満』の差は大きく、最大のパート・アルバイトでは68.8ポイントに及ぶ。会社等の役員(25.7ポイント)と学生(28.7ポイント)では30ポイントを下回るが、学生では「どちらともいえない」(39.4%)が4割近くある。



◆世帯収入別

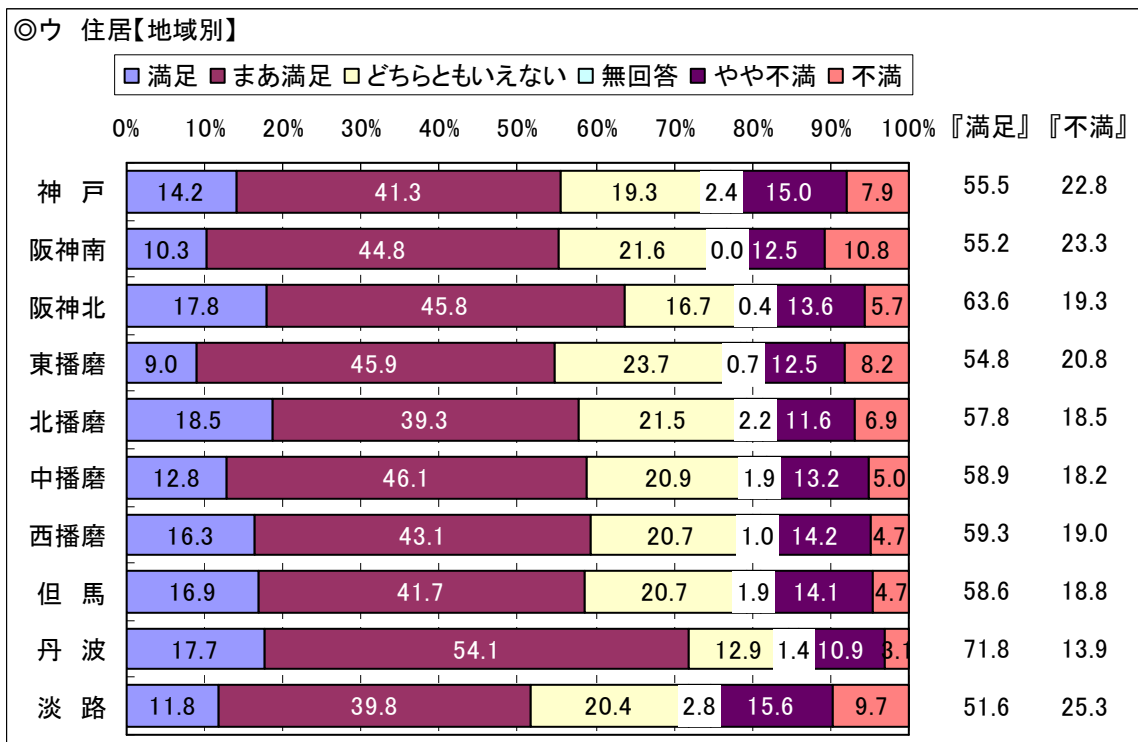
- 収入が200万円未満の世帯では、『不満』(72.3%)が7割を超え、『満足』(7.2%)は1割に満たないが、世帯収入が多くなるほど『不満』が減少して『満足』が増えており、「ア 収入・所得」と同じような傾向にあるが、いずれの収入階層でも『満足』が『不満』を上回ることはないところが異なる。



◎ウ 住居

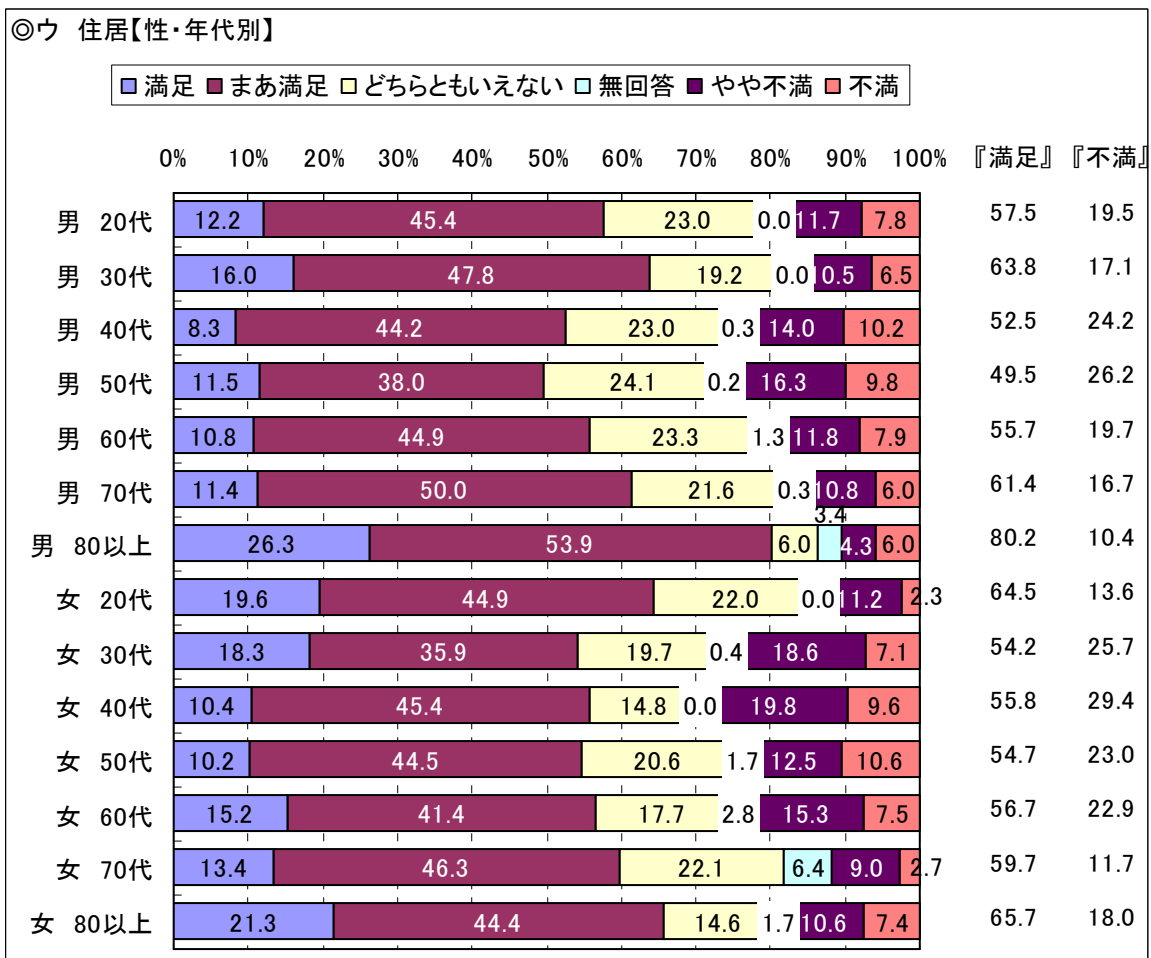
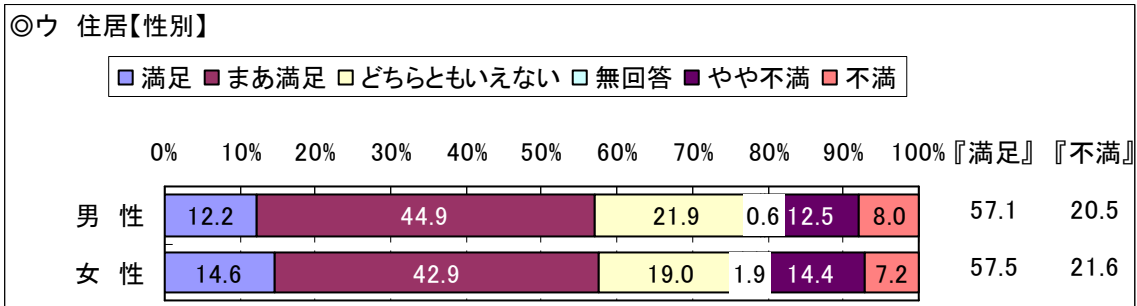
◆地域別

- 『満足』は、最も多い丹波(71.8%)で7割、阪神北(63.6%)では6割を超えているが、他の地域では5割台である。
- 一方、『不満』は、最も多い淡路(25.3%)でも2割台半ばに止まり、2割前後の地域が多いが、丹波(13.9%)では1割台前半とやや少ない。



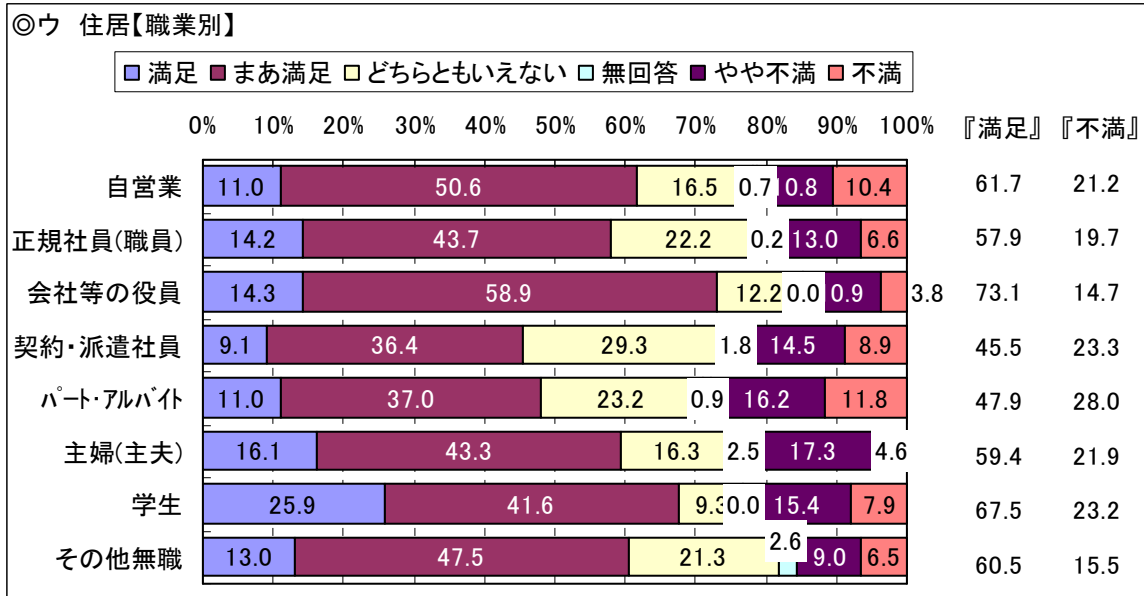
◆性別／性・年代別

- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別で見ると、男性では、『満足』は、80歳以上(80.2%)で8割、30代(63.8%)と60代(61.4%)では6割を超えるが、50代(49.5%)とその前後の40代(52.5%)、60代(55.7%)及び20代(57.5%)では概ね5割台である。一方、女性では、『満足』は、80歳以上(65.7%)と20代(64.5%)で6割を超えるが、他の年代では概ね5割台半ばである。
- 『不満』は、男性では、50代(26.2%)と40代(24.2%)で2割を超え、他の年代では1割台である。一方、女性では、30代から60代にかけて2割を超え、このうち40代(29.4%)では約3割と、2割を超える年代が男性よりやや多い。



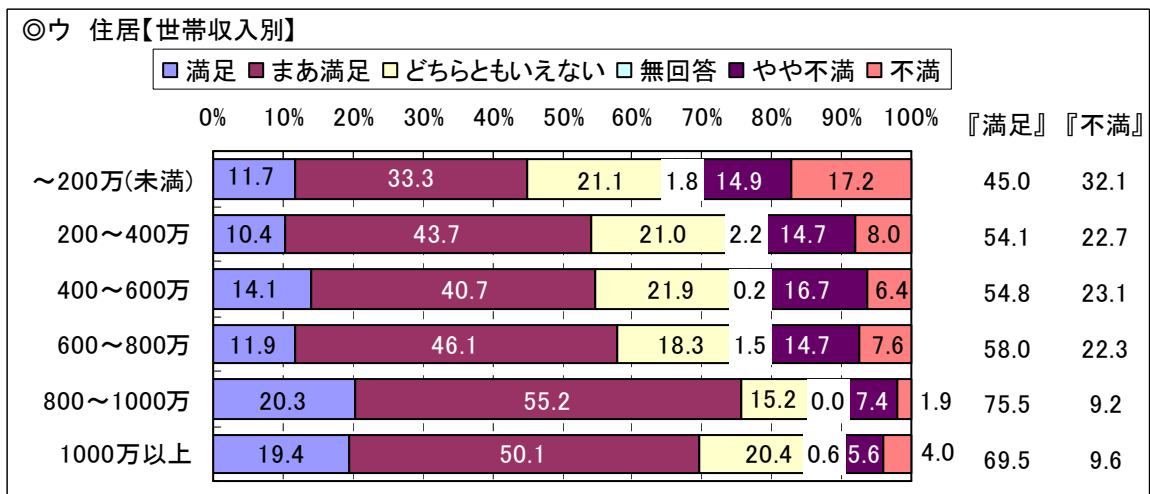
◆職業別

- 職業別で見ると、『満足』は、会社等の役員(73.1%)で7割、学生(67.5%)で6割台半ばを超え、6割前後の職業が多いなか、契約・派遣社員(45.5%)、パート・アルバイト(47.9%)では5割を下回る。
- 一方、『不満』は、パート・アルバイト(28.0%)で2割台後半であり、契約・派遣社員(23.3%)など2割前後の職種が多いなか、会社等の役員(14.7%)やその他無職(15.5%)では1割台半ばである。



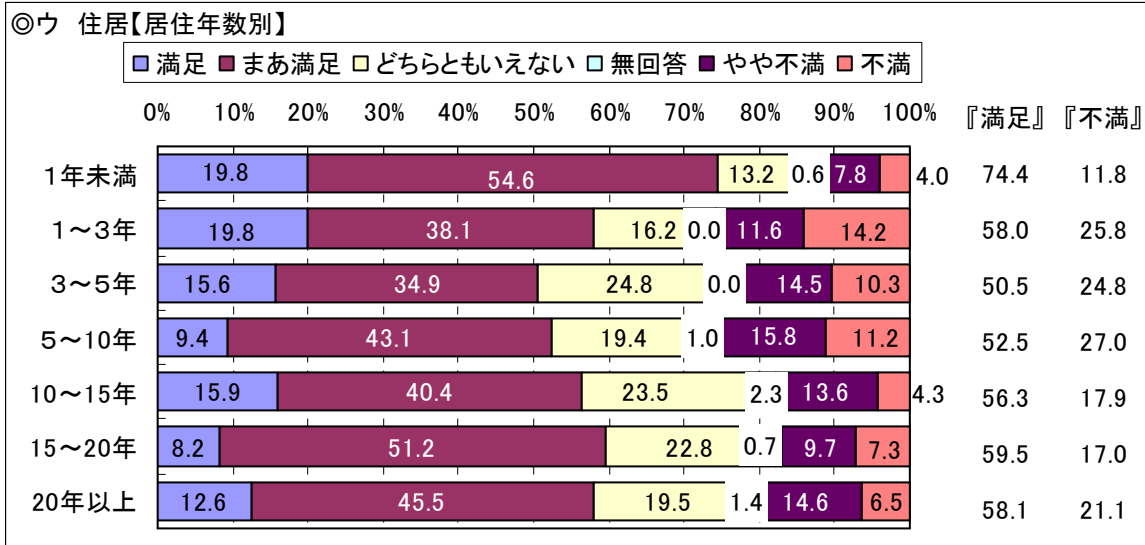
◆世帯収入別

- いずれの収入階層でも『満足』が『不満』を上回っており、収入が200万円未満の世帯では、『不満』(32.1%)が3割を超え、『満足』(45.0%)は5割を下回っているが、世帯収入が多くなるほど『満足』が増えて『不満』が減少する傾向にあり、800万円以上の世帯では、『満足』が7割前後になり、『不満』は1割に満たない。



◆居住年数別

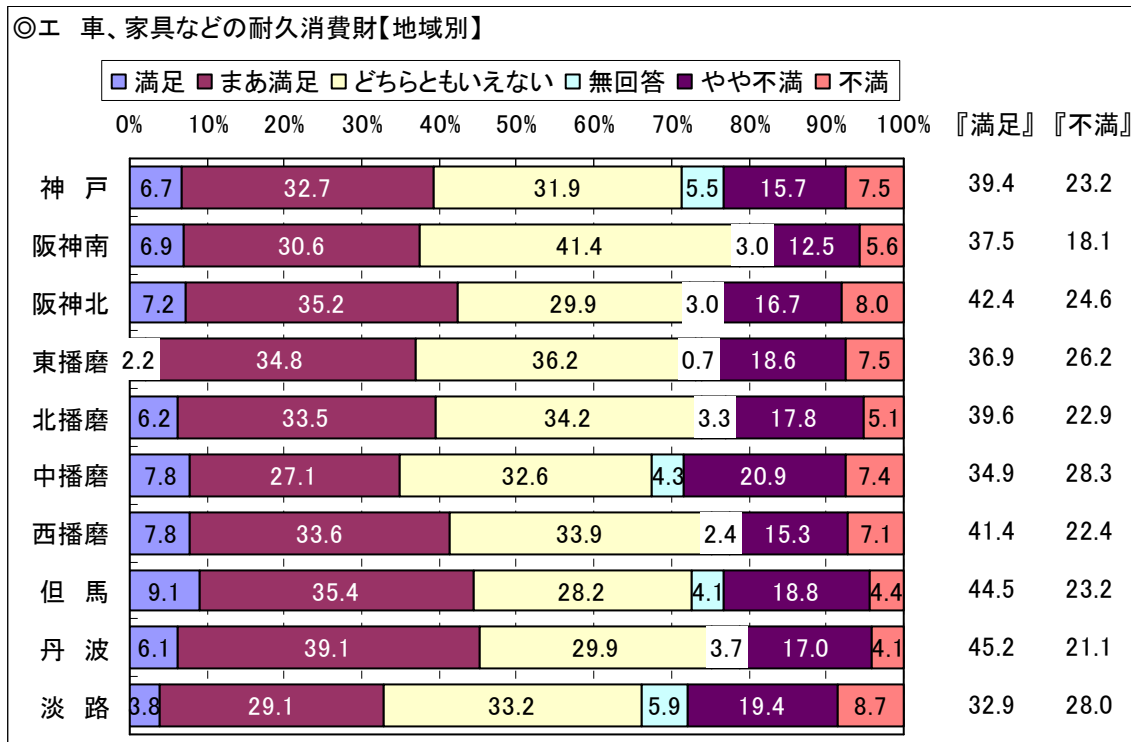
○ いずれの居住年数でも『満足』が『不満』を上回っており、『満足』は、1年未満(74.4%)で7割台と最も多く、他の年数ではいずれも5割台である。一方、『不満』は、1年未満(11.8%)で1割強と少なく、5～10年(27.0%)や1～3年(25.8%)、3～5年(24.8%)で2割台半ばとやや多い。



◎エ 車、家具などの耐久消費財

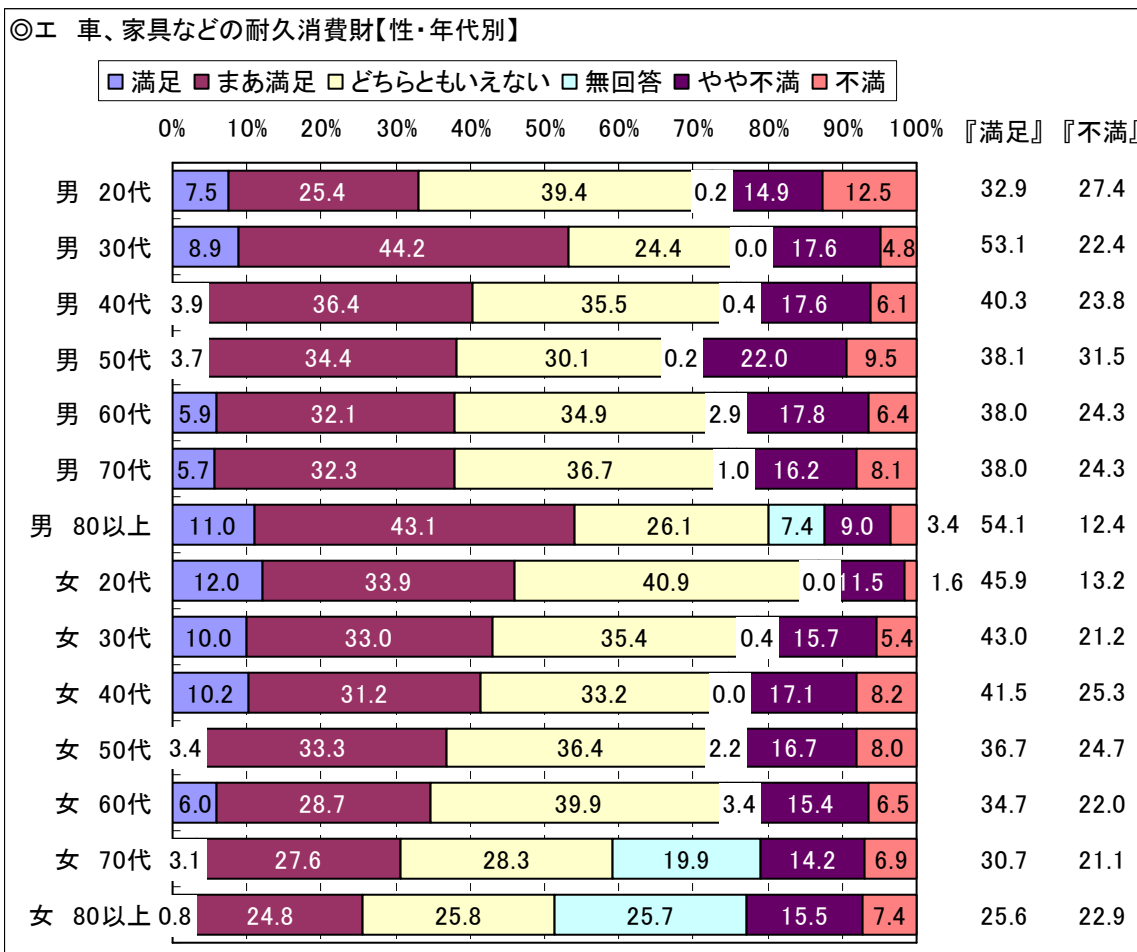
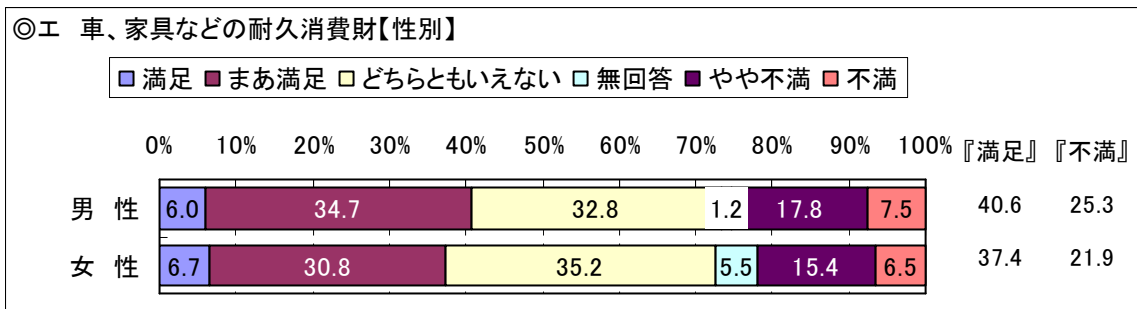
◆地域別

- 『満足』は、丹波(45.2%)、但馬(44.5%)をはじめ4割前後の地域が多いが、淡路(32.9%)では3割前半とやや少ない。
- 一方、『不満』は、3割近い中播磨(28.3%)、淡路(28.0%)を含め、いずれの地域も概ね2割台であるが、阪神南(18.1%)のみ2割を下回っている。
- また、「どちらともいえない」は、いずれの地域も概ね3割前後であるが、阪神南(41.4%)では4割を超えている。



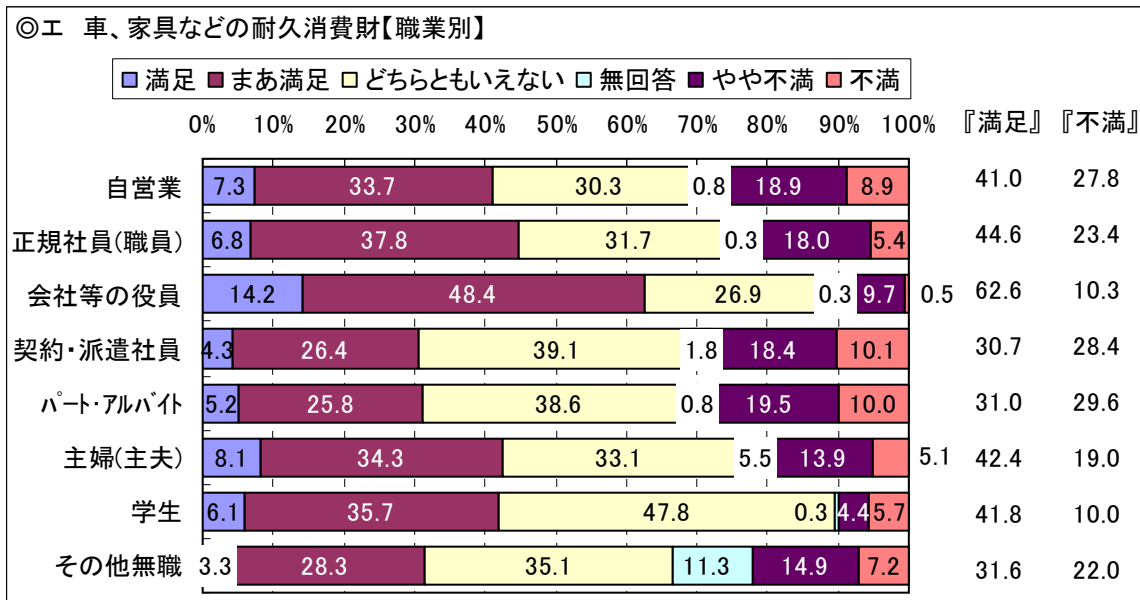
◆性別／性・年代別

- 性別では、『満足』(男:40.6%、女:37.4%)、『不満』(男:25.3%、女:21.9%)ともに、女性より男性でやや多い。
- 性・年代別でみると、男性では、『満足』は、40代から70代にかけて4割前後であるが、80歳以上(54.1%)と30代(53.1%)では5割を超え、逆に20代(32.9%)では3割台前半と最も少ない。一方、『不満』は、50代(31.5%)で3割を超え、他の年代でも概ね2割を超えるが、80歳以上(12.4%)のみ1割台である。
- 一方、女性では、『満足』は、20代(45.9%)で最も多く、年代が上がるると減少する傾向にあり、80歳以上(25.6%)では2割台となっている。一方、『不満』は、1割台前半の20代(13.2%)を除き、いずれの年代も2割台となっている。



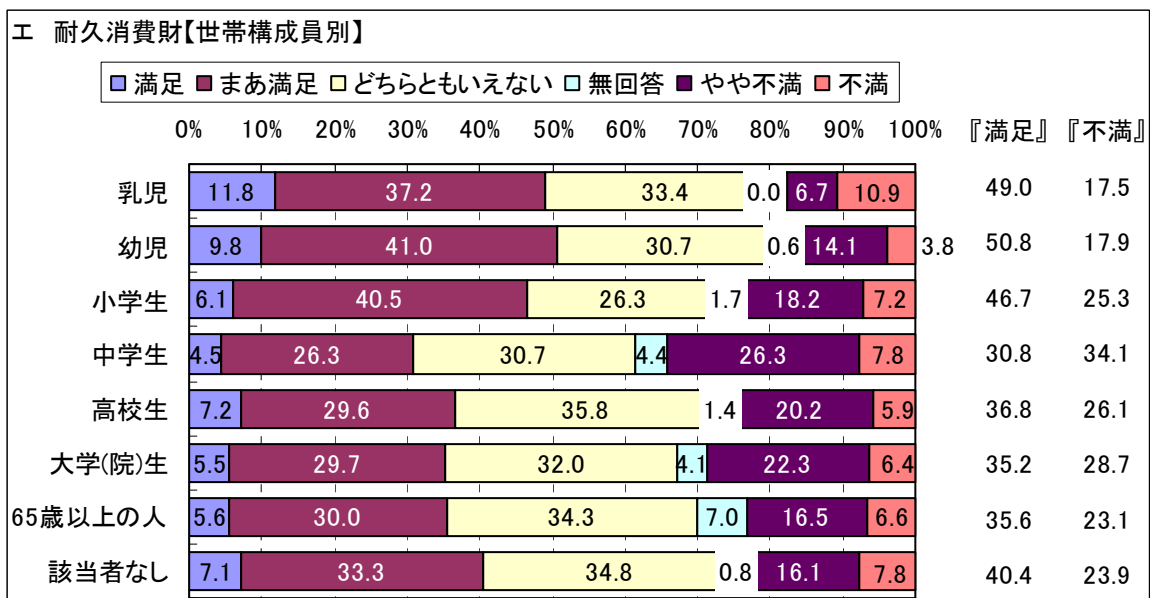
◆職業別

- 『満足』は、会社等の役員(62.6%)で6割を超えているが、他の職業では5割を下回り、契約・派遣社員(30.7%)やパート・アルバイト(31.0%)、その他無職(31.6%)では3割程度である。
- 一方、『不満』は、パート・アルバイト(29.6%)や契約・派遣社員(28.4%)、自営業(27.8%)で3割近く、2割前後の職業も多いが、学生(10.0%)と会社等の役員(10.3%)では1割に止まる。
- なお、学生(47.8%)や契約・派遣社員(39.1%)、パート・アルバイト(38.6%)、その他無職(35.1%)では、「どちらともいえない」が『満足』や『不満』を上回っている。



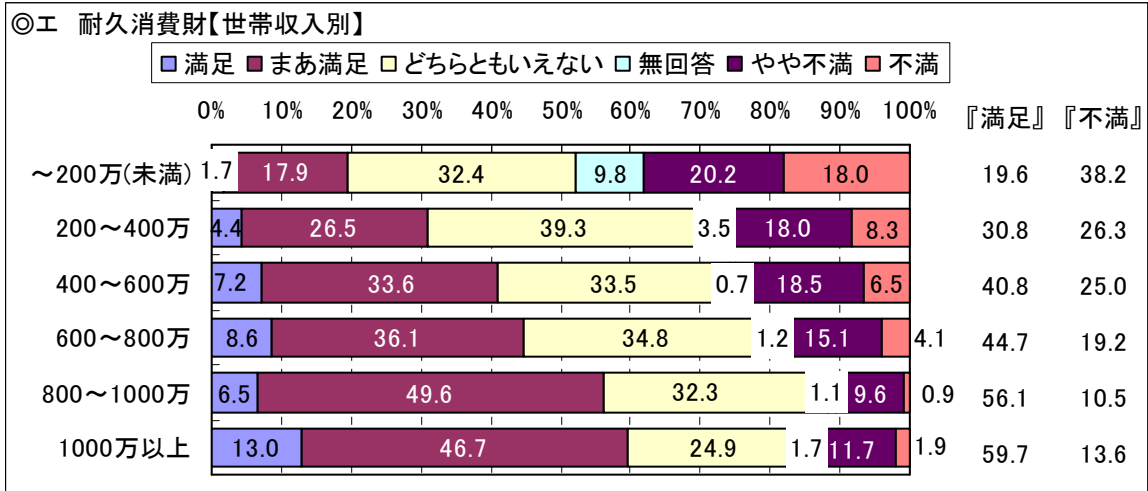
◆世帯構成員別

- 世帯構成員別でみると、『満足』は、乳児(49.0%)や幼児(50.8%)、小学生(46.7%)のいる世帯で5割前後あるが、中学生以上や65歳以上の人がある世帯では3割台に止まる。一方、『不満』は、乳児(17.5%)や幼児(17.9%)のいる世帯では1割台で、その他は概ね2割台であるが、中学生(34.1%)のいる世帯では3割を超え、『満足』を上回っている。



◆世帯収入別

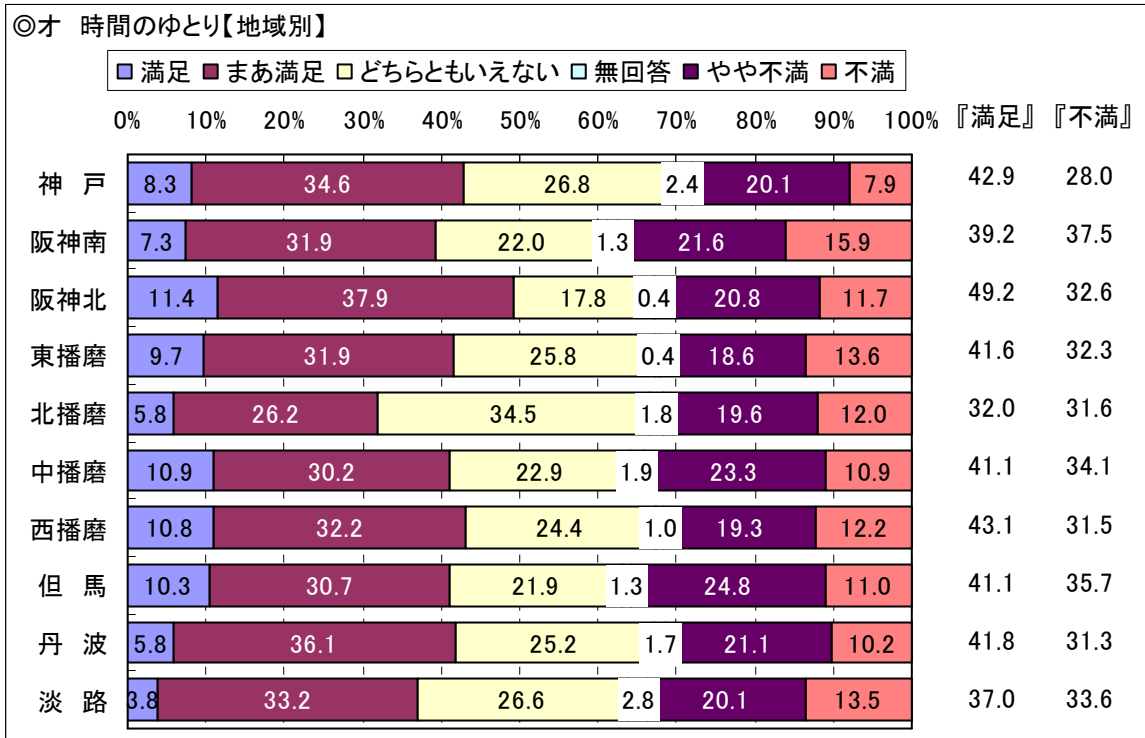
- 収入が200万円未満の世帯では、『不満』(38.2%)が4割近くあり、『満足』(19.6%)を上回るが、世帯収入が多くなるほど『不満』が減少して『満足』が増える傾向にあり、200万円以上の世帯では『満足』が『不満』を上回り、1000万円以上の世帯(59.7%)では『満足』が約6割に及んでいる。



◎オ 時間のゆとり

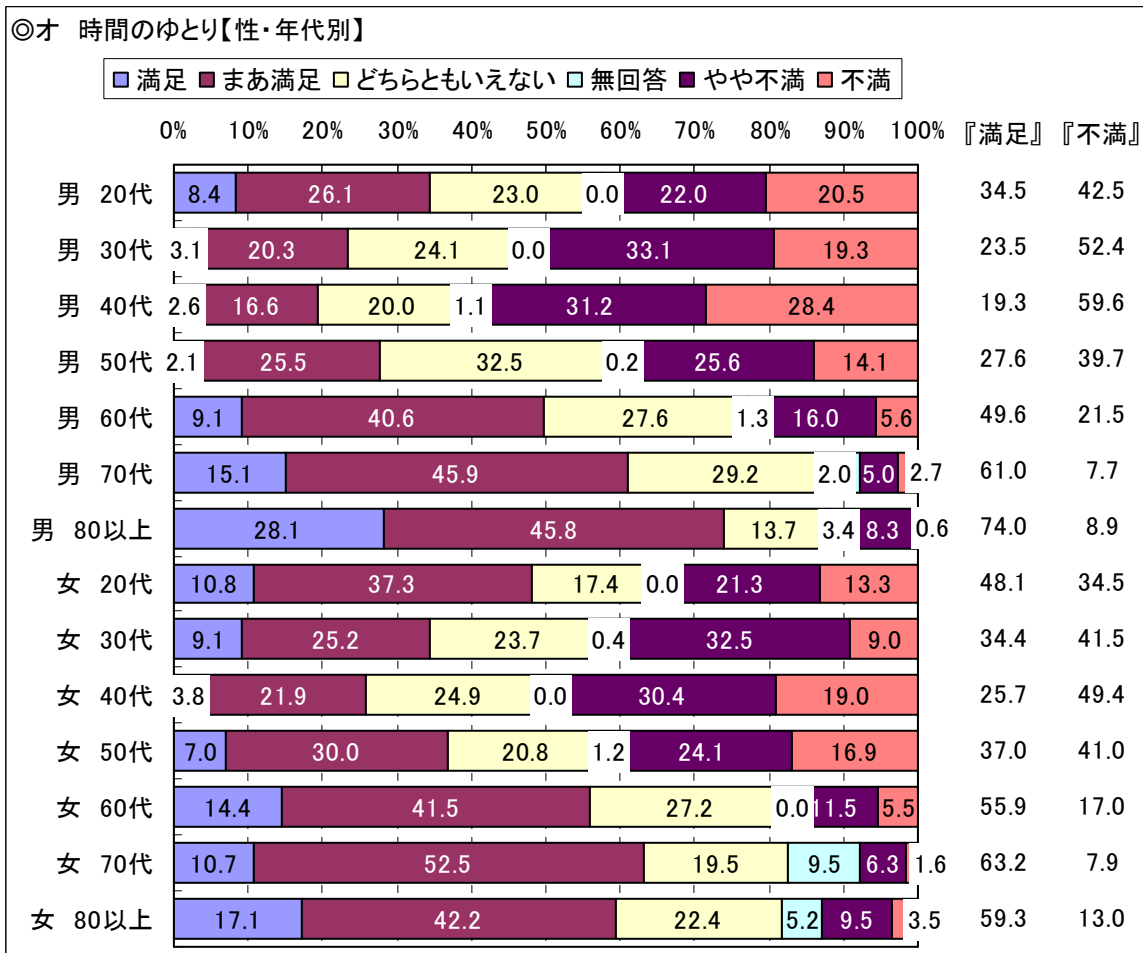
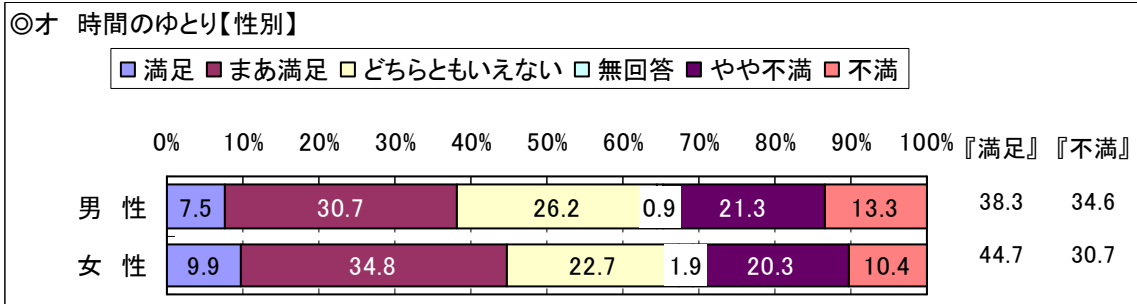
◆地域別

- 『満足』は、阪神北(49.2%)で約5割あり、他の地域では4割前後が多いなか、北播磨(32.0%)のみ3割前半となっている。
- 一方、『不満』は、最も多い阪神南(37.5%)を含めいずれの地域も概ね3割台で、神戸(28.0%)のみ3割を下回っている。



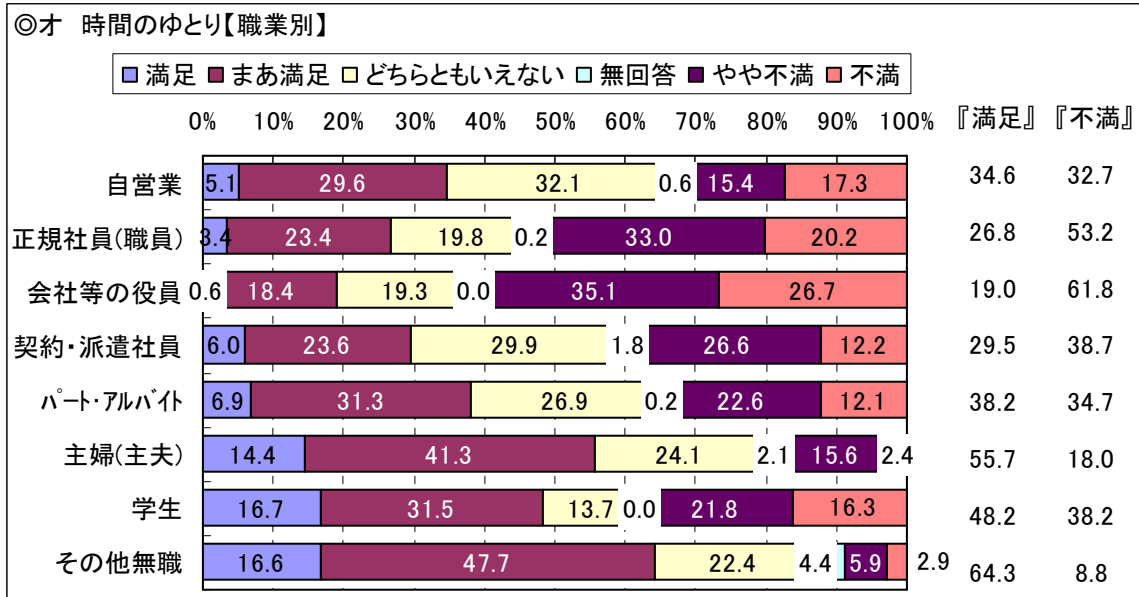
◆性別／性・年代別

- 性別では、『満足』は、男性(38.3%)より女性(44.7%)で多く、『不満』は、女性(30.7%)より男性(34.6%)が多い。
- 性・年代別でみると、男女ともに、40代で『満足』(男:19.3%、女:25.7%)が最も少なく、『不満』(男:59.6%、女:49.4%)が最も多くなり、60代以降では『満足』が『不満』を上回っている。
- 一方、男性の20代では『不満』(42.5%)が『満足』(34.5%)を上回っているのに対し、女性の20代では『満足』(48.1%)が『不満』(34.5%)を上回っており、『満足』とするのは、80歳以上(男:74.0%、女:59.3%)を除き、いずれの年代も女性の方が多い。



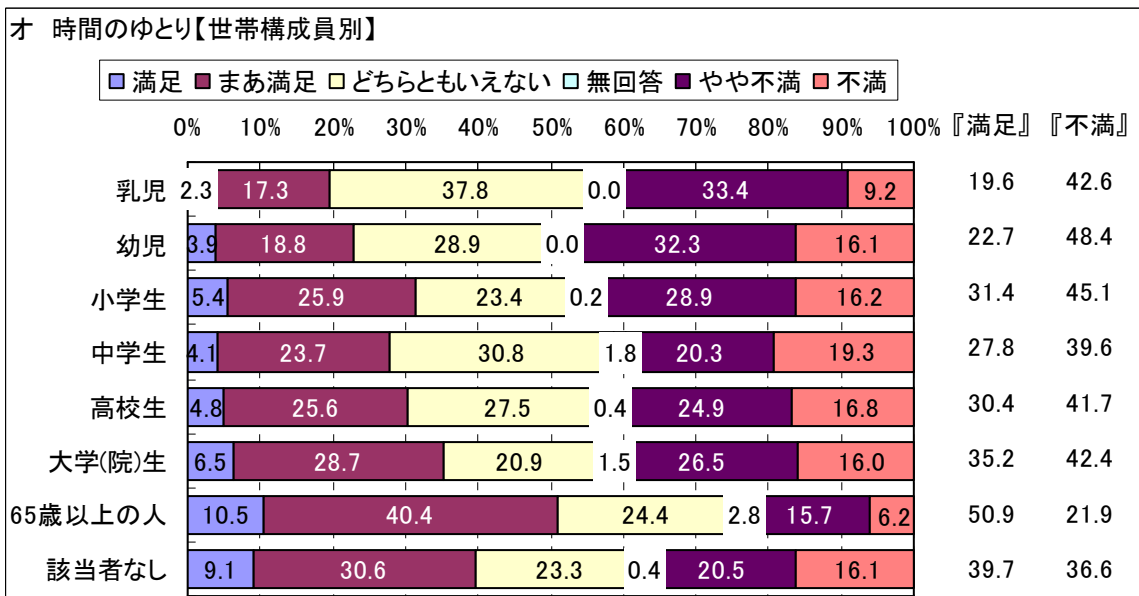
◆職業別

- 職業別でみると、『満足』は、その他無職(64.3%)で6割、主婦(55.7%)で5割を超える一方、正規社員(26.8%)や契約・派遣社員(29.5%)で3割、会社等の役員(19.0%)では2割を下回っている。
- 一方、『不満』は、会社等の役員(61.8%)で6割、正規社員(53.2%)で5割を超えており、これらに契約・派遣社員(38.7%)を加えた3つの職業では『不満』が『満足』を上回っている。



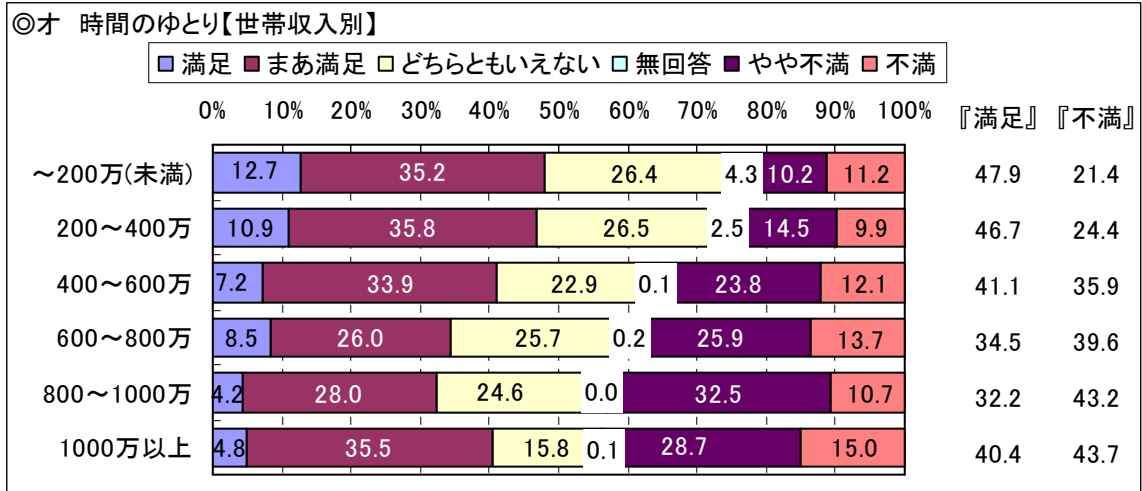
◆世帯構成員別

- 世帯構成員別でみると、『満足』は、65歳以上の人がいる世帯(50.9%)では5割あるが、該当者のいない世帯(39.7%)や大学生のいる世帯(35.2%)で3割台後半、小学生～高校生のいる世帯(27.8%～31.4%)で3割前後、乳児(19.6%)や幼児(22.7%)のいる世帯では2割前後に止まる。
- 一方、『不満』は、65歳以上の人がいる世帯(21.9%)と該当者のいない世帯(36.6%)を除き、いずれの世帯でも概ね4割台を占め、『満足』を上回っている。



◆世帯収入別

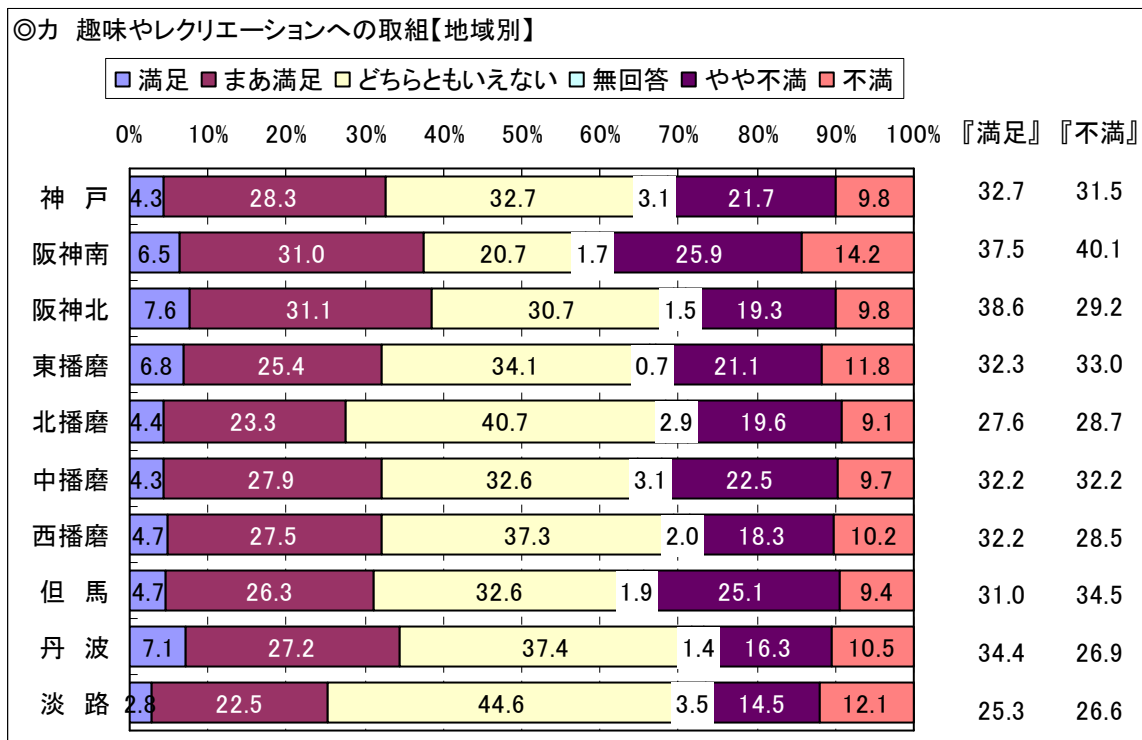
- 収入が200万円未満の世帯では、『満足』(47.9%)が5割近くあり、『不満』(21.4%)を上回るが、世帯収入が多くなるほど『満足』が減少して『不満』が増える傾向にあり、600万円以上の世帯では『不満』(39.6%~43.7%)が4割前後に及び、『満足』(32.2%~40.4%)を上回っている。



◎カ 趣味やレクリエーションへの取組

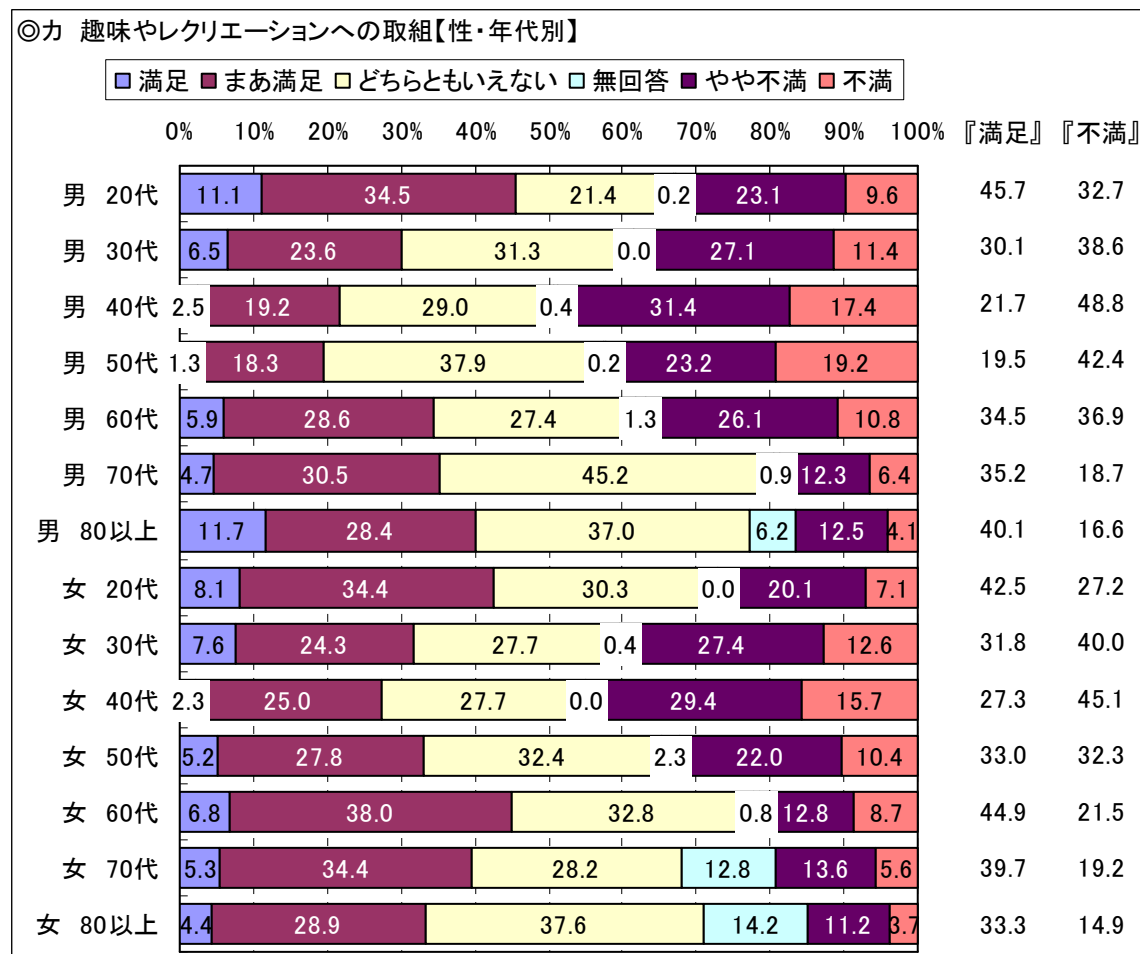
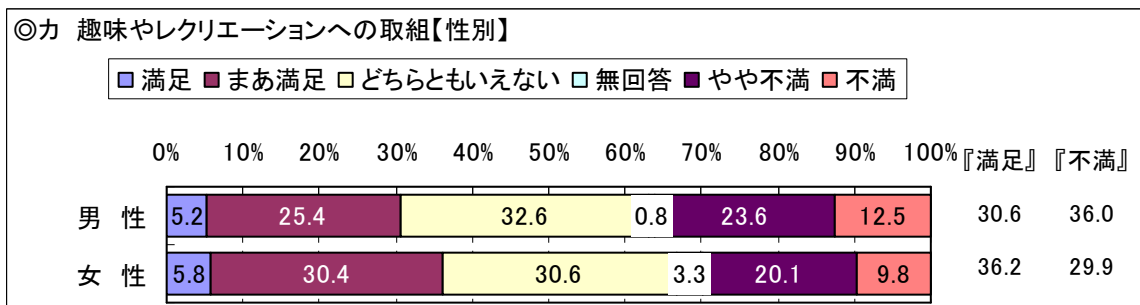
◆地域別

- 『満足』は、阪神北(38.6%)をはじめ3割台の地域が多いなか、淡路(25.3%)と北播磨(27.6%)で2割台となっている。一方、『不満』は、阪神南(40.1%)で4割になるが、他の地域では3割前後となっている。
- いずれの地域も『満足』と『不満』が拮抗しており、差が最も大きい阪神北でも9.4ポイントに止まる。



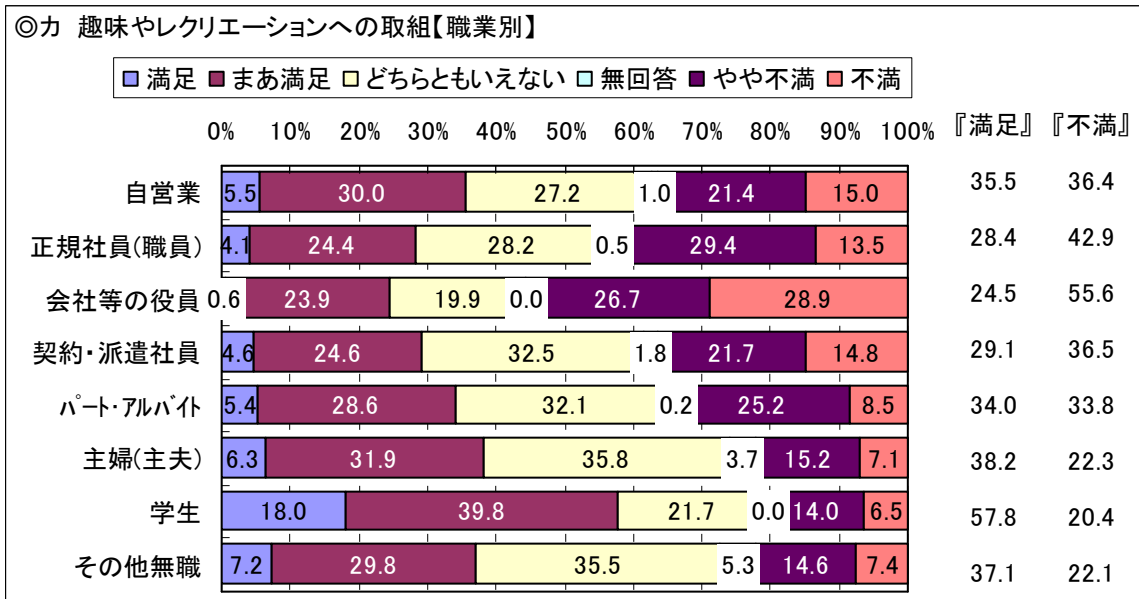
◆性別／性・年代別

- 性別では、『満足』は男性(30.6%)より女性(36.2%)で多く、『不満』は女性(29.9%)より男性(36.0%)が多い。
- 性・年代別でみると、男性では、『満足』は、20代(45.7%)の4割半ばから50代(19.5%)の約2割に減少した後、増加に転じ80歳以上(40.1%)では4割となっている。逆に、『不満』は、20代(32.7%)の3割から40代(48.8%)の5割近くまで増加した後、80歳以上(16.6%)では1割台半ばまで減少している。
- 女性では、『満足』は、60代(44.9%)と20代(42.5%)で4割を超えており、30代(31.8%)、40代(27.3%)、50代(33.0%)での落ち込みは男性ほどではないが、70代以降では3割台に減少している。一方、『不満』は、男性と同様に40代(45.1%)をピークに年代が上がるにつれて増減している。



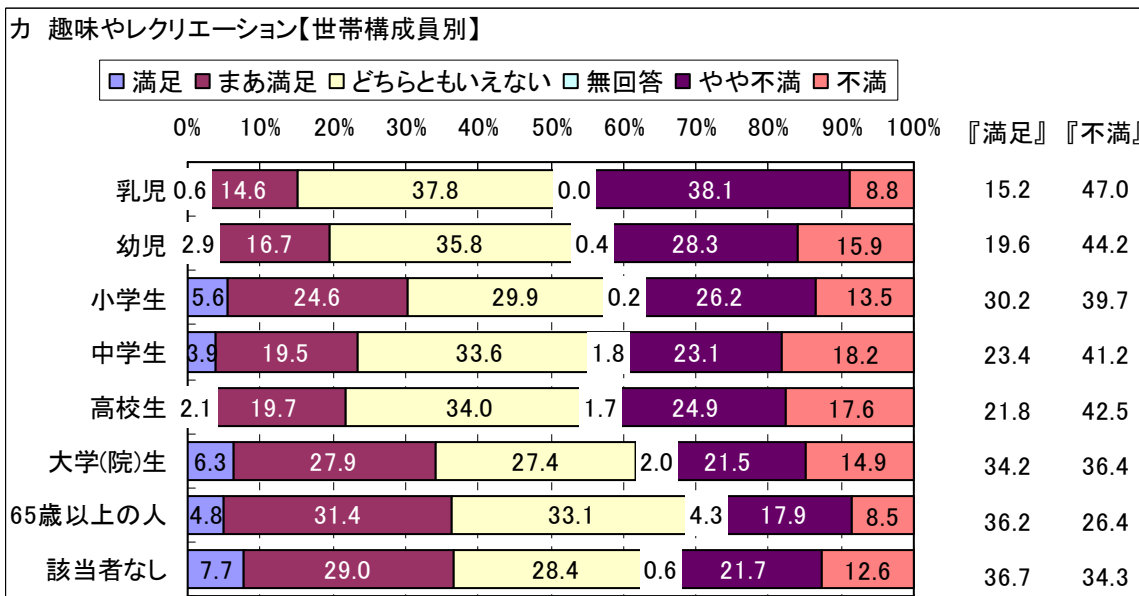
◆職業別

- 職業別でみると、『満足』は、学生(57.8%)で5割を超える一方、他の職業では4割を下回り、会社等の役員(24.5%)では2割前半である。
- 一方、『不満』は、会社等の役員(55.6%)で5割、正規社員(42.9%)で4割を超えているが、学生(20.4%)やその他無職(22.1%)、主婦(22.3%)では2割前半である。



◆世帯構成員別

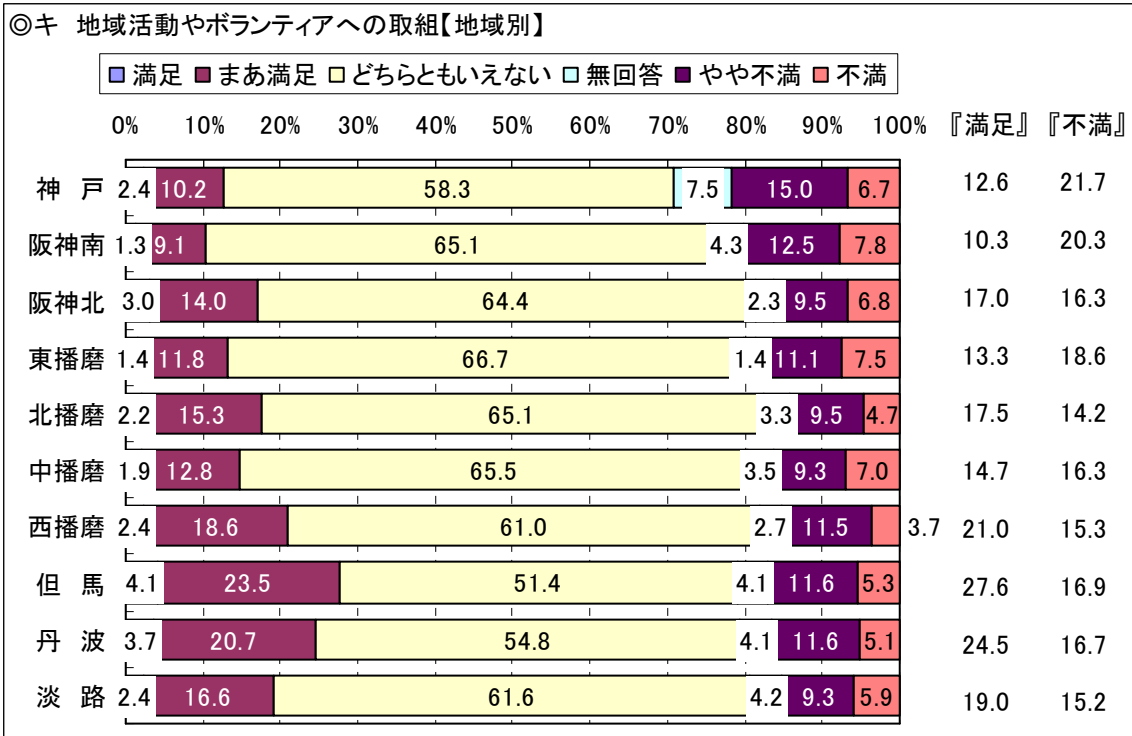
- 世帯構成員別でみると、『満足』は、65歳以上の人(36.7%)や大学生(34.2%)がいる世帯、該当者のいない世帯(36.7%)で3割台半ばあるが、その他の世帯では小学生のいる世帯(30.2%)を除き、2割前後(15.2%~23.4%)に止まる。
- 一方、『不満』は、65歳以上の人(26.4%)と該当者のいない世帯(34.3%)を除き、いずれの世帯でも概ね4割前後(36.4%~47.0%)を占め、『満足』を上回っている。



◎キ 地域活動やボランティアへの取組

◆地域別

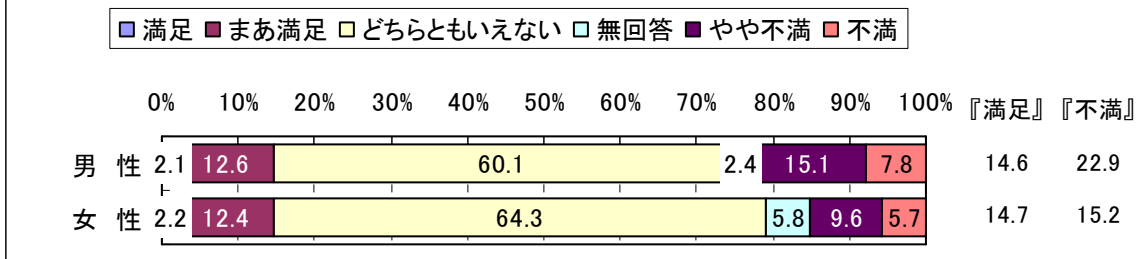
- 『満足』は、但馬(27.6%)や丹波(24.5%)、西播磨(21.0%)で2割を超えるが、他の地域では1割台に止まる。一方、『不満』も、神戸(21.7%)や阪神南(20.3%)で2割を超えるが、他の地域では1割台に止まり、いずれの地域でも『どちらともいえない』が半数を超える。



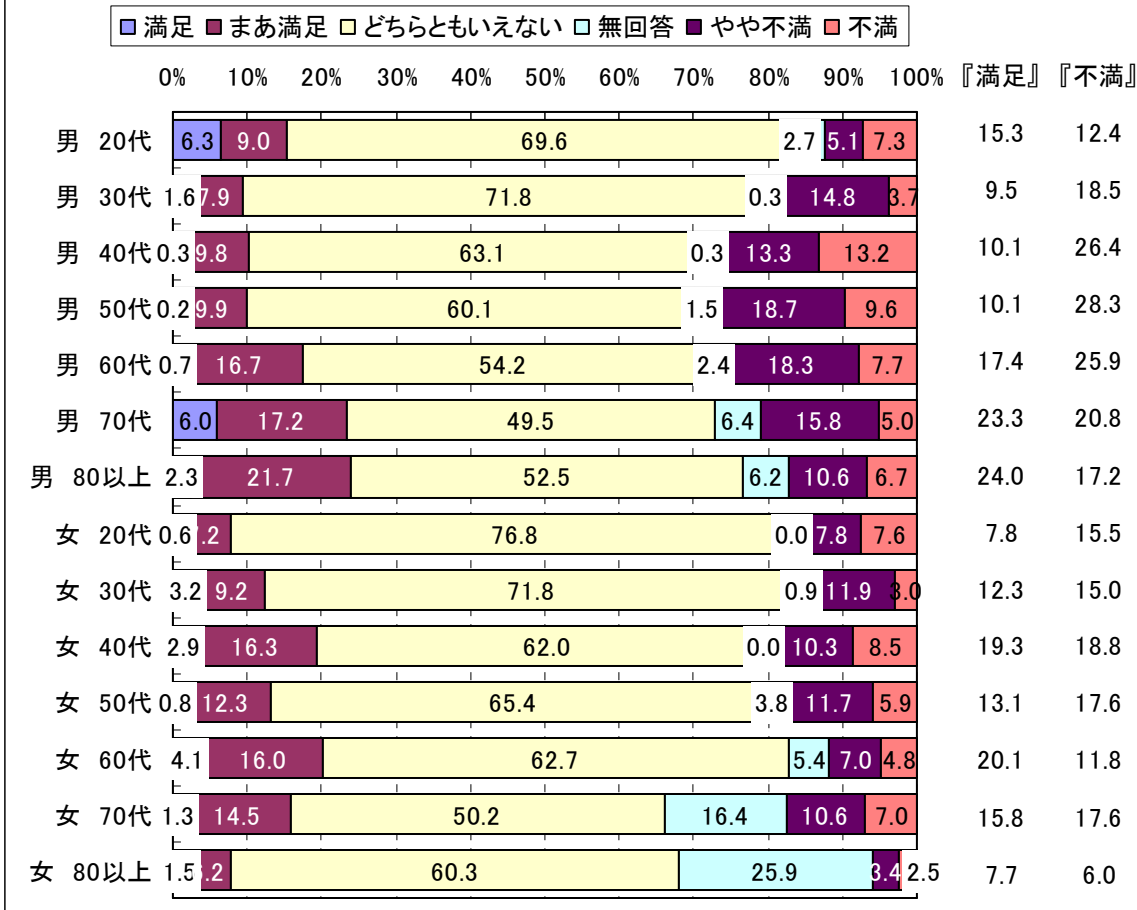
◆性別／性・年代別

- 性別では、『不満』が、女性(15.2%)より男性(22.9%)が多い。
- 性・年代別でみると、男性では、『満足』は80歳以上(24.0%)と70代(23.3%)で2割を超えており、『不満』は40代から60代にかけて2割台半ばを超えている。
- 一方、女性では、『満足』は60代(20.1%)と40代(19.3%)で2割前後あるが、『不満』はいずれの年代でも2割を下回り、80歳以上では『満足』(7.7%)、『不満』(6.0%)ともに1割に満たない。

◎キ 地域活動やボランティアへの取組【性別】

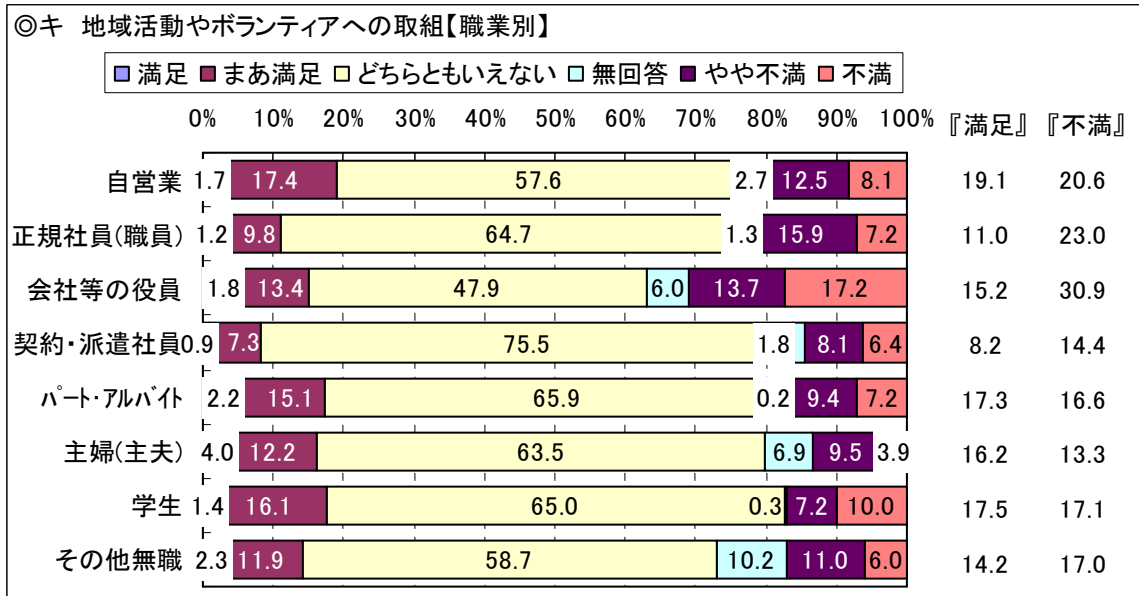


◎キ 地域活動やボランティアへの取組【性・年代別】



◆職業別

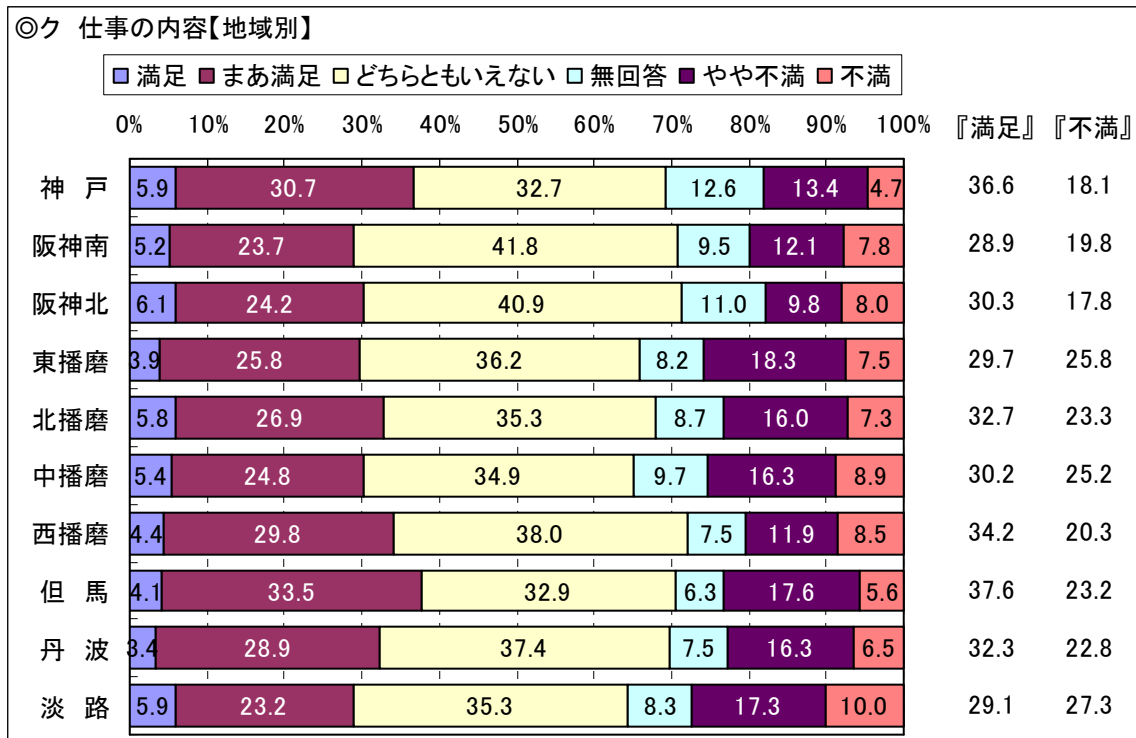
- 職業別で見ると、『満足』が2割を超える職業はなく、契約・派遣社員(8.2%)では1割に満たない。
- 一方、『不満』は、会社等の役員(30.9%)で3割を超えるが、他の職業では概ね2割前後となっている。



◎ク 仕事の内容

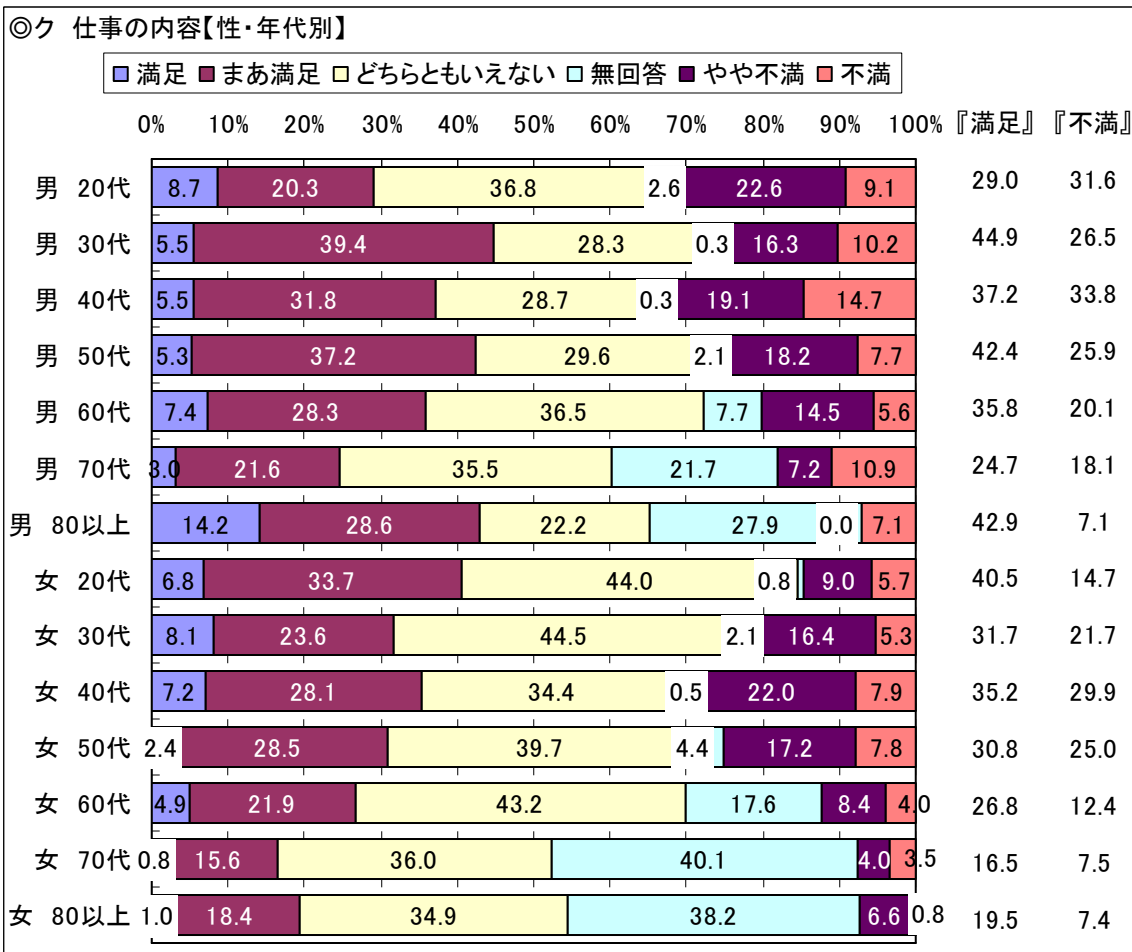
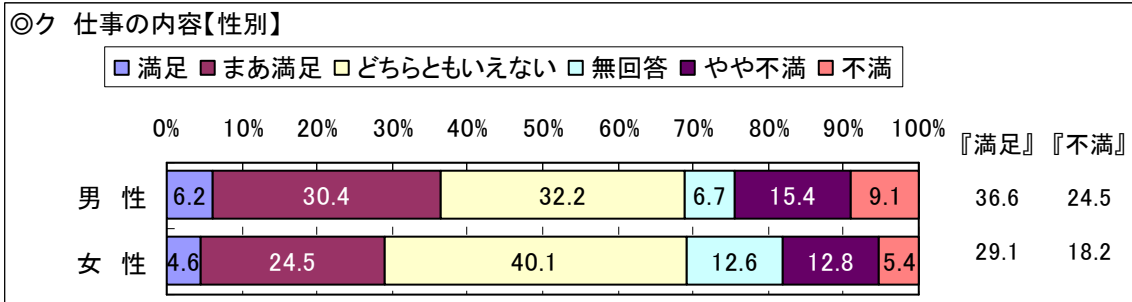
◆地域別

- 『満足』は、但馬(37.6%)と神戸(36.6%)で3割台半ばを超えているが、他の地域でも3割前後である。一方、『不満』は、淡路(27.3%)や東播磨(25.8%)、中播磨(25.2%)で2割台半ばを超えているが、他の地域でも2割前後である。
- いずれの地域でも『満足』が『不満』を上回っているが、神戸と但馬を除く地域では「どちらともいえない」が『満足』を上回っている。



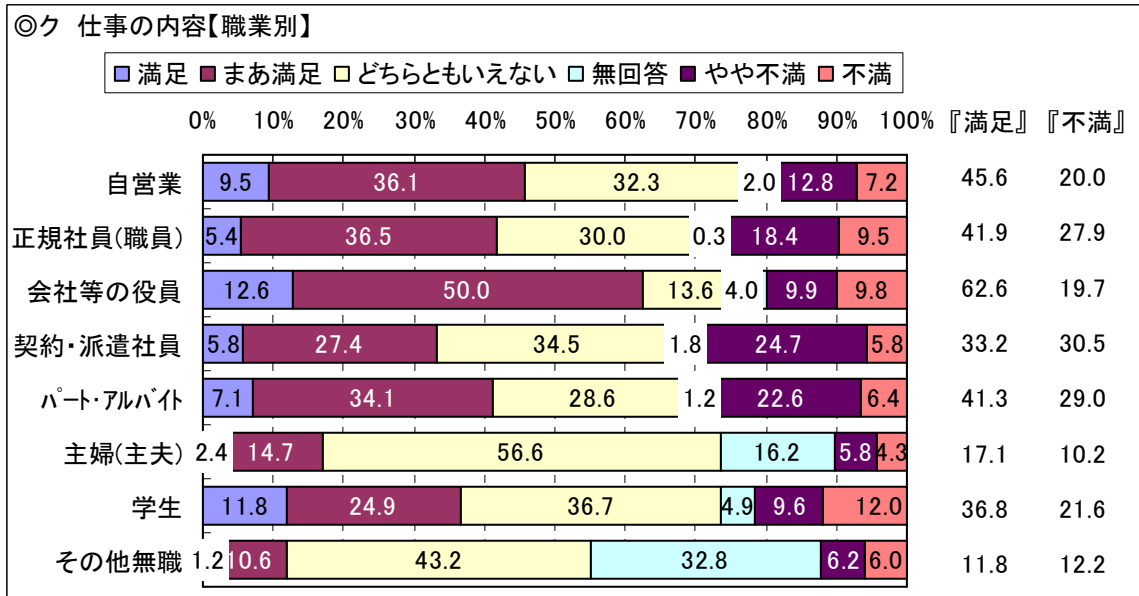
◆性別／性・年代別

- 性別では、『満足』(男:36.6%、女:29.1%)、『不満』(男:24.5%、女:18.2%)ともに、女性より男性で多い。
- 性・年代別で見ると、男性では、『満足』は、30代(44.9%)と50代(42.4%)、80歳以上(42.9%)で4割を超えるが、70代(24.7%)と20代(29.0%)では3割を下回っている。一方、『不満』は、40代(33.8%)や20代(31.6%)で3割を超えているが、50代以降では年代が上がるにつれて減少し、80歳以上(7.1%)では1割を下回っている。
- 女性では、『満足』は、20代(40.5%)で4割を超えているが、概ね年代が上がるにつれて減少する傾向にあり、70代以降では2割を下回っている。一方、『不満』は、約3割ある40代(29.9%)をピークに増減しており、前後の50代(25.0%)と30代(21.7%)で2割台になっている。



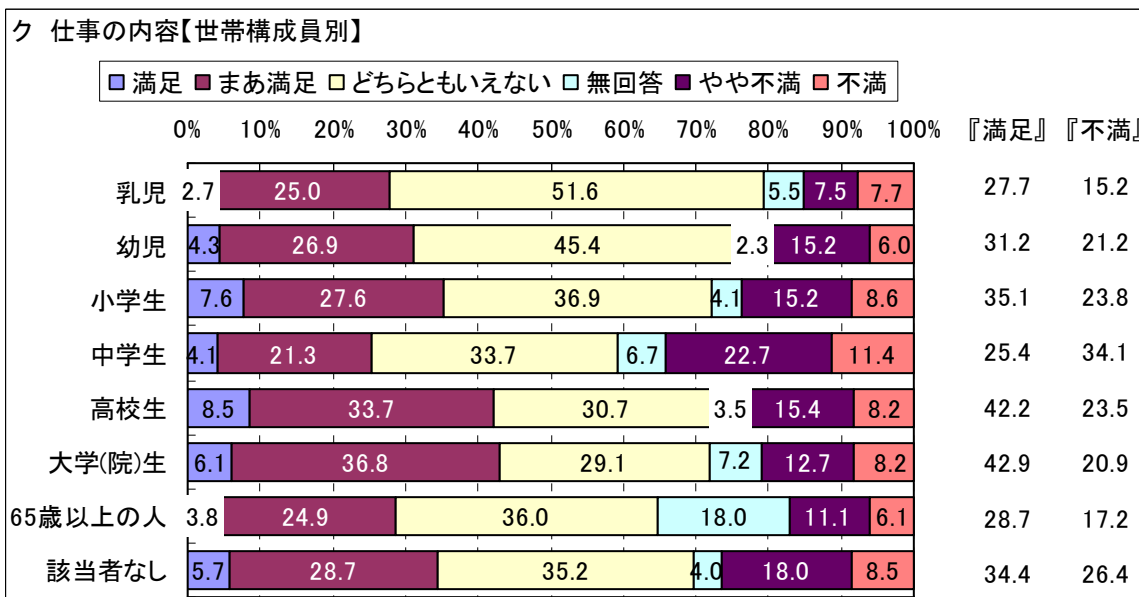
◆職業別

- 職業別で見ると、『満足』は、会社等の役員(62.6%)で6割を超えるが、他の職業では5割を下回り、自営業(45.6%)と正規社員(41.9%)、パート・アルバイト(41.3%)で4割台、学生(36.8%)と契約・派遣社員(33.2%)では3割台である。
- 一方、『不満』は、契約・派遣社員(30.5%)とパート・アルバイト(29.0%)、正規社員(27.9%)で3割前後あるが、他の職業では概ね2割前後であり、主婦とその他無職では『満足』、『不満』ともに1割台に止まっている。



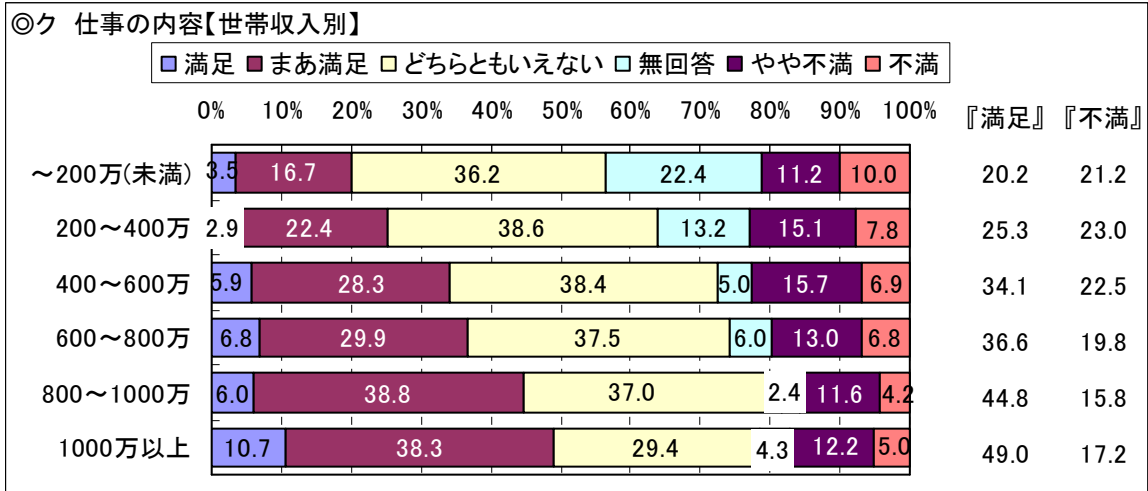
◆世帯構成員別

- 世帯構成員別で見ると、小学生以下のいる世帯では、世帯構成員の年齢が上がるほど「どちらともいえない」が減少し、『満足』、『不満』ともに増加しているが、中学生のいる世帯では、『満足』が減少して『不満』のみが増えており、同世帯で『不満』(34.1%)が最も多く、『満足』(25.4%)が最も少なくなっている。
- また、大学生(42.9%)や高校生(42.2%)がいる世帯では『満足』が4割台と多く、乳児(15.2%)や65歳以上の人(17.2%)がいる世帯では『不満』が1割台と少ない。



◆世帯収入別

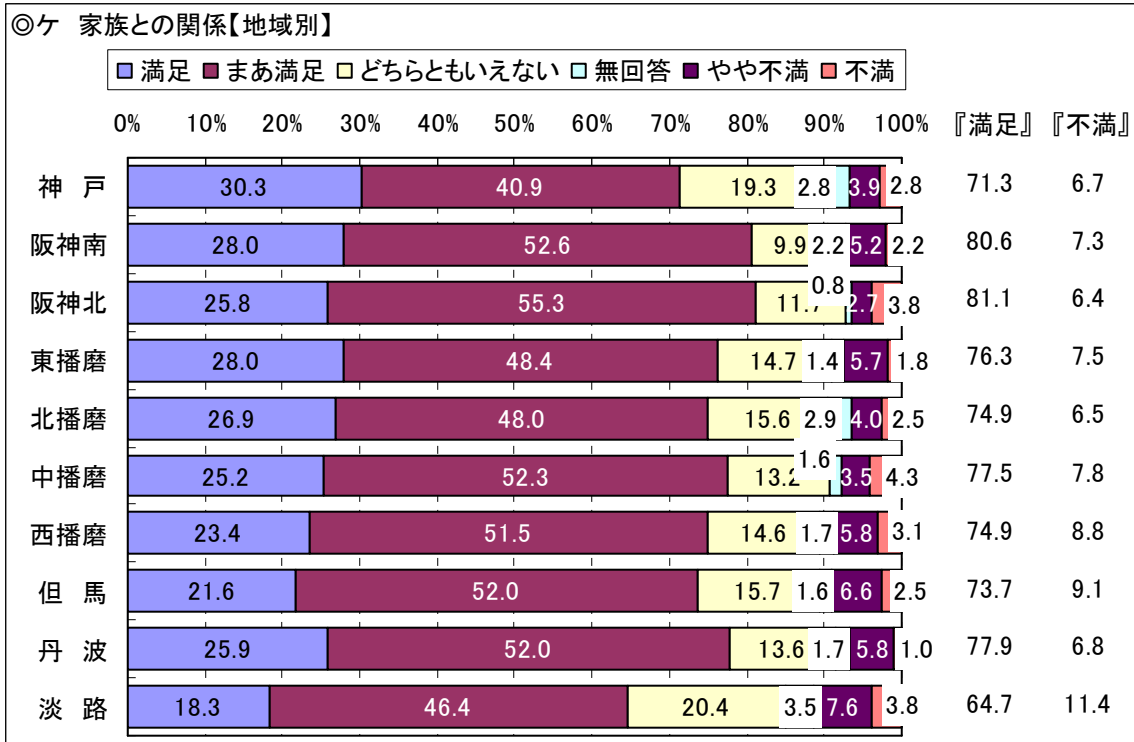
- 『不満』は、いずれの収入階層でも2割前後(15.8%~23.0%)で大差はないが、『満足』は、世帯収入が多くなるほど増加しており、200万円未満の世帯(20.2%)では『不満』(21.2%)を下回るが、他の収入階層では上回っており、1000万円以上の世帯(49.0%)では5割近くに及んでいる。



◎ケ 家族との関係

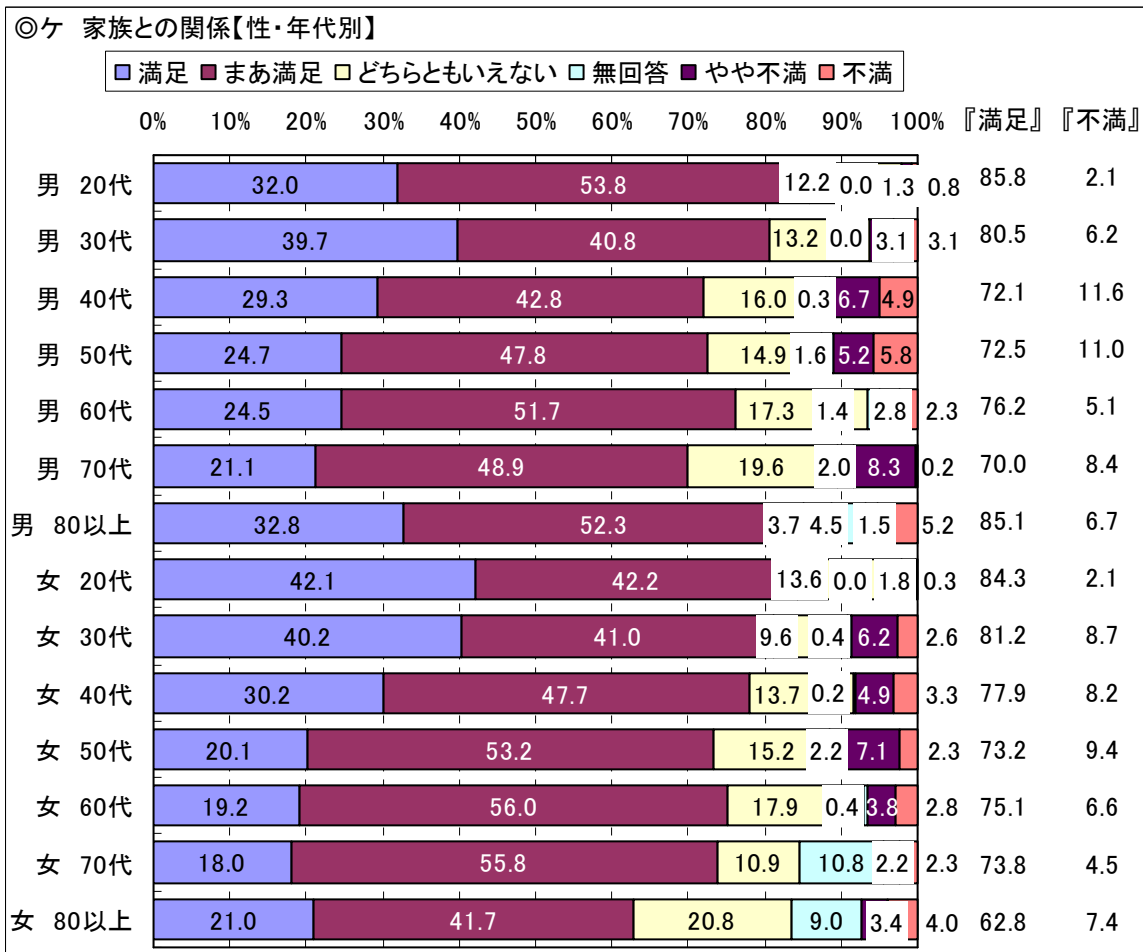
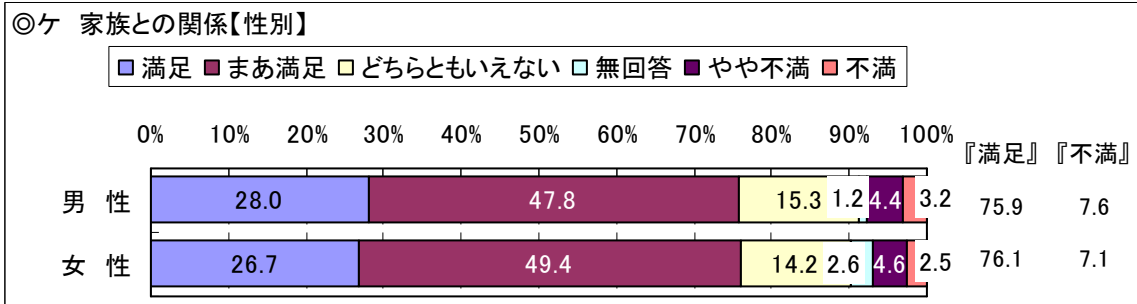
◆地域別

- 『満足』は、阪神北(81.1%)と阪神南(80.6%)で8割を超え、7割台の地域が多いなか、淡路(64.7%)では6割台半ばに止まる。
- 『不満』は、淡路(11.4%)で1割を超えるが、他の地域は1割を下回っている。



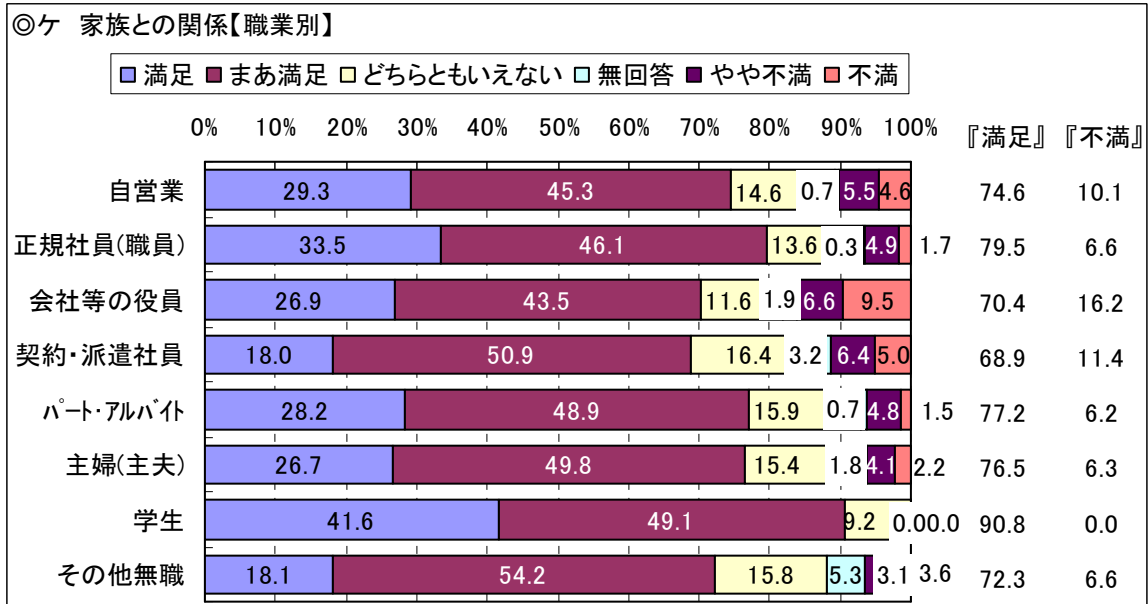
◆性別／性・年代別

- 性別で、特段の差はみられない。
- 性・年代別でみると、男性では、『満足』は、20代(85.8%)と80歳以上(85.1%)、30代(80.5%)で8割を超えているが、他の年代では7割台半ばに止まる。一方、『不満』は、40代(11.6%)と50代(11.0%)で1割を超えているが、他の年代では1割を下回っている。
- 女性では、『満足』は、20代(84.3%)で8割台半ばと最も多く、年代が上がるにつれて減少する傾向にあり、80歳以上(62.8%)では6割強となっている。一方、『不満』は、いずれの年代でも1割を下回っている。



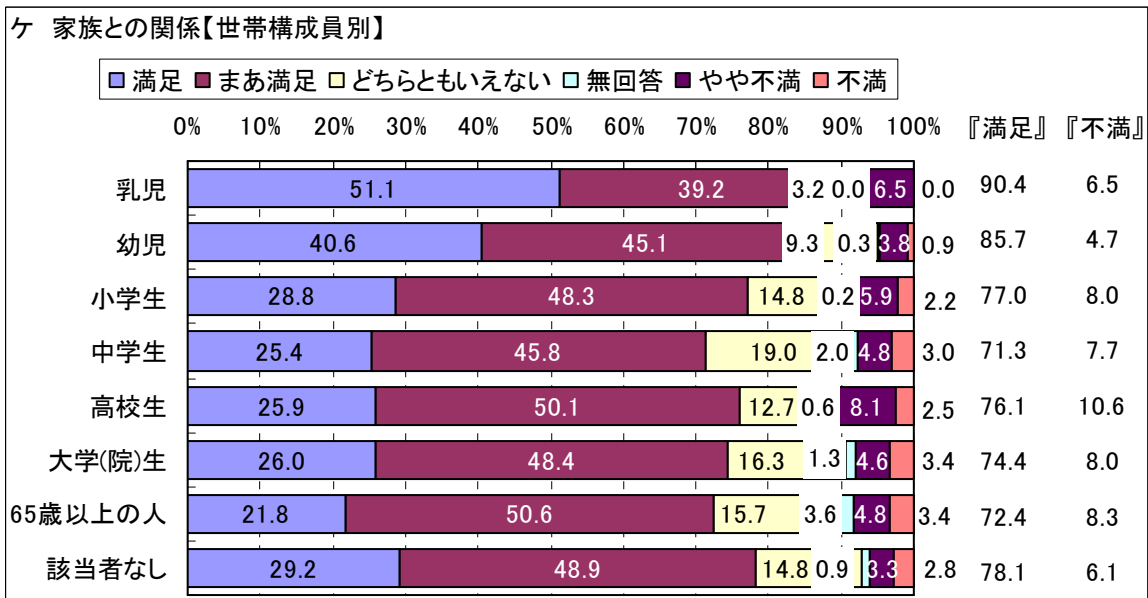
◆職業別

- 職業別で見ると、『満足』は、学生(90.8%)で9割を超えるが、これに次ぐ正規職員(79.5%)や主婦(76.5%)では8割を下回り、最も少ない契約・派遣社員(68.9%)では7割を下回っている。
- 一方、『不満』は、会社等の役員(16.2%)で1割台半ば、契約・派遣社員(11.4%)と自営業(10.1%)で1割を超えるが、他の職業では1割を下回り、学生(0.0%)では『不満』の回答がない。



◆世帯構成員別

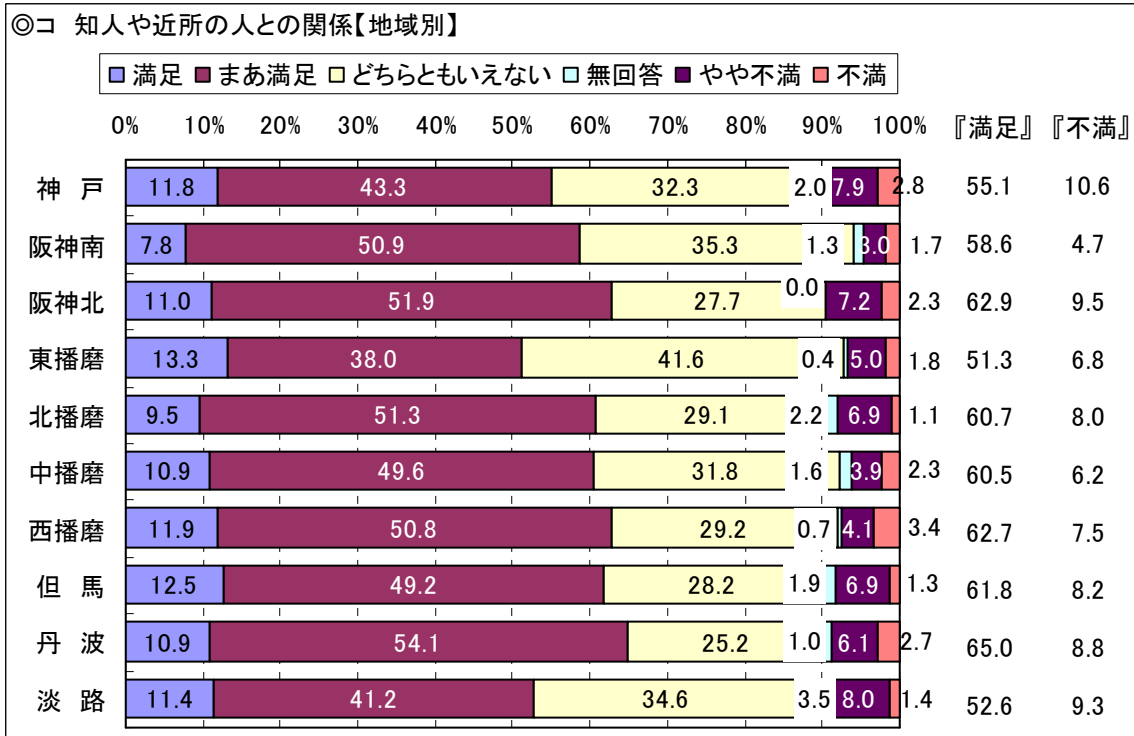
- 世帯構成員別で見ると、『満足』は、いずれの世帯でも7割を超えているが、幼児のいる世帯(85.7%)で8割台半ば、乳児のいる世帯(90.4%)では9割に及んでいる。一方、『不満』は、高校生のいる世帯(10.6%)のみ1割を超えている。



◎コ 知人や近所の人との関係

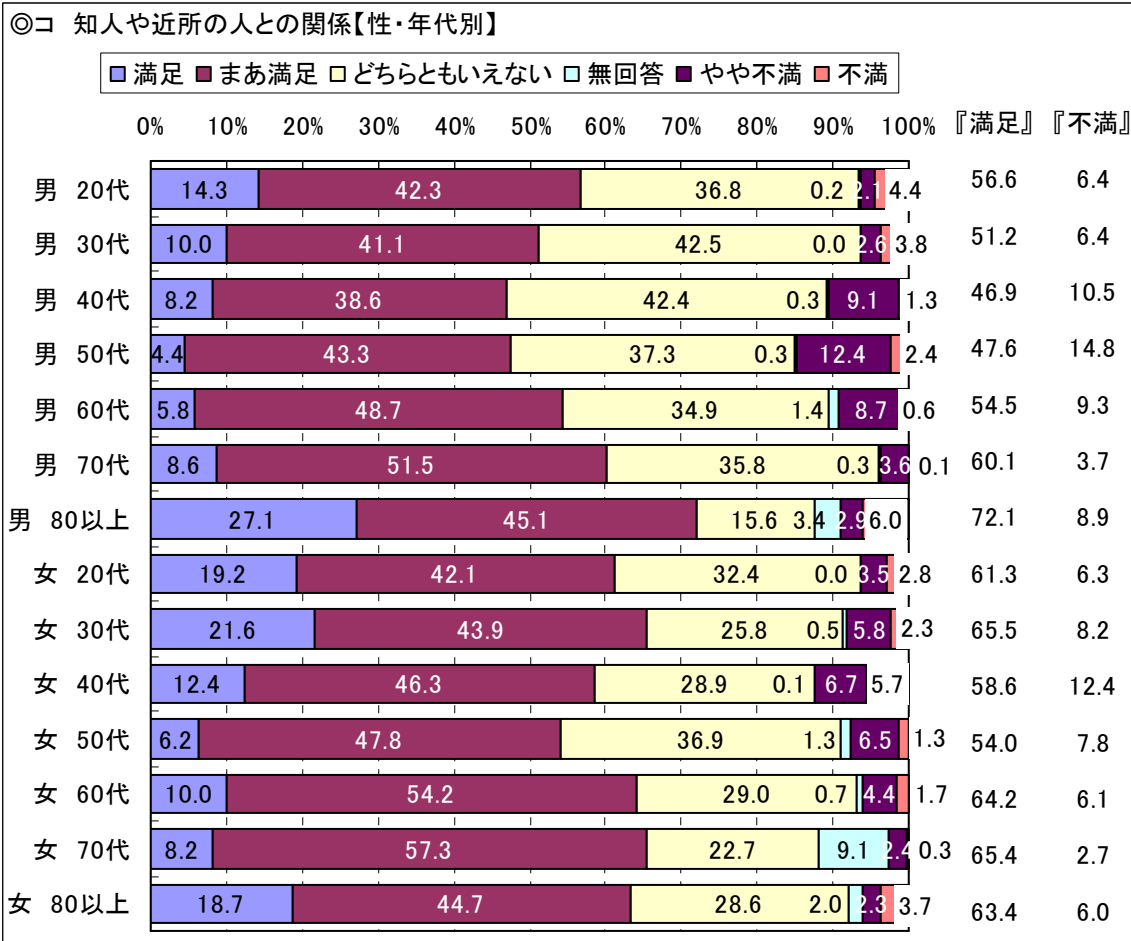
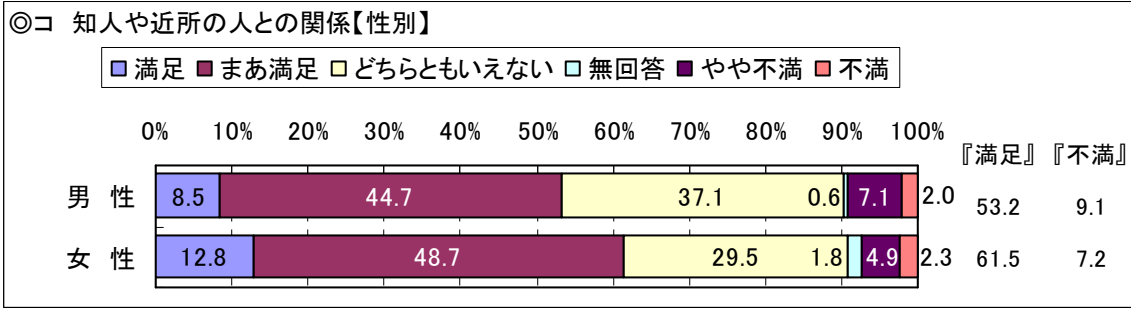
◆地域別

- 『満足』は、丹波(65.0%)で6割台半ばと最も多く、6割前後の地域が多いなか、東播磨(51.3%)と淡路(52.6%)では5割強に止まる。
- 一方、『不満』は、最も多い神戸(10.6%)でも1割に止まる。



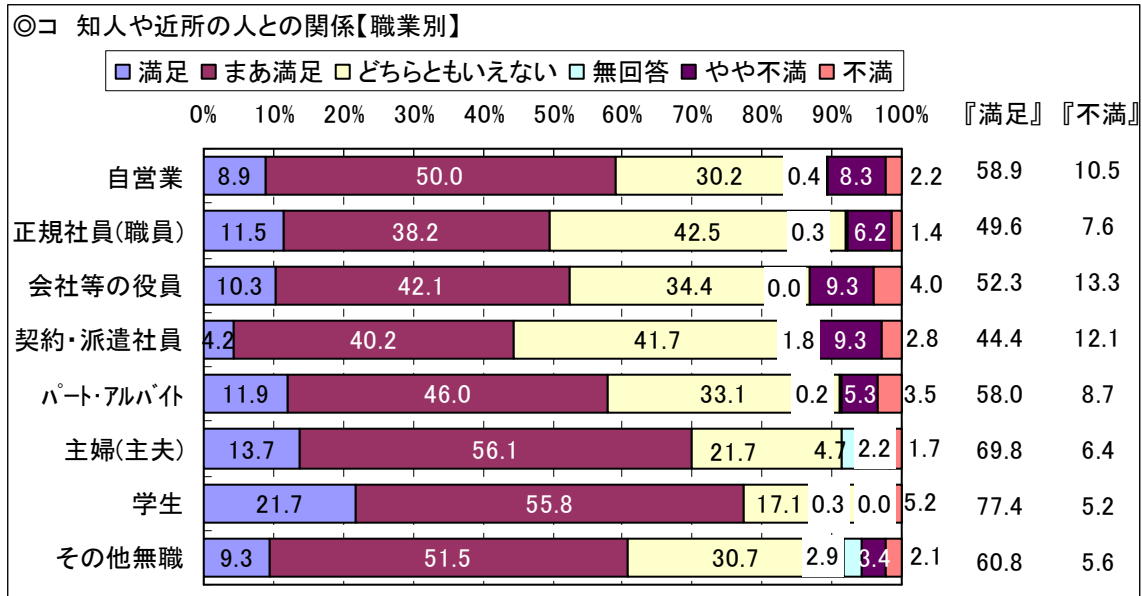
◆性別／性・年代別

- 性別では、『満足』は男性(53.2%)より女性(61.5%)で多く、『不満』は男女の差がほとんどないが、「どちらともいえない」が女性(29.5%)より男性(37.1%)が多い。
- 性・年代別でみると、男性では、『満足』は、20代(56.6%)の5割台半ばから減少し、40代(46.9%)と50代(47.6%)では5割を下回るが、60代以降は増加に転じ、80歳以上(72.1%)では7割を超えている。一方、『不満』は、他の年代と比較して40代から60代でやや増えるが、最も多い50代(14.8%)でも1割台半ばで、他の年代は概ね1割以下に止まっている。
- 女性では、『満足』は、5割台の40代(58.6%)と50代(54.0%)を除き、他の年代では6割台である。一方、『不満』は、40代(12.4%)でのみ1割を超えている。



◆職業別

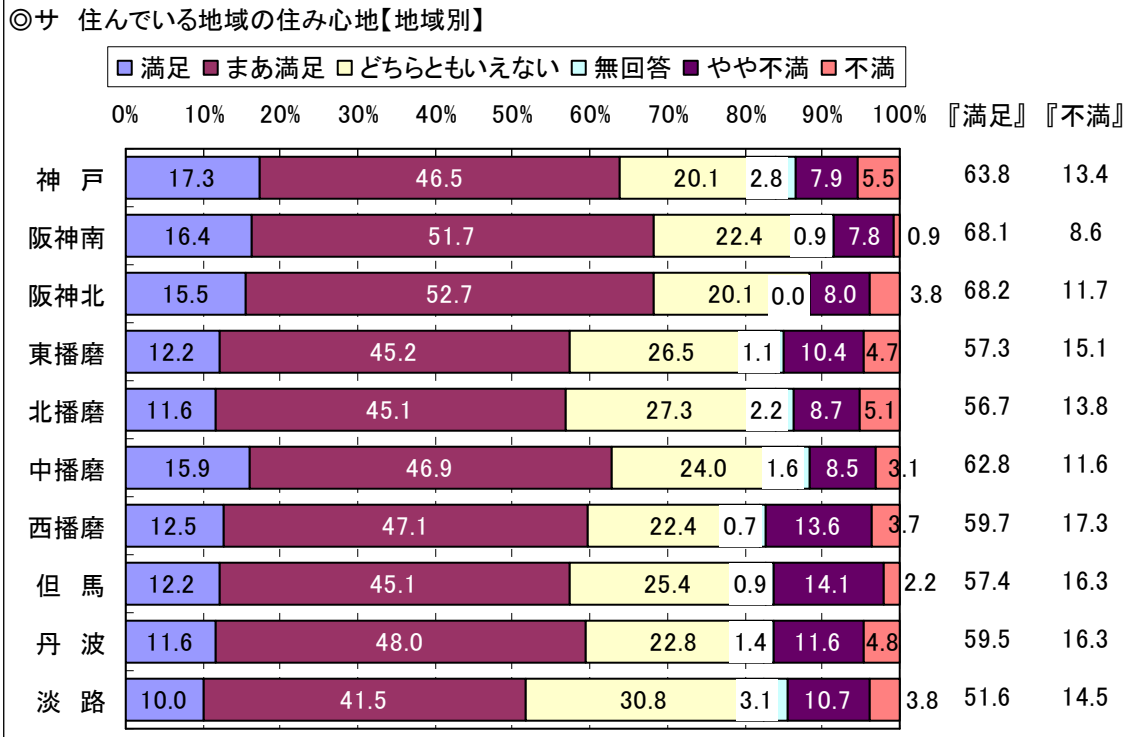
- 職業別で見ると、『満足』は、学生(77.4%)と主婦(69.8%)で7割前後あり、5割を超える職業が多いなか、正規職員(49.6%)と契約・派遣社員(44.4%)では5割に満たない。
- 一方、『不満』は、会社等の役員(13.3%)と派遣社員(12.1%)、自営業(10.5%)で1割を超えている。



◎サ 住んでいる地域の住み心地

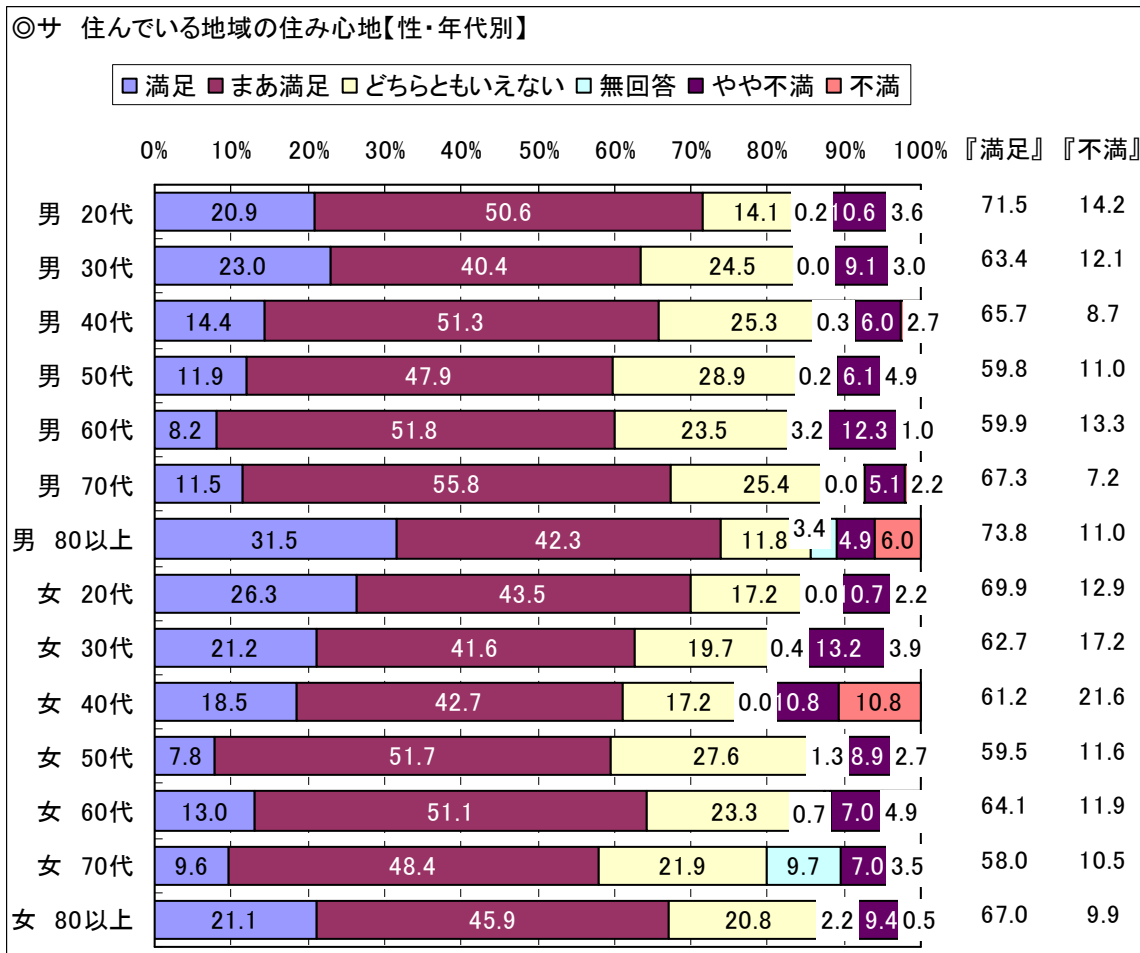
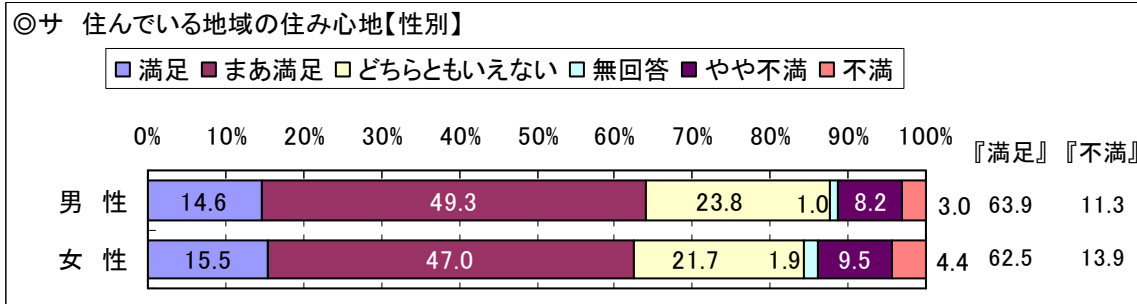
◆地域別

- 『満足』は、阪神北(68.2%)と阪神南(68.1%)で7割近くあり、6割前後の地域が多いなか、淡路(51.6%)では5割強に止まっている。
- 一方、『不満』は、最も多い西播磨(17.3%)も含め、いずれの地域も概ね1割台であるが、阪神南(8.6%)のみ1割を下回っている。



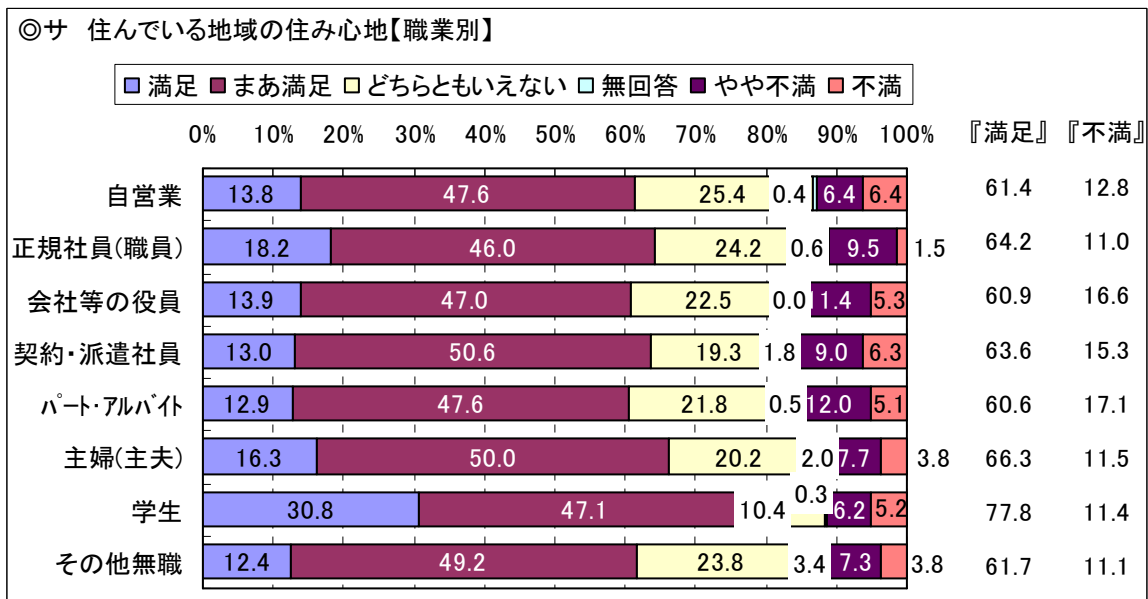
◆性別／性・年代別

- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別でみると、男性では、『満足』は、80歳以上(73.8%)と20代(71.5%)で7割を超えており、他の年代では、50代(59.8%)と60代(59.9%)でやや落ち込みがあるが、概ね6割前後となっている。一方、『不満』はいずれの年代も1割前後である。
- 女性では、7割近い20代(69.9%)をはじめ6割台の年代が多いが、50代(59.5%)と70代(58.0%)では6割を下回っている。一方、『不満』は、1割前後の年代が多いが、30代(17.2%)と40代(21.6%)では2割前後ある。



◆職業別

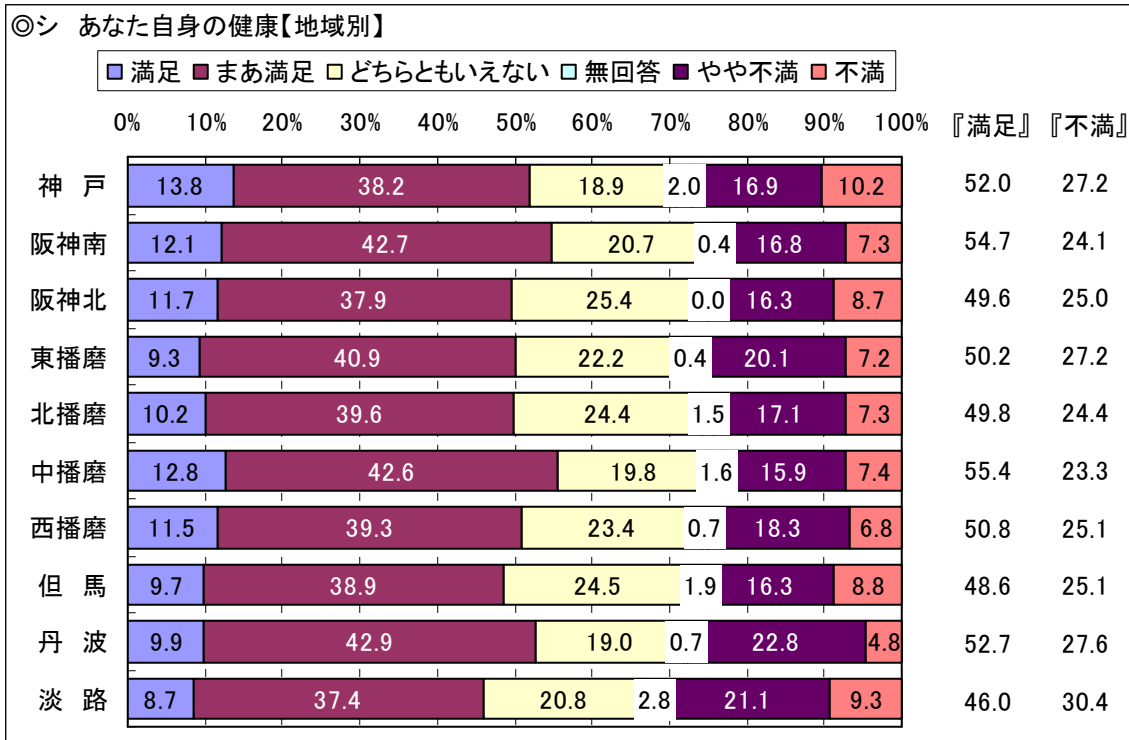
- 職業別で見ると、『満足』は、学生(77.8%)では8割近いが、他の職業ではいずれも6割台である。
- 一方、『不満』は、いずれの職業でも1割台である。



◎シ あなた自身の健康

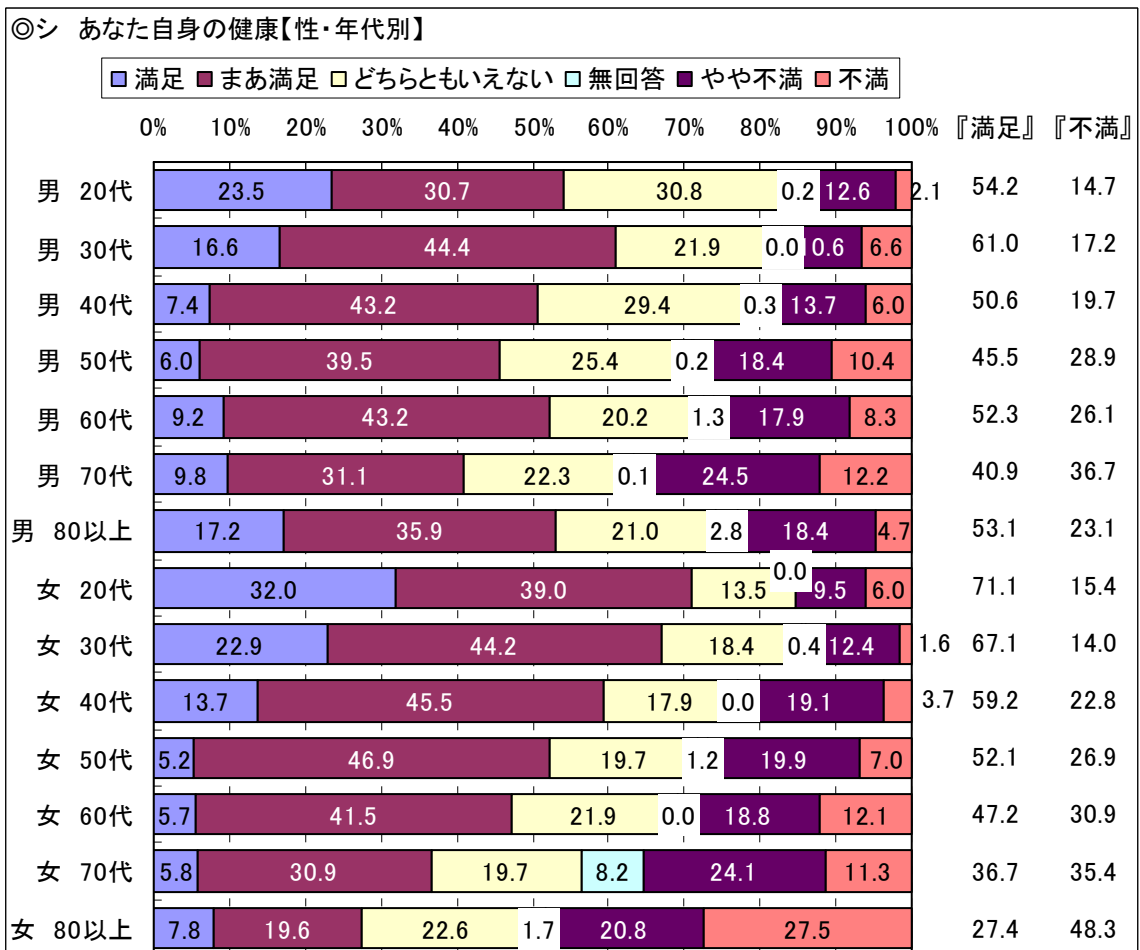
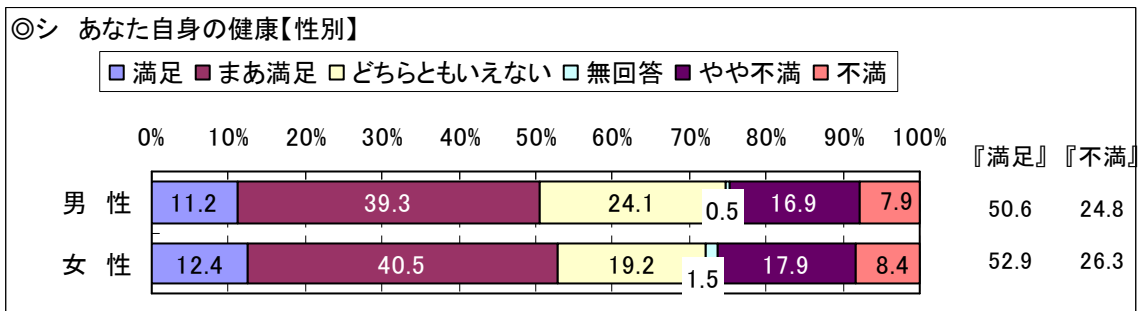
◆地域別

- 『満足』は中播磨(55.4%)で最も多く、淡路(46.0%)で最も少なく、逆に、『不満』は淡路(30.4%)で最も多く、中播磨(23.3%)で最も少ないが、その差はともに10ポイントを下回る。



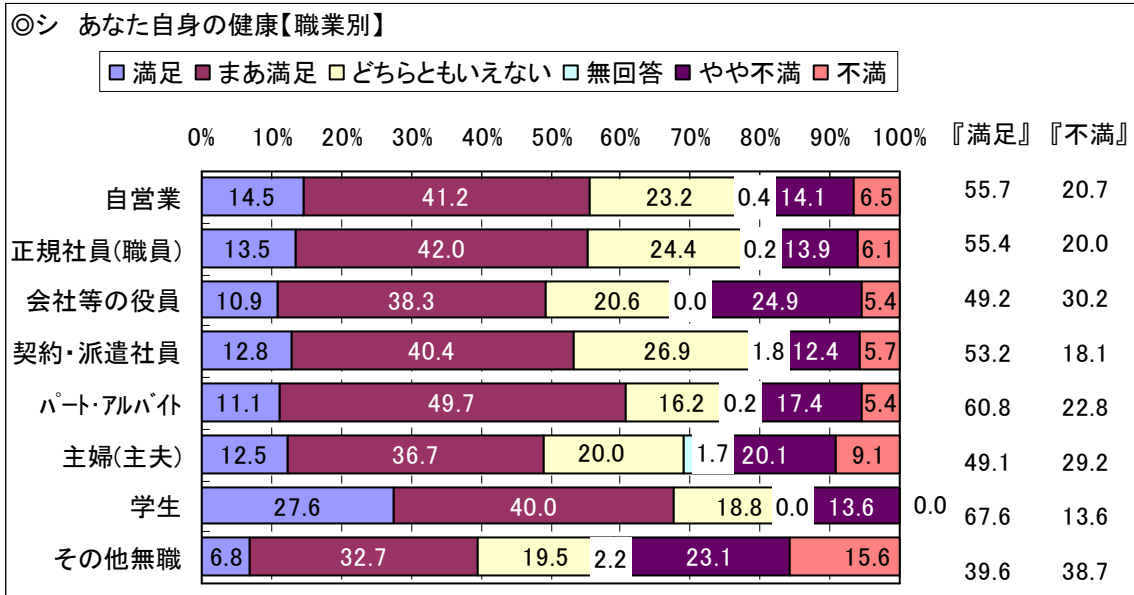
◆性別／性・年代別

- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別でみると、男性では、『満足』は、30代(61.0%)で6割を超え、5割前半の年代が多いなか、50代(45.5%)と70代(40.9%)では4割台である。一方、『不満』は、20代(14.7%)の1割台前半から、年代が上がるにつれて増加する傾向にあり、最も多い70代(36.7%)では3割台半ばになっている。
- 女性では、『満足』は、20代(71.1%)で7割と最も多く、年代が上がるにつれて減少し、80歳以上(27.4%)では3割を下回っている。『不満』は、逆に、1割台の20代(15.4%)、30代(14.0%)から年代が上がるにつれて増加し、80歳以上(48.3%)では5割近くに及んでおり、女性の80歳以上のみ『不満』が『満足』を上回っている。



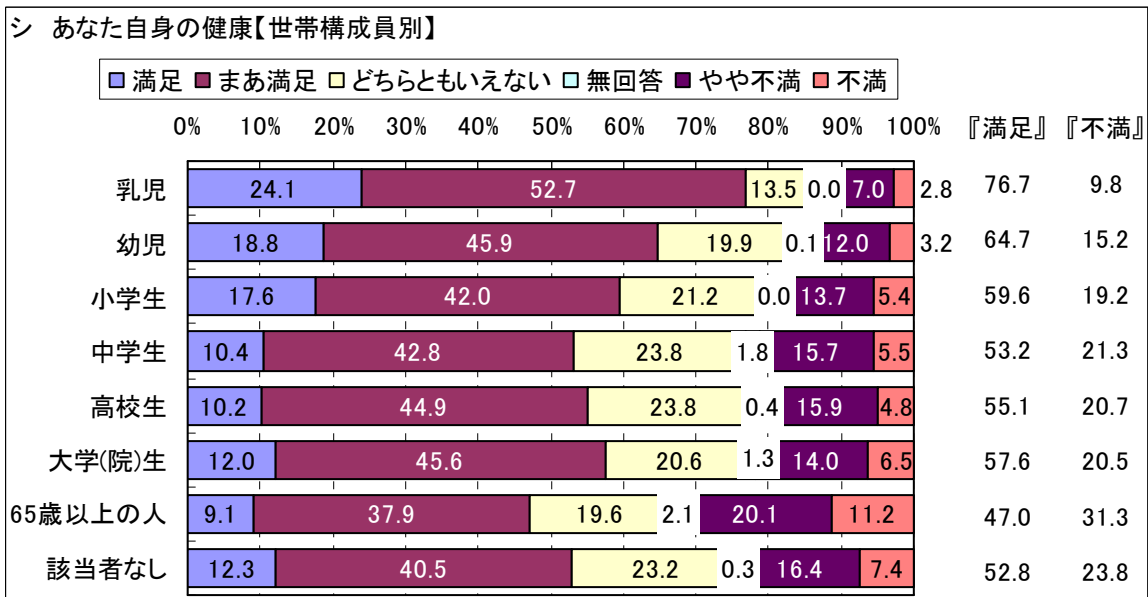
◆職業別

- 職業別で見ると、『満足』は、学生(67.6%)とパート・アルバイト(60.8%)で6割を超えており、他の職業では、4割弱のその他無職(39.6%)を除き、5割前後となっている。
- 一方、『不満』は、その他無職(38.7%)で4割近く、会社等の役員(30.2%)と主婦(29.2%)で約3割あり、他の職業では、1割強の学生(13.6%)を除き、2割前後である。



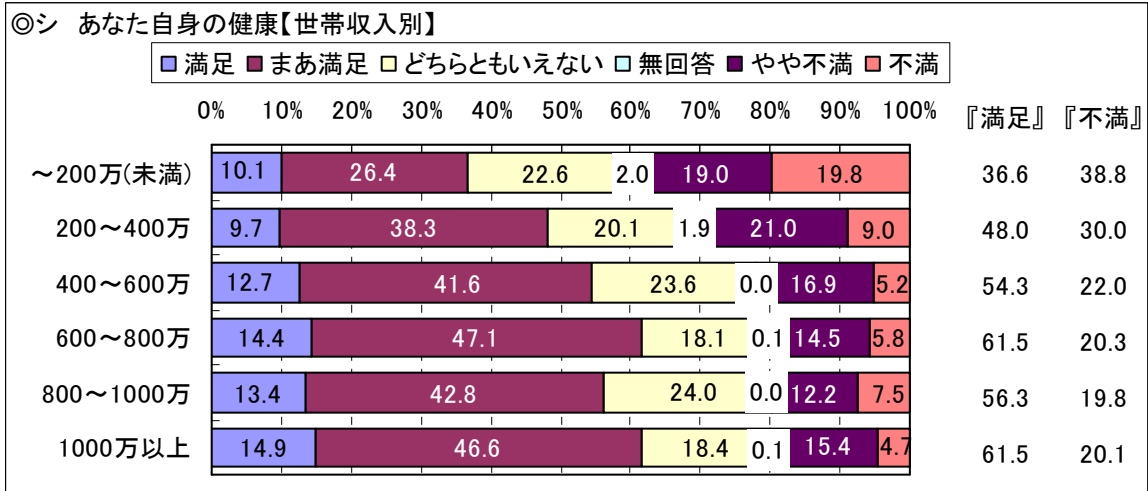
◆世帯構成員別

- 世帯構成員別で見ると、乳児のいる世帯では、『満足』(76.7%)が4分の3を超え、『不満』(9.8%)は1割に満たないが、世帯構成員の年齢が上がるほど『満足』が減少して『不満』が増え、中学生～大学生がいる世帯では、『満足』(53.2%～57.6%)は5割台半ばで、『不満』(20.5%～21.3%)が2割程度になっている。
- なお、いずれの世帯も『満足』が『不満』を上回っており、65歳以上の人がいる世帯で、『満足』(47.0%)が最も少なく、『不満』(31.3%)が最も多くなっている。



◆世帯収入別

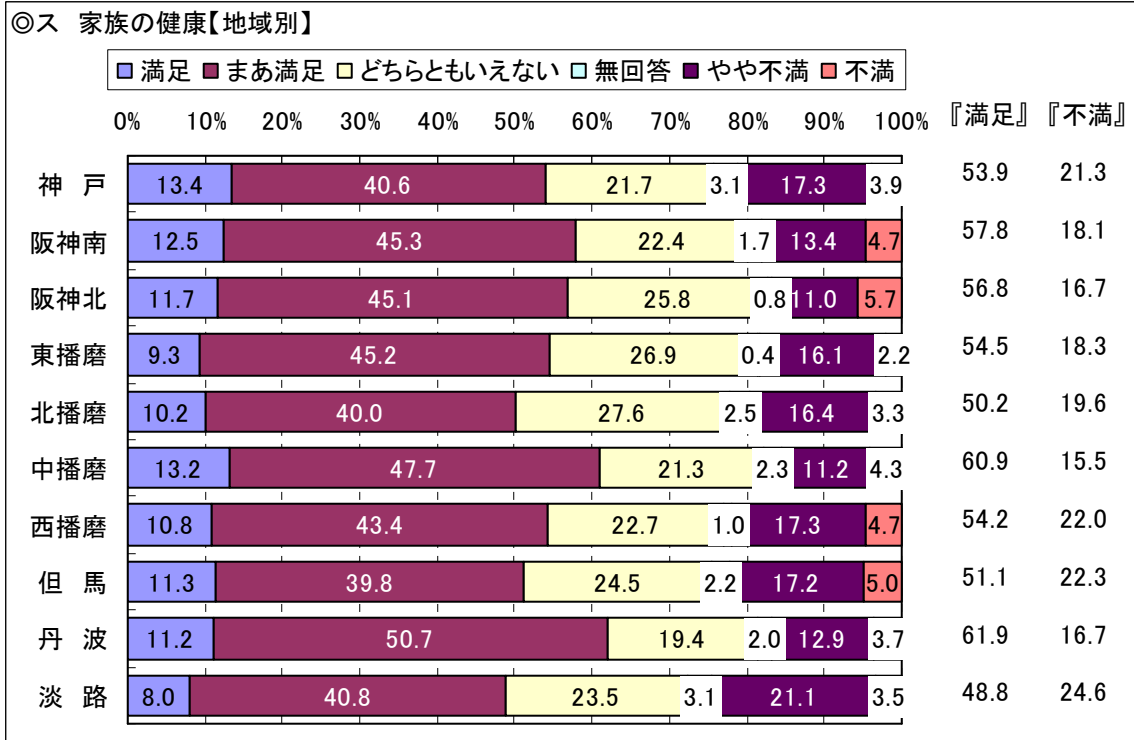
- 収入が200万円未満の世帯では、『不満』(38.8%)が『満足』(36.6%)を上回っているが、200～400万円の世帯で『満足』(48.0%)が『不満』(30.0%)を上回り、400万円以上の世帯では、『満足』(54.3%～61.5%)は概ね6割前後、『不満』(19.8%～22.0%)は2割前後となっている。



◎ス 家族の健康

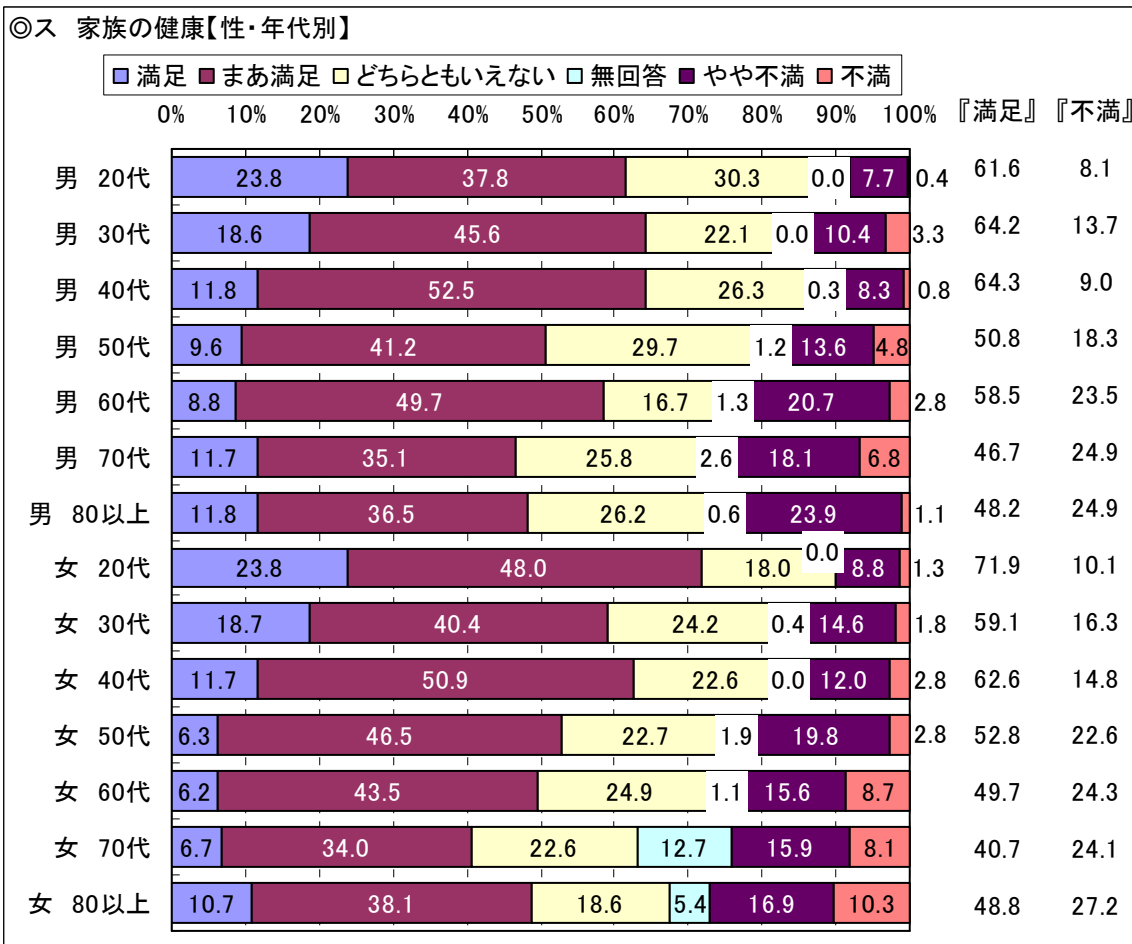
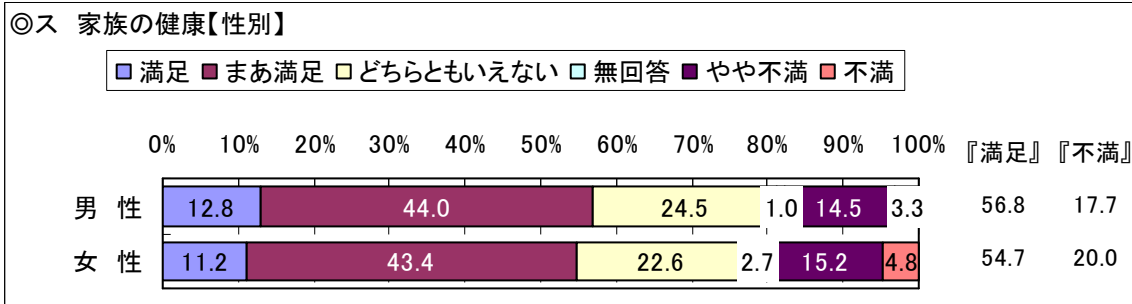
◆地域別

- 『満足』は、丹波(61.9%)と中播磨(60.9%)で6割を超え、5割台の地域が多いなか、淡路(48.8%)では5割を下回っている。
- 『不満』は、淡路(24.6%)で最も多く、中播磨(15.5%)で最も少ないが、その差は10ポイントに満たない。



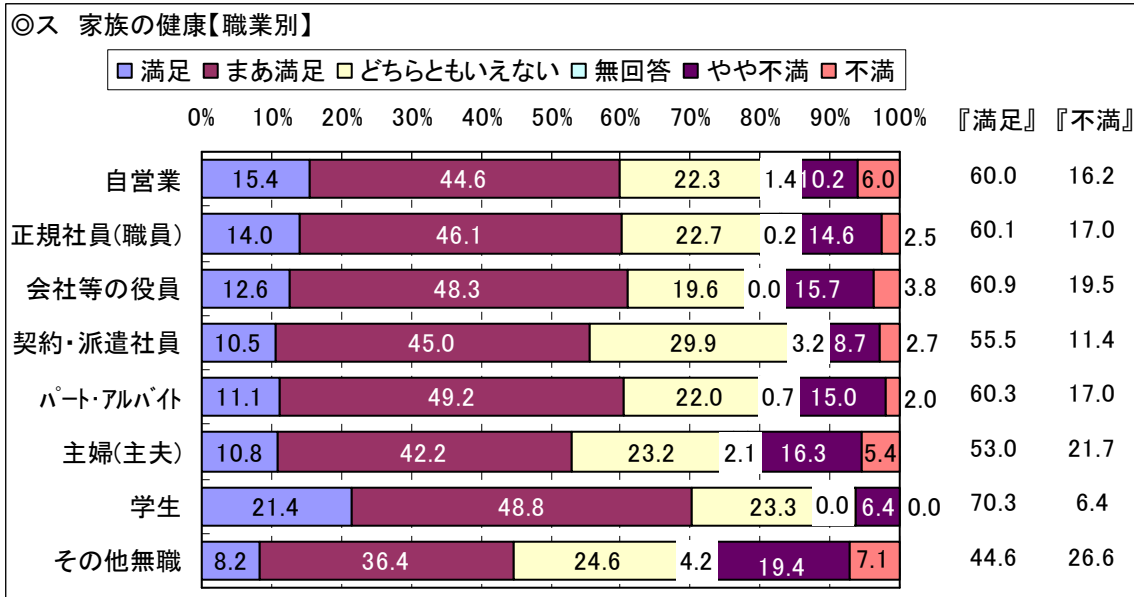
◆性別／性・年代別

- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別でみると、男性では、『満足』は、40代までは6割を超えているが、50代、60代では5割台に、70代以降では4割台となっている。一方、『不満』は、40代までは1割前後で、50代(18.3%)で2割弱、60代以降では2割台半ばとなっている。
- 女性では、『満足』は、20代(71.9%)で7割を超えるが、30代、40代で6割前後、4割の70代(40.7%)を除き、50代以降は概ね5割前後である。一方、『不満』は、40代までは1割台であるが、50代以降は2割を超え、80歳以上(27.2%)では2割台半ばを超えている。



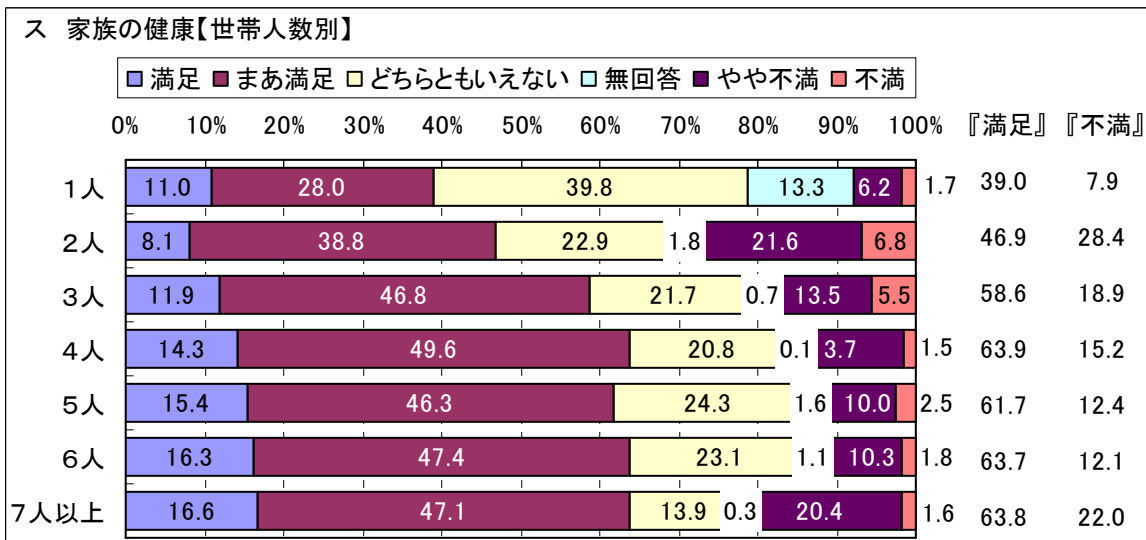
◆職業別

- 職業別でみると、『満足』は、学生(70.3%)で7割あり、6割前後の職業が多いなか、その他無職(44.6%)では5割を下回っている。
- 逆に、『不満』は、その他無職(26.6%)で2割台半ばを超え、2割前後の職業が多いなか、学生(6.4%)や契約・派遣社員(11.4%)では1割前後である。



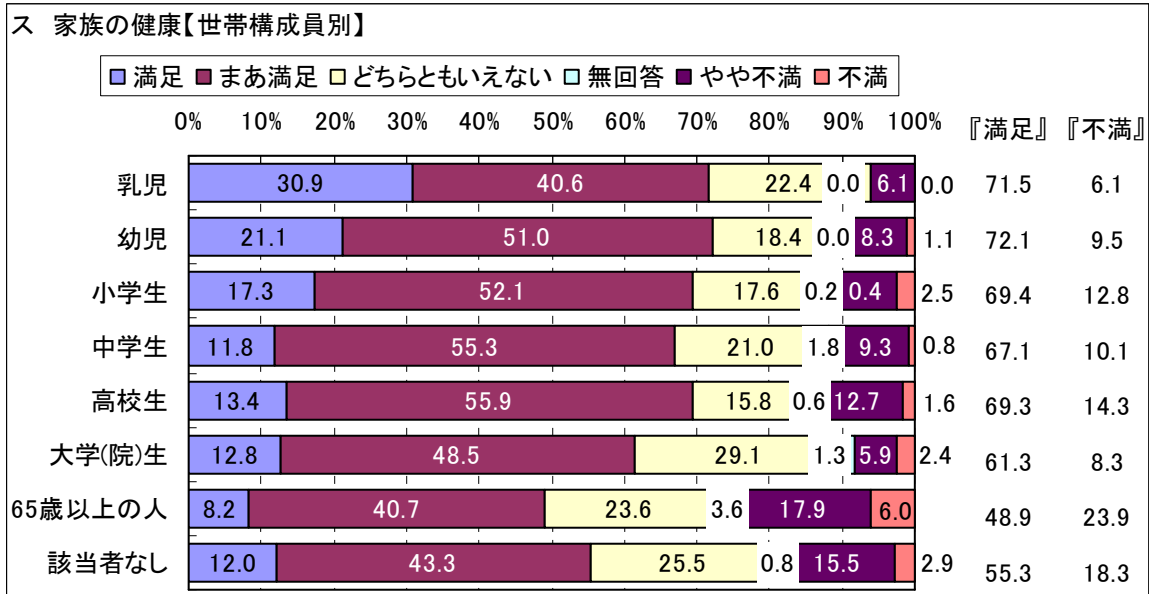
◆世帯人数別

- 世帯の人数別にみると、『満足』は、4割弱の1人世帯(39.0%)から4人世帯(63.9%)までは、世帯人数の増加につれて増えているが、4人世帯以降は6割前半(61.7%~63.9%)となっている。
- 一方、『不満』は、2人世帯(28.4%)で3割弱、7人以上の世帯(22.0%)で2割強あるが、他の世帯人数では、1人世帯(7.9%)を除き1割台である。



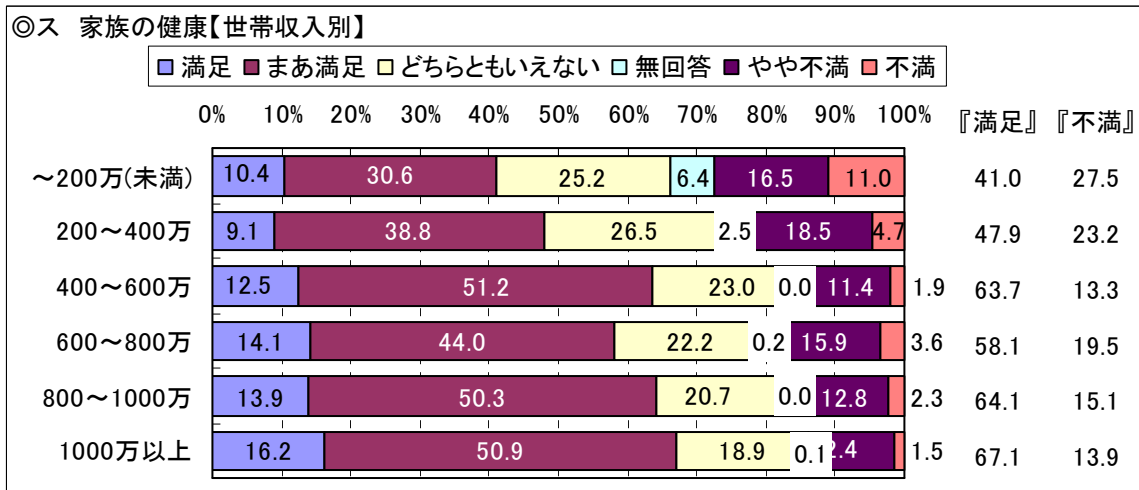
◆世帯構成員別

- 世帯構成員別でみると、『満足』は、乳児や幼児のいる世帯など7割前後の世帯が多いが、大学生のいる世帯(61.3%)で6割強、該当者なしの世帯(55.3%)で5割台半ば、65歳以上のいる世帯(48.9%)では5割を下回っている。
- 一方、『不満』は、1割前後の世帯が多いが、該当者なしの世帯(18.3%)と65歳以上のいる世帯(23.9%)で2割前後となっている。



◆世帯収入別

- いずれの収入階層でも『満足』が『不満』を上回っており、400～600万円の世帯で『満足』が多く、『不満』が少ない部分もあるが、概ね収入が増えると『満足』が多くなり、『不満』が少なくなる傾向にある。

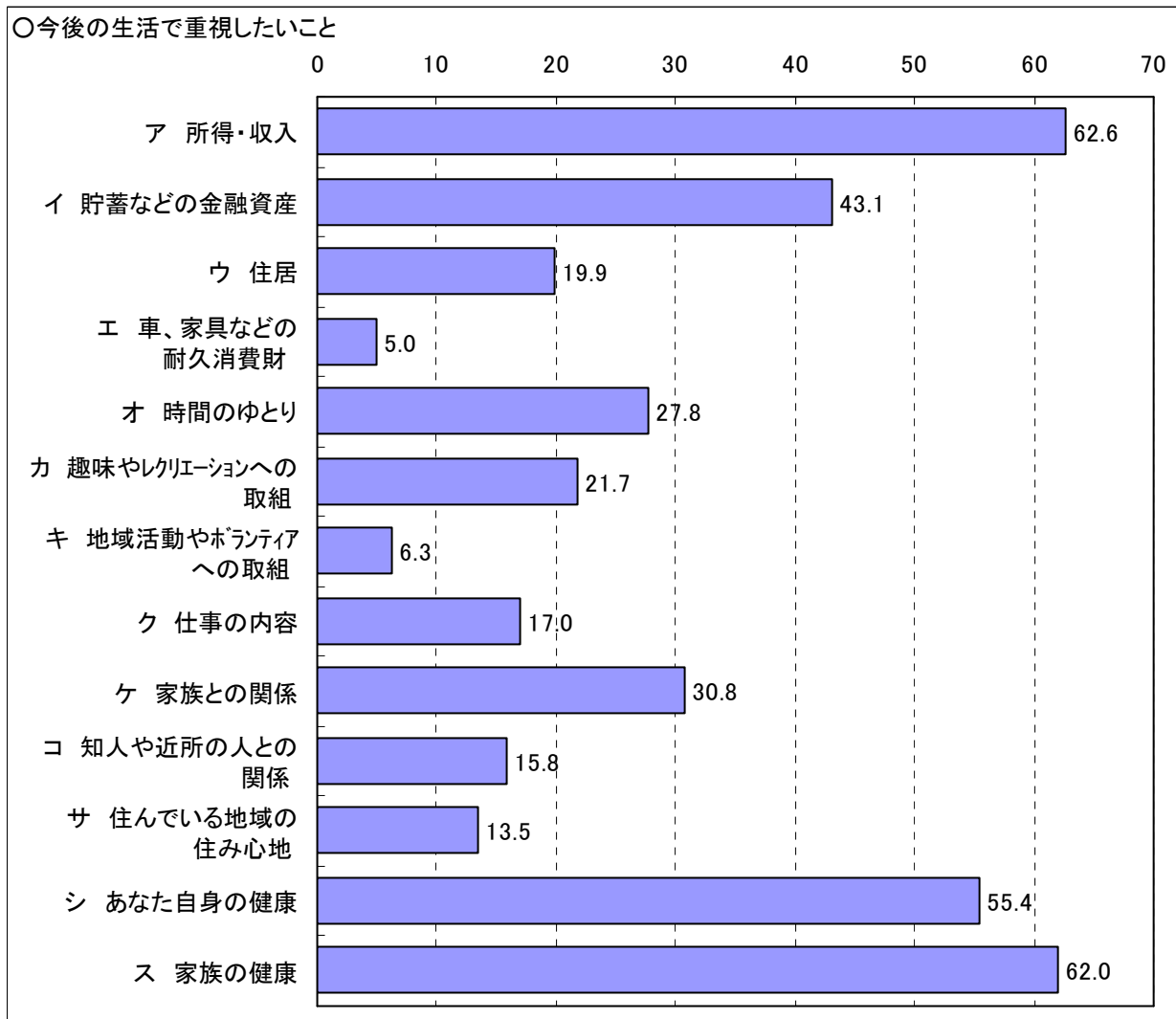


(3) 今後の生活で重視したいこと

問3-2 問3のア～スの項目の中で、あなたが今後、生活する上で重視したいものを4つ選んで、下欄にカタカナで記入してください。

--	--	--	--

- 今後の生活で重視したいこととして、「ア 所得・収入」(62.6%)と「ス 家族の健康」(62.0%)が6割で挙げられ、次いで、「シ あなた自身の健康」(55.4%)が5割台半ば、「イ 貯蓄などの金融資産」(43.1%)が4割で挙げられており、このほか「ケ 家族との関係」(30.8%)と「時間のゆとり」(27.8%)が4分の1を超えて挙げられている。
- 一方、「エ 車、家具などの耐久消費財」(5.0%)と「キ 地域活動やボランティアへの取組」(6.3%)を重視する人は、1割に満たない。



◆地域別

- 項目ごとに地域間の差をみると、「シ あなた自身の健康」(阪神北 59.8%、北播磨 44.7%)の15ポイントが最も大きく、次いで「イ 貯蓄などの金融資産」(中播磨 50.4%、丹波・淡路 37.4%)で13ポイントあり、このほか、「ウ 住居」(阪神南 25.0%、丹波 13.3%)や「コ 知人や近所の人との関係」(丹波 24.1%、阪神南 14.2%)、「ア 所得・収入」(中播磨 67.4%、淡路 57.8%)で10ポイント程度の地域差が生じている。
- また、地域ごとでの各項目の順位に着目すると、全県での上位6項目は若干の順位の相違があるもののいずれの地域でも上位6位を占めている。また、地域での順位が全県での順位より3以上増減しているものとしては、全県8位の「ウ 住居」が但馬と丹波では11位に下がっており、全県10位の「コ 知人や近所の人との関係」が丹波で7位に、全県11位の「サ 住んでいる地域の住み心地」が西播磨で8位に、それぞれ上がっている。

◎今後の生活で重視したいこと【地域別】

(%)

	ア 所得・収入	イ 貯蓄などの金融資産	ウ 住居	エ 車、家具などの耐久消費財	オ 時間のゆとり	カ 趣味やレジャーへの取組	キ 地域活動やボランティアへの取組	ク 仕事の内容	ケ 家族との関係	コ 知人や近所の人との関係	サ 住んでいる地域の住み心地	シ あなた自身の健康	ス 家族の健康
	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位
全 県	1: 62.6	4: 43.1	8: 19.9	13: 5.0	6: 27.8	7: 21.7	12: 6.3	9: 17.0	5: 30.8	10: 15.8	11: 13.5	3: 55.4	2: 62.0
地域別													
神 戸	2: 61.0	4: 42.1	7: 21.3	13: 3.1	6: 25.6	7: 21.3	12: 5.9	9: 15.7	5: 33.9	10: 15.0	11: 11.4	3: 57.5	1: 64.6
阪神南	1: 63.4	4: 40.5	7: 25.0	13: 4.3	6: 30.6	8: 23.3	12: 5.2	9: 20.3	5: 32.3	10: 14.2	11: 12.5	3: 54.3	2: 58.6
阪神北	2: 62.1	4: 44.7	9: 15.5	13: 6.1	6: 27.7	7: 22.7	12: 7.2	11: 12.1	5: 29.5	8: 17.4	10: 13.3	3: 59.8	1: 65.2
東播磨	1: 62.7	4: 44.4	8: 17.9	13: 5.4	6: 29.4	7: 20.4	12: 5.7	9: 17.6	5: 30.8	11: 16.1	10: 16.5	3: 55.6	2: 62.0
北播磨	1: 63.3	4: 42.2	9: 16.4	13: 8.7	6: 27.3	7: 21.5	12: 8.0	8: 19.3	5: 28.0	10: 15.6	11: 14.9	3: 44.7	2: 58.2
中播磨	1: 67.4	4: 50.4	8: 21.3	13: 6.2	5: 26.7	7: 21.7	12: 7.4	9: 17.1	6: 26.0	10: 16.3	11: 12.0	3: 54.3	2: 61.2
西播磨	1: 62.7	4: 44.1	10: 16.6	13: 6.4	5: 29.2	7: 23.7	12: 6.8	8: 17.6	6: 27.1	10: 16.6	8: 17.6	3: 53.6	2: 59.3
但 馬	1: 63.0	4: 39.5	11: 14.1	13: 5.3	5: 28.8	7: 19.7	12: 8.5	8: 18.5	5: 28.8	10: 17.6	9: 18.2	3: 52.0	2: 62.4
丹 波	2: 59.5	4: 37.4	11: 13.3	13: 4.1	6: 26.2	9: 19.7	12: 7.8	8: 20.1	5: 29.6	7: 24.1	10: 13.9	3: 54.4	1: 61.9
淡 路	1: 57.8	4: 37.4	7: 20.4	12: 6.9	6: 26.0	9: 17.6	13: 3.8	8: 18.0	5: 28.0	11: 15.6	10: 16.6	3: 52.9	2: 57.1
地域間の差	9.6	13.0	11.7	5.6	5.0	6.1	4.7	8.2	7.9	9.9	6.8	15.1	8.1

◆性別、性・年代別

- 性別では、「ス 家族の健康」(女:65.2%>男:57.9%)や「ク 仕事の内容」(男:21.1%>女:13.9%)、「カ 趣味やレクリエーションへの取組」(男:25.8%>女:18.7%)における7ポイントの差が目につく程度で、男女それぞれでの項目間の順位にも大きな変動はない。
- 性・年代別でみると、男性では、全県1位の「ア 所得・収入」は、40代以下で7割を超え、50代までは1位であるが、60代以降では6割を下回り、60代と70代で3位、80歳以上では4位に低下している。全県2位の「ス 家族の健康」は、20代(47.3%)で5割を下回っているが、いずれの年代でも2位である。全県3位の「シ あなた自身の健康」は、70代(79.2%)で約8割に及び、60代以降では1位であるが、30代以下では4割程度で30代では6位に低下している。各年代でこれら3項目以外に上位項目になっているものとしては、30代で「イ 貯蓄などの金融資産」が、80歳以上で「ケ 家族との関係」がそれぞれ3位に入っている。

このほか、「ク 仕事の内容」は40代以下で、「コ 知人や近所の人との関係」と「サ 住んでいる地域の住み心地」は70代以降で、比率・順位がともに高く、また、「イ 貯蓄などの金融資産」や「ウ 住居」は80歳以上で、「オ 時間のゆとり」は70代で、比率・順位がともに低くなっている。
- 次に、女性では、全県1位の「ア 所得・収入」は、40代以下では7割前後で1位であるが、50代以降では比率・順位がともに低くなり、50代~70代で3位、80歳以上では4位になっている。全県2位の「ス 家族の健康」は、40代から60代で7割を超え、50代と60代では1位であるが、20代(45.2%)と80歳以上(43.9%)で5割を下回り、20代では3位に下がっている。全県3位の「シ あなた自身の健康」は、60代(71.8%)で7割を超え、50代と60代で2位、70代以降で1位になっているが、40代以下では4割前後に止まり、20代では5位である。各年代でこれら3項目以外に上位項目になっているものとしては、20代で「オ 時間のゆとり」が2位に入り、30代と40代で「イ 貯蓄などの金融資産」が、80歳以上で「ケ 家族との関係」が、それぞれ3位に入っている。

このほか、「オ 時間のゆとり」や「ク 仕事の内容」は、20代で比率・順位ともに高いが、60代以降では比率・順位ともに低下している。また、70代以降では、「イ 貯蓄などの金融資産」の比率や順位が低く、「コ 知人や近所の人との関係」の比率や順位が高くなっている。
- なお、年代間で差が大きい上位3項目は、男性では「ア 所得・収入」(46.8ポイント)、「シ あなた自身の健康」(44.0ポイント)、「ク 仕事の内容」(32.1ポイント)で、女性では「オ 時間のゆとり」(44.5ポイント)、「イ 貯蓄などの金融資産」(41.9ポイント)、「ア 所得・収入」(39.1ポイント)である。

◎今後の生活で重視したいこと【性別】

	ア 所得・収入	イ 貯蓄などの 金融資産	ウ 住居	エ 車、家具 などの耐 久消費財	オ 時間のゆ とり	カ 趣味やレ クリエーシ ョンへの取 組	キ 地域活動 やボランテ ィアへの取 組	ク 仕事の内 容	ケ 家族との 関係	コ 知人や近 所の人との 関係	サ 住んでいる 地域の 住み心地	シ あなた自 身の健康	ス 家族の健 康
	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位
全 県	1: 62.6	4: 43.1	8: 19.9	13: 5.0	6: 27.8	7: 21.7	12: 6.3	9: 17.0	5: 30.8	10: 15.8	11: 13.5	3: 55.4	2: 62.0
性別													
男 性	1: 65.6	4: 41.4	9: 19.1	13: 6.2	6: 28.2	7: 25.8	12: 7.3	8: 21.1	5: 30.1	10: 15.3	11: 15.3	3: 55.2	2: 57.9
女 性	2: 60.3	4: 44.4	7: 20.6	13: 4.1	6: 27.6	8: 18.7	12: 5.5	10: 13.9	5: 31.2	9: 16.1	11: 12.1	3: 55.5	1: 65.2
性別間 の差	5.3	3.0	1.5	2.1	0.6	7.1	1.8	7.2	1.0	0.8	3.2	0.4	7.2

◎今後の生活で重視したいこと【性・年代別、男性】

	ア 所得・収入	イ 貯蓄などの 金融資産	ウ 住居	エ 車、家具 などの耐 久消費財	オ 時間のゆ とり	カ 趣味やレ クリエーシ ョンへの取 組	キ 地域活動 やボランテ ィアへの取 組	ク 仕事の内 容	ケ 家族との 関係	コ 知人や近 所の人との 関係	サ 住んでいる 地域の 住み心地	シ あなた自 身の健康	ス 家族の健 康
	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位
全 県	1: 62.6	4: 43.1	8: 19.9	13: 5.0	6: 27.8	7: 21.7	12: 6.3	9: 17.0	5: 30.8	10: 15.8	11: 13.5	3: 55.4	2: 62.0
性・年代別													
男 性													
20代	1: 78.5	5: 34.9	8: 24.8	12: 8.4	6: 32.8	7: 29.9	13: 2.9	4: 38.1	9: 23.3	10: 17.6	11: 13.5	3: 40.3	2: 47.3
30代	1: 73.0	3: 47.4	9: 15.2	12: 8.5	5: 36.5	8: 28.9	13: 2.6	7: 31.9	4: 38.1	11: 8.8	10: 12.4	6: 35.3	2: 57.4
40代	1: 77.4	4: 41.2	8: 23.4	12: 4.1	6: 35.6	9: 17.8	13: 2.9	7: 32.4	5: 36.8	11: 5.4	10: 10.2	3: 49.9	2: 54.5
50代	1: 67.0	4: 47.2	8: 22.9	13: 3.0	6: 32.5	7: 24.7	12: 4.4	9: 20.4	5: 34.2	11: 9.7	10: 17.6	3: 54.8	2: 58.1
60代	3: 58.6	4: 41.3	8: 20.0	13: 9.2	6: 26.1	5: 32.7	11: 13.9	12: 9.4	7: 23.0	9: 19.5	10: 16.6	1: 60.0	2: 59.6
70代	3: 55.7	4: 38.5	9: 12.0	13: 4.8	12: 9.4	7: 18.7	11: 10.8	10: 10.9	6: 25.5	5: 26.8	8: 17.2	1: 79.2	2: 66.5
80以上	4: 31.7	9: 16.5	12: 5.1	13: 0.7	8: 18.7	6: 22.4	10: 14.8	11: 6.0	3: 34.2	5: 30.9	7: 21.1	1: 72.5	2: 56.3
年代間 の差	46.8	31.0	19.7	8.6	27.1	14.9	12.2	32.1	15.1	25.6	11.0	44.0	19.3

◎今後の生活で重視したいこと【性・年代別、女性】

	ア 所得・収入	イ 貯蓄などの 金融資産	ウ 住居	エ 車、家具 などの耐 久消費財	オ 時間のゆ とり	カ 趣味やレ クリエーシ ョンへの取 組	キ 地域活動 やボランテ ィアへの取 組	ク 仕事の内 容	ケ 家族との 関係	コ 知人や近 所の人との 関係	サ 住んでいる 地域の 住み心地	シ あなた自 身の健康	ス 家族の健 康
	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位
全 県	1: 62.6	4: 43.1	8: 19.9	13: 5.0	6: 27.8	7: 21.7	12: 6.3	9: 17.0	5: 30.8	10: 15.8	11: 13.5	3: 55.4	2: 62.0
性・年代別													
女 性													
20代	1: 74.6	4: 43.7	10: 17.8	12: 5.6	2: 56.1	9: 18.5	13: 1.7	6: 31.4	7: 30.6	11: 13.5	8: 22.7	5: 38.2	3: 45.2
30代	1: 68.5	3: 51.2	7: 27.6	12: 6.8	6: 31.3	10: 13.2	13: 2.2	8: 18.6	5: 40.4	11: 12.5	9: 16.2	4: 43.8	2: 64.4
40代	1: 72.4	3: 59.0	8: 20.1	12: 4.4	5: 32.4	9: 20.0	13: 3.9	6: 26.3	7: 26.0	10: 10.9	11: 6.9	4: 40.3	2: 72.2
50代	3: 63.7	4: 50.8	7: 19.7	13: 2.8	5: 32.5	8: 16.3	12: 8.5	9: 14.5	6: 28.0	11: 8.7	10: 9.3	2: 64.8	1: 74.1
60代	3: 54.0	4: 39.5	7: 23.4	13: 3.5	9: 17.0	6: 24.3	11: 9.3	12: 3.9	5: 29.9	8: 20.9	10: 10.9	2: 71.8	1: 76.7
70代	3: 42.5	4: 32.2	8: 12.0	12: 2.0	9: 11.6	7: 22.9	11: 6.9	13: 1.9	5: 27.8	6: 27.7	10: 10.5	1: 64.6	2: 53.9
80以上	4: 35.4	7: 17.0	6: 19.3	11: 3.5	8: 13.0	10: 11.8	13: 0.6	12: 0.8	3: 39.2	5: 25.0	9: 11.9	1: 49.5	2: 43.9
年代間 の差	39.1	41.9	15.6	4.8	44.5	12.5	8.7	30.6	14.4	19.1	15.8	33.6	32.8

◆職業別

- 職業別でみると、全県1位の「ア 所得・収入」は、契約・派遣社員(80.1%)で8割に及ぶなど1位の職業が多いが、会社等の役員(51.4%)や主婦(51.8%)、その他無職(50.5%)では5割程度で3位になっている。全県2位の「ス 家族の健康」は、主婦(74.3%)と会社等の役員(67.6%)で1位になるなど、いずれの職業でも概ね5割を超えて上位3位に入っているが、学生(23.5%)では2割台で8位に低下している。全県3位の「シ あなた自身の健康」は、その他無職(66.0%)で6割台半ばを超えて1位になっており、他の職業でも4位までを占め概ね5割を超えているが、学生(34.0%)のみは3割台に止まっている。
- 全県の上位3項目以外で各職業の上位項目に入っているものとしては、学生で「オ 時間のゆとり」が2位に、「ク 仕事の内容」が3位に入り、契約・派遣社員とパート・アルバイトでは「イ 貯蓄などの金融資産」が3位に入っている。
- このほか、比率や順位で高低が生じているものとしては、「イ 貯蓄などの金融資産」が学生で低い、「ウ 住居」が会社等の役員で低い、「オ 時間のゆとり」が主婦やその他無職で低い、「ク 仕事の内容」が自営業で高く、主婦とその他無職で低い、「ケ 家族との関係」が学生で低い、「コ 知人や近所の人との関係」が主婦や学生、その他無職で高い一などが挙げられる。

◎今後の生活で重視したいこと【職業別】

(%)

	ア 所得・収入	イ 貯蓄などの 金融資産	ウ 住居	エ 車、家具 などの耐 久消費財	オ 時間のゆ とり	カ 趣味やレク リエーション への取組	キ 地域活動 やボランティア への取組	ク 仕事の内容	ケ 家族との 関係	コ 知人や近 所の人との 関係	サ 住んでいる 地域の 住み心地	シ あなた自 身の健康	ス 家族の健 康
	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	順 位	
全 県	1: 62.6	4: 43.1	8: 19.9	13: 5.0	6: 27.8	7: 21.7	12: 6.3	9: 17.0	5: 30.8	10: 15.8	11: 13.5	3: 55.4	2: 62.0
職業別													
自営業	1: 71.3	4: 41.9	8: 21.4	13: 3.6	5: 32.4	9: 19.8	12: 7.7	6: 30.8	7: 30.5	10: 13.2	11: 11.4	2: 52.2	3: 51.9
正規社員(職員)	1: 66.9	4: 41.8	9: 19.9	12: 4.2	5: 40.8	7: 25.2	13: 3.7	8: 23.9	6: 34.3	11: 9.6	10: 12.9	3: 50.8	2: 61.8
会社等の役員	3: 51.4	5: 38.1	12: 9.2	13: 0.0	4: 47.7	7: 21.9	11: 10.6	8: 19.3	6: 37.8	10: 15.0	9: 17.0	2: 55.5	1: 67.6
契約・派遣社員	1: 80.1	3: 49.7	9: 20.9	12: 8.5	7: 27.4	6: 29.0	13: 3.2	8: 21.6	5: 30.2	11: 12.4	10: 14.8	4: 49.1	2: 49.8
パート・アルバイト	1: 72.5	3: 56.6	7: 22.0	13: 7.1	6: 25.3	8: 18.7	12: 8.0	9: 17.0	5: 26.5	10: 13.3	11: 11.1	4: 51.6	2: 64.9
主婦(主夫)	3: 51.8	4: 44.0	8: 20.4	13: 3.8	9: 18.7	7: 20.5	11: 6.6	12: 5.5	5: 35.1	6: 22.8	10: 11.9	2: 62.0	1: 74.3
学生	1: 70.0	7: 24.5	6: 27.3	12: 8.9	2: 56.9	9: 22.3	13: 2.7	3: 49.8	11: 18.2	5: 27.5	10: 19.3	4: 34.0	8: 23.5
その他無職	3: 50.5	4: 35.2	8: 17.7	12: 4.9	10: 12.2	7: 19.0	11: 7.1	13: 4.6	5: 27.6	6: 21.6	9: 17.2	1: 66.0	2: 64.8
職業間の差	29.6	32.0	18.2	8.9	44.7	10.3	8.0	45.2	19.6	18.0	8.2	32.0	50.8

◆世帯構成員別

○ 世帯構成員別でみると、全県1位の「ア 所得・収入」は、乳児のいる世帯と65歳以上の人のいる世帯を除き1位となっている。全県2位の「ス 家族の健康」は、乳児のいる世帯では7割を超えて1位となっており、他の構成員のいる世帯ではいずれも2位である。全県3位の「シ あなた自身の健康」は、65歳以上の人のいる世帯で6割を超え1位であるが、大学生のいる世帯(49.1%)の約5割から、高校生、中学生、小学生、幼児、乳児と世帯構成員の年齢が下がるほど比率や順位が低下し、幼児のいる世帯では2割台で6位になっており、これら高校生以下の世帯構成員がいる世帯では、全県4位の「イ 貯蓄などの金融資産」が3位に入っている。このほか、「オ 時間のゆとり」と「サ 住んでいる地域の住み心地」が乳児のいる世帯で、「ケ 家族との関係」が幼児のいる世帯で、比率・順位が高くなっている。

◎今後の生活で重視したいこと【世帯構成員別】

	(%)													
	ア 所得・収入 順位	イ 貯蓄などの金融資産 順位	ウ 住居 順位	エ 車、家具などの耐久消費財 順位	オ 時間のゆとり 順位	カ 趣味やレジャーへの取組 順位	キ 地域活動やボランティアへの取組 順位	ク 仕事の内容 順位	ケ 家族との関係 順位	コ 知人や近所の人との関係 順位	サ 住んでいる地域の住み心地 順位	シ あなた自身の健康 順位	ス 家族の健康 順位	
全 県	1: 62.6	4: 43.1	8: 19.9	13: 5.0	6: 27.8	7: 21.7	12: 6.3	9: 17.0	5: 30.8	10: 15.8	11: 13.5	3: 55.4	2: 62.0	
世帯構成員別														
乳児	2: 61.9	3: 51.9	8: 23.6	12: 6.7	4: 42.2	11: 16.1	13: 0.7	10: 17.2	5: 31.3	9: 19.0	7: 24.1	6: 27.3	1: 76.4	
幼児	1: 74.8	3: 46.5	7: 20.4	12: 6.1	6: 30.3	9: 16.5	13: 2.3	8: 19.5	4: 46.4	10: 14.1	11: 13.8	5: 37.2	2: 68.8	
小学生	1: 70.9	3: 51.9	8: 16.4	12: 6.1	6: 29.2	9: 15.7	13: 4.6	7: 22.2	5: 40.4	10: 14.3	11: 12.3	4: 41.4	2: 69.1	
中学生	1: 70.7	3: 47.7	8: 22.3	13: 4.8	7: 25.8	9: 16.9	12: 5.1	6: 26.5	5: 36.3	10: 13.7	11: 7.5	4: 42.4	2: 59.1	
高校生	1: 70.0	3: 47.0	8: 19.2	13: 4.8	6: 24.3	9: 17.6	12: 4.9	7: 24.2	5: 38.8	10: 12.9	11: 11.3	4: 45.3	2: 64.0	
大学(院)生	1: 62.0	4: 46.6	9: 17.5	12: 4.3	5: 35.5	8: 22.3	13: 4.0	7: 23.9	6: 31.2	11: 12.6	10: 13.1	3: 49.1	2: 55.8	
65歳以上の人	3: 55.9	4: 36.5	9: 17.2	13: 5.1	7: 22.2	6: 22.4	12: 7.8	11: 11.1	5: 28.5	8: 20.5	10: 12.9	1: 64.1	2: 61.6	
該当者なし	1: 67.1	4: 46.9	8: 23.3	13: 4.9	5: 33.0	7: 24.8	12: 7.9	9: 19.6	6: 26.1	11: 10.8	10: 15.8	3: 54.5	2: 58.6	
世帯構成員間の差	18.8	15.4	7.2	2.4	20.0	9.2	7.2	15.4	20.3	9.7	16.6	36.7	20.6	

◆世帯収入別

○ 世帯収入別でみると、全県1位の「ア 所得・収入」は、年収600万円未満の世帯階層では6～7割を占めて1位であるが、600万円以上の世帯階層では収入が上がるほど比率・順位ともに低下し、1000万円以上の世帯(47.8%)では4割台で4位となっている。逆に、全県2位の「ス 家族の健康」は、年収600万円以上の世帯で1位になっており、200万円未満の世帯(46.6%)では5割を下回り3位である。全県3位の「シ あなた自身の健康」は、いずれの収入階層でも5割台で2位又は3位となっている。なお、1000万円以上の世帯での3位には「オ 時間のゆとり」(49.0%)が入っている。

○ このほか、全県4位の「イ 貯蓄などの金融資産」は、1000万円以上の世帯(5位)を除く収入階層ではいずれも4位である。また、200万円未満の世帯では、全県8位の「ウ 住居」(29.2%)が約3割あり、5位に入っている。

◎今後の生活で重視したいこと【世帯収入別】

	(%)													
	ア 所得・収入 順位	イ 貯蓄などの金融資産 順位	ウ 住居 順位	エ 車、家具などの耐久消費財 順位	オ 時間のゆとり 順位	カ 趣味やレジャーへの取組 順位	キ 地域活動やボランティアへの取組 順位	ク 仕事の内容 順位	ケ 家族との関係 順位	コ 知人や近所の人との関係 順位	サ 住んでいる地域の住み心地 順位	シ あなた自身の健康 順位	ス 家族の健康 順位	
全 県	1: 62.6	4: 43.1	8: 19.9	13: 5.0	6: 27.8	7: 21.7	12: 6.3	9: 17.0	5: 30.8	10: 15.8	11: 13.5	3: 55.4	2: 62.0	
世帯収入別														
～200万(未満)	1: 64.8	4: 36.2	5: 29.2	12: 6.7	8: 17.6	7: 18.6	13: 5.6	9: 13.3	6: 27.0	10: 13.1	11: 12.9	2: 59.8	3: 46.6	
200～400万	1: 63.8	4: 43.3	7: 19.8	13: 5.7	6: 22.8	9: 19.0	12: 7.7	10: 15.1	5: 31.0	8: 19.1	11: 13.0	3: 56.7	2: 63.6	
400～600万	1: 71.7	4: 49.4	8: 20.9	13: 6.1	6: 26.6	7: 21.2	12: 6.6	9: 18.6	5: 27.9	10: 15.3	11: 13.9	3: 53.4	2: 62.2	
600～800万	2: 63.2	4: 42.3	8: 20.1	12: 4.0	6: 29.3	7: 24.9	13: 3.8	9: 17.9	5: 32.1	10: 15.3	11: 12.3	3: 52.3	1: 70.8	
800～1000万	3: 55.6	4: 49.4	9: 16.5	13: 2.5	6: 36.0	7: 22.3	12: 4.3	11: 14.6	5: 36.7	10: 15.4	8: 17.4	2: 56.9	1: 71.0	
1000万以上	4: 47.8	5: 37.1	10: 13.0	13: 2.8	3: 49.0	7: 30.0	12: 7.6	8: 25.3	6: 34.9	11: 11.4	9: 13.5	2: 58.5	1: 59.1	
世帯収入間の差	23.9	13.2	16.2	4.2	31.4	11.4	3.9	12.0	9.7	7.7	5.1	7.5	24.4	

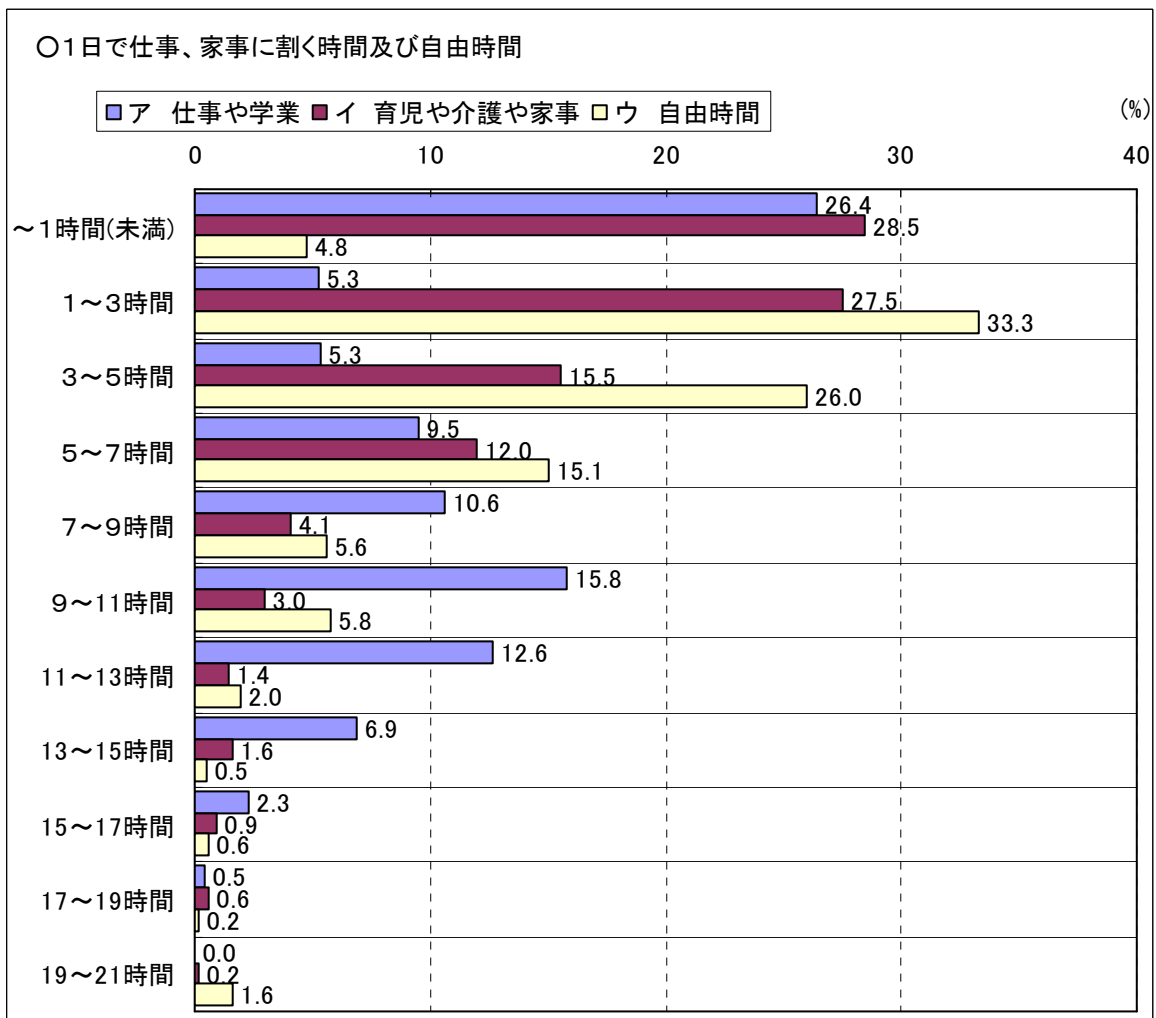
3 1日の時間の配分

(1) 1日で仕事、家事に割く時間及び自由時間

問4 あなたの普段の一日（平日）のことについてお聞きします。睡眠や食事に必要な時間を除くと、次のア～ウのことに1日どのくらい時間を使っていますか、それぞれ下欄に時間数を記入してください。

ア 仕事や学業（通勤・通学時間を含む）	約	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間
イ 育児や介護や家事	約	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間
ウ 自分が自由に使える時間	約	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間

- 1日の時間配分で、「仕事や学業」は、1時間未満(26.4%)が2割台半ばで最も多く、次いで9～11時間(15.8%)、11～13時間(12.6%)が続いている。
- 「育児や介護や家事」は、1時間未満(28.5%)と1～3時間(27.5%)が僅差で並び、この2つの時間帯で半数を超えており、3時間以上の時間帯では、時間数が増すほど少なくなる傾向にある。
- 「自由時間」は、1～3時間(33.3%)が3分の1、3～5時間(26.0%)が4分の1あり、この2つの時間帯で6割近くを占めており、3時間以上の時間帯では、時間数が増すほど少なくなる傾向にある。



◎ア 仕事や学業（通勤・通学時間を含む）

◆地域別

- 全県で最も多い1時間未満は、阪神北(33.0%)、東播磨(31.5%)で3割を超えるが、但馬(17.2%)や北播磨(17.5%)、丹波(18.7%)、淡路(18.0%)では1割台で2位になっており、これらの地域では、全県2位の9～11時間が2割を超えて(但馬:21.6%、北播:23.3%、丹波:20.1%、淡路:24.9%)1位になっている。
- 全県で2番目のピークとなっている9～11時間までの累計値(全県:73.0%)で比べると、累計値が8割前後の淡路(82.7%)、中播磨(79.1%)、丹波(78.6%)では短い時間数での回答が多く、7割前後の神戸(69.7%)、阪神南(69.9%)、北播磨(70.9%)では長い時間数の回答が多い傾向にある。

◎ア 仕事や学業(通勤・通学時間を含む)【地域別】 (%)

	～1時間 (未満)	1～3 時間	3～5 時間	5～7 時間	7～9 時間	9～11 時間	11時間 未満 累計値	11～13 時間	13～15 時間	15～17 時間	17～21 時間
全県	26.4	5.3	5.3	9.5	10.6	15.8	73.0	12.6	6.9	2.3	0.5
地域別											
神戸	27.6	5.1	5.9	10.6	8.7	11.8	69.7	13.4	6.3	2.4	0.8
阪神南	23.7	7.8	2.6	9.5	12.9	13.4	69.8	13.4	8.2	4.3	0.4
阪神北	33.0	2.7	4.9	7.6	9.8	17.4	75.4	11.4	6.1	2.7	0.4
東播磨	31.5	5.4	4.3	7.2	7.9	17.2	73.5	12.5	9.0	1.4	0.7
北播磨	17.5	5.1	3.6	9.1	12.4	23.3	70.9	14.9	7.6	2.5	0.0
中播磨	26.4	5.4	7.8	10.9	11.2	17.4	79.1	11.6	7.8	0.0	0.0
西播磨	24.4	4.7	7.5	10.2	11.2	16.6	74.6	11.9	4.7	2.7	0.0
但馬	17.2	4.1	10.7	8.2	14.7	21.6	76.5	13.5	5.0	0.3	0.0
丹波	18.7	5.8	6.1	16.7	11.2	20.1	78.6	11.2	5.1	1.4	0.3
淡路	18.0	3.5	8.3	8.7	19.4	24.9	82.7	6.6	2.4	0.3	0.7

◆性別、性・年代別

- 性別でみると、1時間未満で女性(35.1%)が男性(14.9%)を20ポイント上回るなど、9時間未満では概ね女性の方が多く、9時間以上では男性の方が多くなっている。全県で2番目のピークとなっている9～11時間までの累計値(全県:73.0%)で比べると、男性(58.8%)で6割弱であるのに対し、女性(83.7%)では8割を超えている。
- 性・年代別でみると、男性では、50代以下の世代では11時間未満累計値は4割前半に止まり、40代では13～15時間(29.4%)が約3割を占めて最も多い。一方、60代以降では、1時間未満の回答が最も多くなり、11時間未満累計値も8割弱(60代:77.9%)から9割近く(70代:88.6%)に及んでいる。
- 一方、女性では、20代で9～11時間(25.6%)が、40代では5～7時間(24.5%)が、それぞれ最も多くなっているが、他の年代ではいずれも1時間未満が最も多く、60代以降では5割に達しており、11時間未満累計値でみても、最も少ない20代で約7割(69.6%)と、男性より少ない時間数での回答が多い。

◎ア 仕事や学業(通勤・通学時間を含む)【性・年代別】 (%)

	～1時間 (未満)	1～3 時間	3～5 時間	5～7 時間	7～9 時間	9～11 時間	11時間 未満 累計値	11～13 時間	13～15 時間	15～17 時間	17～21 時間
全県	26.4	5.3	5.3	9.5	10.6	15.8	73.0	12.6	6.9	2.3	0.5
性別											
男性	14.9	5.5	4.5	5.1	8.1	20.8	58.8	19.5	13.2	3.9	1.0
女性	35.1	5.1	6.0	12.9	12.6	12.0	83.7	7.4	2.1	1.1	0.0
性・年代別											
男性											
20代	0.7	1.3	2.0	5.3	12.9	22.8	45.0	31.8	14.6	3.0	2.5
30代	0.1	5.0	1.2	0.8	7.0	28.0	42.1	29.0	18.4	8.7	1.0
40代	3.0	4.8	1.2	0.0	5.9	25.4	40.3	22.8	29.4	1.9	3.2
50代	3.2	0.6	2.8	1.9	6.7	26.7	41.9	32.1	17.7	7.4	0.5
60代	21.2	6.3	7.3	11.9	12.0	19.2	77.9	9.6	6.1	2.5	0.5
70代	48.7	12.6	9.4	8.1	4.8	4.9	88.6	1.8	0.5	0.0	0.0
80以上	45.9	14.6	8.6	1.7	4.7	10.3	85.8	0.4	0.0	0.0	0.0
女性											
20代	14.8	3.8	0.3	9.2	15.9	25.6	69.6	18.6	9.1	2.8	0.0
30代	36.9	6.9	3.3	10.2	9.5	16.2	83.0	13.6	3.5	0.0	0.0
40代	17.9	0.1	5.9	24.5	22.1	15.9	86.3	7.8	1.8	3.8	0.0
50代	24.1	3.5	8.0	18.0	17.5	16.2	87.5	8.6	1.7	1.3	0.1
60代	50.2	10.6	6.2	9.1	11.2	4.7	91.9	2.0	0.3	0.0	0.0
70代	53.6	3.8	9.5	9.6	4.3	2.6	83.5	0.2	0.0	0.0	0.0
80以上	50.0	4.4	7.9	3.0	1.1	0.0	66.3	0.0	0.0	0.0	0.0

◆職業別

- 正規社員では11～13時間(34.2%)が最も多く、9～11時間(25.4%)と13～15時間(19.6%)がこれに次いでおり、この3つの時間帯だけで約8割(79.2%)を占めている。11時間未満累計値でみると、正規社員(38.5%)と会社等の役員(55.2%)、契約・派遣社員(70.2%)だけが、全県平均(73.0%)を下回っている。なお、1時間未満は、主婦(72.1%)では7割を超え、その他無職(66.0%)で3分の2近くに達している。

◎ア 仕事や学業(通勤・通学時間を含む)【職業別】 (%)

	～1時間 (未満)	1～3 時間	3～5 時間	5～7 時間	7～9 時間	9～11 時間	11時間 未満 累計値	11～13 時間	13～15 時間	15～17 時間	17～21 時間
全県	26.4	5.3	5.3	9.5	10.6	15.8	73.0	12.6	6.9	2.3	0.5
職業別											
自営業	5.2	4.3	6.2	12.6	22.1	25.4	75.7	10.5	7.6	2.0	0.8
正規社員(職員)	1.7	2.2	1.0	1.0	7.2	25.4	38.5	34.2	19.6	5.9	1.3
会社等の役員	3.1	9.5	1.6	8.4	8.1	24.5	55.2	23.4	9.0	7.1	0.0
契約・派遣社員	3.0	2.8	1.3	5.4	23.7	34.0	70.2	20.7	5.0	3.3	0.8
パート・アルバイト	2.6	4.5	9.1	36.3	24.3	15.8	92.6	3.1	2.1	1.1	0.0
主婦(主夫)	72.1	8.7	6.6	4.9	0.9	0.5	93.7	0.1	0.0	0.0	0.0
学生	0.5	3.9	3.3	13.7	22.3	33.1	76.8	10.4	12.0	0.0	0.0
その他無職	66.0	7.3	7.7	3.1	1.5	1.0	86.6	0.1	0.0	0.0	0.0

◎イ 育児や介護や家事

◆地域別

- 1時間未満(中播磨:32.9% 但馬:22.6%)と1～3時間(北播磨:35.3% 阪神北:24.2%)でそれぞれ10ポイント程度の差が生じ、東播磨や北播磨など1～3時間が最も多い地域もあるが、いずれの地域でも、1時間未満と1～3時間が上位の時間帯で、合わせると5割を超えている。

◎イ 育児や介護や家事【地域別】 (%)

	～1時間 (未満)	1～3 時間	3～5 時間	5～7 時間	7～9 時間	9～11 時間	11～13 時間	13～15 時間	15～17 時間	17～19 時間	19～21 時間
全県	28.5	27.5	15.5	12.0	4.1	3.0	1.4	1.6	0.9	0.6	0.2
地域別											
神戸	29.1	25.6	16.9	10.2	3.9	2.0	1.6	0.8	1.2	1.2	0.0
阪神南	28.9	28.0	13.4	12.5	3.9	3.4	1.3	3.9	0.4	0.9	0.0
阪神北	31.1	24.2	14.0	13.3	3.8	4.5	1.5	1.5	1.9	0.0	0.0
東播磨	25.8	30.8	13.6	14.3	5.0	3.6	1.4	1.4	0.7	0.4	0.0
北播磨	25.5	35.3	17.8	9.8	2.9	2.5	0.0	0.7	0.7	0.7	0.0
中播磨	32.9	24.4	15.1	11.6	5.0	3.1	2.7	1.9	0.8	0.0	0.8
西播磨	22.7	28.8	17.6	11.5	5.4	4.1	0.7	0.7	0.7	0.3	1.4
但馬	22.6	31.3	19.7	15.4	2.2	1.3	0.9	0.6	0.3	0.6	0.3
丹波	29.9	29.3	16.7	14.6	2.4	1.7	1.0	0.3	0.0	0.3	0.3
淡路	25.6	31.1	18.7	8.7	3.8	1.7	0.7	0.3	1.4	0.0	0.7

◆性別、性・年代別

- 性別では、男性では、最も多い1時間未満(48.9%)で5割弱、1～3時間(38.0%)でも4割弱あり、この2つの時間帯で9割近くに及んでいる。一方、女性では、3～5時間(23.0%)が最も多いが、7時間未満までを累計(74.5%)しても7割半ばに止まる。
- 性・年代別で見ると、男性では、いずれの年代でも1時間未満と1～3時間に集中しており、70代以降を除き、この2つの時間帯で9割前後を占める。一方、女性では、20代では1時間未満(22.6%)と1～3時間(50.1%)で7割を超えるのに対し、30代から60代にかけては3～5時間や5～7時間などより長い時間帯での回答が増えるが、70代以降では1時間未満が3割台に増加している。

◎イ 育児や介護や家事【性・年代別】 (%)

	～1時間 (未満)	1～3 時間	3～5 時間	5～7 時間	7～9 時間	9～11 時間	11～13 時間	13～15 時間	15～17 時間	17～19 時間	19～21 時間
全県	28.5	27.5	15.5	12.0	4.1	3.0	1.4	1.6	0.9	0.6	0.2
性別											
男性	48.9	38.0	5.7	2.5	0.4	0.5	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0
女性	12.8	19.5	23.0	19.2	6.9	4.9	2.5	2.6	1.7	1.1	0.3
性・年代別											
男性											
20代	46.0	47.0	3.4	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	34.1	53.9	10.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	46.0	46.4	1.7	2.7	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50代	54.7	36.4	5.0	2.6	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60代	54.5	33.5	5.9	2.6	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70代	53.2	21.6	8.3	3.7	1.3	1.1	0.2	1.3	0.0	0.0	0.2
80以上	42.7	20.8	3.0	8.6	1.3	4.9	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0
女性											
20代	22.6	50.1	9.4	6.2	2.5	4.1	0.5	0.2	1.9	1.9	0.6
30代	5.8	20.4	13.7	15.3	8.5	5.2	7.9	12.0	6.0	4.1	1.1
40代	0.4	22.9	26.6	27.6	8.1	8.2	2.0	2.1	1.3	0.3	0.2
50代	5.5	18.8	33.8	24.5	6.1	6.0	2.4	0.4	0.8	0.7	0.2
60代	10.2	12.3	31.7	21.9	11.1	5.1	1.5	0.7	0.4	0.0	0.0
70代	30.8	8.0	22.5	16.1	3.4	2.0	0.6	0.0	0.2	0.0	0.0
80以上	35.1	10.3	2.7	14.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

◆職業別

- 職業別で見ると、主婦とパート・アルバイトを除き、1時間未満と1～3時間が上位を占めており、学生(87.8%)や正規社員(84.0%)ではこれらの時間帯で8割を超え、その他無職(56.8%)でも半数を超えている。一方、主婦やパート・アルバイトでは、3～5時間や5～7時間などより長い時間帯での回答が多くなっている。

◎イ 育児や介護や家事【職業別】

(%)

	～1時間 (未満)	1～3 時間	3～5 時間	5～7 時間	7～9 時間	9～11 時間	11～13 時間	13～15 時間	15～17 時間	17～19 時間	19～21 時間
全県	28.5	27.5	15.5	12.0	4.1	3.0	1.4	1.6	0.9	0.6	0.2
職業別											
自営業	32.4	38.7	12.5	9.2	1.9	1.4	0.1	0.7	0.0	0.0	0.4
正規社員(職員)	39.7	44.3	9.5	4.4	0.1	0.5	0.8	0.0	0.2	0.0	0.0
会社等の役員	39.1	28.4	15.8	8.4	0.0	0.5	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0
契約・派遣社員	26.1	41.7	23.0	7.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パート・アルバイト	13.0	20.7	27.8	24.7	6.7	4.1	0.2	1.7	0.0	0.0	0.0
主婦(主夫)	7.2	6.0	18.0	22.3	10.9	8.7	5.9	6.9	4.0	3.5	0.4
学生	47.4	40.4	6.3	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他無職	39.4	17.4	12.2	7.6	4.4	3.1	0.6	0.5	1.1	0.0	0.4

◎ウ 自分が自由に使える時間

◆地域別

- いずれの地域でも、1～3時間が最も多く、次いで3～5時間、5～7時間が続き、これら上位の時間帯を合わせると7割を超えている。(中播磨:80.3% 阪神北70.8%)

◎ウ 自分が自由に使える時間【地域別】 (%)

	～1時間 (未満)	1～3 時間	3～5 時間	5～7 時間	7～9 時間	9～11 時間	11～13 時間	13～15 時間	15～17 時間	17～19 時間	19～21 時間
全県	4.8	33.3	26.0	15.1	5.6	5.8	2.0	0.5	0.6	0.2	1.6
地域別											
神戸	3.1	33.1	23.2	14.2	5.9	6.3	3.9	0.0	0.4	0.0	2.4
阪神南	7.3	33.6	27.2	14.7	6.5	5.2	0.4	0.0	0.9	0.0	0.9
阪神北	6.1	33.3	23.1	14.4	3.4	8.3	1.9	0.8	1.1	0.8	2.7
東播磨	3.9	34.4	26.9	15.4	6.8	5.4	1.4	1.1	0.7	0.0	1.1
北播磨	4.7	36.0	29.5	13.8	5.1	4.0	0.7	1.1	0.4	0.0	0.7
中播磨	4.3	31.8	29.5	19.0	4.7	4.3	1.6	1.2	0.4	0.4	1.6
西播磨	3.7	29.2	27.1	18.0	5.8	6.4	1.7	0.0	0.3	0.7	1.0
但馬	5.3	36.4	29.5	12.5	4.7	4.1	0.9	0.6	0.3	0.0	0.9
丹波	4.4	33.7	27.9	12.6	5.8	6.8	0.7	1.7	1.0	0.0	2.4
淡路	5.2	31.5	29.1	15.6	5.2	3.1	1.4	0.7	0.3	0.3	1.0

◆性別、性・年代別

- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別でみると、男女とも、50代以下では、1～3時間と3～5時間のいずれかが1位、2位を占め、5～7時間や1時間未満がこれに次いでいるのに対し、60代以降では、5～7時間以降での回答が比較的多くなり、男女ともに70代以降では、5～7時間(男女70代)や9～11時間(男女80歳以上)が最も多くなっている。

◎ウ 自分が自由に使える時間【性・年代別】 (%)

	～1時間 (未満)	1～3 時間	3～5 時間	5～7 時間	7～9 時間	9～11 時間	11～13 時間	13～15 時間	15～17 時間	17～19 時間	19～21 時間
全県	4.8	33.3	26.0	15.1	5.6	5.8	2.0	0.5	0.6	0.2	1.6
性別											
男性	5.5	33.8	26.7	12.8	4.6	6.8	2.6	0.8	0.7	0.2	2.1
女性	4.2	32.8	25.6	16.8	6.3	5.0	1.4	0.2	0.5	0.2	1.3
性・年代別											
男性											
20代	6.6	35.1	28.4	12.7	5.0	8.7	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0
30代	10.1	56.0	20.3	10.1	1.2	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	6.4	55.3	26.6	4.2	1.5	1.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8
50代	6.0	42.5	35.8	6.8	3.8	2.0	2.6	0.0	0.1	0.0	0.1
60代	4.1	18.6	28.4	17.9	6.9	11.3	3.6	2.2	1.2	0.7	1.9
70代	1.9	5.6	20.1	24.3	8.9	10.2	7.0	1.8	2.2	0.0	8.8
80以上	0.6	21.0	14.1	10.7	2.4	26.5	1.1	0.4	3.0	0.0	6.4
女性											
20代	0.8	27.8	44.1	15.0	7.5	3.9	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3
30代	6.7	54.8	23.7	12.0	1.7	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	3.6	59.7	23.7	8.7	2.6	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50代	5.8	35.7	29.7	17.1	4.6	4.7	1.0	0.0	0.5	0.0	0.0
60代	5.4	17.3	25.7	21.4	13.5	8.8	0.9	0.6	0.6	0.4	0.5
70代	1.7	11.1	17.4	29.5	6.4	6.5	4.7	0.1	2.0	0.9	3.6
80以上	1.7	7.4	9.7	9.2	8.5	10.9	6.3	1.9	0.0	0.0	10.7

◆職業別

- 職業別で見ると、自営業、正規社員、会社等の役員、契約・派遣社員、パート・アルバイトではいずれも1～3時間と3～5時間が1位、2位を占め、これらを合わせると正規社員(82.1%)では8割を超え、他の4職種でも7割前後に及ぶ。一方、主婦と学生では3～5時間が、その他無職では5～7時間が最も多くなっており、より長い時間数での回答が増える傾向にある。

◎ウ 自分が自由に使える時間【職業別】 (%)

	～1時間 (未満)	1～3 時間	3～5 時間	5～7 時間	7～9 時間	9～11 時間	11～13 時間	13～15 時間	15～17 時間	17～19 時間	19～21 時間
全県	4.8	33.3	26.0	15.1	5.6	5.8	2.0	0.5	0.6	0.2	1.6
職業別											
自営業	5.2	34.7	34.1	12.7	3.1	5.0	1.6	0.1	0.8	0.0	0.1
正規社員(職員)	6.8	51.2	30.9	7.9	1.6	0.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
会社等の役員	8.1	39.3	31.2	7.9	3.1	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
契約・派遣社員	6.8	46.0	23.2	16.1	2.2	5.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
パート・アルバイト	3.4	40.7	28.4	16.8	5.7	2.9	0.0	0.3	0.3	0.0	0.4
主婦(主夫)	4.4	22.2	24.0	23.3	9.2	8.4	1.3	0.0	0.4	0.0	0.5
学生	3.8	22.5	34.6	16.0	6.4	15.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
その他無職	1.8	9.5	13.8	19.3	10.2	12.2	6.5	2.4	2.3	1.1	7.6

4 仕事に関する意識

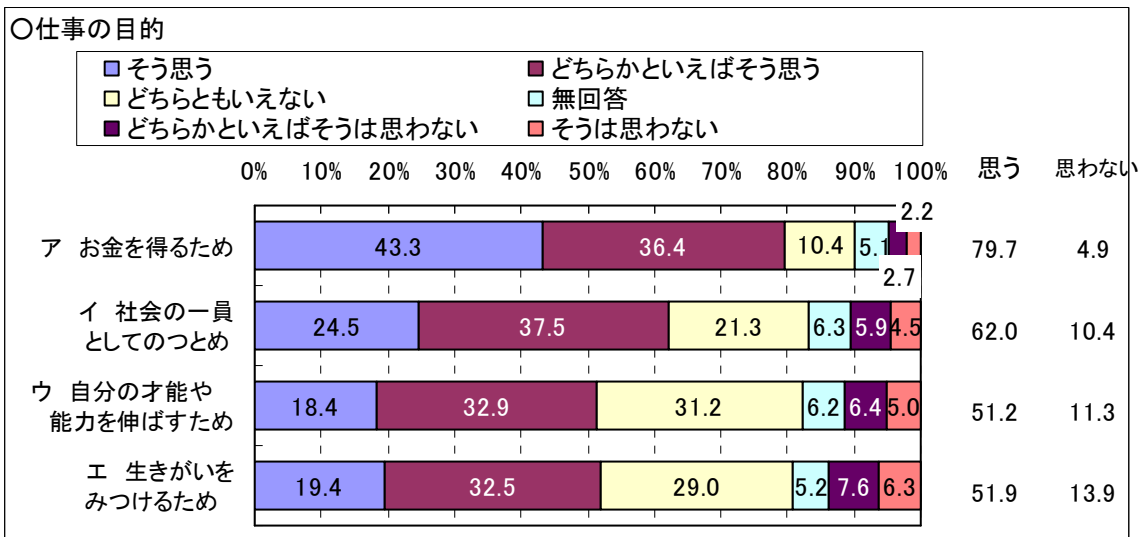
(1) 仕事の目的

問5 「仕事」をする目的についてあなたのお考えをお聞きます。次のア～エの項目それぞれについてあなたはどのように思いますか。次の中から1つ選んで番号に○印をつけてください。

- ア 仕事はお金を得るためのもの
- イ 仕事は社会の一員としてのつとめをはたすためのもの
- ウ 仕事は自分の才能や能力を伸ばすためのもの
- エ 仕事は生きがいをみつけるためのもの

- 1：そう思う 2：どちらかといえばそう思う 3：どちらともいえない
 4：どちらかといえばそうは思わない 5：そうは思わない

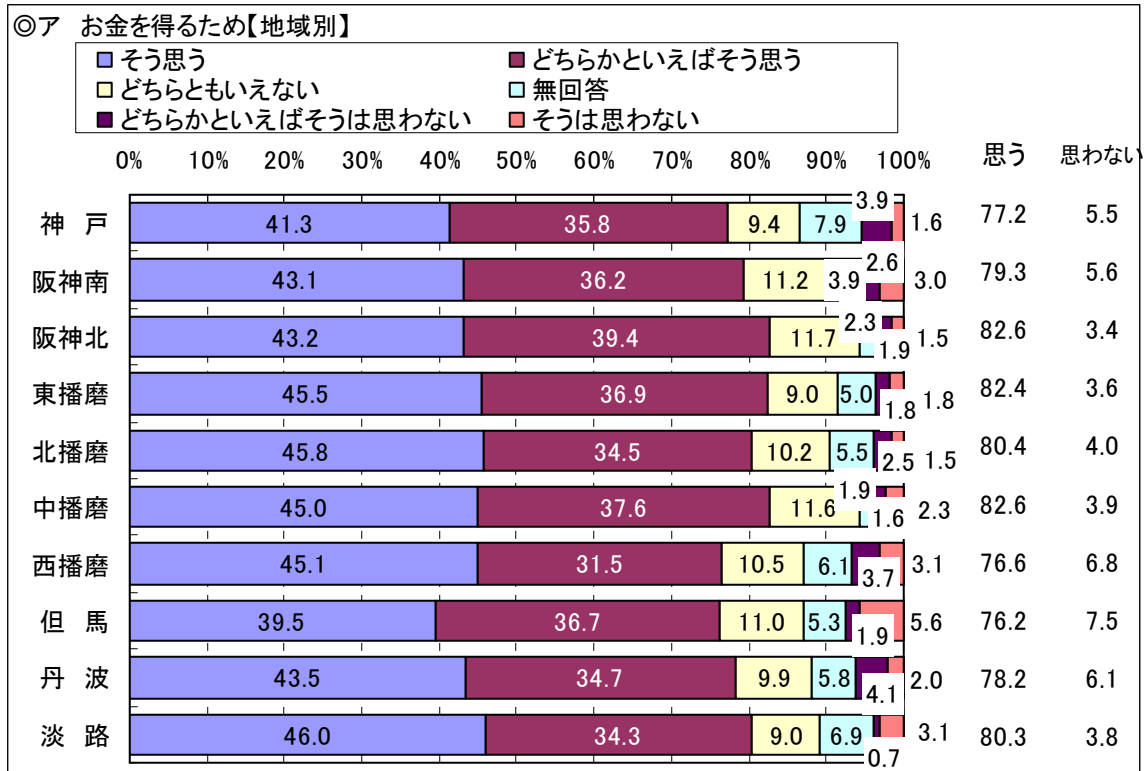
○ 仕事の目的で『思う』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が最も多いのは、「ア お金を得るため」(79.7%)で8割近くあり、次いで「イ 社会の一員としてのつとめ」(62.0%)で6割強あり、「エ 仕事は生きがいをみつけるため」(51.9%)と「ウ 仕事は自分の才能や能力を伸ばすため」(51.2%)でも5割を越えている。



◎ア お金を得るため

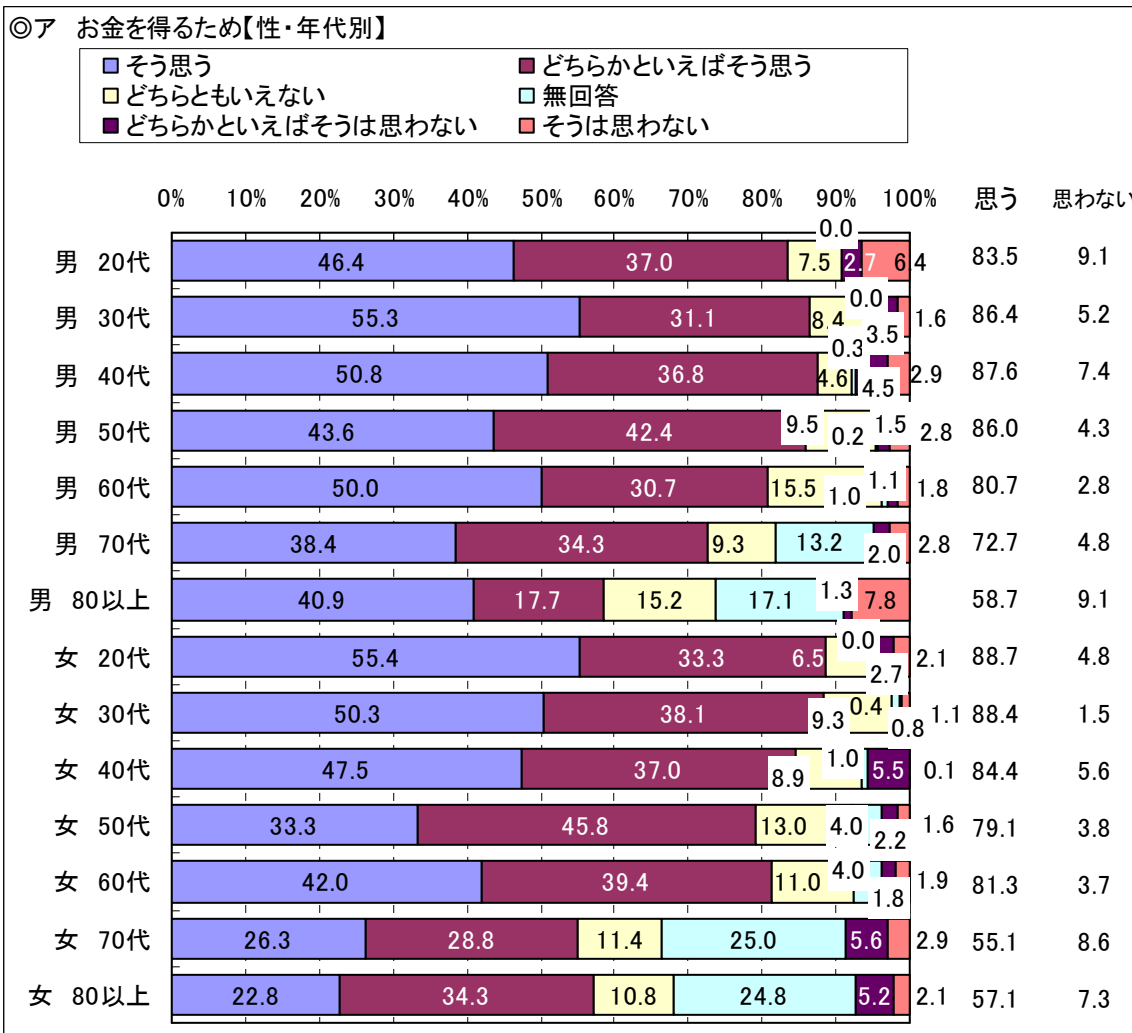
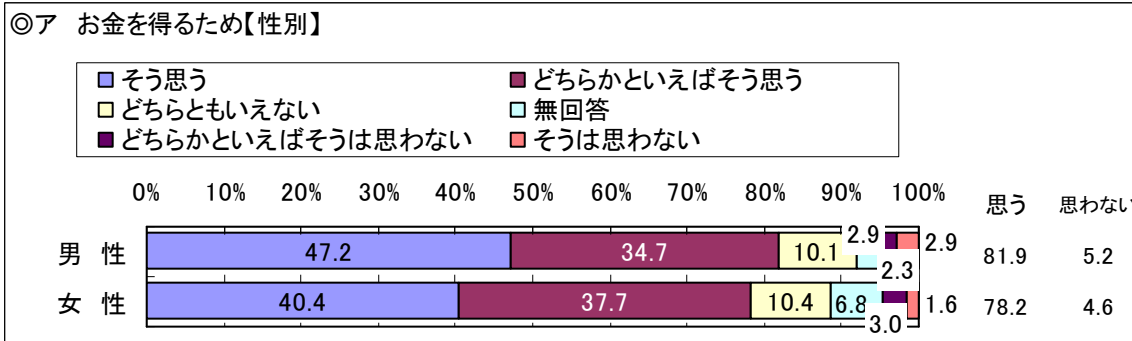
◆地域別

○ いずれの地域でも、『思う』は8割前後で、『思わない』は1割未満であり、地域間で特段の差はみられない。



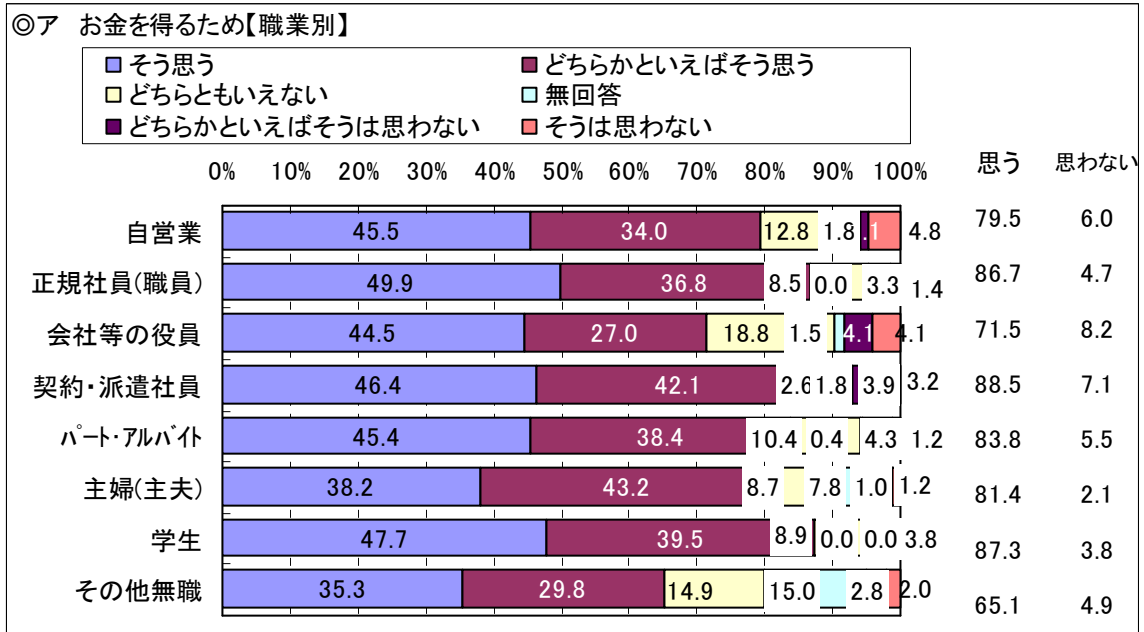
◆性別、性・年代別

- 性別で見ると、「そう思う」は男性の方がやや多いが、「どちらかといえばそう思う」は女性の方がやや多いため、両者を加えた『思う』では特段の差はみられない。
- 性・年代別で見ると、男女ともに、『思う』は、20代から60代まで概ね8割台であり、70代以降では5～7割台と少なくなる。
- 一方、男女ともに、『思わない』はいずれも年代でも1割に満たない。



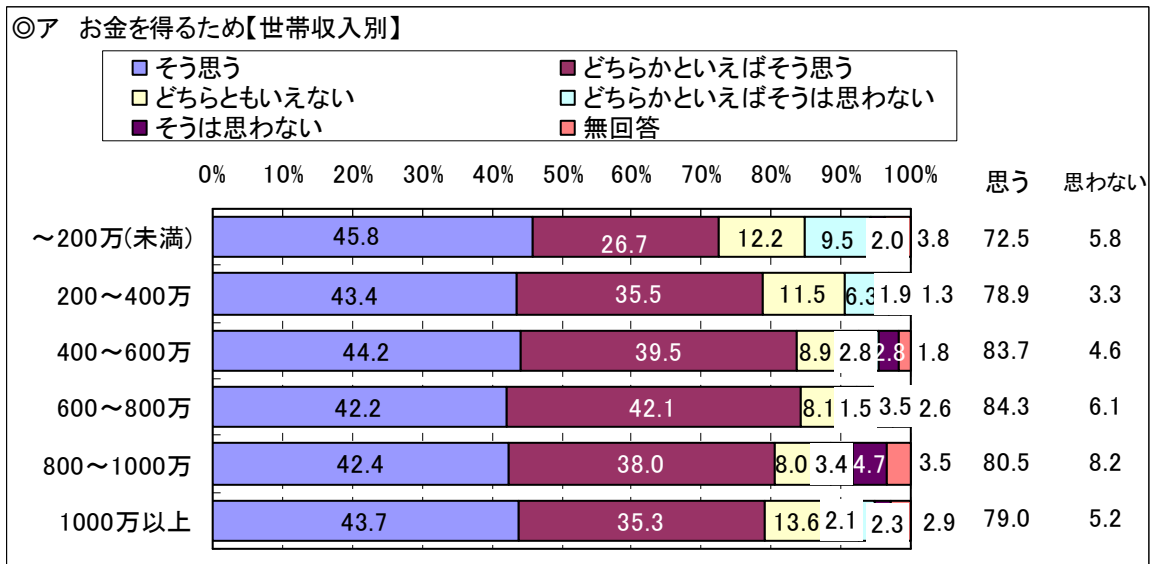
◆職業別

- 職業別でみると、『思う』は、契約・派遣社員(88.5%)で最も多く、正規社員(86.7%)が続き、8割台の職業が多いが、会社等の役員(71.5%)で7割強、その他無職(65.1%)では6割台半ばである。
- 一方、『思わない』は、いずれの職業でも1割に満たない。



◆世帯収入別

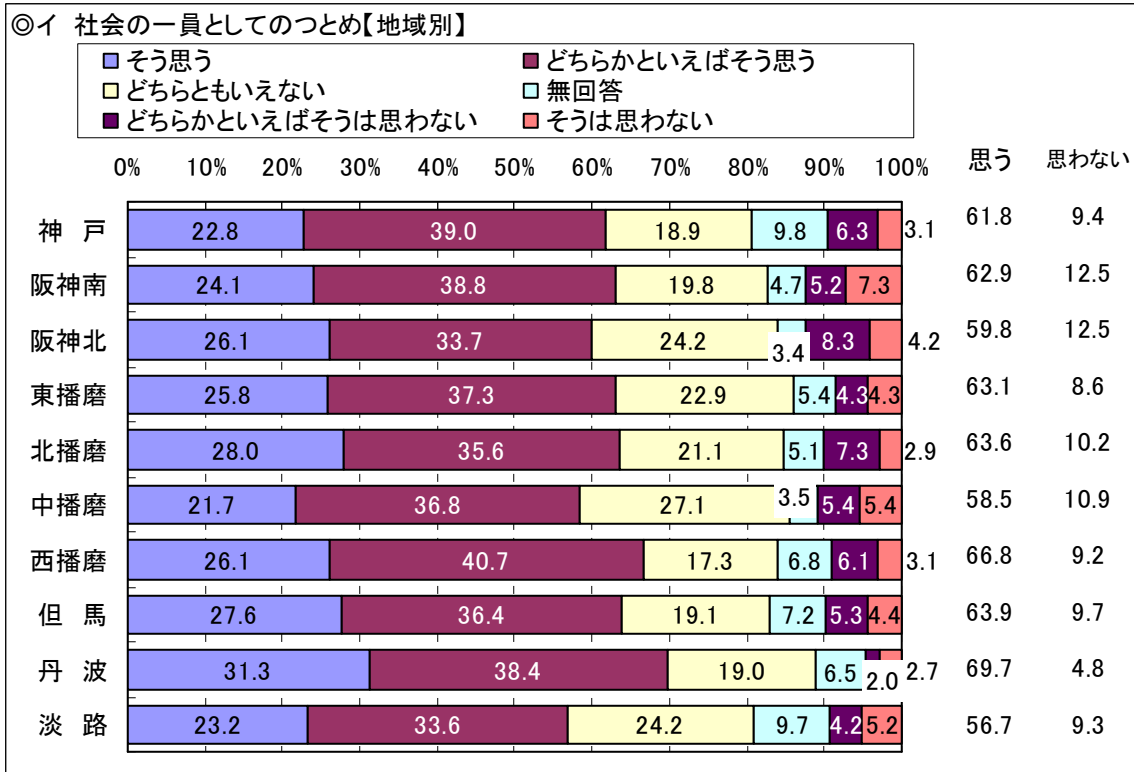
- いずれの収入階層でも『思う』が7割を超えており、200万円未満の世帯(72.5%)での7割強から、400～800万円の世帯(83.7%、84.3%)では8割台半ばと増加するが、800万円以上の世帯(80.5%、79.0%)では若干の減少に転じている。



◎イ 社会の一員としてのつとめ

◆地域別

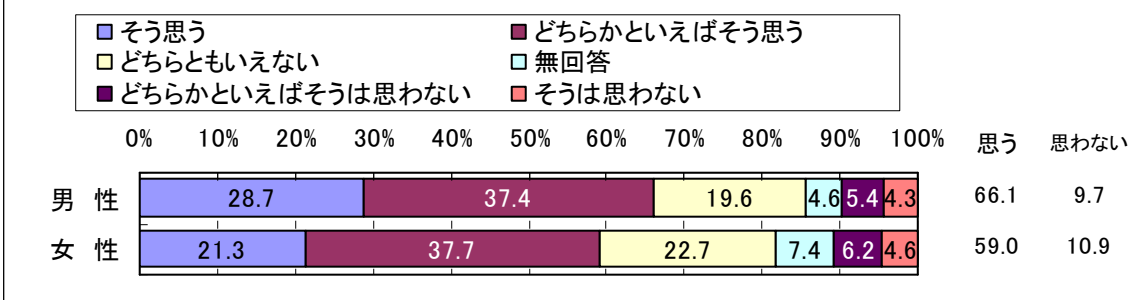
- 地域別でみると、『思う』は、6割前後の地域が多いなか、丹波(69.7%)と西播磨(66.8%)で6割代後半とやや多く、淡路(56.7%)では5割台半ばとやや少ない。
- 一方、『思わない』は、丹波(4.8%)を除き、いずれの地域も1割前後である。



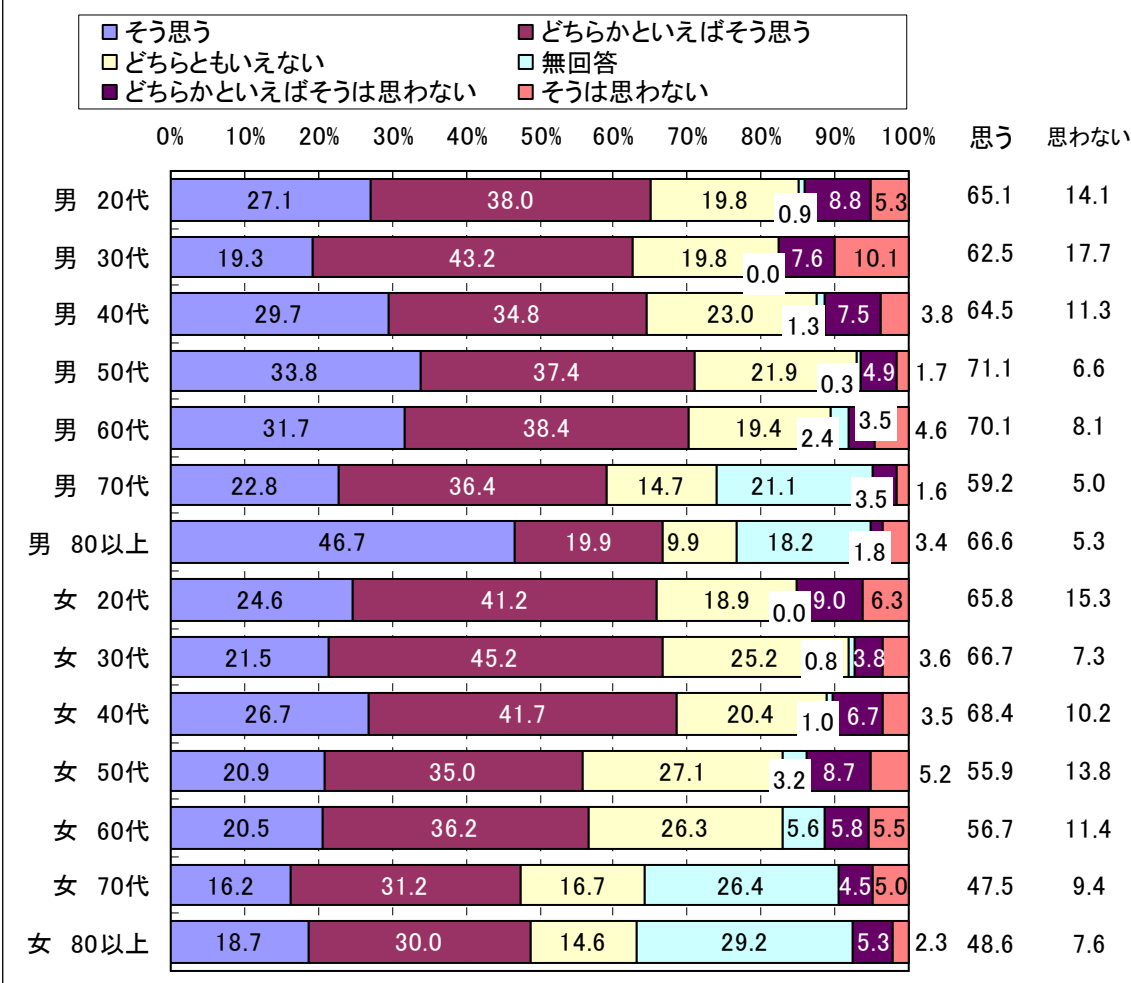
◆性別、性・年代別

- 性別では、『思う』が女性(59.0%)より男性(66.1%)でやや多い程度である。
- 性・年代別でみると、男性では、『思う』が、50代(71.1%)と60代(70.1%)で7割を超えているが、他の年代では概ね6割台半ばで、70代(59.2%)では6割を下回っている。また、『思わない』は、40代以下(11.3%~17.7%)で1割台とやや多くなっている。
- 女性では、『思う』は、40代以下(65.8%~68.4%)で6割台半ばを超えるが、50代(55.9%)と60代(56.7%)では5割台半ば、70代(47.5%)と80歳以上(48.6%)では4割後半と少なくなっている。また、『思わない』は、1割台の年代が多いが、30代と70代以降で1割を下回っている。

◎イ 社会の一員としてのつとめ【性別】

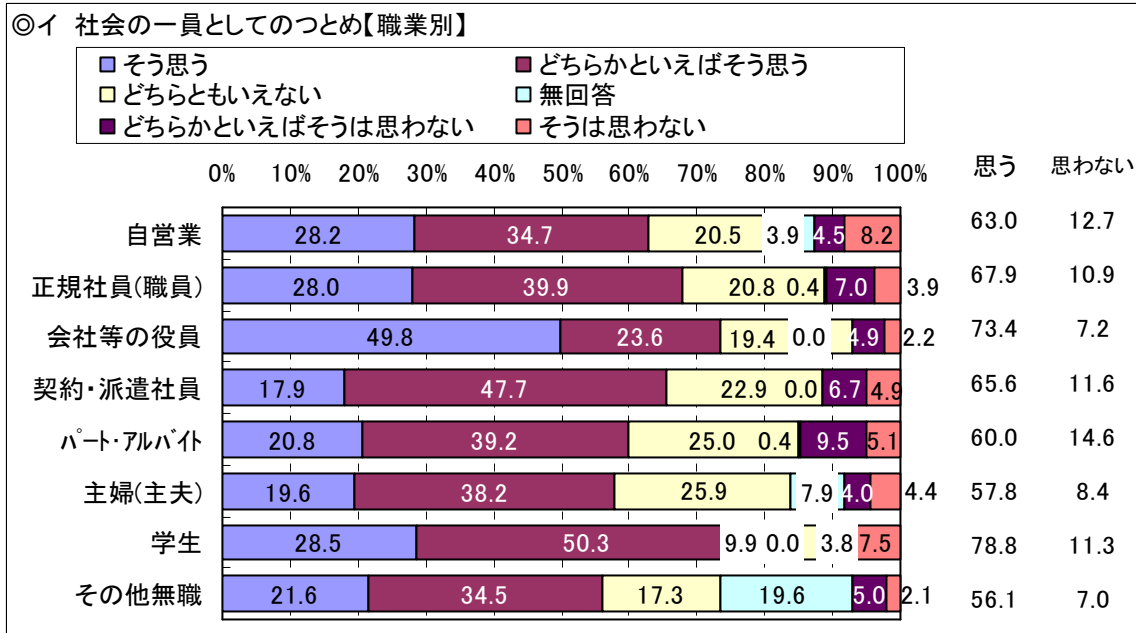


◎イ 社会の一員としてのつとめ【性・年代別】



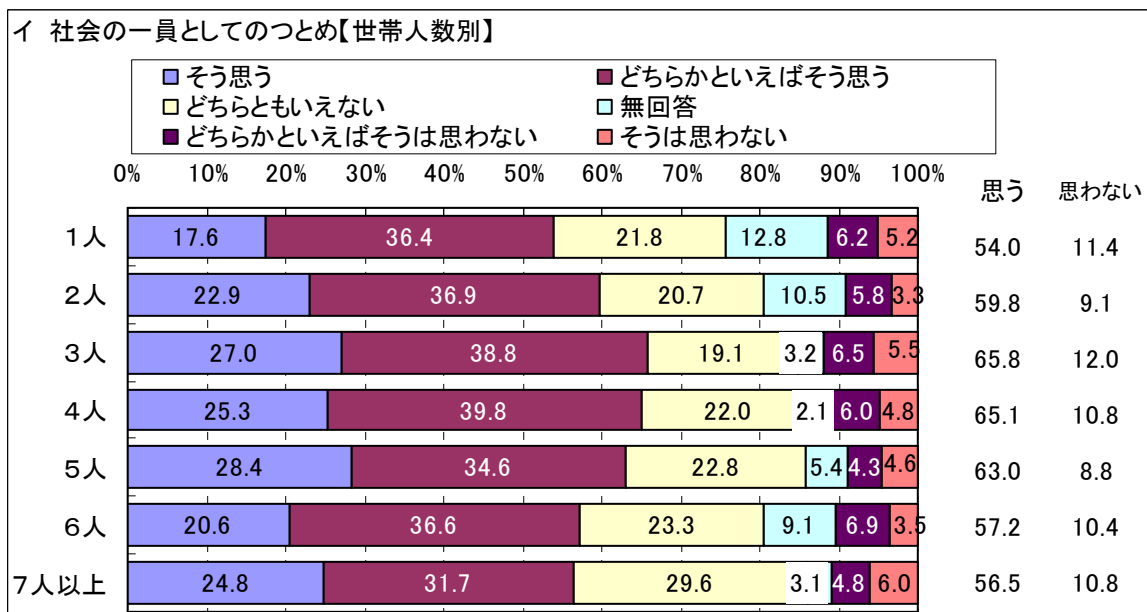
◆職業別

- 職業別にみると、『思う』は、学生(78.8%)と会社等の役員(73.4%)で7割を超え、6割台の職業が多いなか、その他無職(56.1%)や主婦(57.8%)では6割を下回る。
- 一方、『思わない』は、1割台の職業が多いが、その他無職(7.0%)や会社等の役員(7.2%)、主婦(8.4%)で1割を下回っている。



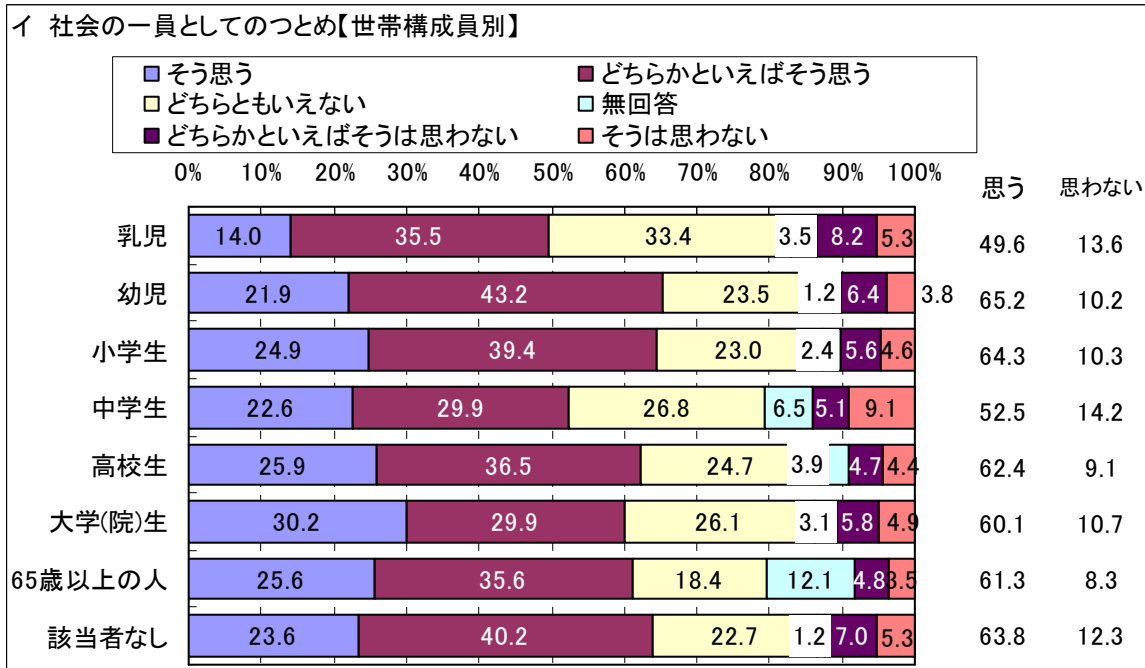
◆世帯人数別

- 世帯の人数別にみると、『思う』は、3人～5人の世帯(63.0～65.8%)はいずれも6割台で全県平均(62.9%)を上回るが、これら以外の1人(54.0%)や2人(59.8%)、6人以上(57.2%、56.5%)の世帯では5割台で全県平均を下回っている。
- 一方、『思わない』は、いずれも1割前後(8.8%～12.0%)で差はわずかである。



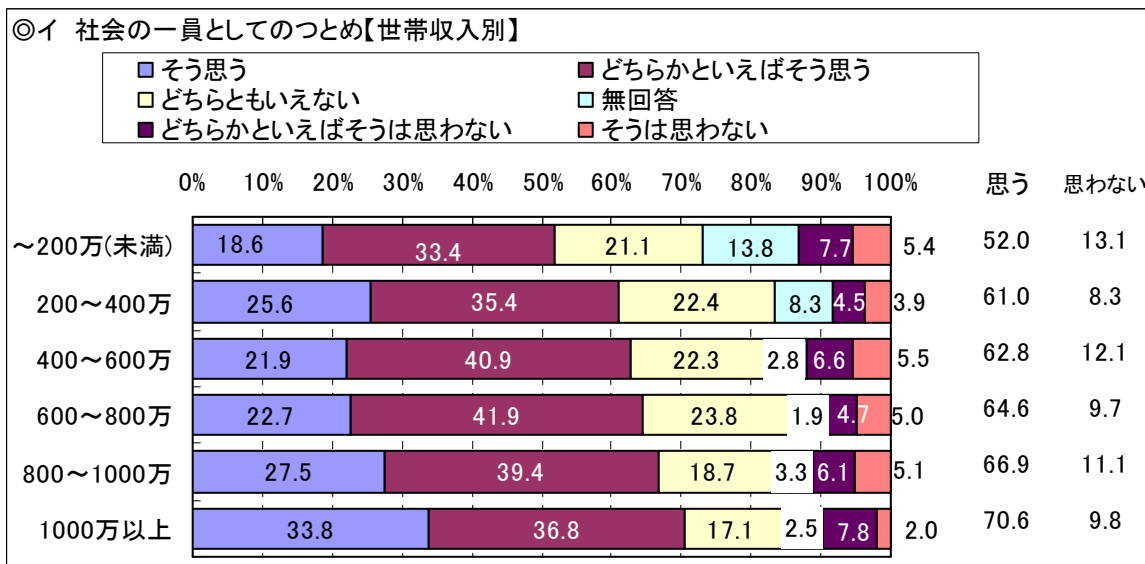
◆世帯構成員別

- 世帯構成員別でみると、『思う』は、概ね6割前半であるが、乳児のいる世帯(49.6%)と中学生のいる世帯(52.5%)では5割前後と少なくなっており、これらの世帯では『思わない』(13.6%、14.2%)も他の世帯よりやや多い。



◆世帯収入別

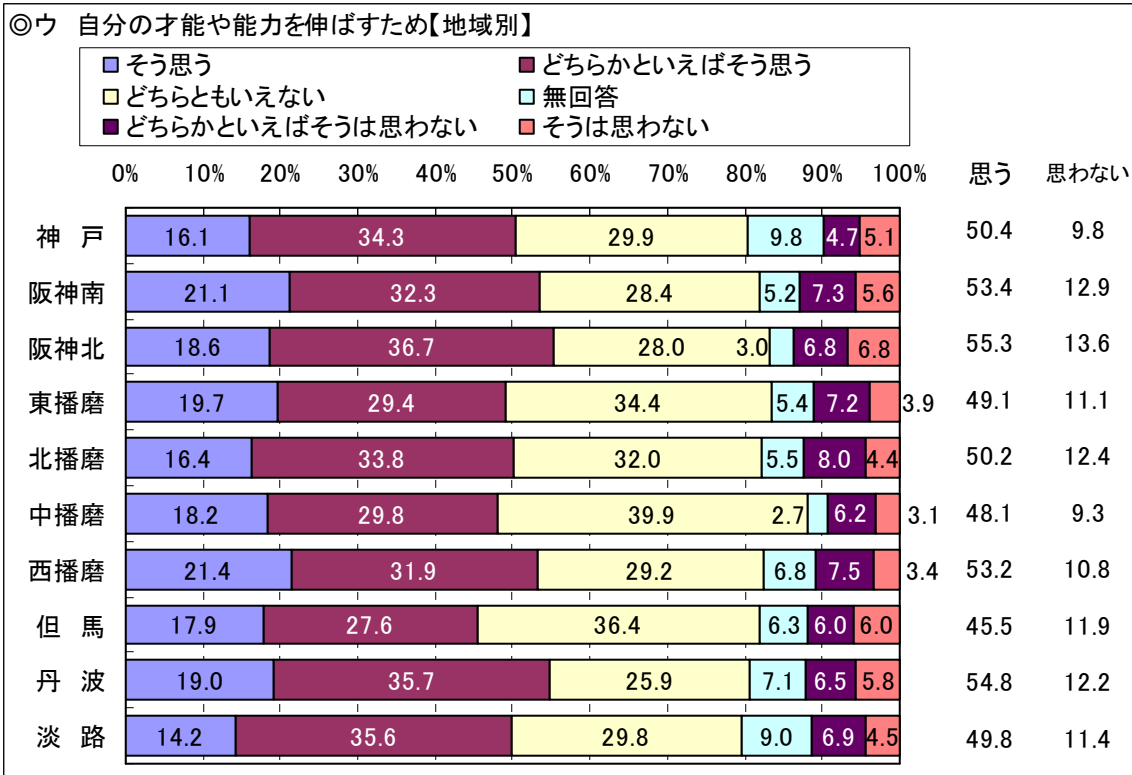
- 世帯収入別でみると、『思う』は、収入が200万円未満の世帯(52.0%)では5割強に止まるが、収入が増えるにつれて増加し、1000万円以上の世帯(70.6%)では7割になっている。一方、『思わない』は、いずれの収入階層でも1割前後である。



◎ウ 自分の才能や能力を伸ばすため

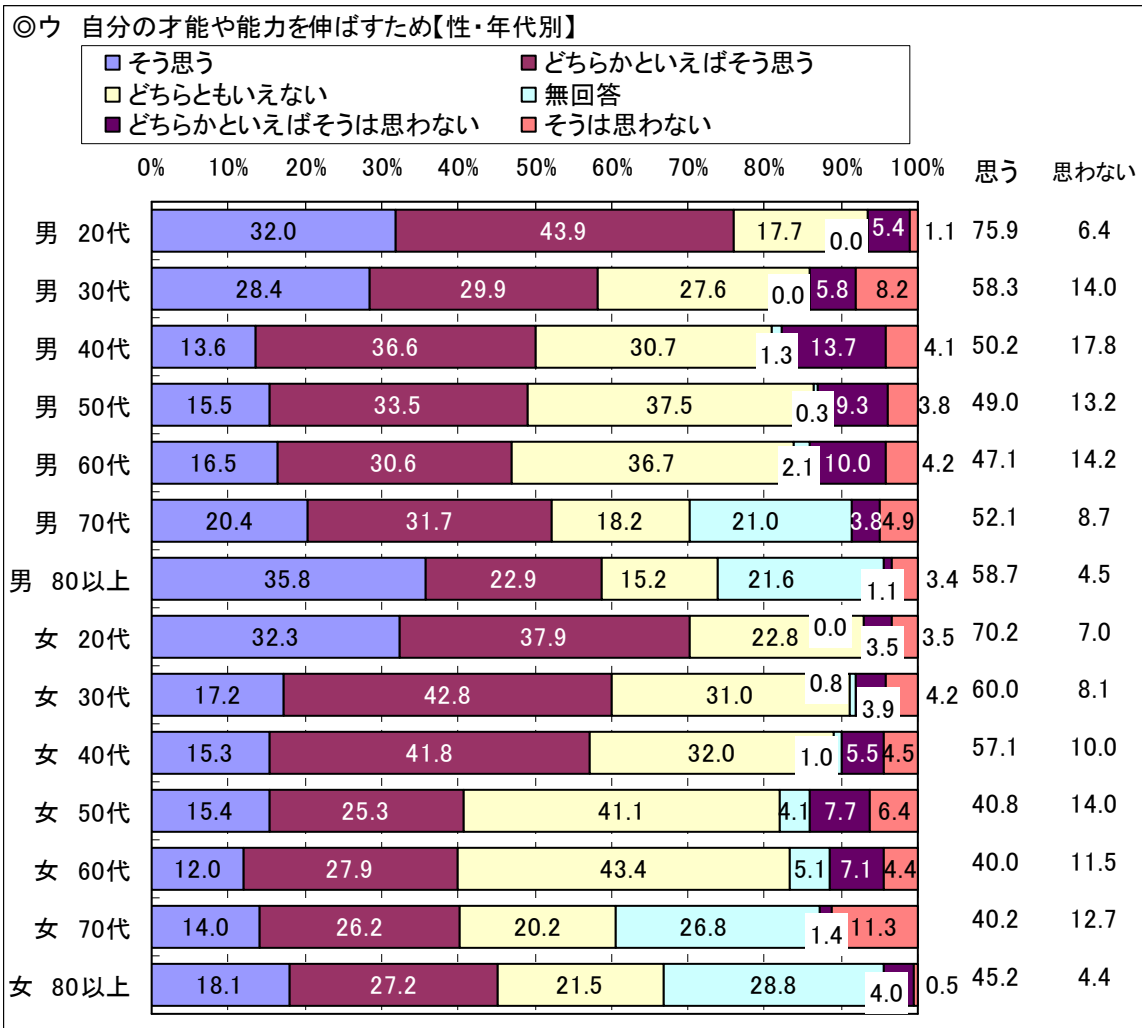
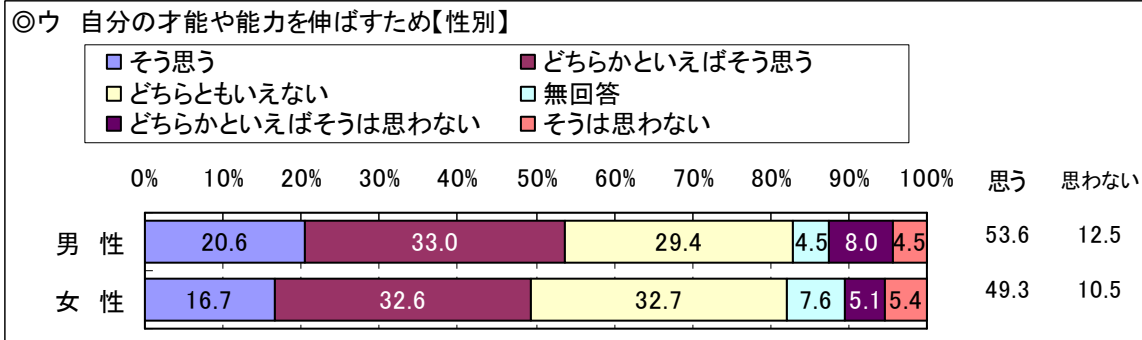
◆地域別

- 地域別で見ると、『思う』は、5割前後の地域が多いなか、阪神北(55.3%)と丹波(54.8%)で5割代半ばとやや多く、但馬(45.1%)では4割台半ばとやや少ない。
- 一方、『思わない』は、中播磨(9.3%)と神戸(9.8%)を除き、いずれの地域も1割台である。



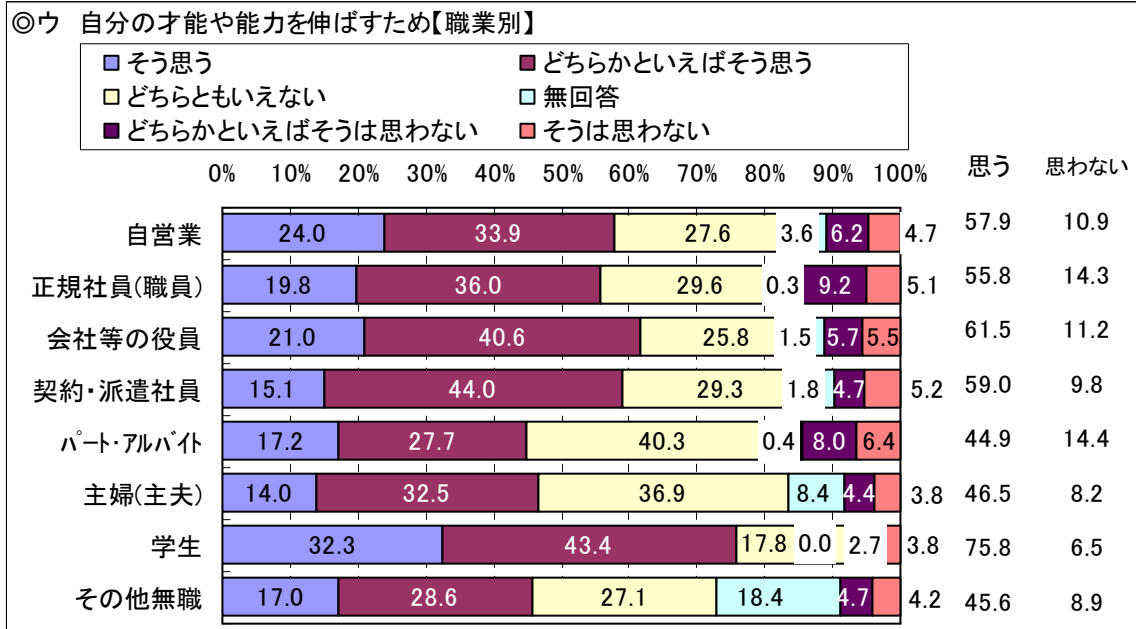
◆性別、性・年代別

- 性別では、『思う』が、女性(49.3%)より男性(53.6%)でやや多い程度である。
- 性・年代別でみると、男性では、『思う』は、最も多い20代(75.9%)で7割台半ばあるが、30代(58.3%)では5割台後半となり、60代(47.1%)までは年代が上がるにつれて減少し、70代以降は増加に転じている。また、『思わない』は、30代から60代(13.2%~17.8%)で1割を超えている。
- 一方、女性も男性と同様に、『思う』は、20代(70.2%)で7割と最も多いが、30代(60.0%)では6割となり、60代(40.0%)にかけて年代が上がるるとともに減少している。また、『思わない』は、40代から70代(10.0%~14.0%)で1割台である。



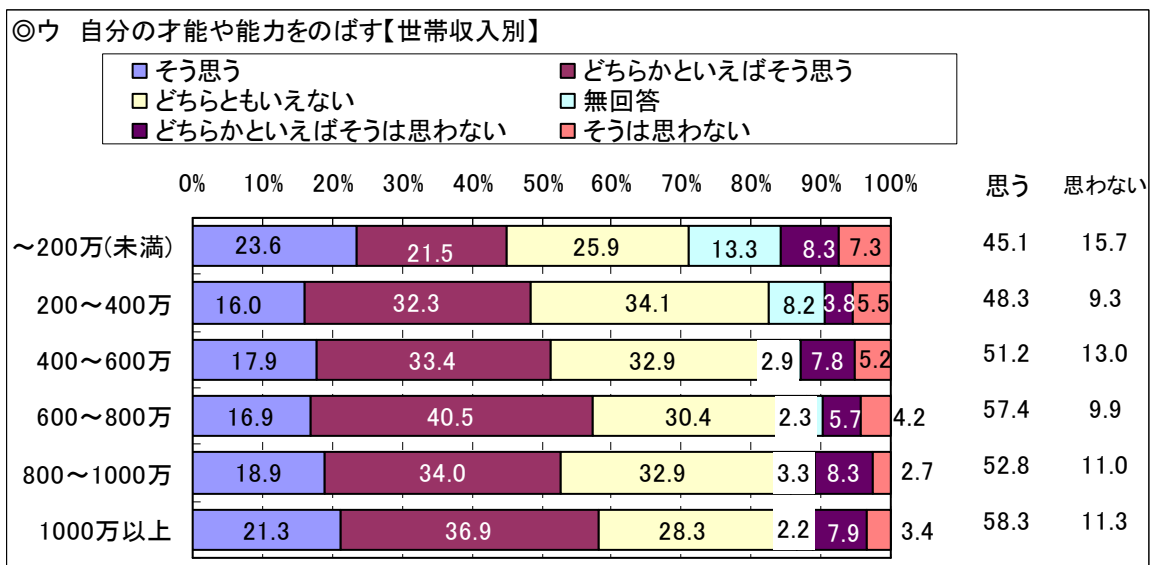
◆職業別

- 職業別では、『思う』は、学生(75.8%)で4分の3を超え、会社等の役員(61.5%)が6割台で続くが、パート・アルバイト(44.9%)やその他無職(45.6%)、主婦(46.5%)では5割を下回る。
- また、『思わない』は、パート・アルバイト(14.4%)や正規社員(14.3%)、会社等の役員(11.2%)、自営業(10.9%)で1割を超えている。



◆世帯収入別

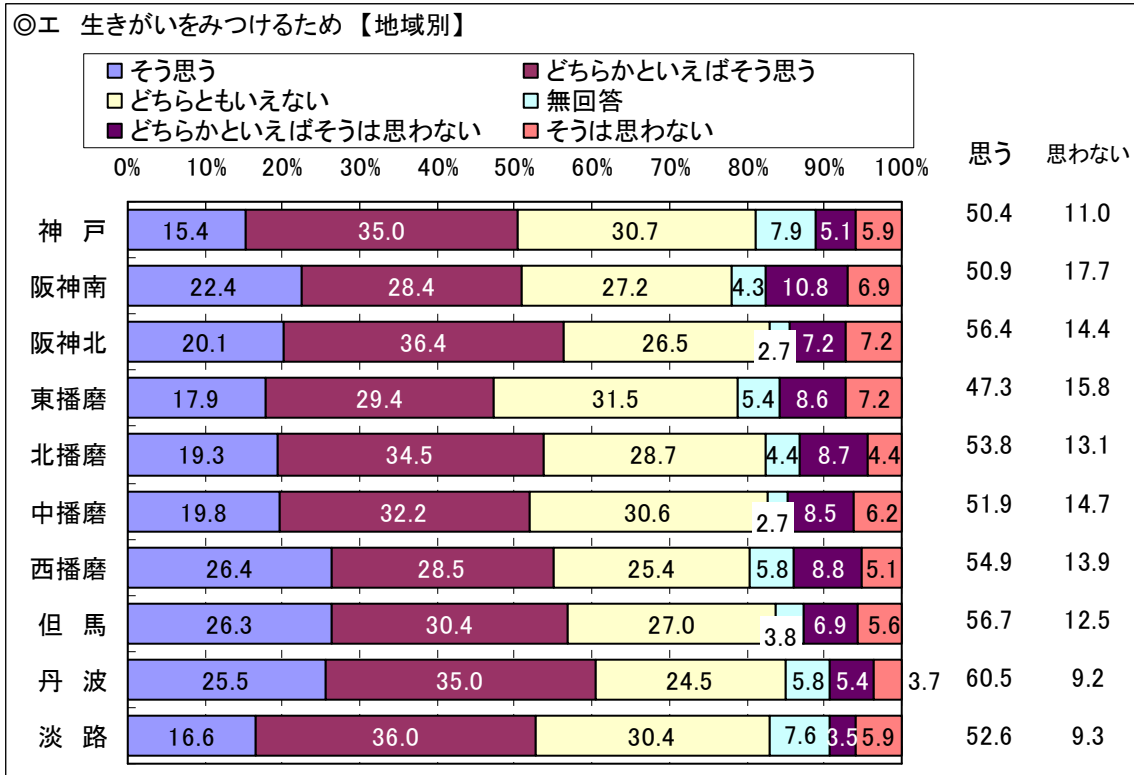
- 世帯収入別でみると、『思う』は、収入が200万円未満の世帯(45.1%)では4割台半ばで、収入が増えるにつれて増加し、600~800万円の世帯(57.4%)では5割台半ばを超えているが、その後は5割台で増減している。一方、『思わない』は、いずれの収入階層でも概ね1割前後であるが、200万円未満の世帯(15.7%)でやや多い。



◎エ 生きがいを見つけるため

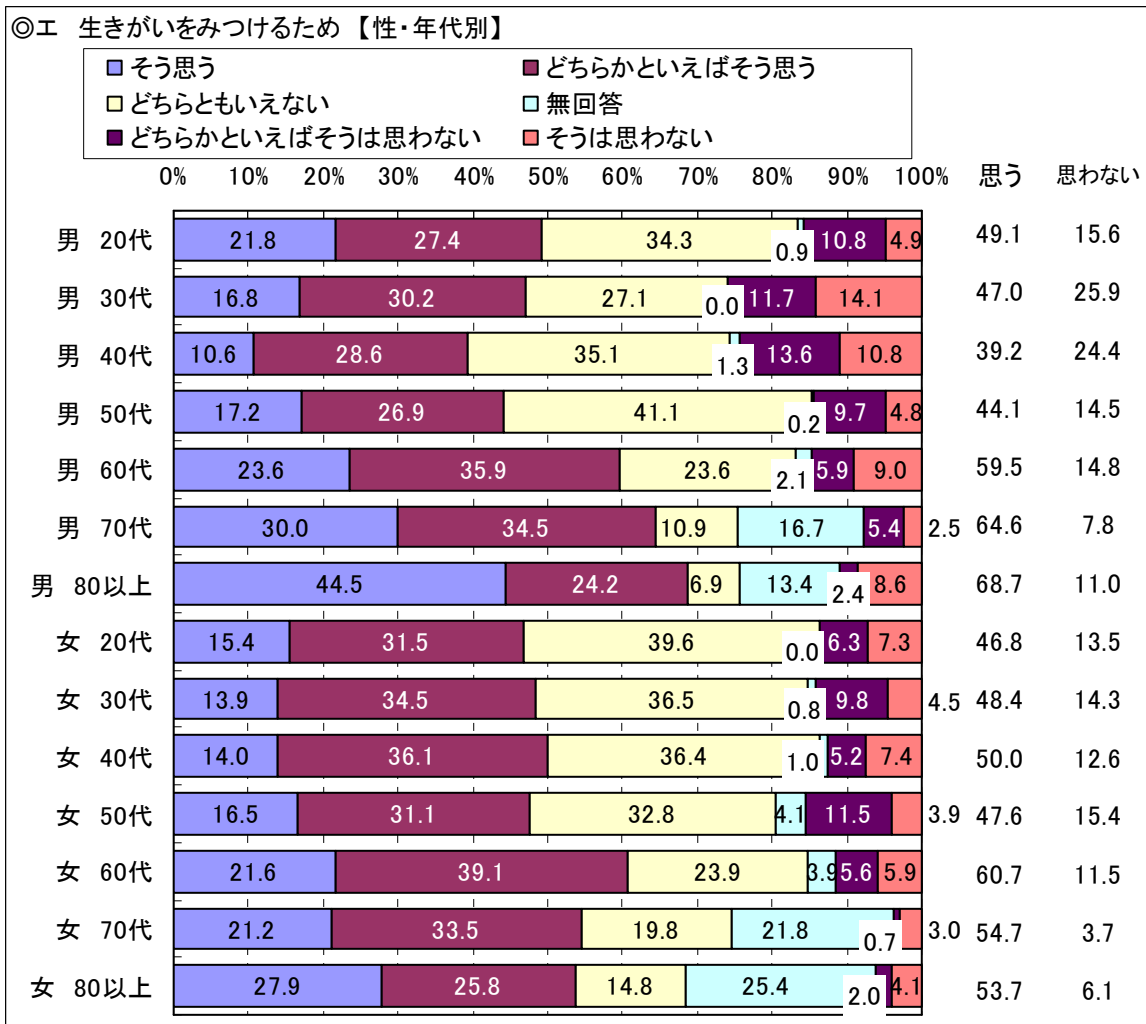
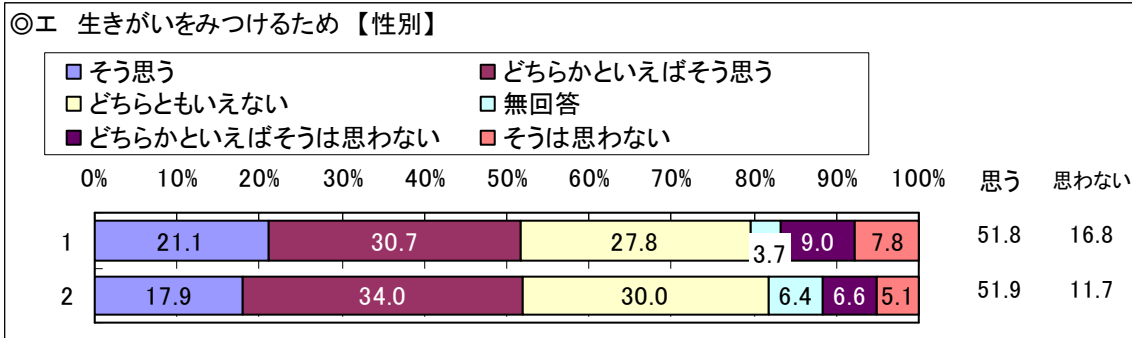
◆地域別

- 地域別では、『思う』は、最も多い丹波(60.5%)で6割を超え、最も少ない東播磨(47.3%)では5割を下回るが、他の地域では5割台になっている。
- 一方、『思わない』は、丹波(9.2%)と淡路(9.3%)を除き、いずれの地域でも1割台である。



◆性別、性・年代別

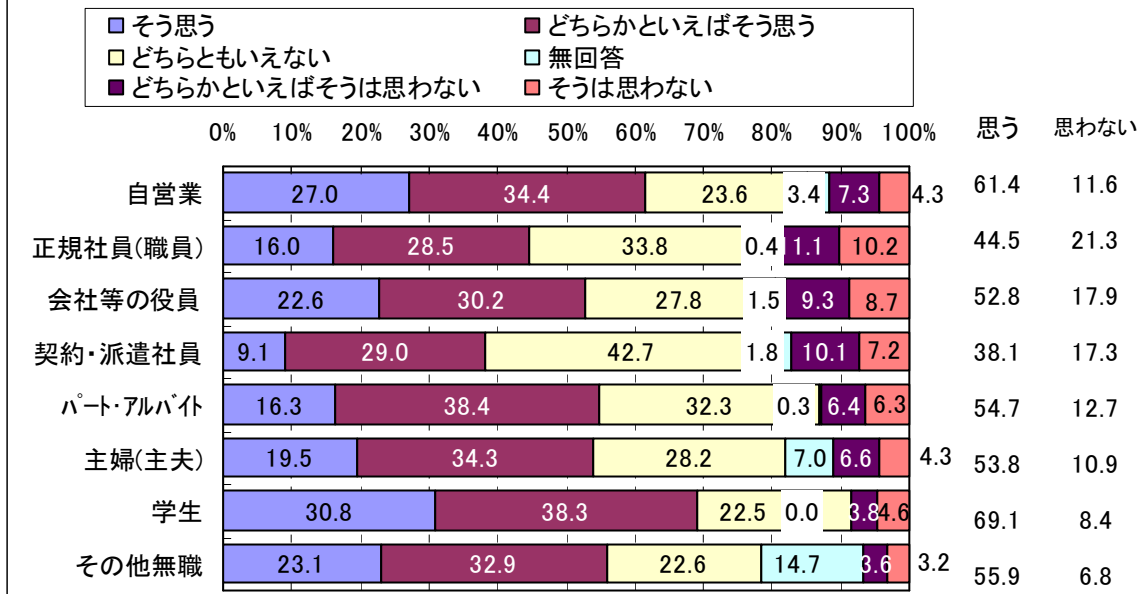
- 性別でみると、『思わない』が、女性(11.7%)より男性(16.8%)でやや多い程度である。
- 性・年代別でみると、男性では、『思う』は、5割近い20代(49.1%)から40代(39.2%)まで減少した後、50代以降は増加に転じ、80歳以上(68.7%)では7割弱に達している。また、『思わない』は、30代(25.9%)と40代(24.4%)で4分の1前後あるが、他の年代では概ね1割台である。
- 一方、女性では、『思う』は、5割前後の年代が多いなか、60代(60.7%)のみ6割を超えている。また、『思わない』は、70代(3.7%)と80歳以上(6.1%)を除き、いずれの年代も1割台である。



◆職業別

- 職業別で見ると、『思う』は、最も多い学生(69.1%)で7割近く、自営業(61.4%)でも6割台であるが、正規社員(44.5%)では4割台半ば、契約・派遣社員(38.1%)では4割を下回っている。
- 一方、『思わない』は、正規社員(21.3%)で2割を超えている。

◎エ 生きがいを見つけるため【職業別】



(2)現在の職業

問6 あなたのお仕事についてお聞きします。主な仕事は次のどれに該当しますか。1つ選んで番号に○印をつけてください。

- 1 自営業(農林漁業、商工サービス業、自由業などを含む)
- 2 会社・団体などの正規社員(職員)
- 3 会社・団体などの役員
- 4 契約社員や派遣社員など
- 5 短時間勤務のパートタイマーやアルバイト
- 6 NPOなどの非営利組織のスタッフ(役員を含む)
- 7 専業主婦(主夫)
- 8 学生
- 9 無職(専業主婦(主夫)・学生を除く)

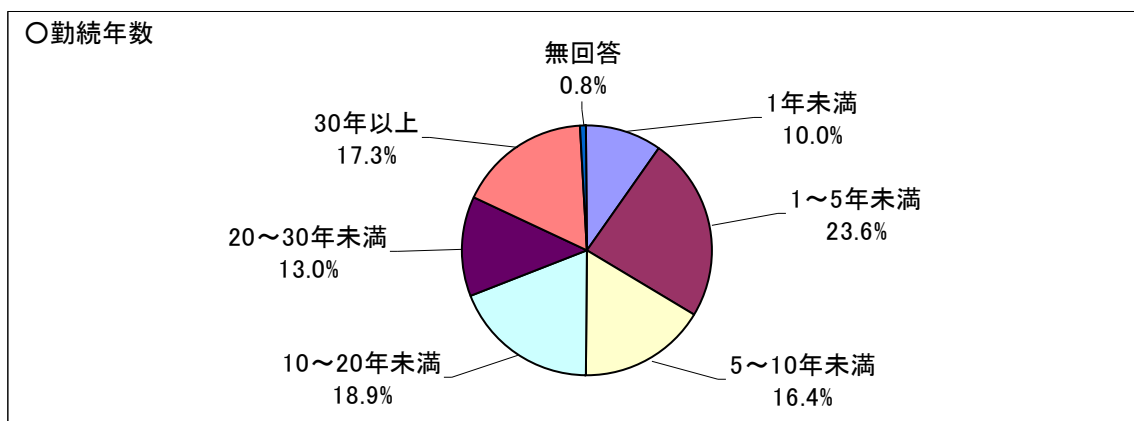
※本設問は、基本属性として取り扱っており、地域別の内訳を、I調査の概要 5回答者のプロフィール(4ページ)に掲載している。

(3)(就業者に)勤続年数

問6-2 問6で1～6を選んだ方(仕事に就かれている方)にお聞きします。現在の仕事を何年ぐらい続けていますか。次の中から1つ選んで番号に○印をつけてください。

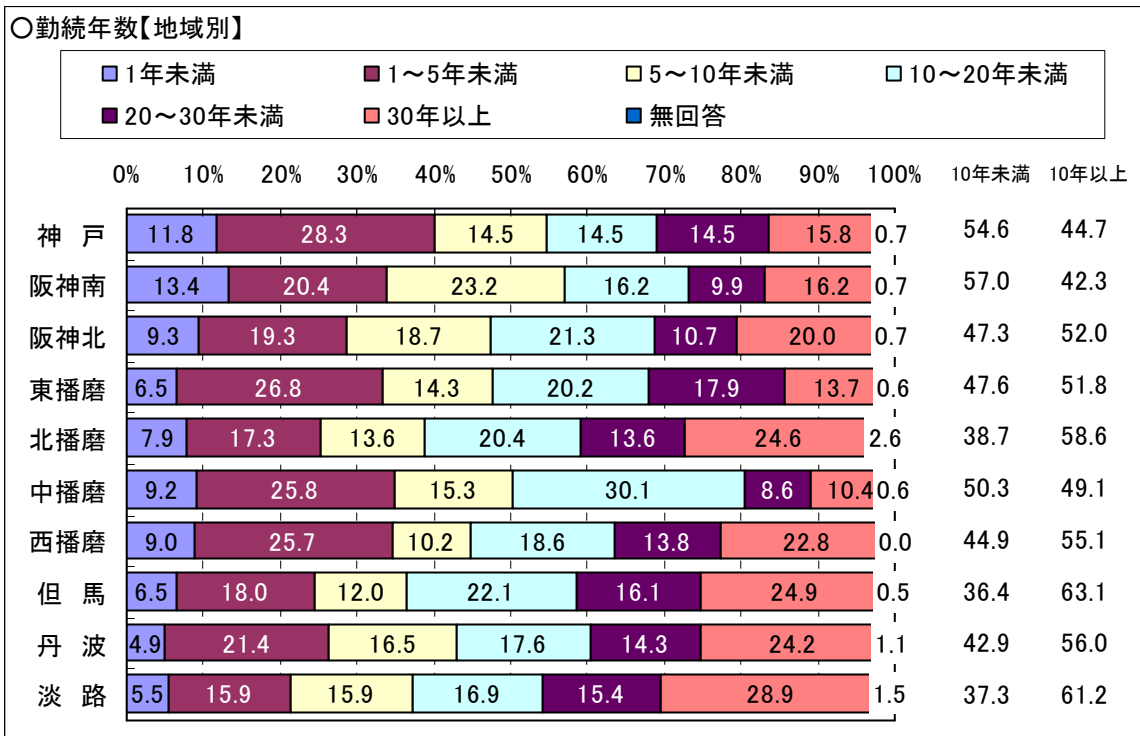
- | | |
|------------|------------|
| 1 1年未満 | 2 1～5年未満 |
| 3 5～10年未満 | 4 10～20年未満 |
| 5 20～30年未満 | 6 30年以上 |

○ 勤続年数は、2割台の1～5年未満(23.6%)を除き、いずれの年数も1割台である。勤続年数10年未満と10年以上で2分される形になっている。



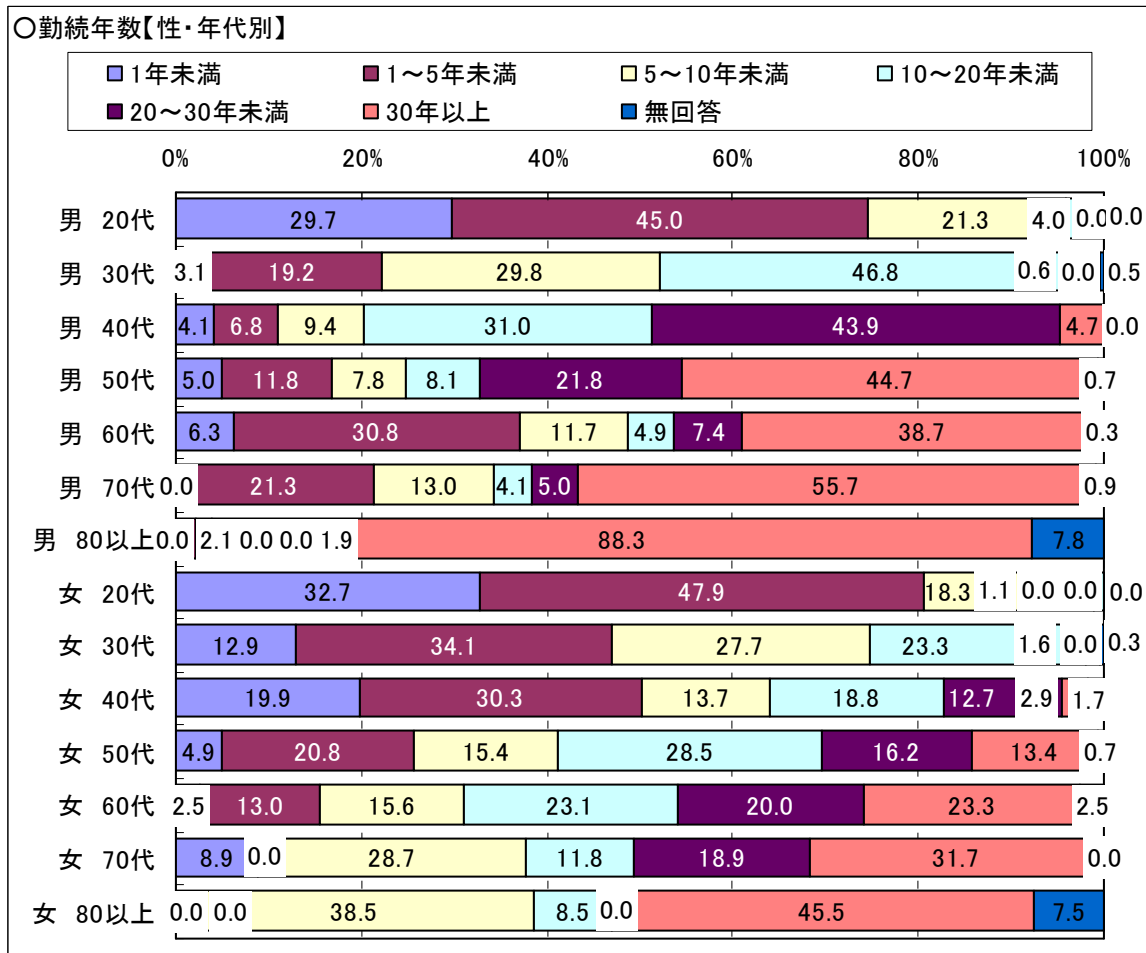
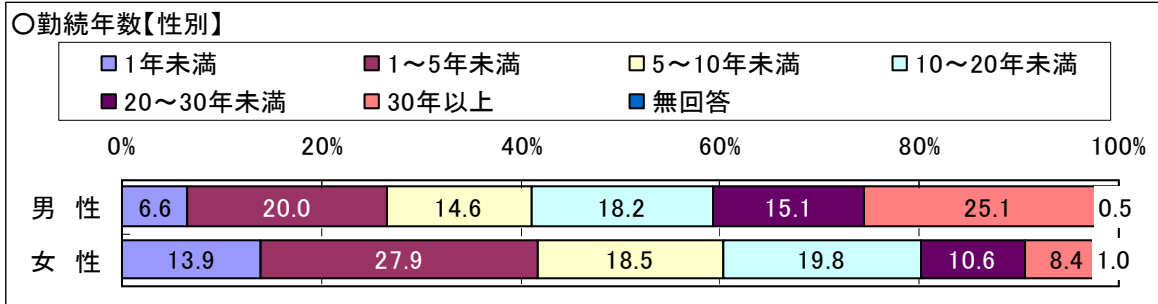
◆地域別

- 地域別でみると、各地域で最も多い回答は、神戸(28.3%)や東播磨(26.8%)、西播磨(25.7%)では1～5年未満、阪神南(23.2%)では5～10年未満、阪神北(21.3%)と中播磨(30.1%)では10～20年、北播磨(24.6%)と但馬(24.9%)、丹波(24.2%)、淡路(28.9%)では30年以上である。
- 10年未満と10年以上でそれぞれ累計すると、神戸(54.6%)、阪神南(57.0%)、中播磨(50.3%)の3地域で10年未満が5割以上あるが、他の地域では10年以上が5割を超えており、但馬(63.1%)、淡路(61.2%)では6割台である。



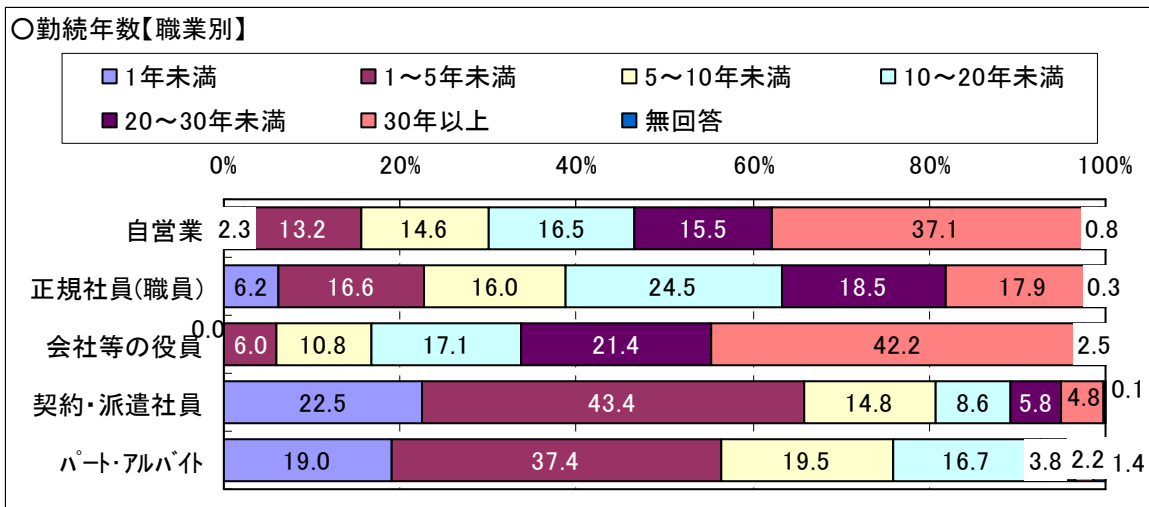
◆性別、性・年代別

- 性別では、20年未満の年数では、いずれも女性が男性を上回っているが、20年以上では男性が女性を上回り、30年以上では3倍近く(男:25.1% 女:8.4%)の開きがある。
- 性・年代別で見ると、男女とも、概ね年代が上がるほどより長い勤続年数が増える傾向にあるが、男性の60代で10年以上の比率に落ち込みがあるのに対し、女性にはそのような落ち込みがない。また、女性では30代(47.0%)、40代(50.2%)でも5年未満が半数前後を占めている。



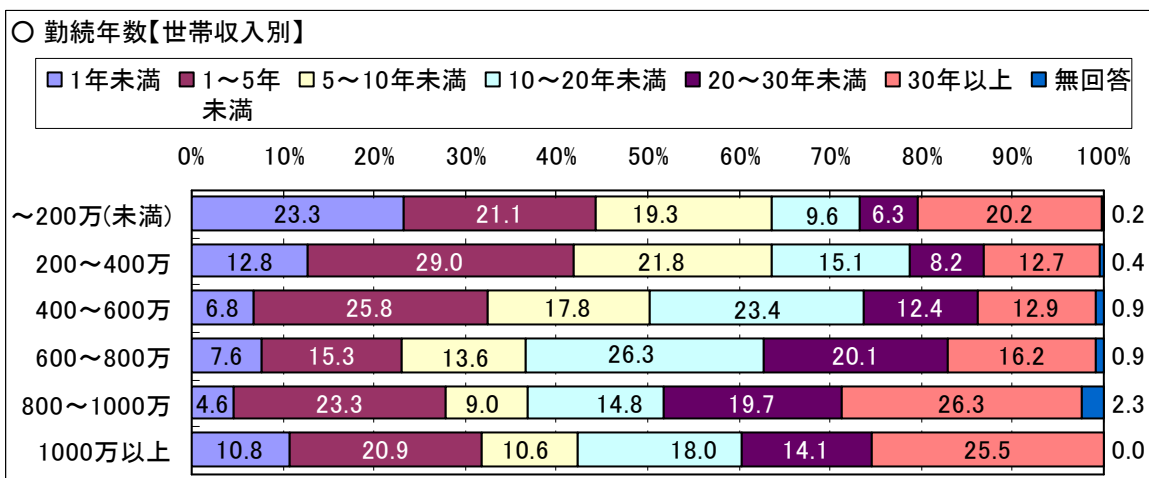
◆職業別

- 職業別で見ると、自営業(69.1%)、正規社員(60.9%)、会社等の役員(80.7%)では勤続10年以上の人が6割を超えるのに対し、契約・派遣社員やパート・アルバイトでは、勤続10年以上(19.2%、22.7%)は2割前後に止まり、勤続5年未満(65.9%、56.4%)が6割前後を占めている。



◆世帯収入別

- 世帯収入別で見ると、収入が600万円未満の世帯では、勤続年数10年未満が5~6割程度を占めるが、600万円以上の世帯では、逆に勤続年数10年以上が6割前後を占めている。

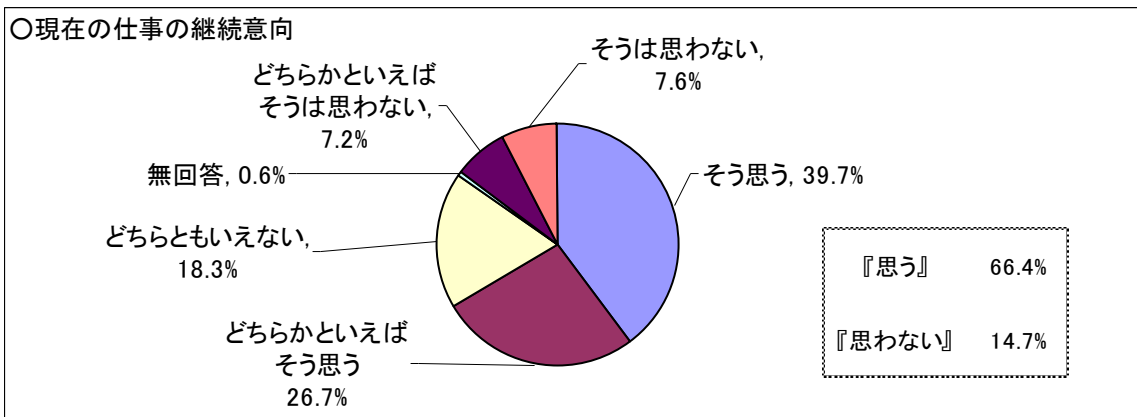


(4) (就業者に) 現在の仕事の継続意向

問 6-3 問6で1～6を選んだ方(仕事に就かれている方)にお聞きします。あなたは現在の仕事を今後もやり続けたいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に○印をつけてください。

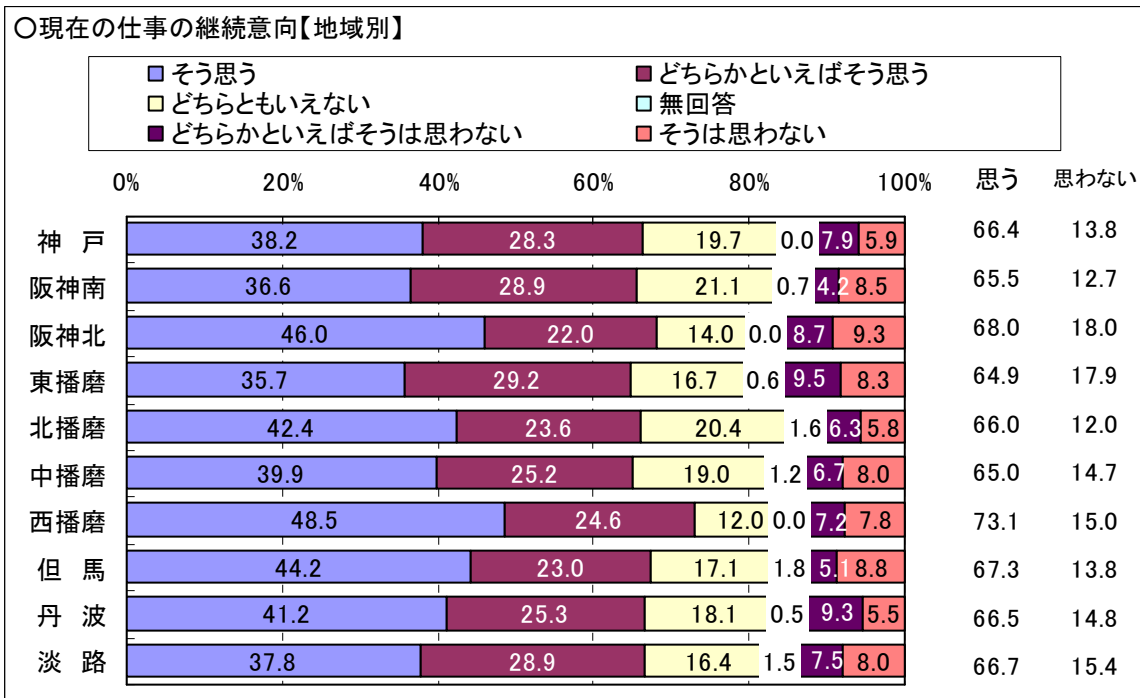
- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえばそうは思わない
- 5 そうは思わない

○ 現在の仕事の継続意向としては、『思う』(66.4%) (「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が6割を超え、『思わない』(14.7%) (「どちらかといえばそうは思わない」と「そうは思わない」の合計)は1割台である。



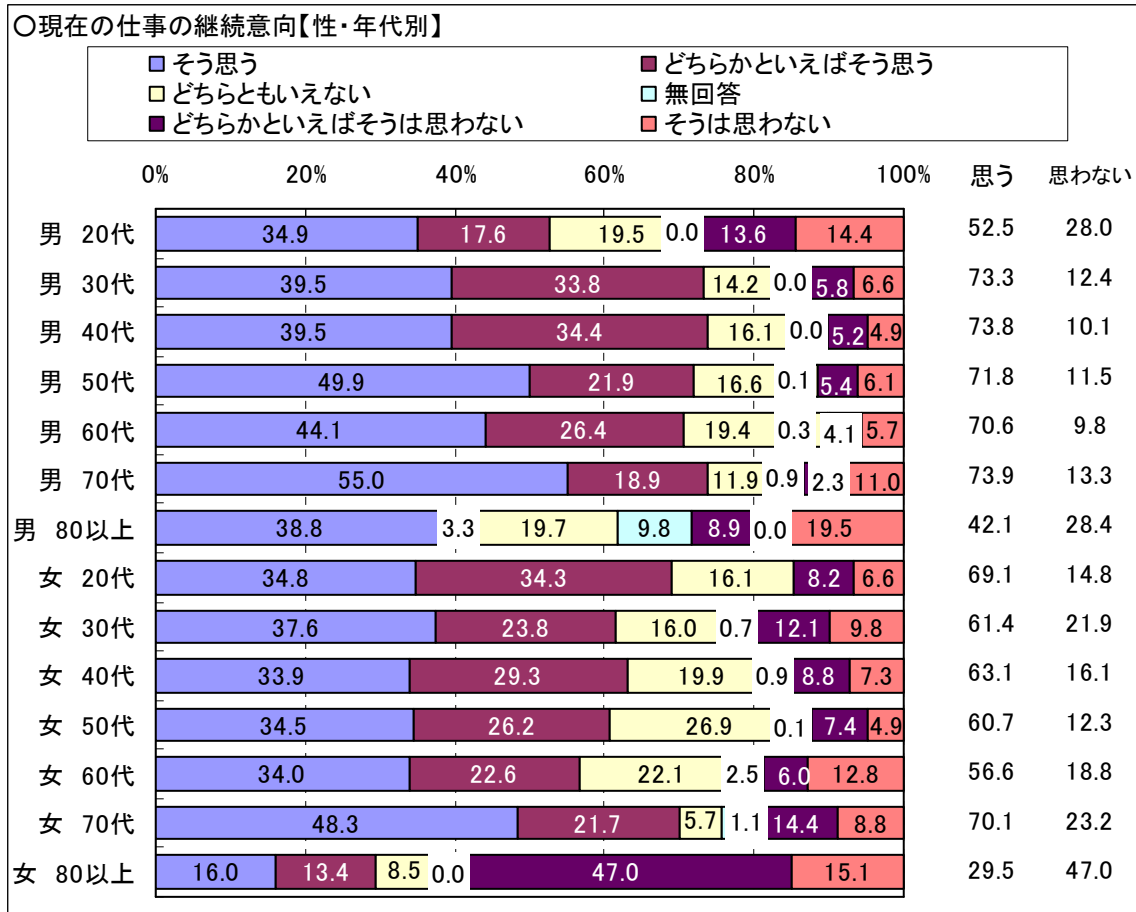
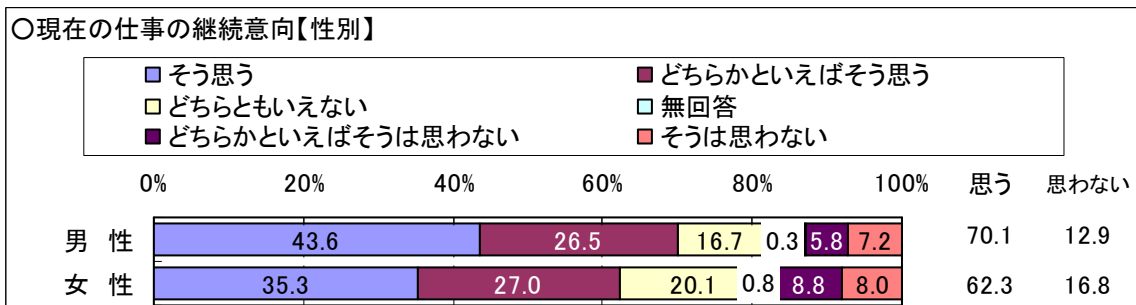
◆地域別

○ 地域別でみると、『思う』はいずれの地域でも6割を超え、最も多い西播磨(73.1%)では7割を超えている。一方、『思わない』は、いずれの地域でも1割台である。



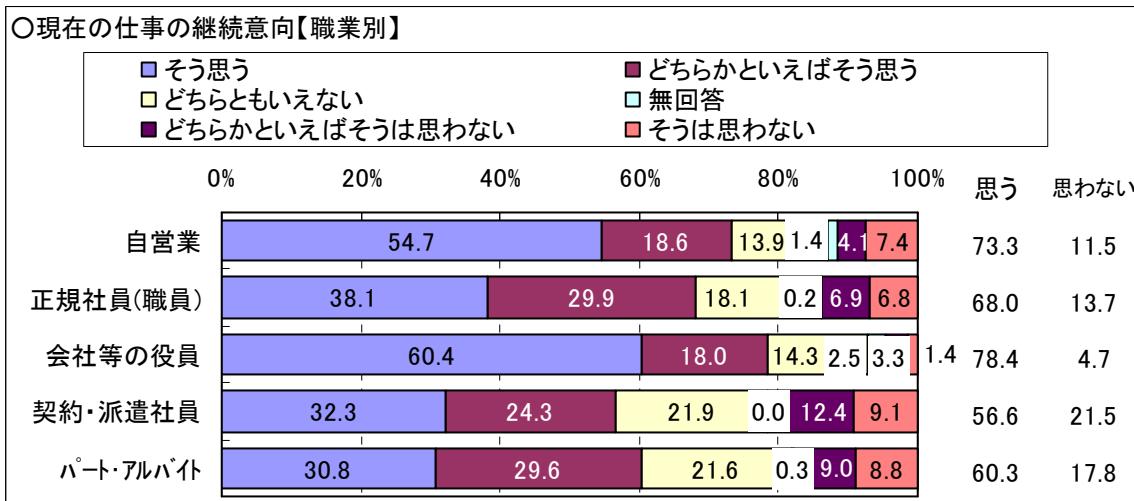
◆性別、性・年代別

- 性別では、『思う』は、女性(62.3%)より男性(70.1%)で多く、『思わない』は、男性(12.9%)より女性(16.8%)でやや多い。
- 性・年代別で見ると、男性では、『思う』は、20代(52.5%)と80歳以上(42.1%)で4～5割程度に止まるが、他の年代では7割を超えている。一方、『思わない』は、20代(28.0%)と80歳以上(28.4%)で3割近いが、他の年代では1割前後に止まっている。
- 女性では、『思う』は、20代(69.1%)では7割近いが、30代～60代にかけて6割前後となり、70代では7割台に戻るが、80歳以上(29.5%)では3割以下となっている。一方、『思わない』は、80歳以上(47.0%)で5割近くになるが、他の年代では概ね2割前後となっている。
- 女性の80歳以上を除き、男女いずれの年代でも『思う』が『思わない』を上回っている。



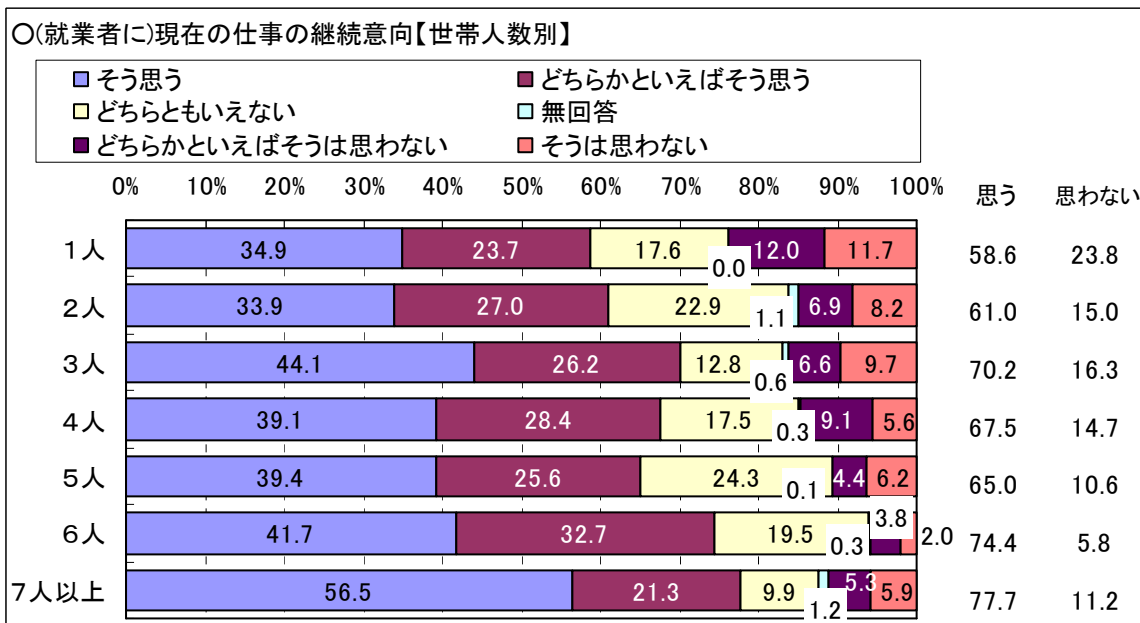
◆職業別

- 職業別でみると、『思う』は、契約・派遣社員(56.6%)を除き、いずれの職業でも6割を超え、会社等の役員(78.4%)と自営業(73.3%)では7割を超えている。
- 『思わない』は、契約・派遣社員(21.5%)とパート・アルバイト(17.8%)で2割前後あるが、正規社員(13.7%)と自営業(11.5%)は1割前半で、会社等の役員(4.7%)では1割に満たない。



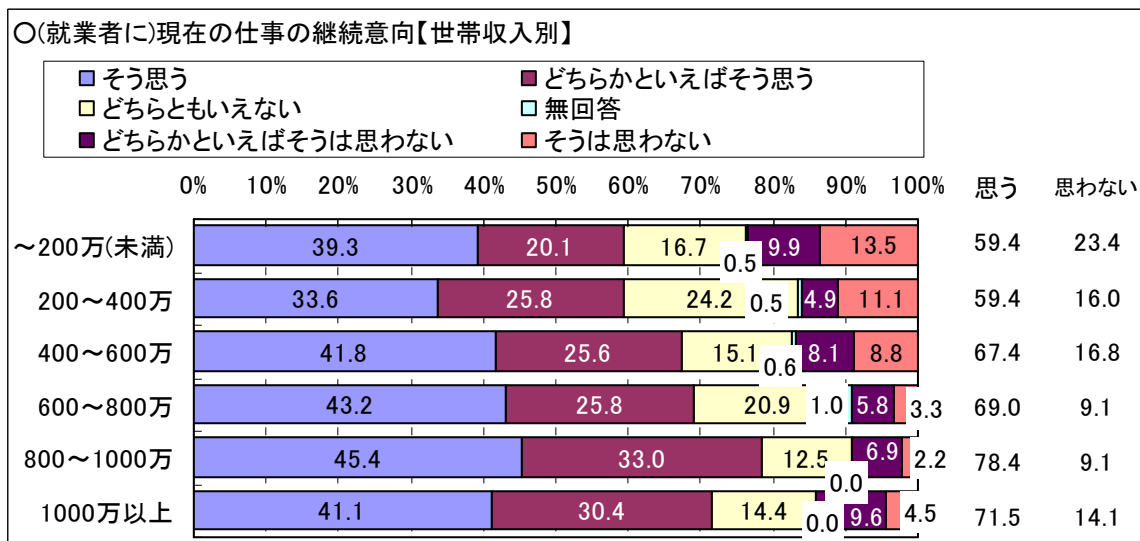
◆世帯人数別

- 世帯人数別でみると、『思う』は、世帯人数が1人(58.6%)や2人(61.0%)の世帯では6割前後であるが、6人(74.4%)や7人以上(77.7%)の世帯では7割台半ばとなっている。



◆世帯収入別

- 世帯収入別でみると、『思う』は、収入が 400 万円未満の世帯(ともに 59.4%)では6割を下回るが、収入が多いほど『思う』が増える傾向にあり、800 万円～1000 万円(78.4%)の世帯では8割近く、600～800 万円(69.0%)と 1000 万円以上(71.5%)の世帯で約7割である。



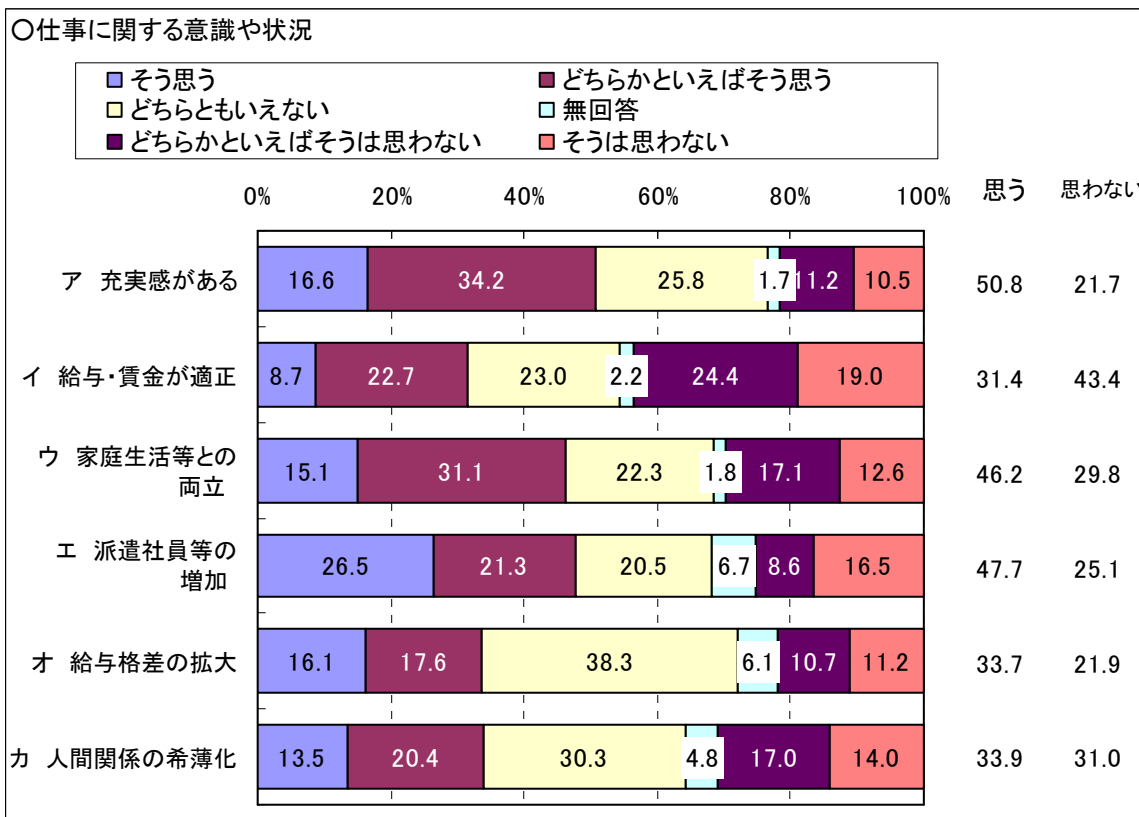
(5) (就業者に)仕事に関する意識や状況

問6-4 問6で1～6を選んだ方(仕事に就かれている方)にあなたの仕事や職場の状況についてお聞きします。次のア～カの項目それぞれについて、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に○印をつけてください。

- ア 今の仕事に充実感を感じている
- イ 今の給与・賃金は自分の仕事の成果に対して適正な金額である
- ウ 仕事と家庭生活や趣味・余暇活動の時間をうまく調整して働いている
- エ 職場における派遣社員やパート、アルバイトの割合が増えている
- オ 職場内での給与・賃金の格差が拡大している
- カ 職場での人間関係は希薄になっている

- 1 : そう思う 2 : どちらかといえばそう思う 3 : どちらともいえない
 4 : どちらかといえばそうは思わない 5 : そうは思わない

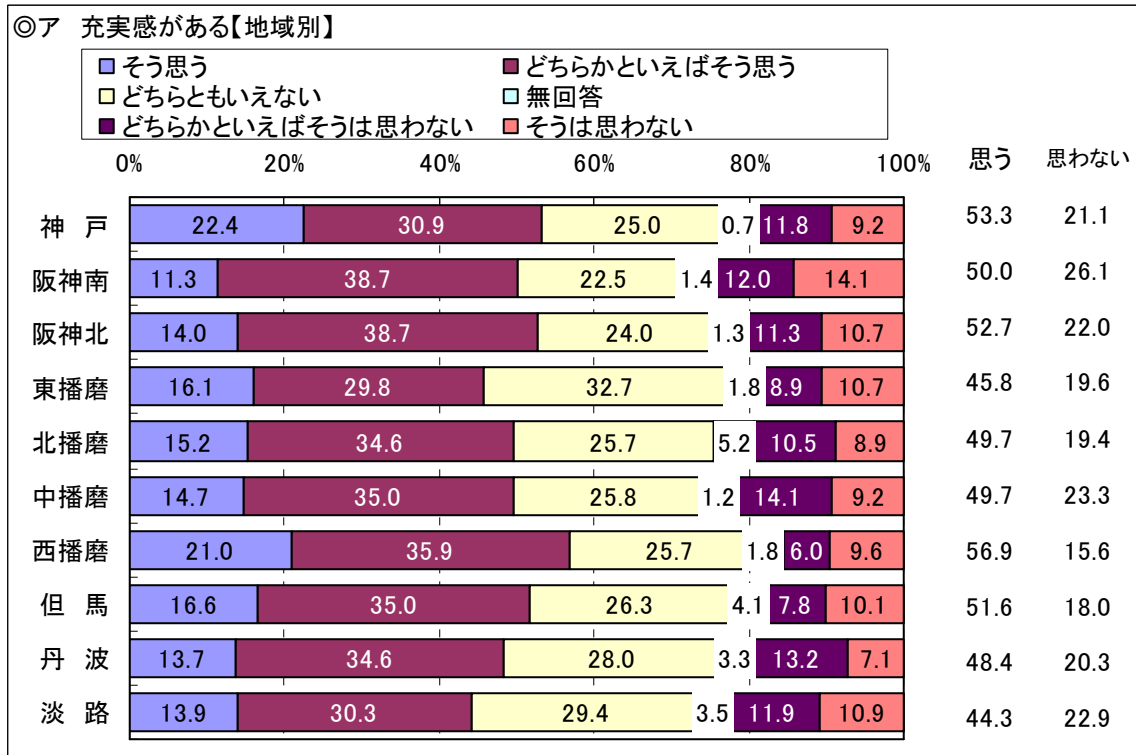
- 仕事に関する意識や状況について、『思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は、「ア 充実感がある」(50.8%)で5割を越え、「エ 派遣社員等の増加」(47.7%)と「ウ 家庭生活との両立」(46.2%)では4割台後半であるが、他の3項目では3割台に止まる。
- 一方、『思わない』(「どちらかといえばそうは思わない」と「そうは思わない」の合計)は、「イ 給与・賃金が適正」(43.4%)で4割を超え、同項目でのみ『思う』を上回っている。また、他の項目では、3割強ある「カ 人間関係の希薄化」(31.0%)を除き、2割台となっている。
- なお、「どちらともいえない」が、「オ 給与格差の拡大」(38.3%)と「カ 人間関係の希薄化」(30.3%)では3割を超えている。



◎ア 今の仕事に充実感がある

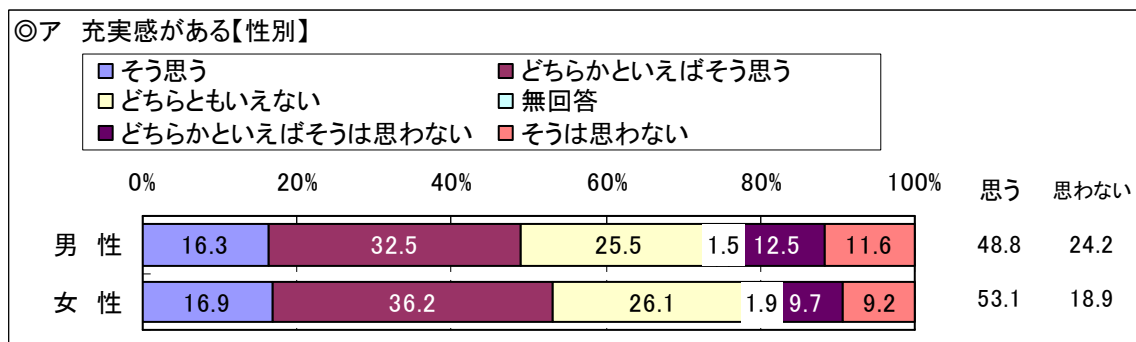
◆地域別

○ 地域別でみると、いずれの地域でも、概ね『思う』は5割前後、『思わない』は2割前後となっている。

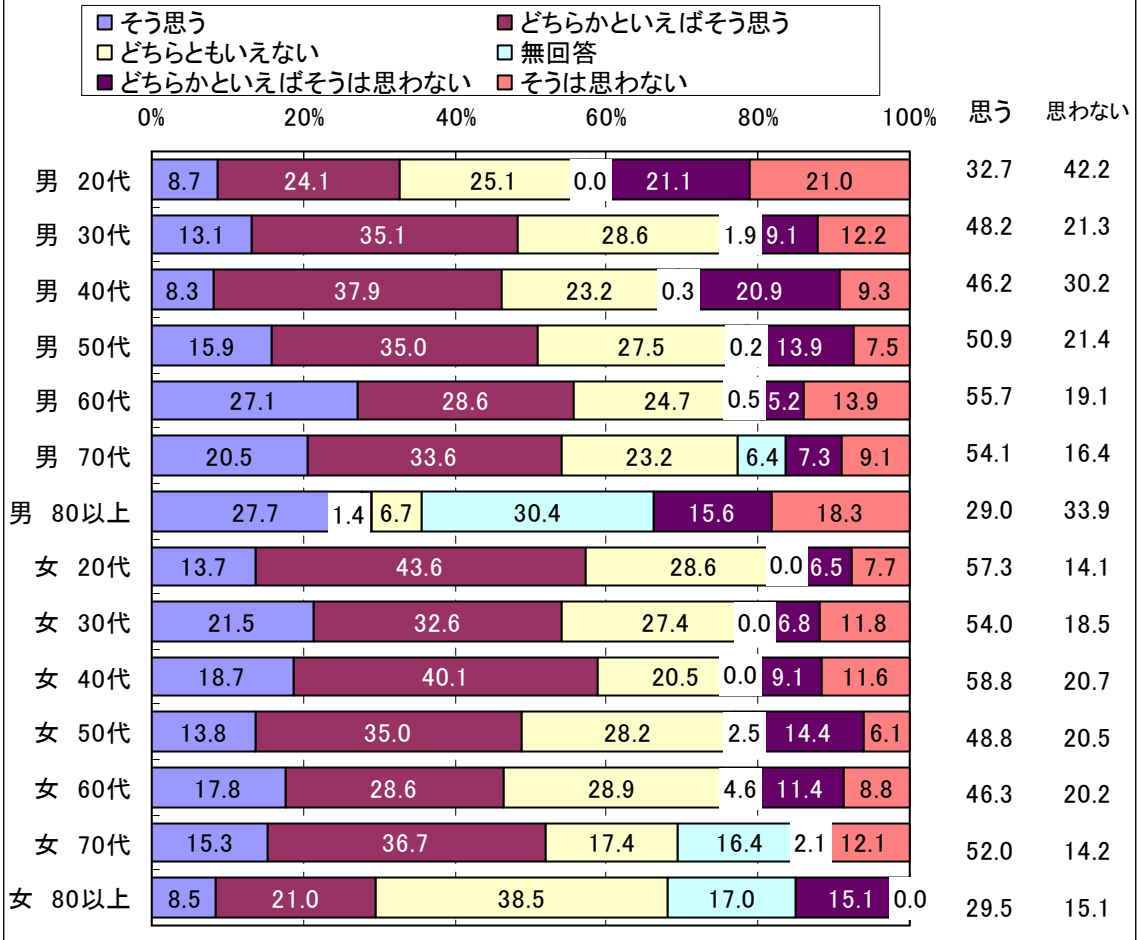


◆性別、性・年代別

- 性別では、『思う』は男性(48.8%)より女性(53.1%)でやや多く、『思わない』は女性(18.9%)より男性(24.2%)でやや多くなっている。
- 性・年代別でみると、男性では、『思う』は、30代~70代で5割前後あるが、20代(32.7%)と80歳以上(29.0%)では3割前後に止まる。一方、『思わない』は、20代(42.2%)で4割を超え、80歳以上(33.9%)と40代(30.2%)で3割を超えるが、他の年代では2割前後となっている。
- 女性では、『思う』は、80歳以上(29.5%)で約3割と少ないが、50代(48.8%)と60代(46.3%)では4割台後半で、その他の年代では5割を超えている。一方、『思わない』は、いずれの年代でも2割前後である。
- なお、男性の20代と80歳以上を除き、男女いずれの年代も『思う』が『思わない』を上回っている。



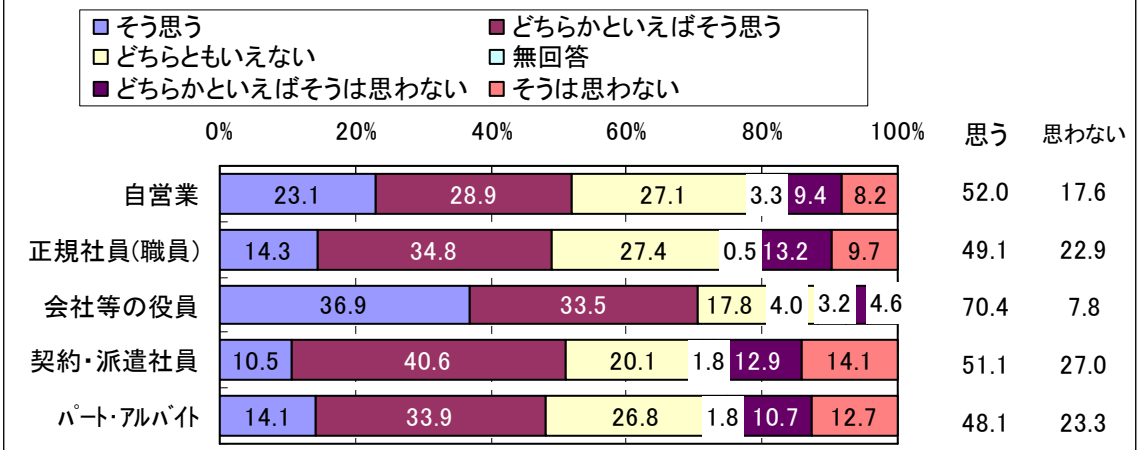
◎ア 充実感がある【性・年代別】



◆職業別

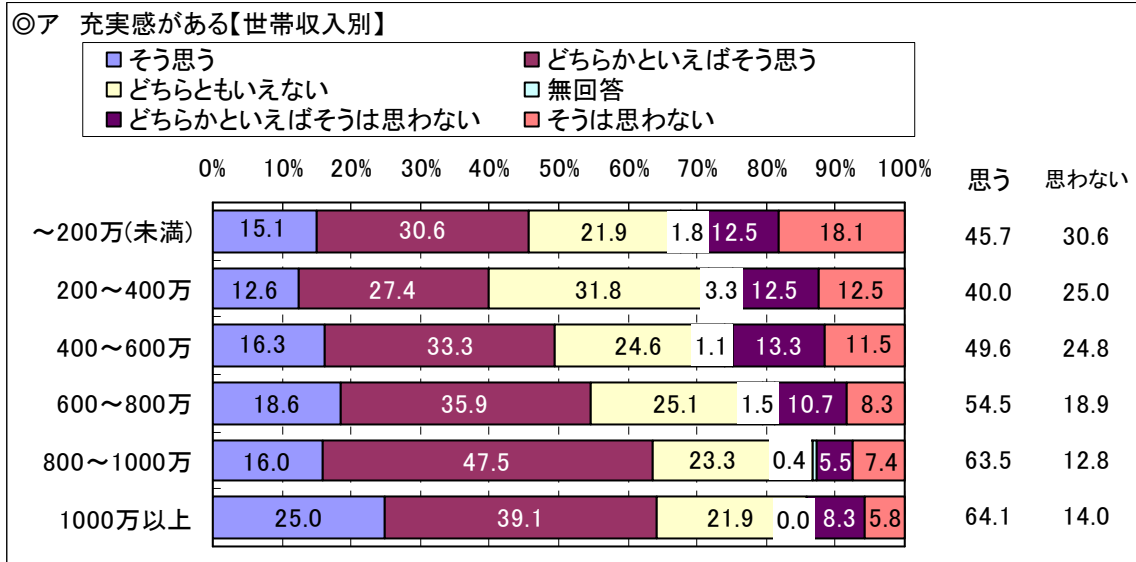
- 職業別では、『思う』は、会社等の役員(70.4%)では7割あるが、他の職業では5割前後となっている。
- 一方、『思わない』は、会社等の役員(7.8%)と自営業(17.6%)で少なく、他の職業では2割台である。

◎ア 充実感がある【職業別】



◆世帯収入別

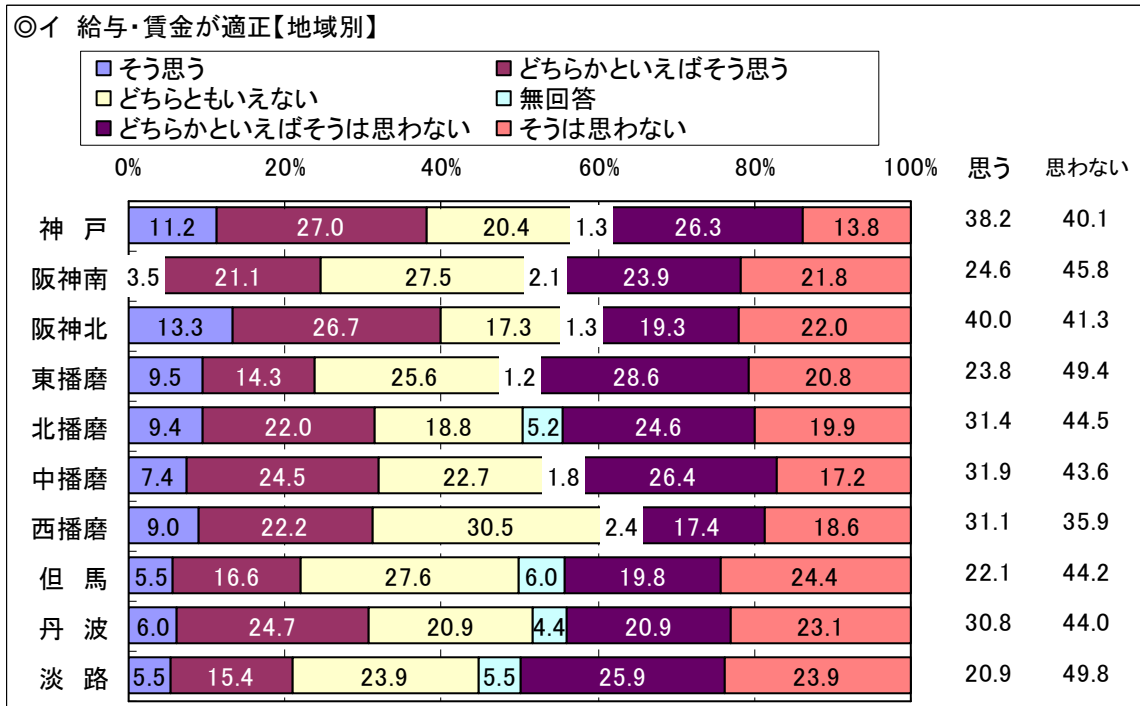
- 世帯収入が多くなるほど『思う』が増えて『思わない』が減る傾向にあり、収入が600万円未満の世帯では、『思う』(40.0%~49.6%)は5割を下回り、『思わない』(24.8%~30.6%)が2割台半ばから3割あるが、600万円以上の世帯では『思う』(54.5%~64.1%)が5割を超え、『思わない』(12.8%~18.9%)も1割台になっている。



◎イ 給与・賃金が適正

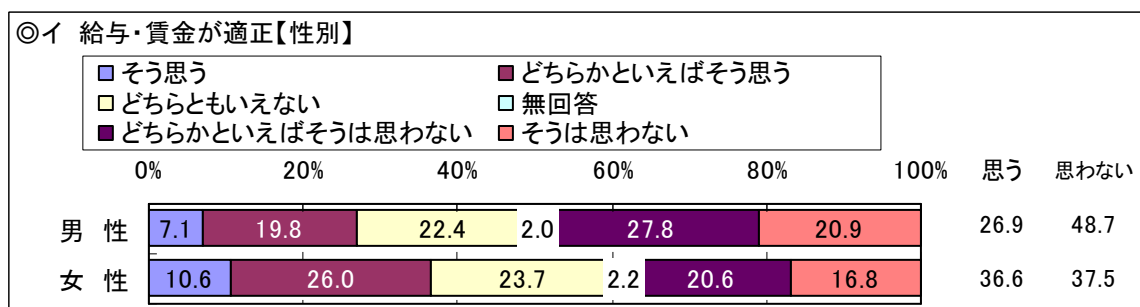
◆地域別

- 地域別では、『思う』は、阪神北(40.0%)と神戸(38.2%)で4割前後あるが、阪神南(24.6%)や東播磨(23.8%)、但馬(22.1%)、淡路(20.9%)では2割台前半で、残る4地域(30.8%~31.9%)でも3割程度である。
- 一方、『思わない』は、3割台の西播磨(35.9%)を除き、他の地域(40.1%~49.8%)では4割台であり、いずれの地域でも『思わない』が『思う』を上回っている。

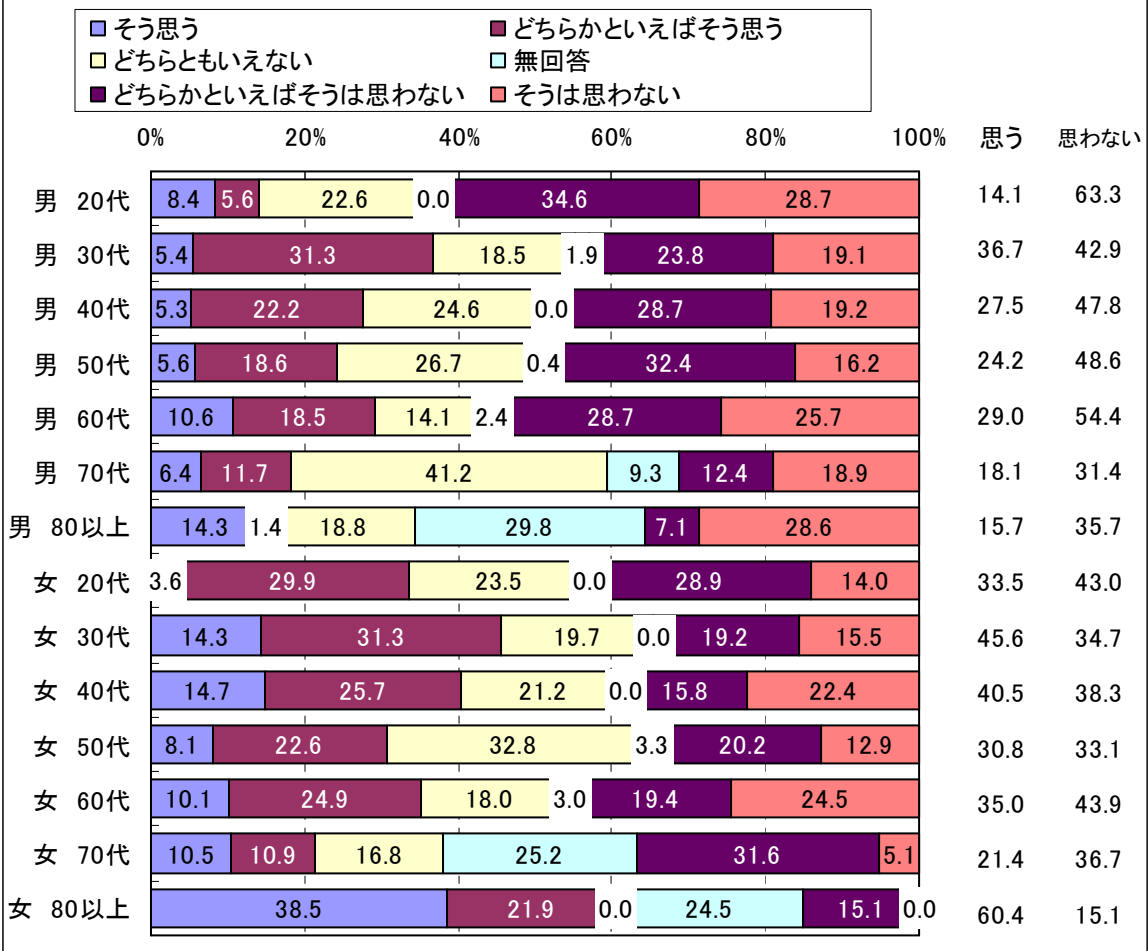


◆性別、性・年代別

- 性別では、『思う』は男性(26.9%)より女性(36.6%)で多く、『思わない』は女性(37.5%)より男性(48.7%)が多い。
- 性・年代別でみると、男性では、『思う』は、最も多い30代(36.7%)で3割台半ばになるが、40代~60代(24.2%~29.0%)では2割台で、20代(14.1%)や70代以降(18.1%、15.7%)では1割台に止まる。一方、『思わない』は、20代(63.3%)で6割、60代(54.4%)で5割を超えており、30代~50代(42.9%~48.6%)で4割台、70代以降(31.4%、35.7%)では3割台である。
- 女性では、『思う』は、80歳以上(60.4%)で6割あるが、他の年代では5割を下回り、30代(45.6%)と40代(40.5%)で4割台、20代(33.5%)、50代(30.8%)、60代(35.0%)で3割台、70代(21.4%)では2割台となっている。一方、『思わない』は、1割台の80歳以上(15.1%)を除き、4割前後(33.1%~43.9%)となっている。
- なお、女性の30代、40代、80歳以上を除き、『思わない』が『思う』を上回っている。



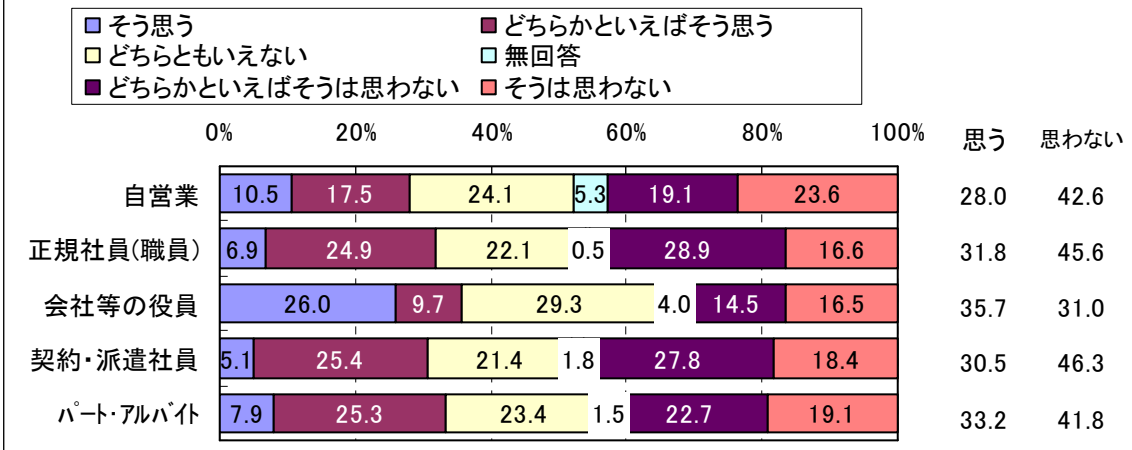
◎イ 給与・賃金が適正【性・年代別】



◆職業別

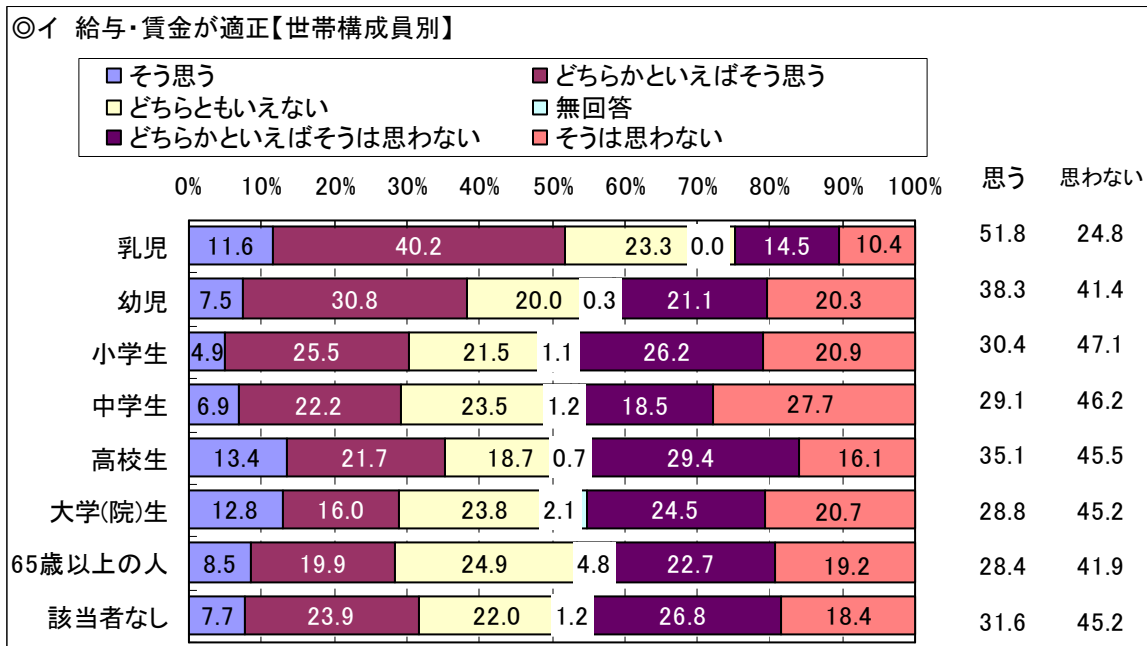
- 職業別でみると、『思う』は、2割台の自営業(28.0%)を除き、3割台である。一方、『思わない』は、3割台の会社等の役員(31.0%)を除き、4割台となっている。
- 会社等の役員のみ、『思う』(35.7%)が『思わない』(31.0%)を上回っている。

◎イ 給与・賃金が適正【職業別】



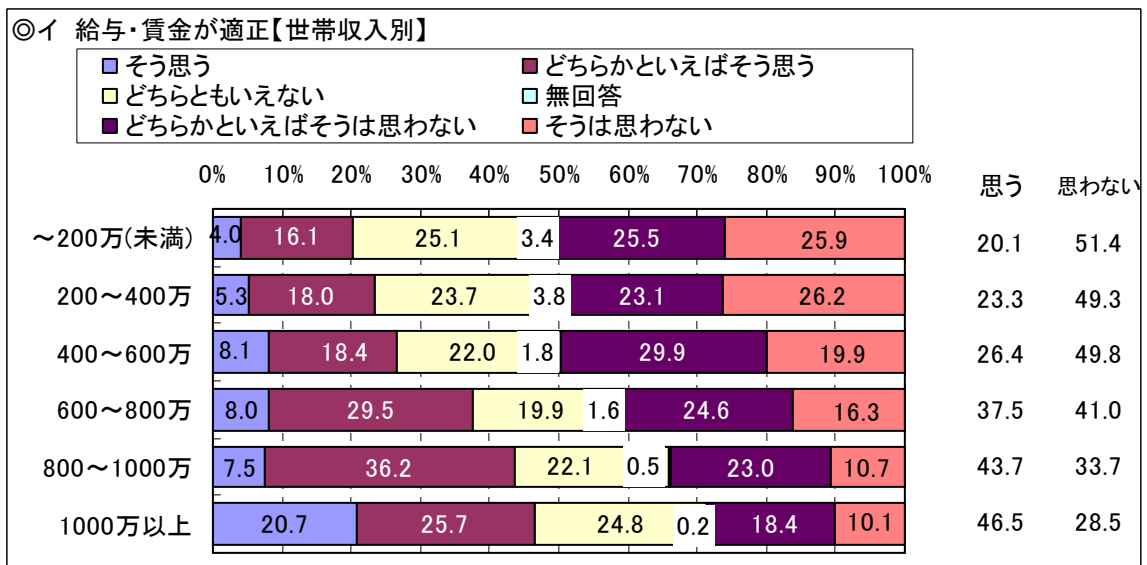
◆世帯構成員別

- 世帯構成員別でみると、乳児のいる世帯では、『思う』(51.8%)が5割を超え、『思わない』(24.8%)は4分の1に止まっているが、これ以外の世帯では、『思う』(28.4%~38.3%)が4割を下回り、逆に『思わない』(41.4%~47.1%)が4割を超えており、『思わない』の方が多くなっている。



◆世帯収入別

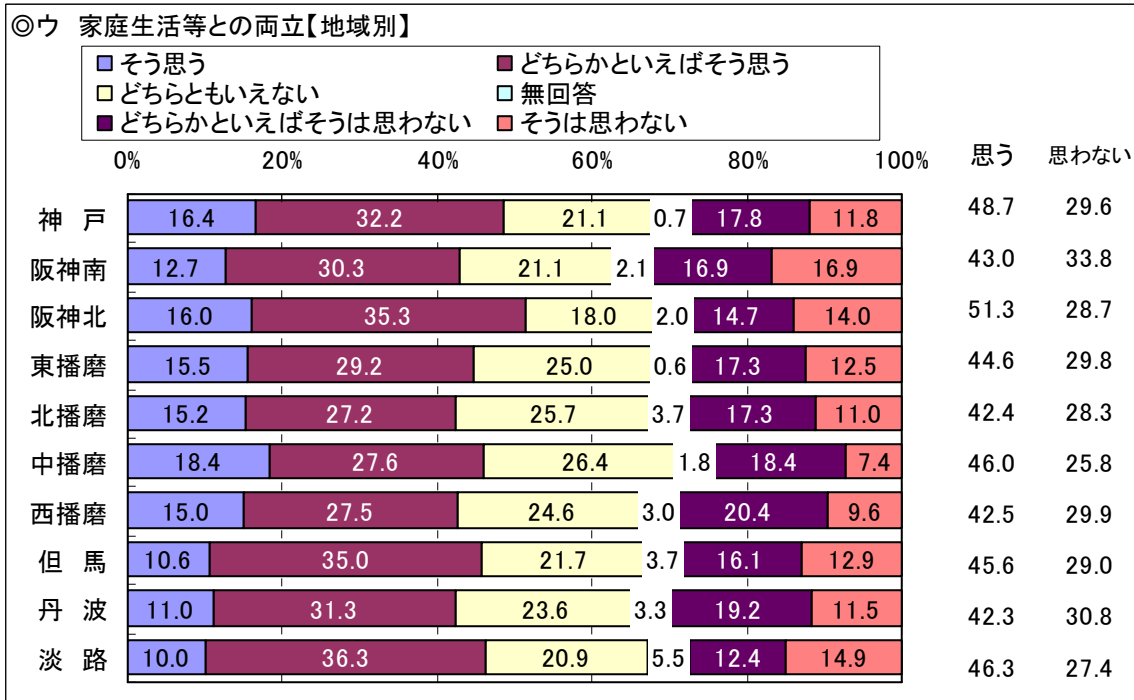
- 収入が200万円未満の世帯では、『思う』(20.1%)は2割に止まり、『思わない』(51.4%)が5割を超えるが、世帯収入が多くなるほど『思う』が増えて『思わない』が減る傾向にあり、800万円以上の世帯では『思う』(43.7%、46.5%)が4割を超え、3割前後の『思わない』(33.7%、28.5%)を上回っている。



◎ウ 家庭生活等との両立

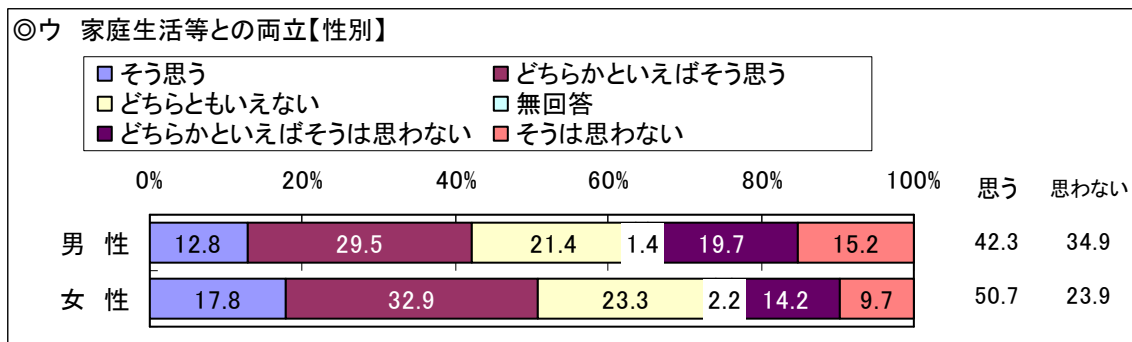
◆地域別

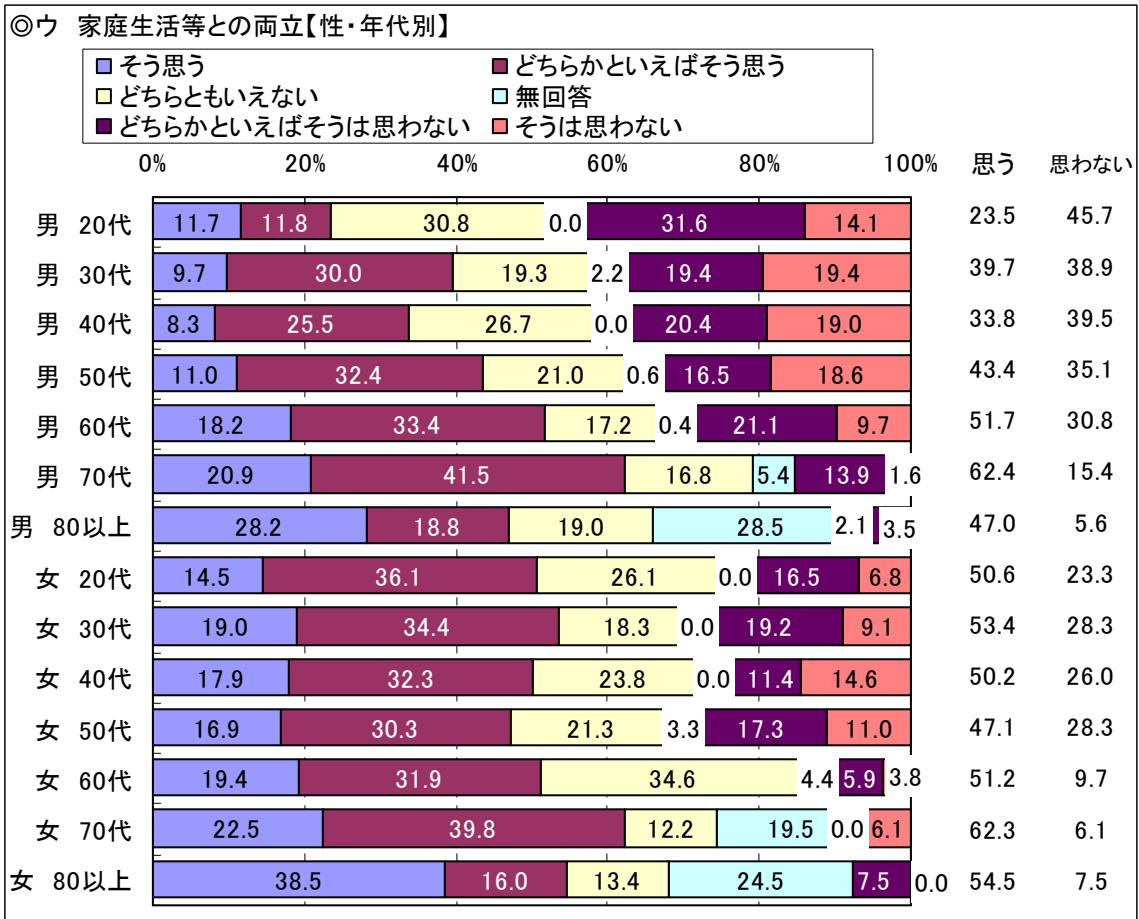
- 地域別でみると、『思う』は、5割を超える阪神北(51.3%)を除き、いずれの地域でも4割台(42.3%～48.7%)となっている。一方、『思わない』は、いずれの地域でも3割前後(25.8%～33.8%)である。



◆性別、性・年代別

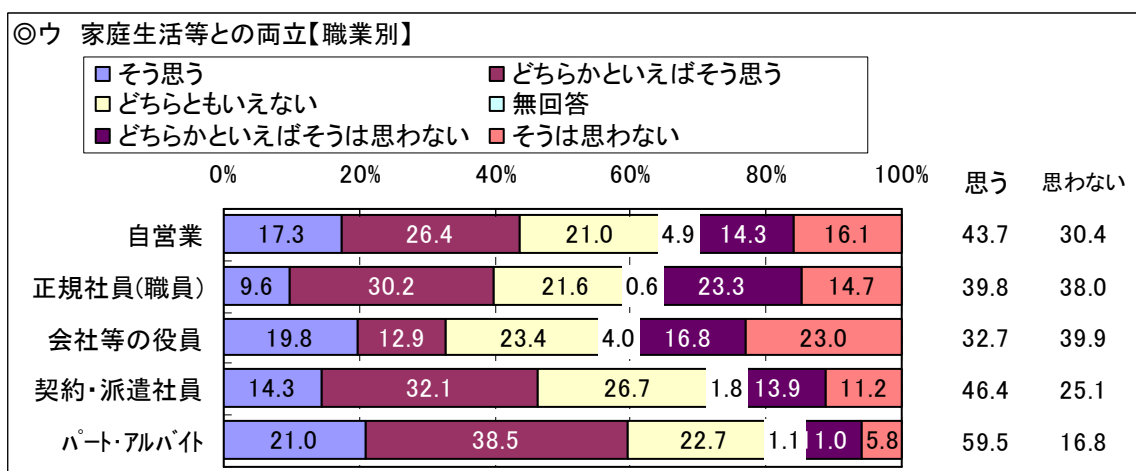
- 性別では、『思う』は男性(42.3%)より女性(50.7%)で多く、『思わない』は女性(23.9%)より男性(34.9%)が多い。
- 性・年代別でみると、男性では、『思う』は、2割台の20代(23.5%)から6割台の70代(62.4%)にかけて、年代が上がるほど増える傾向にあるが、80歳以上(47.0%)では減少に転じている。一方、『思わない』は、20代(45.7%)では4割台半ばであるが、年代が上がるほど減少する傾向にあり、70代(15.4%)で2割を、80歳以上(5.6%)では1割を下回っており、20代と40代では『思わない』が『思う』を上回っている。
- 女性では、『思う』は、70代(62.3%)で6割を越えているが、他の年代では5割前後(47.1%～54.5%)となっている。一方、『思わない』は、50代までは2割台(23.3%～28.3%)であるが、60代以降では1割を下回り(6.1%～9.7%)、いずれの年代でも『思う』が『思わない』を上回っている。





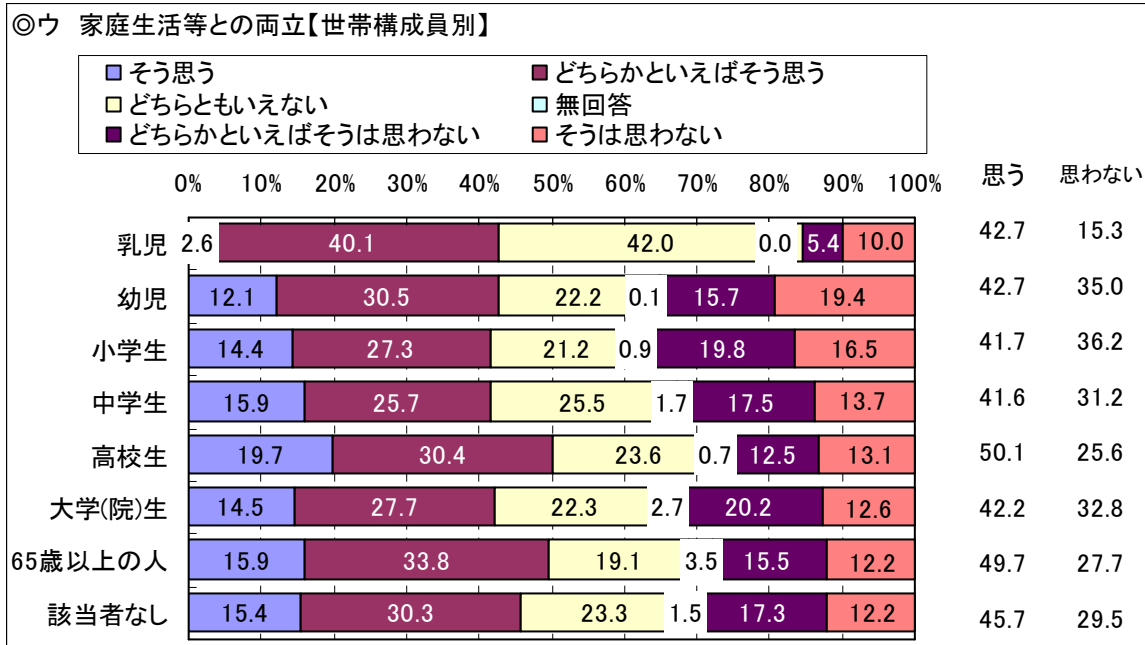
◆職業別

- 職業別では、『思う』は、パート・アルバイト(59.5%)で約6割あるが、他の職業では5割を下回り、会社等の役員(32.7%)では3割強に止まる。一方、『思わない』は、会社等の役員(39.9%)と正規職員(38.0%)で4割近く、自営業(30.4%)でも3割あるが、契約・派遣社員(25.1%)で2割台半ば、パート・アルバイト(16.8%)では1割台半ばに止まっている。
- 会社等の役員では『思わない』が『思う』を上回っている



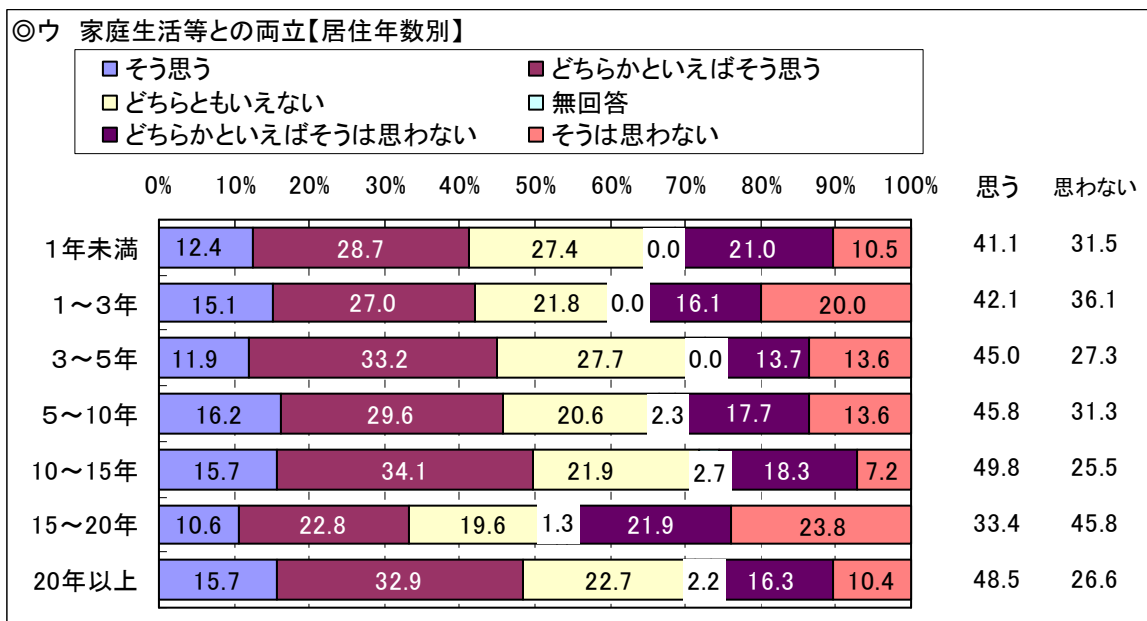
◆世帯構成員別

- 世帯構成員別でみると、『思う』は、高校生(50.1%)や65歳以上の人(49.7%)のいる世帯で5割程度あり、他の世帯では概ね4割前半(41.6%~45.7%)である。一方、『思わない』は、3割前後(25.6%~36.2%)の世帯が多いなか、乳児のいる世帯(15.3%)では2割を下回っており、同世帯では「どちらともいえない」(42.0%)が4割を超えている。



◆居住年数別

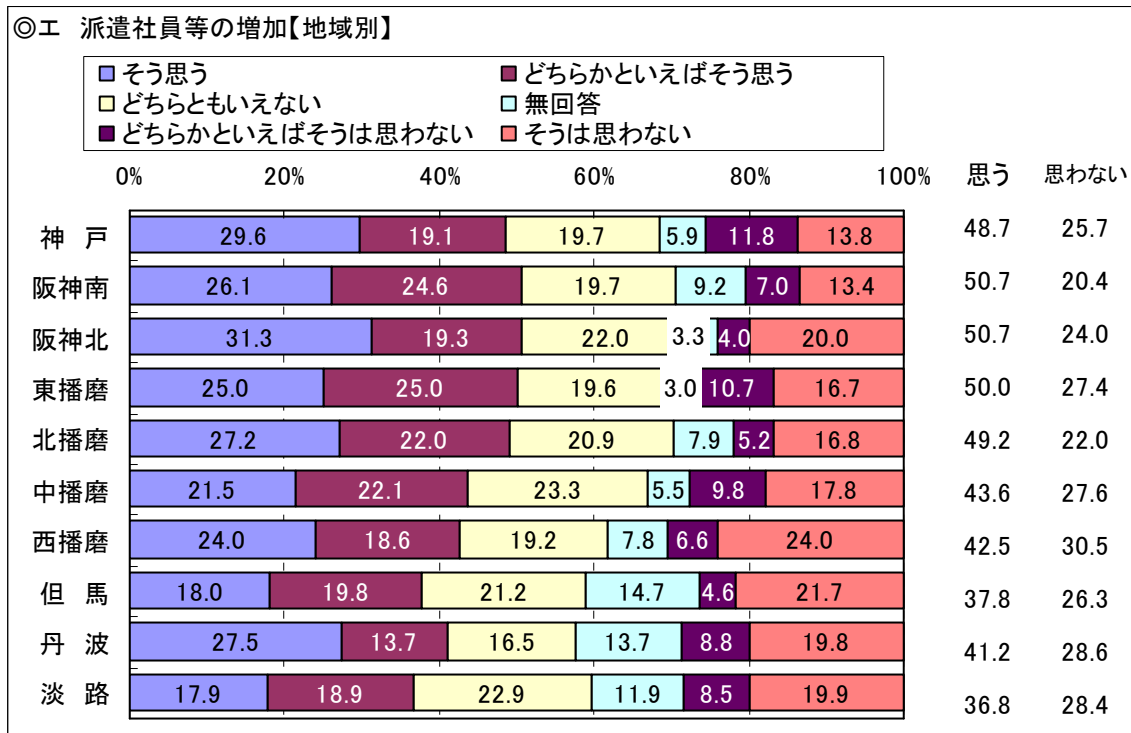
- 居住年数別では、いずれの年数でも、概ね、4割台の『思う』が、3割前後の『思わない』を上回っているが、15~20年では、4割台の『思わない』(45.8%)が、3割台の『思う』(33.4%)を上回っている。



◎エ 派遣社員等の増加

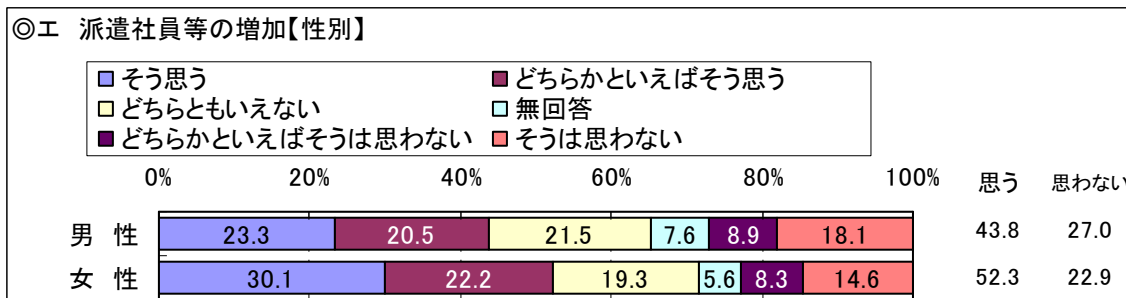
◆地域別

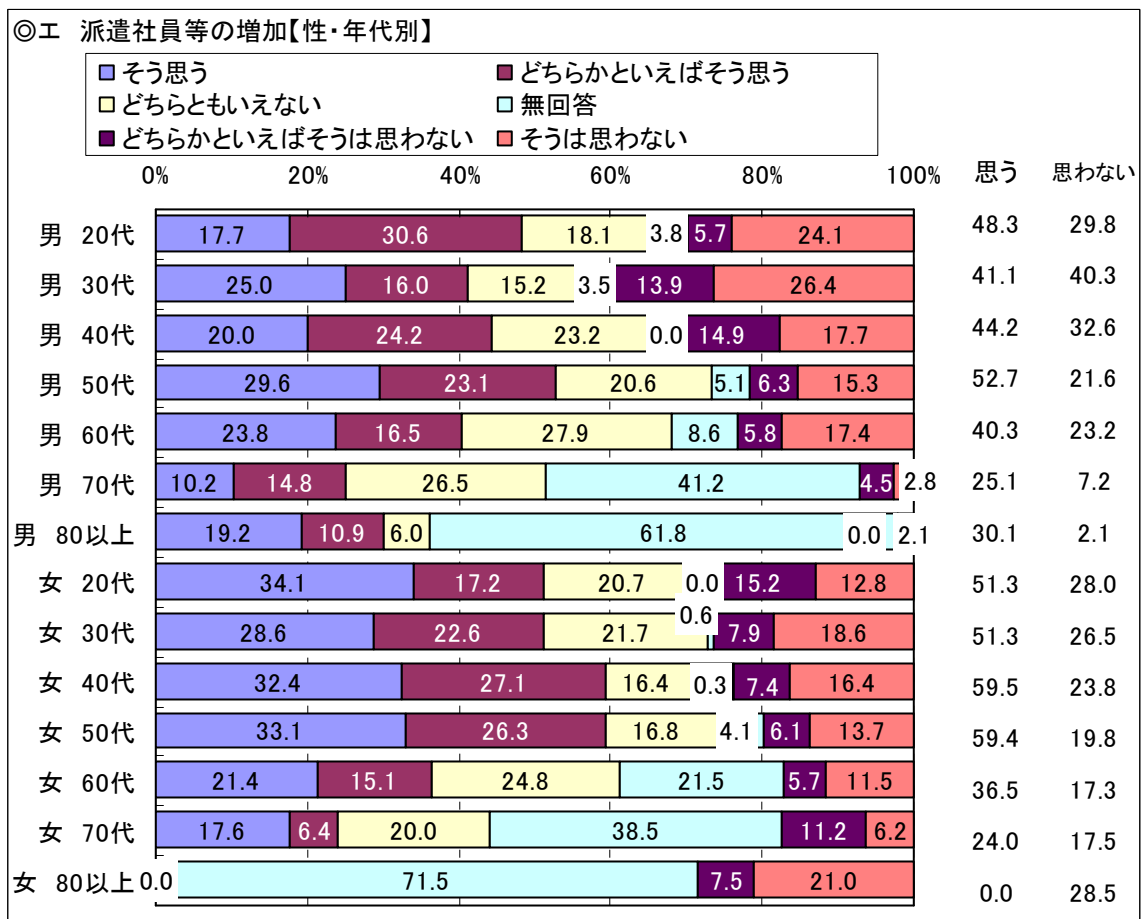
- 地域別でみると、『思う』は、神戸(48.7%)、阪神(南・北とも 50.7%)、東播磨(50.0%)、北播磨(49.2%)の5地域で5割前後あり、残る5地域のうち但馬(37.8%)と淡路(36.8%)で4割を下回っている。
- 一方、『思わない』は、3割台の西播磨(30.5%)を除き、いずれの地域も2割台(20.4%~28.6%)である。



◆性別、性・年代別

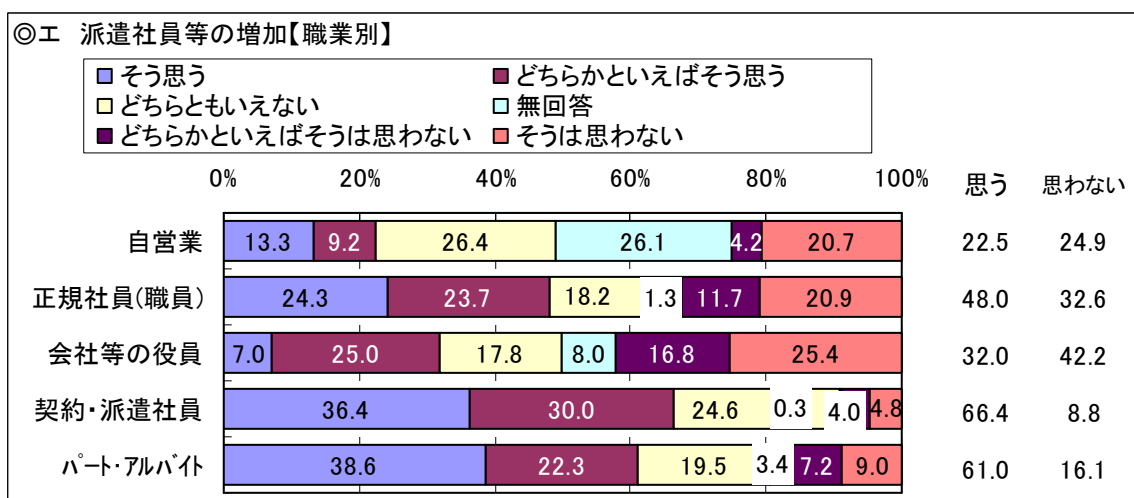
- 性別では、『思う』は男性(43.8%)より女性(52.3%)で多く、『思わない』は女性(22.9%)より男性(27.0%)が多い。
- 性・年代別でみると、男性では、『思う』は、60代以下で4割を超えており、50代(52.7%)では5割を超えているが、70代(25.1%)と80歳以上(30.1%)では3割以下になっている。一方、『思わない』は、30代(40.3%)の4割をピークに、年代が上がるほど減少する傾向にあり、70代以降では1割を下回っている。
- 女性では、『思う』は、50代以下で5割を超え、40代(59.5%)と50代(59.4%)では約6割あるが、60代以降(36.5%、24.0%、0%)では3割以下に減少している。一方、『思わない』は、20代(28.0%)の3割弱をピークに70代(17.5%)にかけて年代が上がるほど減少していくが、80歳以上(28.5%)で3割弱と増加に転じている。
- 女性の80歳以上では、『思わない』が『思う』を上回っているが、男女とも70代以降では、「どちらともいえない」や無回答の割合が高く、6~7割を占めている。





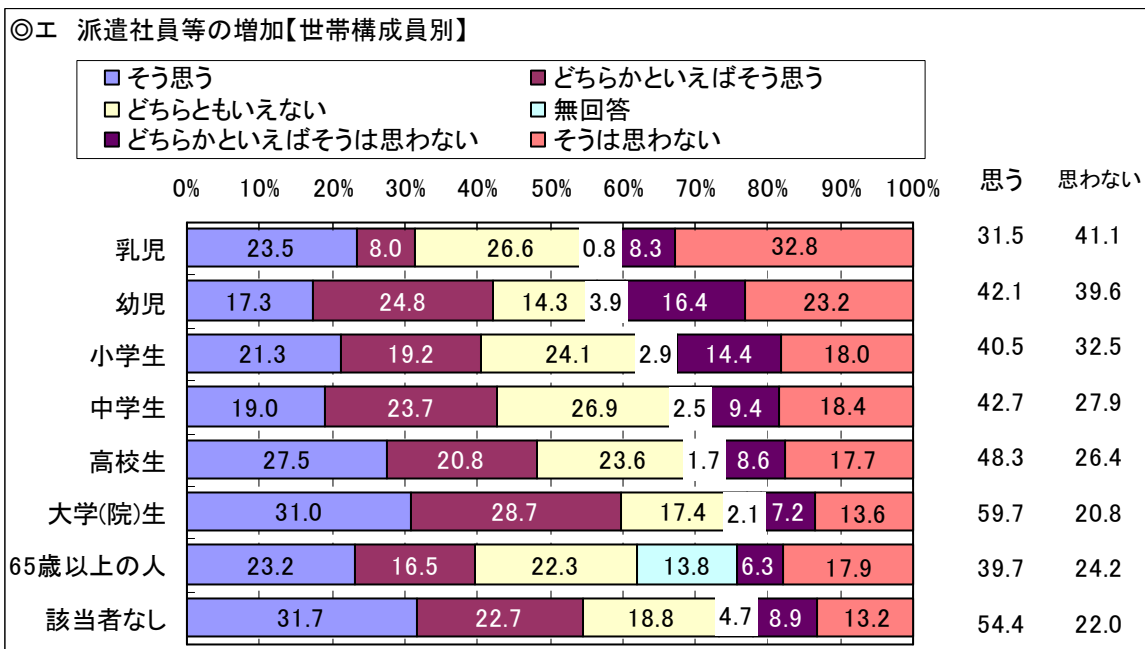
◆職業別

- 職業別でみると、『思う』は、派遣・契約社員(66.4%)とパート・アルバイト(61.0%)で6割を超え、正規社員(48.0%)でも5割近いが、会社等の役員(32.0%)や自営業(22.5%)では3割以下となっている。一方、『思わない』は、会社等の役員(42.2%)で4割、正規職員(32.6%)で3割を超えるが、パート・アルバイト(16.1%)や契約・派遣社員(8.8%)では2割を下回っている。
- 自営業と会社等の役員では、『思わない』が『思う』を上回っている。



◆世帯構成員別

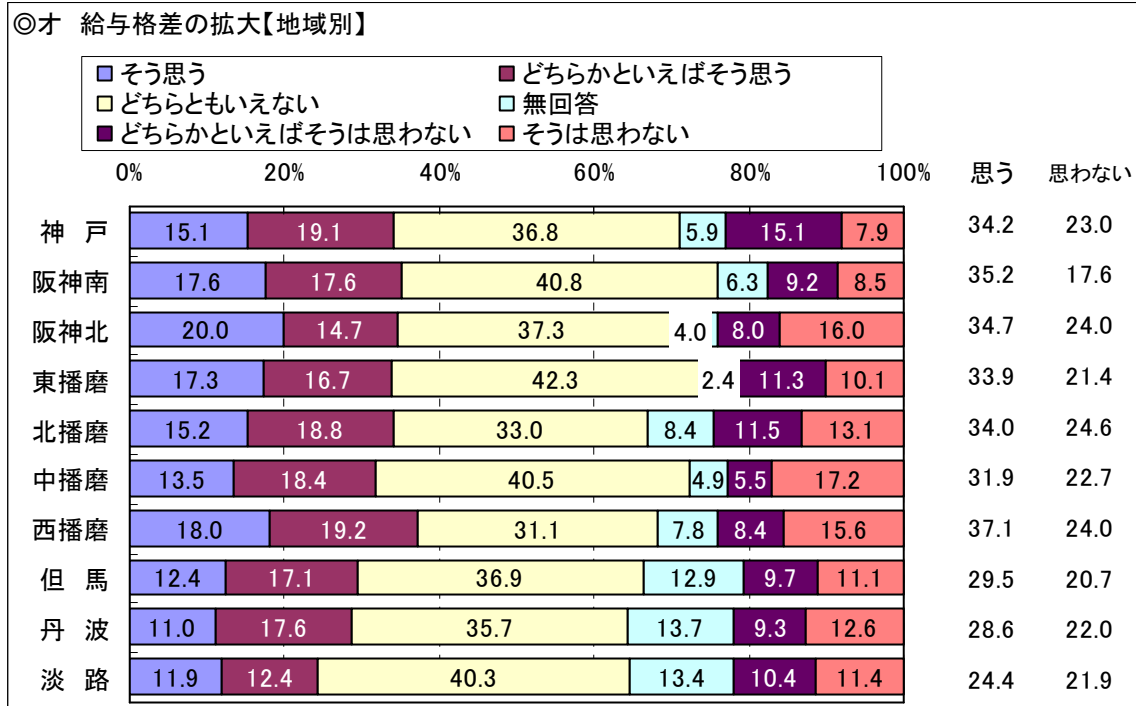
- 世帯構成員別でみると、『思う』は、乳児のいる世帯(31.5%)では3割強に止まるが、幼児から中学生のいる世帯(40.5%~42.7%)で4割を超え、高校生のある世帯(48.3%)で5割弱、大学生のある世帯(59.7%)では約6割と、世帯構成員の年齢が上がるにつれて増加する傾向がある。
- 一方、『思わない』は、乳児(41.4%)や幼児(39.6%)のいる世帯で4割前後、小学生(32.5%)のいる世帯で3割強あり、中学生以降のいる世帯(20.8%~27.9%)では2割台へと、世帯構成員の年齢が上がるにつれて減少する傾向がある。なお、乳児のいる世帯でのみ『思わない』が『思う』を上回っている。



◎オ 給与格差の拡大

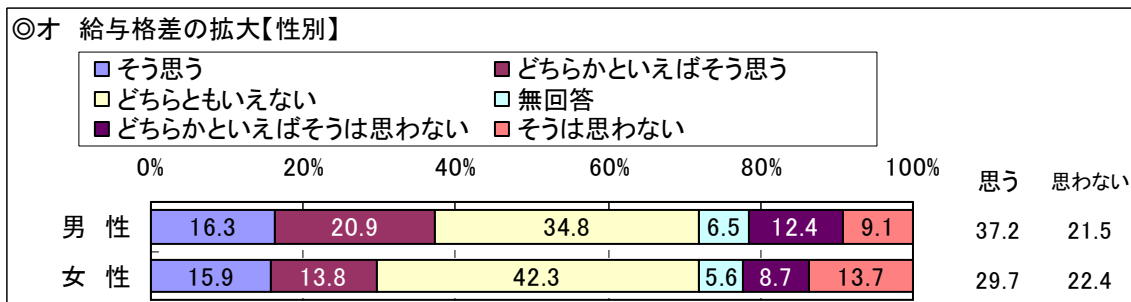
◆地域別

- 地域別でみると、『思う』は、西播磨(37.1%)と淡路(24.4%)を除くと、いずれの地域も3割前後となっており、一方、『思わない』は、阪神南(17.6%)を除き、いずれの地域も2割台前半となっている。なお、西播磨を除きいずれの地域も「どちらともいえない」と無回答が4割以上を占めている。

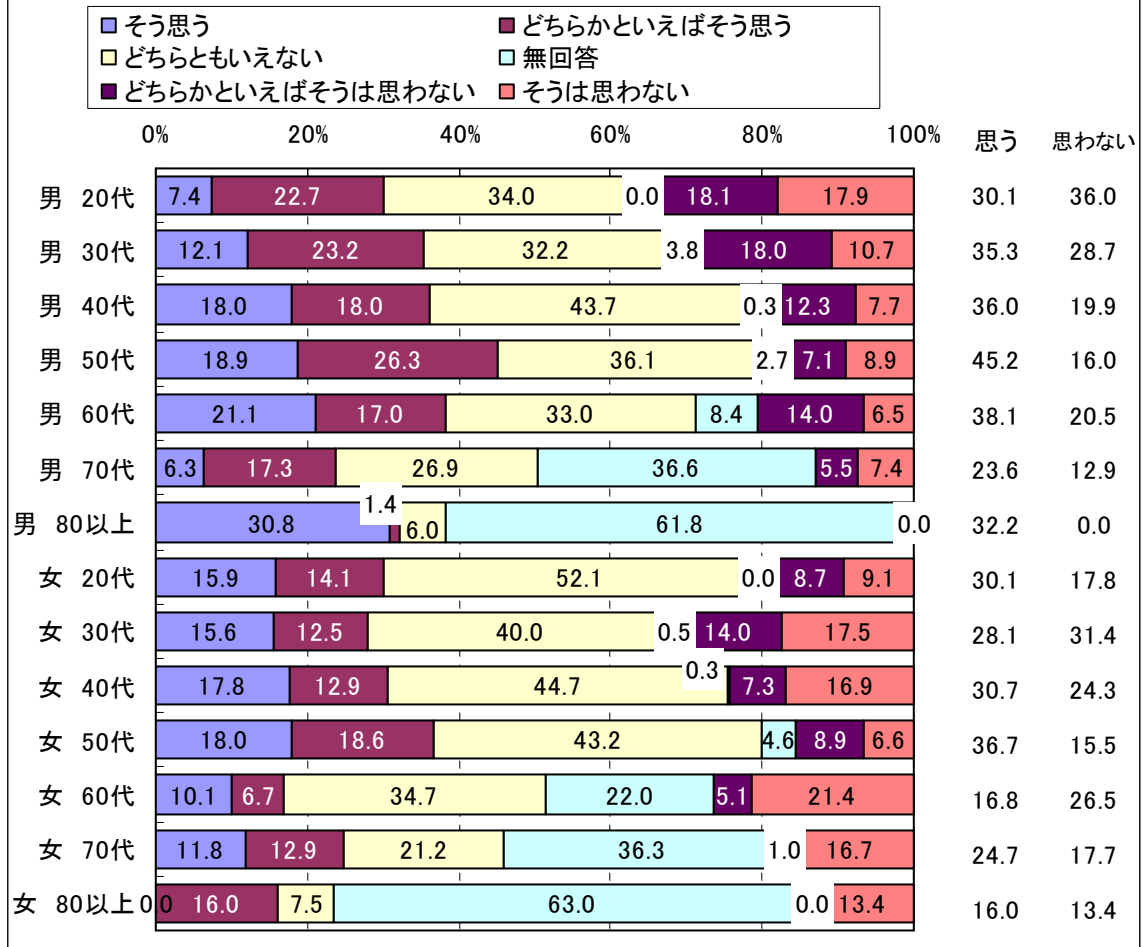


◆性別、性・年代別

- 性別でみると、『思わない』は男女で特に差はないが、『思う』は女性(29.7%)より男性(37.2%)で多く、「どちらともいえない」が男性(34.8%)より女性(42.3%)で多くなっている。
- 性・年代別でみると、男性では、『思う』は、20代(30.1%)から70代(23.6%)にかけて、50代(45.2%)をピークに増減する傾向にあるが、3割台の年代が大半である。一方、『思わない』は、20代(36.0%)では3割台であるが、年代が上がるにつれて減少し、50代(16.0%)では1割台となり、60代(20.5%)で一旦増加した後、70代以降は減少している。
- 女性では、『思う』は、40代以下(28.1%~30.7%)では3割前後で、50代(36.7%)で3割台半ばとなるが、60代以降(16.0%~24.7%)では2割前後に減少している。一方、『思わない』は、30代(31.4%)で3割を、40代(24.3%)と60代(26.5%)で2割を超えるが、他の年代では1割台である。
- 男女とも、『思う』が『思わない』を上回る年代が多いなか、男性では20代で、女性では30代と60代で『思わない』が『思う』上回っている。なお、男性の70代以降と女性の20代と60代以降では、「どちらともいえない」と無回答の比率が5割を超えている。



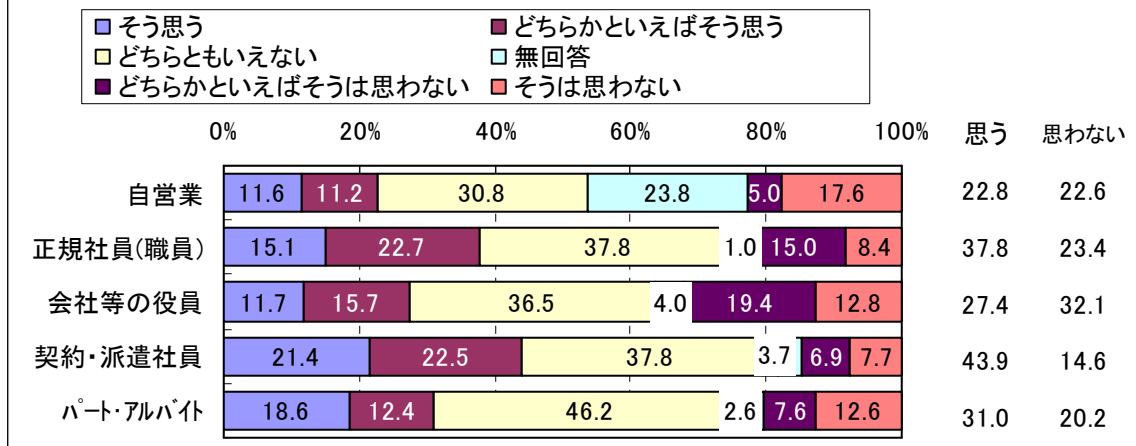
◎オ 給与格差の拡大【性・年代別】



◆職業別

- 職業別で見ると、『思う』は、契約・派遣社員(43.9%)と正規社員(37.8%)で4割前後あるが、パート・アルバイト(31.0%)と会社等の役員(27.4%)で3割前後、自営業(22.8%)では2割台前半である。
- 一方、『思わない』は、会社等の役員(32.1%)で3割を超えるが、他の職業では1割台の契約・派遣社員(14.6%)を除き2割台前半であり、会社等の役員のみ『思わない』が『思う』を上回っている。
- なお、正規社員を除き「どちらともいえない」と無回答の比率が4割を超えている。

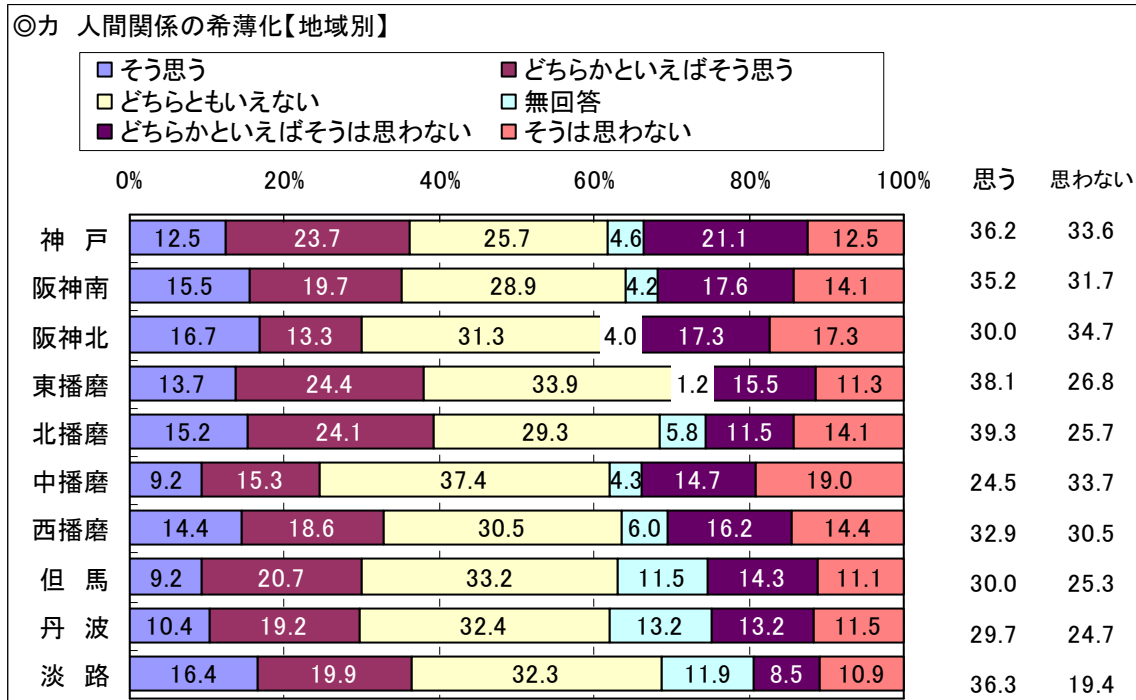
◎オ 給与格差の拡大【職業別】



◎カ 職場での人間関係の希薄化

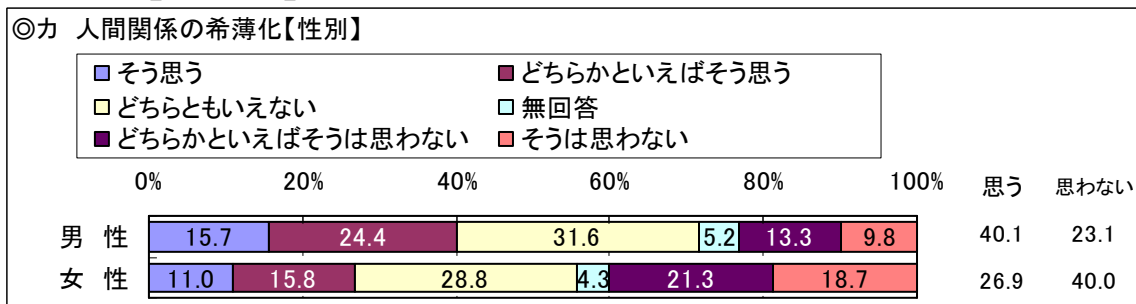
◆地域別

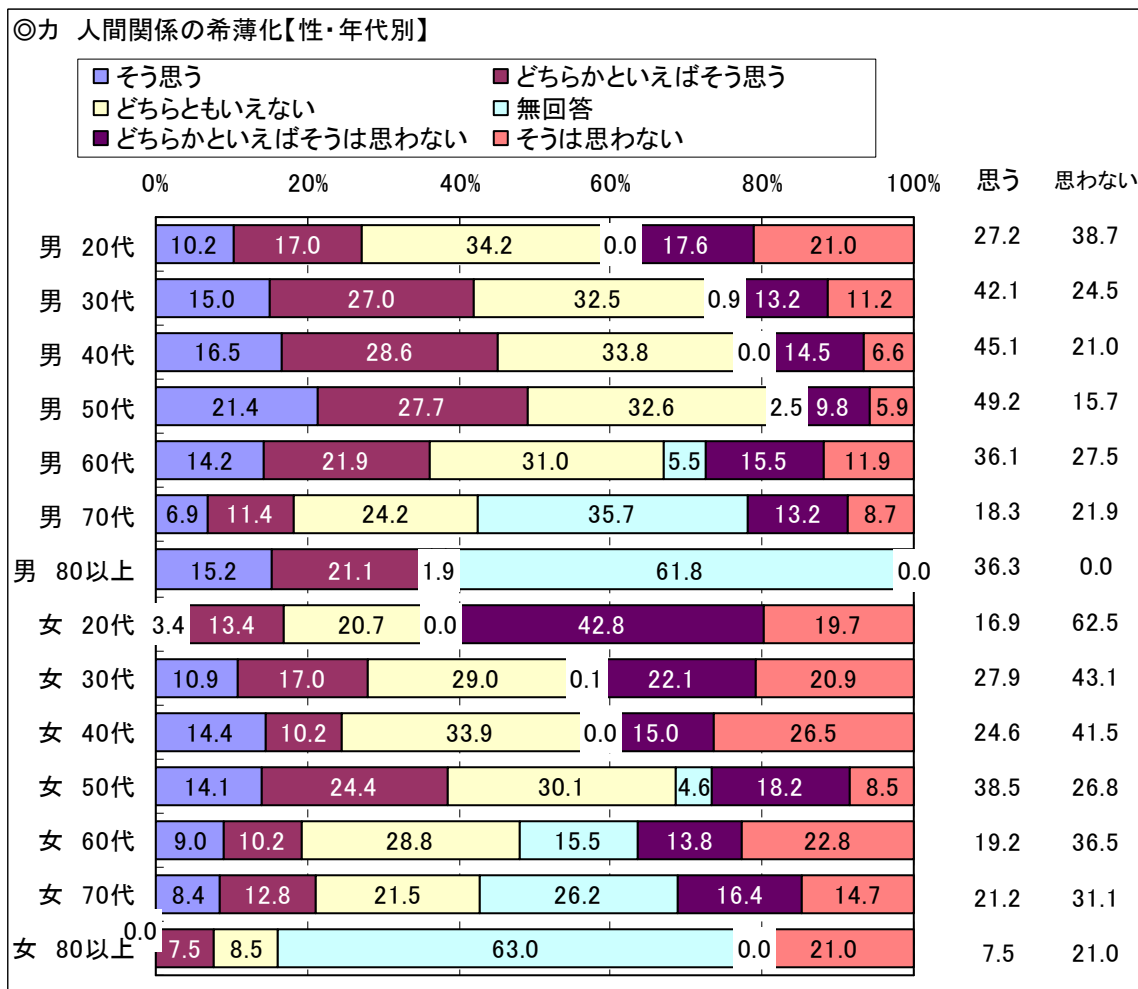
- 地域別でみると、『思う』は、2割台前半の中播磨(24.5%)を除き、いずれの地域でも概ね3割台となっており、一方『思わない』は、2割を下回る淡路(19.4%)を除き、いずれの地域でも3割前後である。
- 『思う』が『思わない』を上回る地域が多いが、阪神北と中播磨では、『思わない』が『思う』を上回っている。なお、いずれの地域でも「どちらともいえない」と無回答の比率が3割を超えており、このうち中播磨、但馬、丹波、淡路では4割を超えている。



◆性別、性・年代別

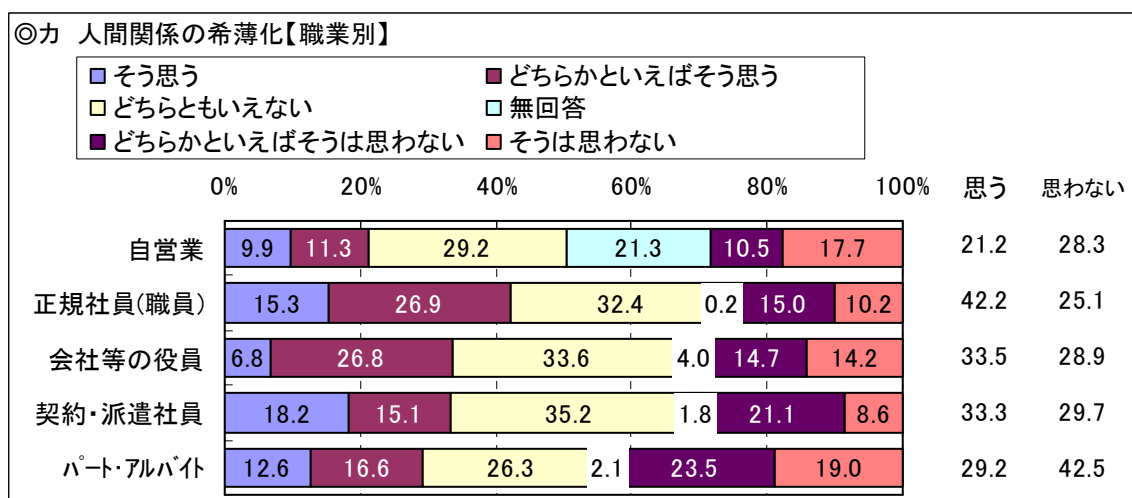
- 性別では、『思う』は女性(26.9%)より男性(40.1%)で多く、『思わない』は男性(23.1%)より女性(40.0%)が多い。
- 性・年代別でみると、男性では、『思う』は、20代(27.2%)から70代(18.3%)にかけて、50代(49.2%)をピークに増減した後、80歳以上(36.3%)で3割台に再び増加している。一方、『思わない』は、20代(38.7%)では4割近いが、年代が上がるにつれて減少し、50代(15.7%)では1割台となり、60代(27.5%)で一旦増加した後、70代以降は減少している。
- 女性では、『思う』は、50代(38.5%)で4割近くになるが、他の年代では3割を下回り、20代(16.9%)で1割台半ば、80歳以上(7.5%)では1割未満となっている。
- 男性では、『思わない』が『思う』を上回るのは20代と70代だけであるが、女性では、50代以外では『思わない』が『思う』上回っている。





◆職業別

- 職業別で見ると、『思う』は、正規社員(42.2%)で4割を超え、他の職業では、2割強の自営業(21.1%)を除き3割前後となっている。一方、『思わない』は、パート・アルバイト(42.5%)で4割を超えるが、他の職業では2割台である。
- 自営業とパート・アルバイトでは、『思わない』が『思う』を上回っている。



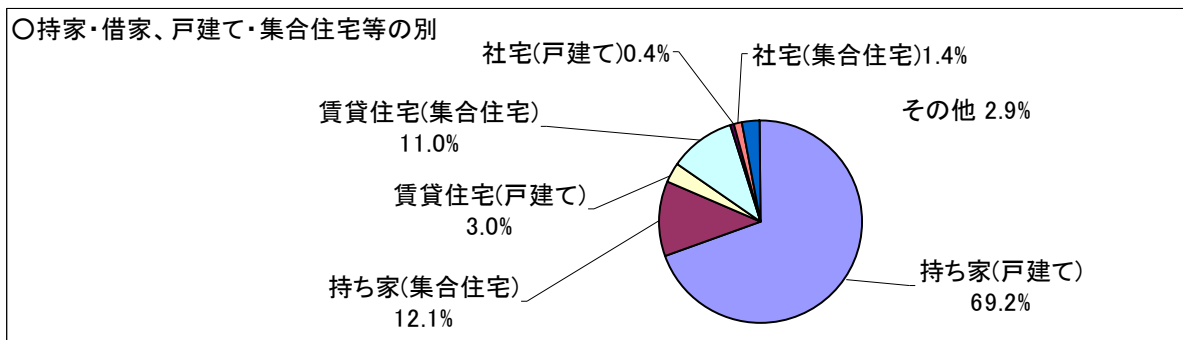
5 現住地、住居形態、通算居住年数及び前居住地(通算5年未満の場合)

(1) 持家・借家、戸建て・集合住宅等の別

問8 現在お住まいの住宅は、次のうちどれに該当しますか。1つ選んで番号に○印をつけてください。

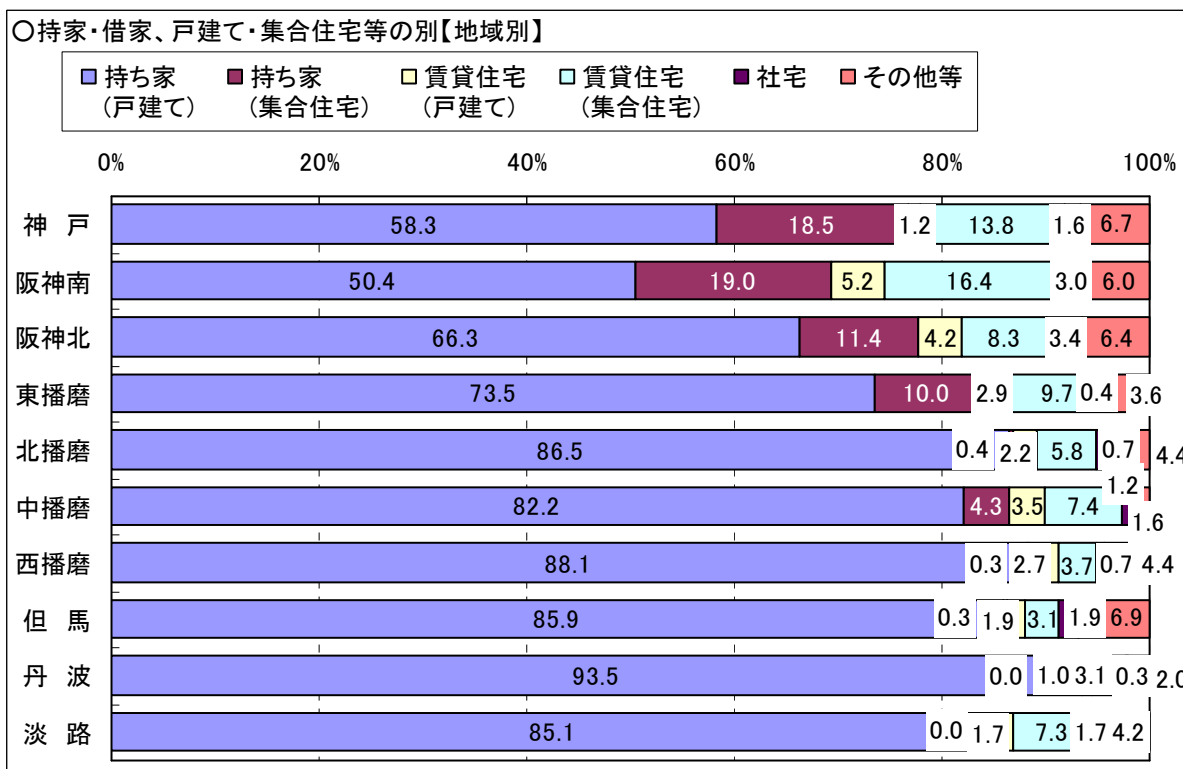
- | | |
|----------------|----------------------|
| 1 持ち家(一戸建て) | 2 持ち家(マンション等集合住宅) |
| 3 賃貸住宅(一戸建て) | 4 賃貸住宅(マンション等集合住宅) |
| 5 勤務先の社宅(一戸建て) | 6 勤務先の社宅(マンション等集合住宅) |
| 7 その他 | 8 わからない |

- 所有の別で見ると、持ち家[戸建て](69.2%)が約7割を占め、持ち家[集合住宅](12.1%)と合わせると、持ち家(81.3%)が8割を越えている。
- 住宅種別で見ると、戸建て(持ち家:69.2%、賃貸:3.0%、社宅:0.4% 計72.6%)が7割を越え、集合住宅(持ち家:12.1%、賃貸:11.0%、社宅:1.4% 計24.5%)が2割台半ばとなっている。



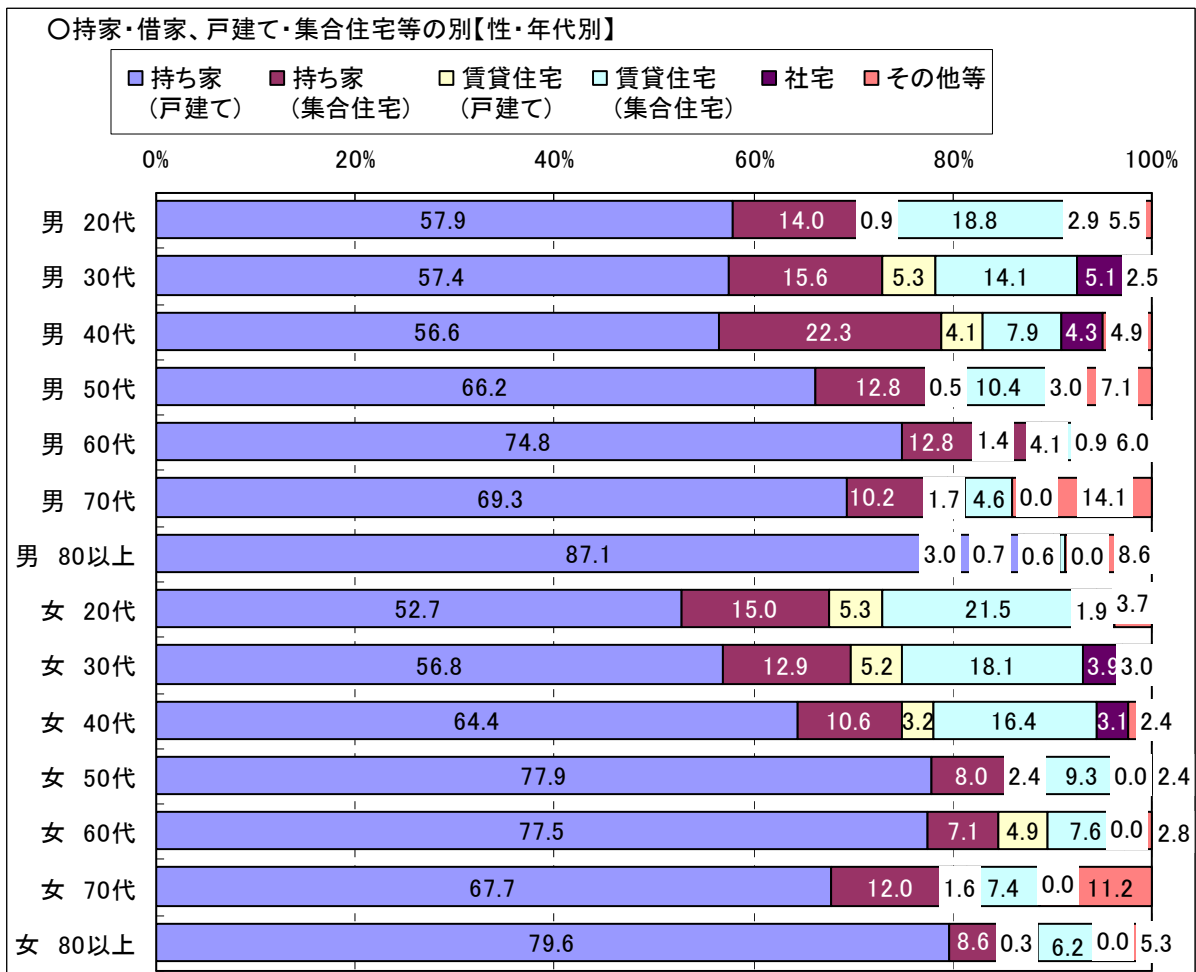
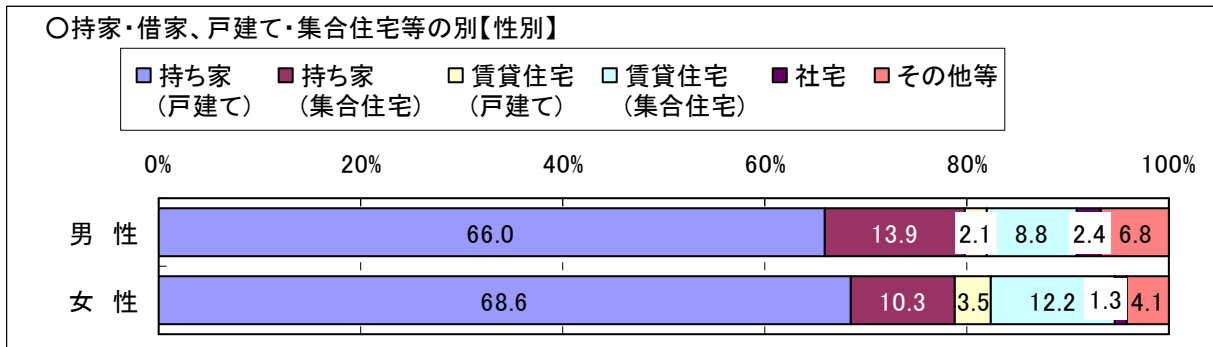
◆地域別

- 地域別で見ると、神戸と阪神南では、持ち家[集合住宅](18.5%、19.0%)が2割弱、賃貸[集合住宅](13.8%、16.4%)が1割を超えており、持ち家[戸建て](58.3%、50.4%)は5割台に止まる。阪神北と東播磨でも、持ち家[集合住宅](11.4%、10.0%)が1割以上あり、持ち家[戸建て](66.3%、73.5%)は7割前後であるが、他の6地域では、持ち家[戸建て]が8～9割台を占めている。



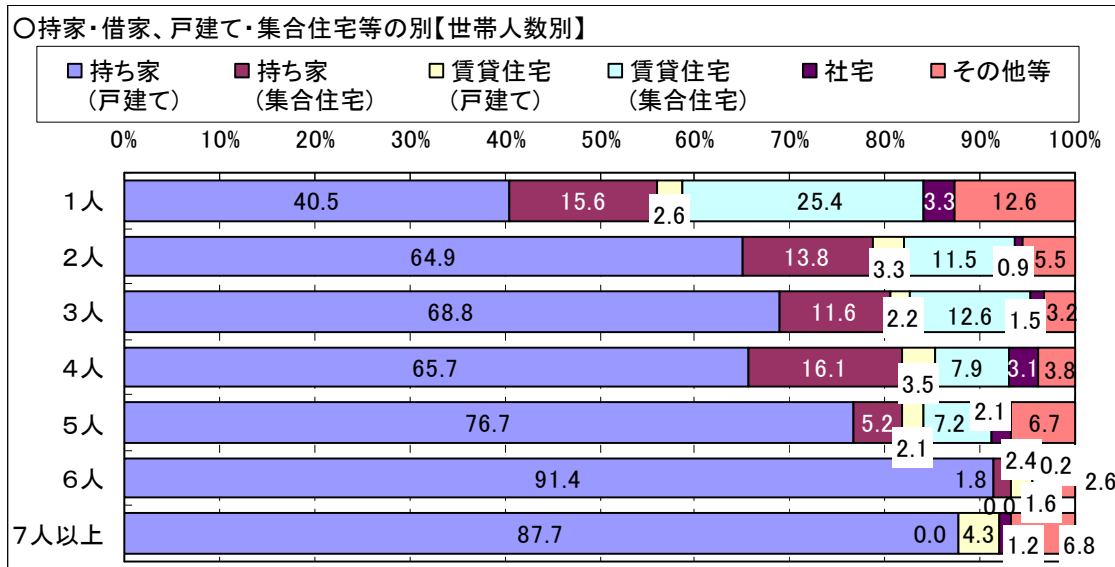
◆性別、性・年代別

- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別でみると、男性では、40代以下では年代が上がるほど、賃貸[集合住宅] (18.8%→7.9%)が減少し、持ち家[集合住宅] (14.0%→22.3%)が増える傾向にあり、持ち家[戸建て]は5割台半ばに止まっているが、50代以降、持ち家[戸建て]が増加して、50代～70代(66.2%～74.8%)では7割前後、80歳以上(87.1%)では9割近くなる。
- 女性では、男性に比べて40代以下の賃貸[集合住宅] (21.5%→16.4%)の割合が高く、50代以降でも1割弱を占めている。持ち家[戸建て]は、20代(52.7%)の5割台から50代(77.9%)、60代(77.5%)では8割近くなり、40代～60代では男性を上回るが、70代以降は男性を下回っている。



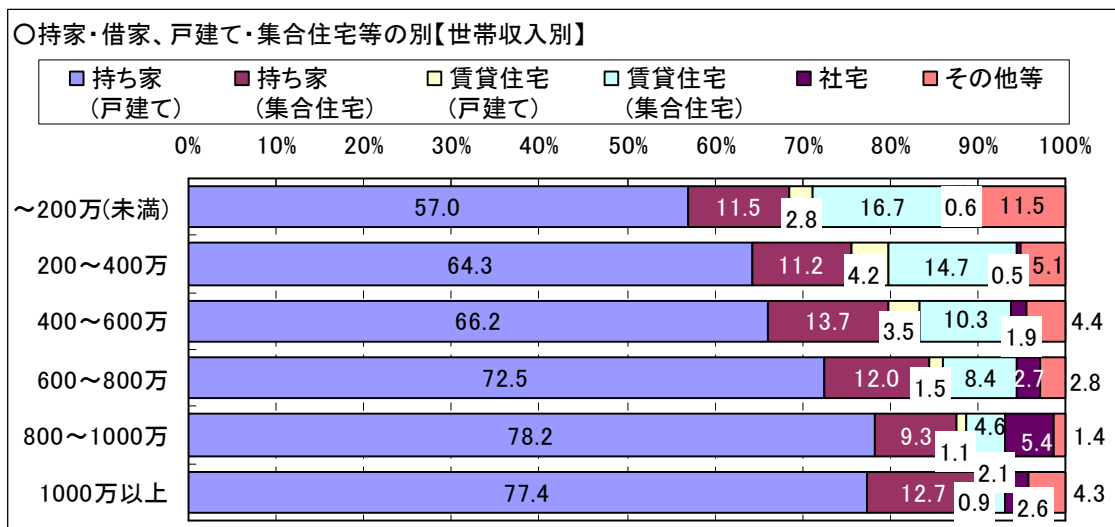
◆世帯人数別

- 世帯人数別では、持ち家[戸建て]は、1人世帯(40.5%)では4割に止まるが、2人～4人の世帯(64.9%～68.8%)では6割台半ば、5人世帯(76.7%)で7割台半ば、6人世帯以降(91.4%、87.7%)では9割前後を占めている。
- 逆に、賃貸[集合住宅]は、1人世帯(25.4%)で4分の1あるが、2人世帯以降では1割台かこれを下回っている。また、持ち家[集合住宅]は、4人世帯までは1割台(11.6%～16.1%)であるが、5人世帯以降ではわずかである。



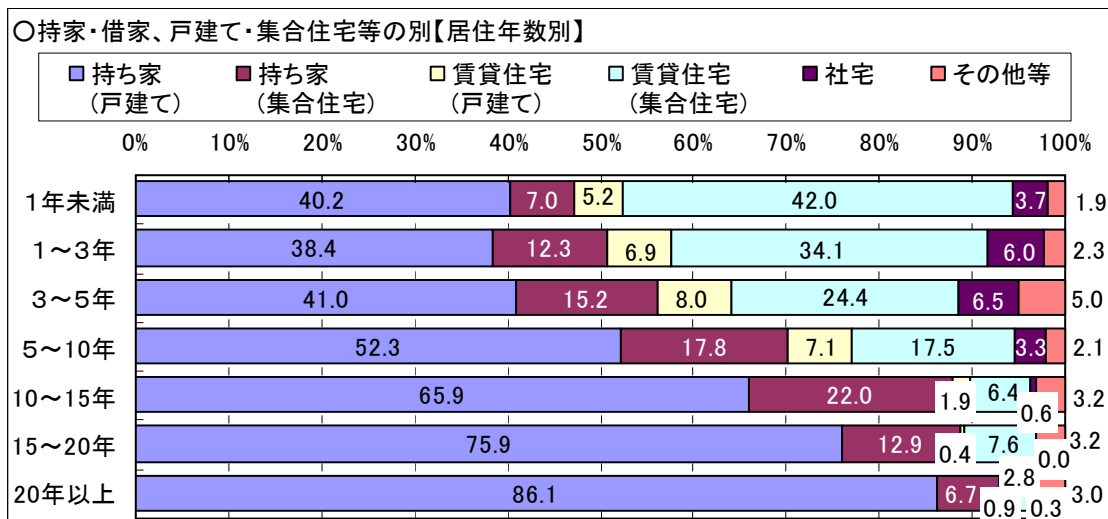
◆世帯収入別

- 世帯収入別で見ると、持ち家[戸建て]は、収入が多いほど増加する傾向にあり、200万円未満の世帯(57.0%)では6割を下回るが、800万円以上の世帯(78.2%、77.4%)では8割近くを占めている。
- また、持ち家[集合住宅]はいずれの収入階層でも1割前後あるが、賃貸[集合住宅]は、収入が多いほど少なくなり、200万円未満の世帯(16.7%)では1割台半ばあるが、600万円以上の世帯では1割未満とわずかである。



◆居住年数別

- 居住年数別で見ると、持ち家[戸建て]は、5年未満(38.4%~41.0%)では4割前後と少ないが、5年以上では5割を超えて増加しており、15~20年(75.9%)で4分の3、20年以上(86.1%)では8割台半ばを超えている。
- 一方、賃貸[集合住宅]は、10年未満で年数が少ないほど多くなっており、1年未満(42.0%)では4割を超えるが、5~10年(17.5%)で2割を下回り、10年以上では1割に満たない。また、持ち家[集合住宅]は、1年未満(7.0%)と20年以上(6.7%)を除くと1割を超えており、10~15年(22.0%)では2割台である。

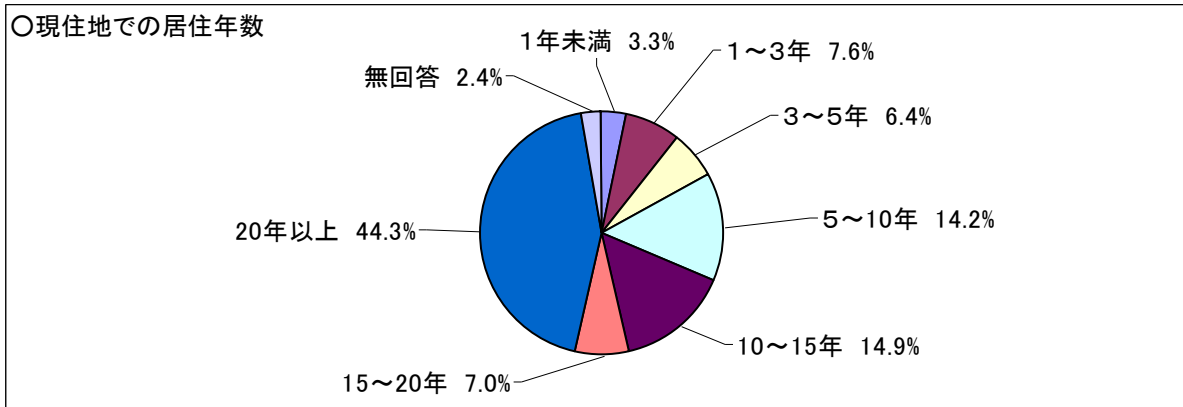


(2) 現住地での居住年数

問9 現在お住まいのところには何年住んでいますか。次の中から1つ選んで番号に○印をつけてください。

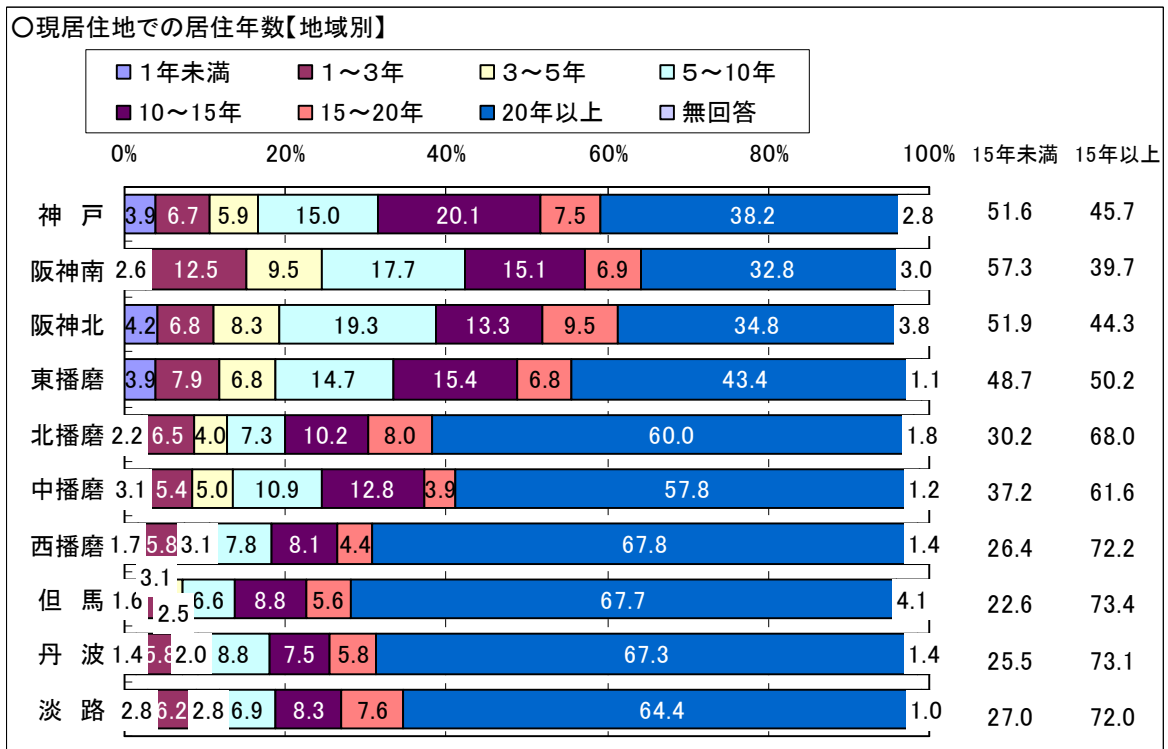
- | | |
|------------|------------|
| 1 1年未満 | 2 1～3年未満 |
| 3 3～5年未満 | 4 5～10年未満 |
| 5 10～15年未満 | 6 15～20年未満 |
| 7 20年以上 | |

○ 20年以上(44.3%)が4割台と最も多く、次いで10～15年(14.9%)、5～10年(14.2%)が1割台で続いており、15年以上の人(51.3%)で半数を占めている。



◆地域別

○ 地域別でみると、神戸(38.2%)、阪神南(32.8%)、阪神北(34.8%)、東播磨(43.4%)の4地域では、20年以上が4割台までに止まり、15年未満が5割前後(48.7%～57.3%)あるのに対し、他の6地域では、20年以上が概ね6割台(57.8%～67.8%)を占め、15年未満は2～3割台(22.6%～37.2%)に止まる。



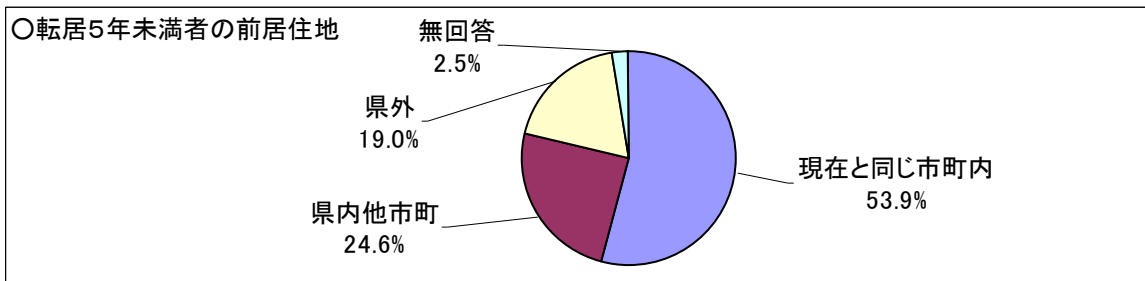
(3) (転入者に) 転居5年未満者の前居住地

問9-2 問9で1～3を選んだ方(居住期間5年未満の方)にお聞きします。現在のお住まいの直前にはどこにお住まいでしたか。前居住地の郵便番号でお答えください。郵便番号が分からない場合は市町村名でお答えください。

(前居住地の郵便番号) - * 前居住地の郵便番号がわからない方は以下の選択肢を選び、()に記入してください。
合併前の市町名で構いません

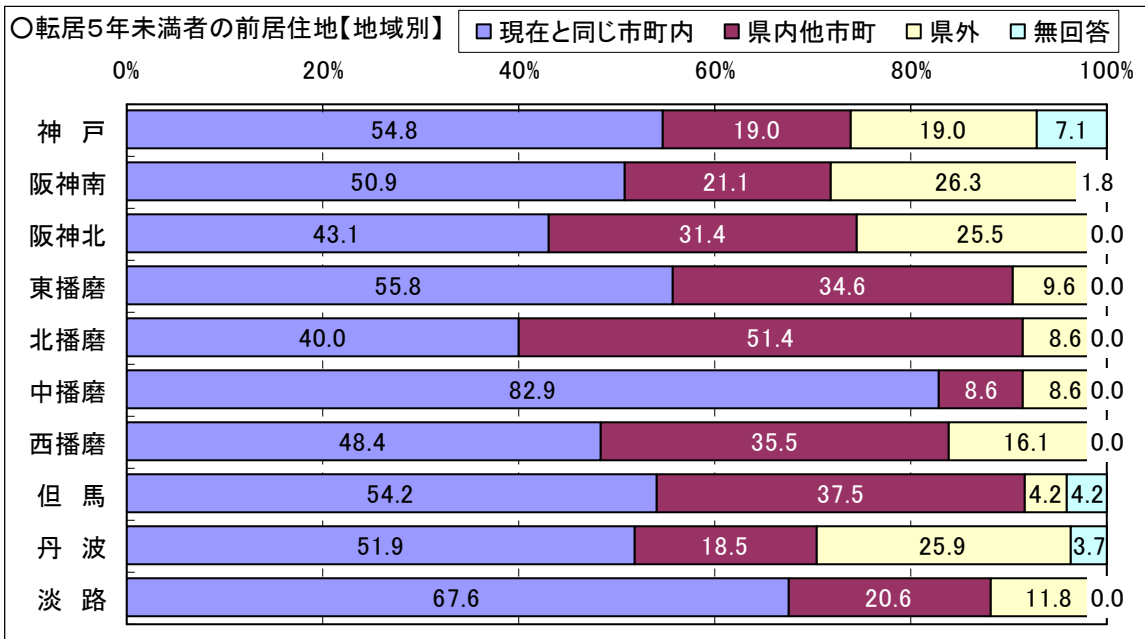
- 1 現在と同じ市町内
- 2 兵庫県内(市・町)
- 3 県外 (都・道・府・県)

○ 転居後5年未満の人の前居住地は、『現在と同じ市町内』(53.9%)が5割を越え、次いで『県内他市町』(24.6%)が約4分の1で、『県外』(19.0%)は約2割となっており、県内での移動が8割近く(78.5%)を占めている。



◆地域別

- 地域別で見ると、『現在と同じ市町内』は、中播磨(82.9%)で8割、淡路(67.6%)で6割を超えており、他の地域では5割前後(48.4%~55.8%)が多いなか、北播磨(40.0%)と阪神北(43.1%)では4割強である。
- 『県内他市町』は、北播磨(51.4%)で5割強と最も多く、中播磨(8.6%)で1割未満と最も少ない。
- 『県外』は、阪神南(26.3%)、阪神北(25.5%)、丹波(25.9%)で2割台半ば、神戸(19.0%)で2割弱である。



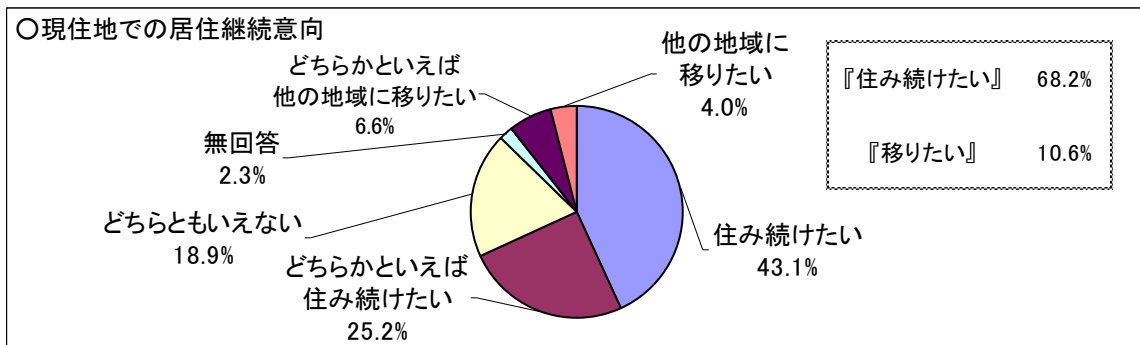
6 居住継続意向と継続する理由

(1) 現住地での居住継続意向

問 10 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。次の中から1つ選んで番号に○印をつけてください。

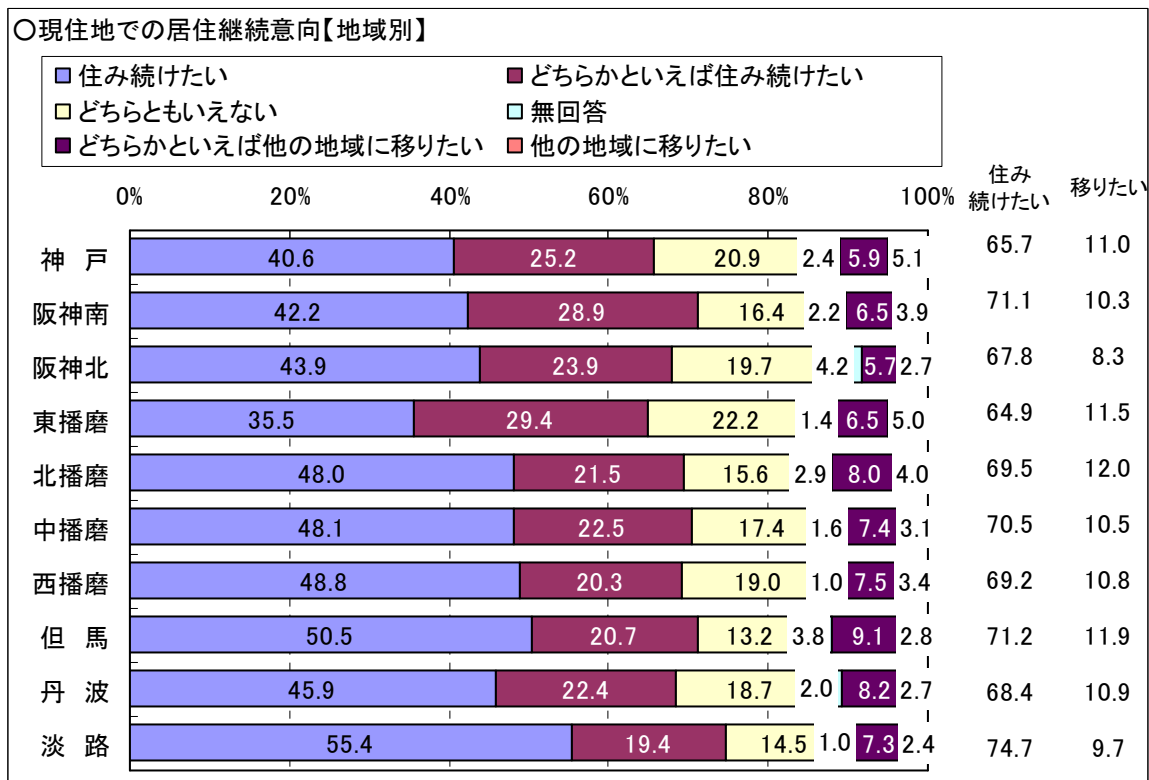
- | | |
|-------------|---------------------|
| 1 住み続けたい | 2 どちらかといえば住み続けたい |
| 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえば他の地域に移りたい |
| 5 他の地域に移りたい | |

- 『住み続けたい』（「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計）は約7割(68.2%)で、『移りたい』（「どちらかといえば移りたい」と「移りたい」の合計）が1割(10.6%)となっている。



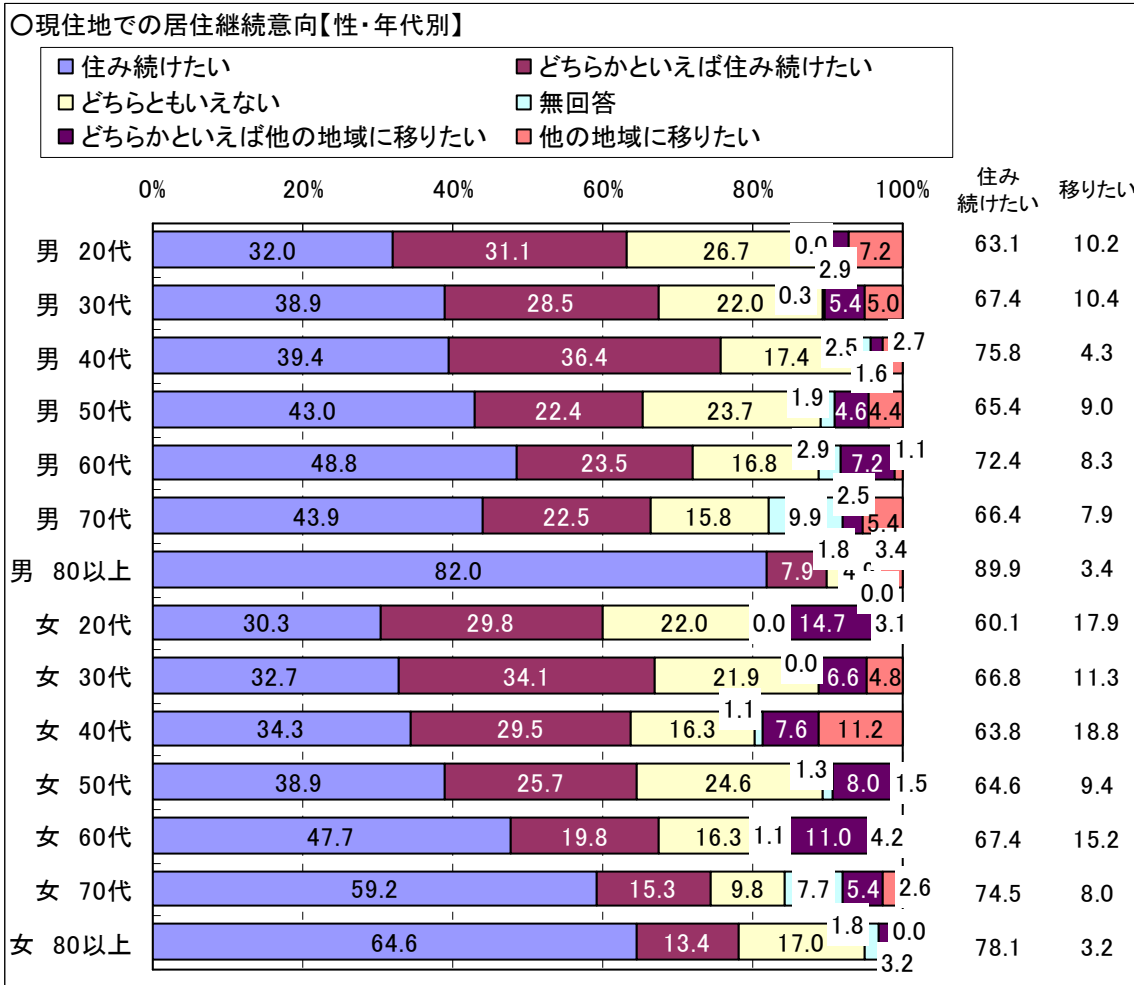
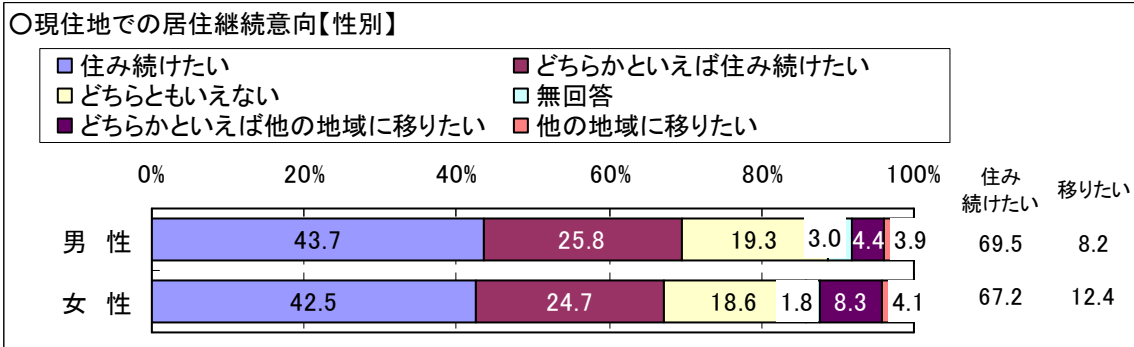
◆地域別

- 地域別でみると、いずれの地域でも、『住み続けたい』は7割前後(64.9%~74.7%)で、『移りたい』は1割前後(8.3%~12.0%)となっている。



◆性別、性・年代別

- 性別では、『移りたい』が男性(8.2%)より女性(12.4%)でやや多い。
- 性・年代別でみると、男性では、『住み続けたい』は、約9割ある80歳以上(89.9%)を除き、いずれの年代でも7割前後(63.1%~75.8%)となっている。一方、『移りたい』はいずれの年代でも1割(3.4%~10.4%)に止まる。
- 女性では、『住み続けたい』は、20代(60.1%)の6割から年代が上がるにつれて多くなる傾向にあり、70代(74.5%)で7割を超え、80歳以上(78.1%)では8割近くになっている。一方、『移りたい』は、20代(17.9%)、40代(18.8%)、60代(15.2%)で1割台後半となっている。

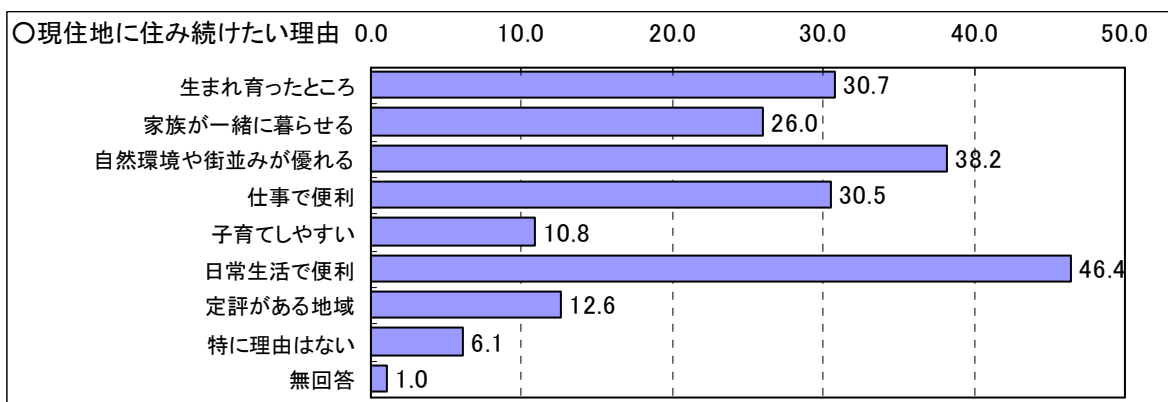


(2) 現住地に住み続けたい理由

問 10-2 問 10 で「住み続けたい」と答えた(1、2を選んだ)方にお聞きします。その理由として該当するものを、次の中から3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 自分が生まれ育ったところだから
- 2 親や祖父母、子どもや孫など家族と一緒に暮らせるから
- 3 自然環境や街並みが優れているから
- 4 自分や家族が仕事をする上で便利だから
- 5 子育てをしやすい環境だから
- 6 買い物など日常生活で便利だから
- 7 生活しやすい所として定評(地域ブランド)があるから
- 8 特に理由はない

○ 現住地に住み続けたい理由としては、「日常生活で便利」(46.4%)が4割台で最も多く、「自然環境や街並みが優れる」(38.2%)、「生まれ育ったところ」(30.7%)、「仕事で便利」(30.5%)が3割台で続いている。一方、「子育てしやすい」(10.8%)や「定評がある地域」(12.6%)は1割台に止まっている。



◆地域別

- 地域別で見ると、神戸、阪神南、阪神北、東播磨の4地域では、いずれも全県1位の「日常生活で便利」が最も多く、全県2位の「自然環境や街並みが優れる」と全県4位の「仕事で便利」が各地域の上位3位を占める傾向にあり、東播磨のみ「生まれ育ったところ」(27.1%)が3位に入っている。
- 北播磨、中播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路の6地域では、いずれも、全県3位の「生まれ育ったところ」が最も多く、全県5位の「家族と一緒に暮らせる」が2位になっており、3位は「自然環境や街並みが優れる」や「仕事で便利」に分かれている。なお、中播磨では、「日常生活で便利」が「家族と一緒に暮らせる」と同率(37.4%)で2位に入っている。

◎現住地に住み続けたい理由【地域別】

	1	2	3	4	5	6	7	8	
	生まれ育ったところ	家族と一緒に暮らせる	自然環境や街並みが優れる	仕事で便利	子育てしやすい	日常生活で便利	定評がある地域	特に理由はない	
	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	
全 県	3	5	2	4	7	1	6	8	
	30.7	26.0	38.2	30.5	10.8	46.4	12.6	6.1	
地域別									
神 戸	4	5	2	3	7	1	6	8	
	22.2	19.2	46.1	32.9	12.0	59.3	17.4	3.6	
阪神南	4	6	2	3	7	1	5	8	
	22.4	17.6	49.1	30.3	9.7	55.2	19.4	4.8	
阪神北	4	5	2	3	6	1	7	8	
	24.6	20.1	45.8	34.6	12.8	51.4	7.8	3.9	
東播磨	3	5	4	2	8	1	6	7	
	27.1	24.3	26.0	29.8	11.6	49.2	13.3	12.2	
北播磨	1	2	3	4	6	5	8	7	
	45.5	41.4	27.2	25.7	11.5	20.4	4.2	7.9	
中播磨	1	2	5	4	7	2	6	7	
	44.0	37.4	20.3	27.5	7.7	37.4	8.8	7.7	
西播磨	1	2	3	4	6	5	8	7	
	48.0	44.1	30.4	28.4	12.7	21.1	2.9	8.3	
但 馬	1	2	3	3	6	5	8	7	
	52.4	48.5	29.5	29.5	9.3	16.3	1.8	7.5	
丹 波	1	2	3	4	6	5	7	7	
	54.7	45.8	37.3	18.9	9.5	16.4	6.0	6.0	
淡 路	1	2	4	3	7	5	8	6	
	56.9	35.2	22.2	28.2	6.0	21.3	5.6	7.4	
地域間の差	34.8	30.9	28.8	15.7	6.8	43.0	17.6	8.6	

◆性別、性・年代別

- 性別では、「生まれ育ったところ」(男:39.6% 女:23.7%)と「子育てしやすい」(男:8.6% 女:12.6%)以外では、特段の差はみられない。
- 性・年代別でみると、全県1位の「日常生活で便利」は、女性の20代(59.7%)で6割近く、男性の30代(53.2%)、70代(54.8%)や女性の40代(49.4%)、50代(50.5%)、70代(51.4%)で概ね5割以上を占めている。
- 全県2位の「自然環境や街並みが優れる」は、男性の20代(47.7%)、50代(44.0%)や女性の50代(44.0%)、60代(42.5%)で4割を超えており、全県3位の「生まれ育ったところ」は、男女ともに20代(65.2%、61.0%)で6割を超え、男性では80歳以上(57.2%)で5割台である。
- また、「仕事で便利」は、男女ともに30代~50代で3~4割を占め、「家族と一緒に暮らせる」は、男女ともに80歳以上で5割前後となっており、「子育てしやすい」が、男女ともに30代(24.9%、39.9%)で多くなっている。

◎現住地に住み続けたい理由【性別】

(%)

	1 生まれ育った ところ 順: 位:	2 家族と一緒に 暮らせる 順: 位:	3 自然環境や街 並みが優れる 順: 位:	4 仕事で便利 順: 位:	5 子育てしやす い 順: 位:	6 日常生活で 便利 順: 位:	7 定評がある地 域 順: 位:	8 特に理由は ない 順: 位:
全 県	3: 30.7	5: 26.0	2: 38.2	4: 30.5	7: 10.8	1: 46.4	6: 12.6	8: 6.1
性別								
男 性	2: 39.6	5: 26.3	3: 39.2	4: 31.1	7: 8.6	1: 45.2	6: 11.9	8: 5.4
女 性	5: 23.7	4: 25.8	2: 37.3	3: 30.3	7: 12.6	1: 47.4	6: 12.9	8: 6.7
性別間の差	15.9	0.4	1.8	0.8	4.0	2.1	0.9	1.2

◎現住地に住み続けたい理由【性・年代別、男性】

(%)

	1 生まれ育った ところ 順: 位:	2 家族と一緒に 暮らせる 順: 位:	3 自然環境や街 並みが優れる 順: 位:	4 仕事で便利 順: 位:	5 子育てしやす い 順: 位:	6 日常生活で 便利 順: 位:	7 定評がある地 域 順: 位:	8 特に理由は ない 順: 位:
全 県	3: 30.7	5: 26.0	2: 38.2	4: 30.5	7: 10.8	1: 46.4	6: 12.6	8: 6.1
性・年代別								
男 性								
20代	1: 65.2	4: 28.6	2: 47.7	5: 13.7	6: 13.3	3: 39.7	7: 6.1	8: 4.5
30代	3: 41.6	6: 24.3	4: 38.8	2: 42.8	5: 24.9	1: 53.2	7: 9.7	8: 2.3
40代	3: 35.6	4: 33.4	2: 36.5	5: 32.4	7: 11.4	1: 37.2	6: 14.6	8: 5.7
50代	4: 39.6	5: 25.9	2: 44.0	3: 42.3	7: 3.5	1: 46.3	6: 9.8	8: 1.9
60代	3: 34.2	5: 19.3	2: 35.5	4: 26.4	8: 5.4	1: 43.1	6: 12.9	7: 9.7
70代	3: 28.5	5: 23.2	2: 37.3	4: 25.4	8: 1.0	1: 54.8	6: 17.0	7: 7.3
80以上	1: 57.2	2: 51.7	3: 37.8	5: 21.1	8: 0.7	4: 35.4	6: 10.8	7: 2.3
年代間の差	36.7	32.4	12.2	29.0	24.1	19.4	11.0	7.9

◎現住地に住み続けたい理由【性・年代別、女性】

(%)

	1 生まれ育った ところ 順: 位:	2 家族と一緒に 暮らせる 順: 位:	3 自然環境や街 並みが優れる 順: 位:	4 仕事で便利 順: 位:	5 子育てしやす い 順: 位:	6 日常生活で 便利 順: 位:	7 定評がある地 域 順: 位:	8 特に理由は ない 順: 位:
全 県	3: 30.7	5: 26.0	2: 38.2	4: 30.5	7: 10.8	1: 46.4	6: 12.6	8: 6.1
性・年代別								
女 性								
20代	1: 61.0	4: 25.3	3: 29.9	5: 24.6	6: 20.0	2: 59.7	7: 6.9	8: 0.8
30代	6: 30.1	3: 34.0	5: 31.1	4: 31.5	2: 39.9	1: 40.4	7: 5.8	8: 4.2
40代	5: 18.3	4: 31.0	3: 39.8	2: 43.3	6: 15.8	1: 49.4	7: 12.9	8: 5.0
50代	6: 13.9	4: 19.3	3: 44.0	2: 49.9	7: 7.1	1: 50.5	5: 14.3	8: 3.9
60代	6: 16.5	4: 20.4	2: 42.5	3: 20.8	8: 2.3	1: 44.6	5: 16.6	7: 13.3
70代	5: 17.0	4: 17.1	2: 36.1	6: 15.7	8: 1.1	1: 51.4	3: 21.1	7: 7.7
80以上	3: 31.0	1: 47.1	4: 28.3	5: 15.1	8: 0.7	2: 36.0	7: 6.0	6: 9.5
年代間の差	47.1	30.0	15.7	34.8	39.3	23.7	15.3	12.5

7 居住地域の環境・資源の状況及び居住地域で重視すること

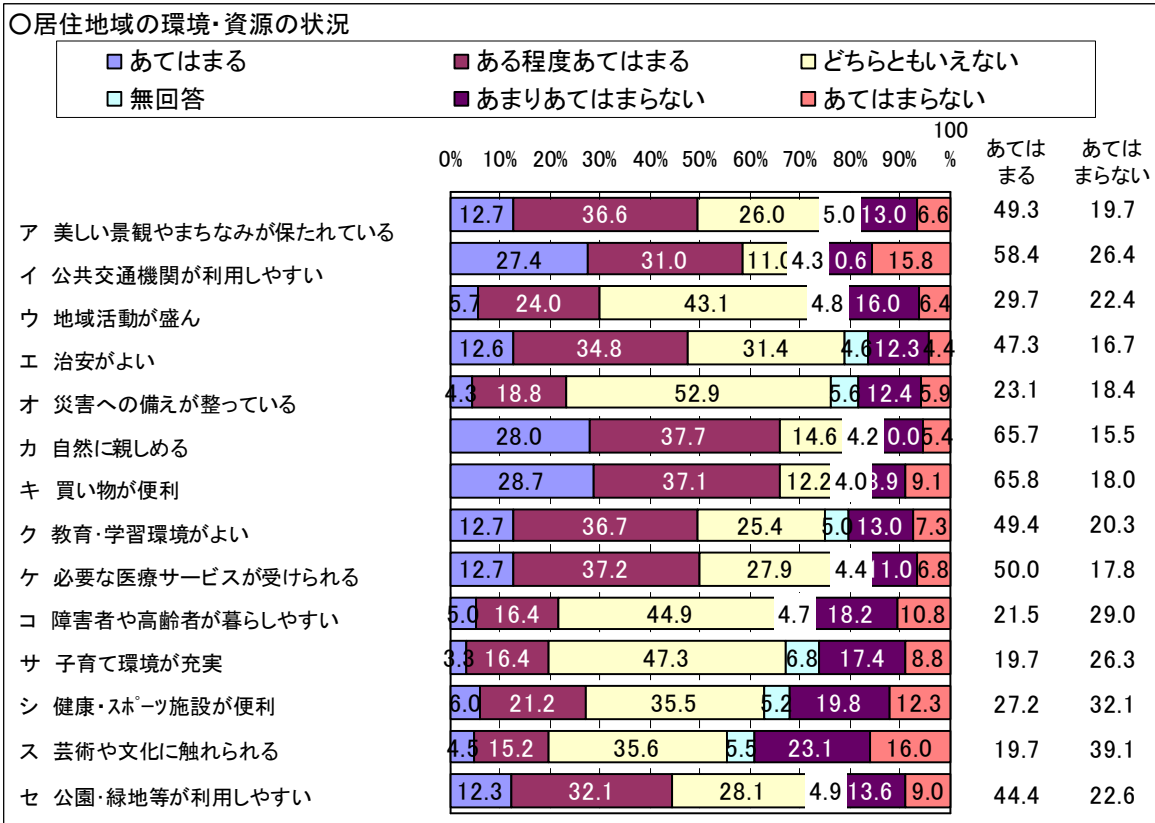
(1) 居住地域の環境・資源の状況

問 11 あなたのお住まいの地域は、次のア～セのそれぞれの項目について、どの程度あてはまりますか。ア～セの項目ごとに1つ選んで番号に○印をつけてください。

- ア 美しい景観やまちなみが保たれている
- イ 電車やバスなどの公共交通機関が利用しやすい
- ウ 地域活動が盛んである
- エ 犯罪が少なく治安がよい
- オ 災害に対する備えが整っている
- カ 山・緑・川・海など自然に親しめるところがある
- キ スーパーや商店など日常の買い物がしやすい
- ク 学校や図書館などの教育・学習環境が整っている
- ケ 必要な医療サービスが受けられる
- コ 障害者や介護の必要な高齢者が暮らしやすい
- サ 子育てを支える施設やサービスが充実している
- シ 健康やスポーツのための施設を利用しやすい
- ス 多様な芸術や文化に触れることができる
- セ 公園・緑地などのオープンスペースを利用しやすい

- 1：あてはまる 2：ある程度あてはまる 3：どちらともいえない
 4：あまりあてはまらない 5：あてはまらない

- 『あてはまる』（「あてはまる」と「ある程度あてはまる」の合計）は、「キ 買い物が便利」（65.8%）と「カ 自然に親しめる」（65.7%）で6割を超え、「イ 公共交通機関が利用しやすい」（58.4%）が続いている。
- 一方、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」の合計）は、「ス 芸術や文化に触れられる」（39.1%）と「シ 健康・スポーツ施設が便利」（32.1%）で3割を超えており、この2項目と「コ 障害者や高齢者が暮らしやすい」（29.0%）及び「サ 子育て環境が充実している」（26.3%）の4項目では、『あてはまらない』が『あてはまる』を上回っている。
- なお、「どちらともいえない」は、「オ 災害への備えが整っている」（52.9%）で半数を超えるなど、6項目（ウ、オ、ク、サ、シ、ス）で最も多い回答となっている。



○ 問11では、ア～セの項目ごとに居住地域の状況を問う設問としているため、項目間の属性別の傾向を全体として把握するため、『あてはまる』と『あてはまらない』のそれぞれについて、主な属性ごとにおける最大値と最小値の差を一覧で表示した。例えば、『ア 美しい景観やまちなみが保たれている』については、『あてはまる』『あてはまらない』とも地域別での差が最も大きく、逆に性別や世帯構成員別の差は小さいことが表れている。

なお、次からの項目別結果において、当該項目における特徴的な属性を含めて記載している。

◎問11 居住地域の環境・資源の状況

最大値 最小値

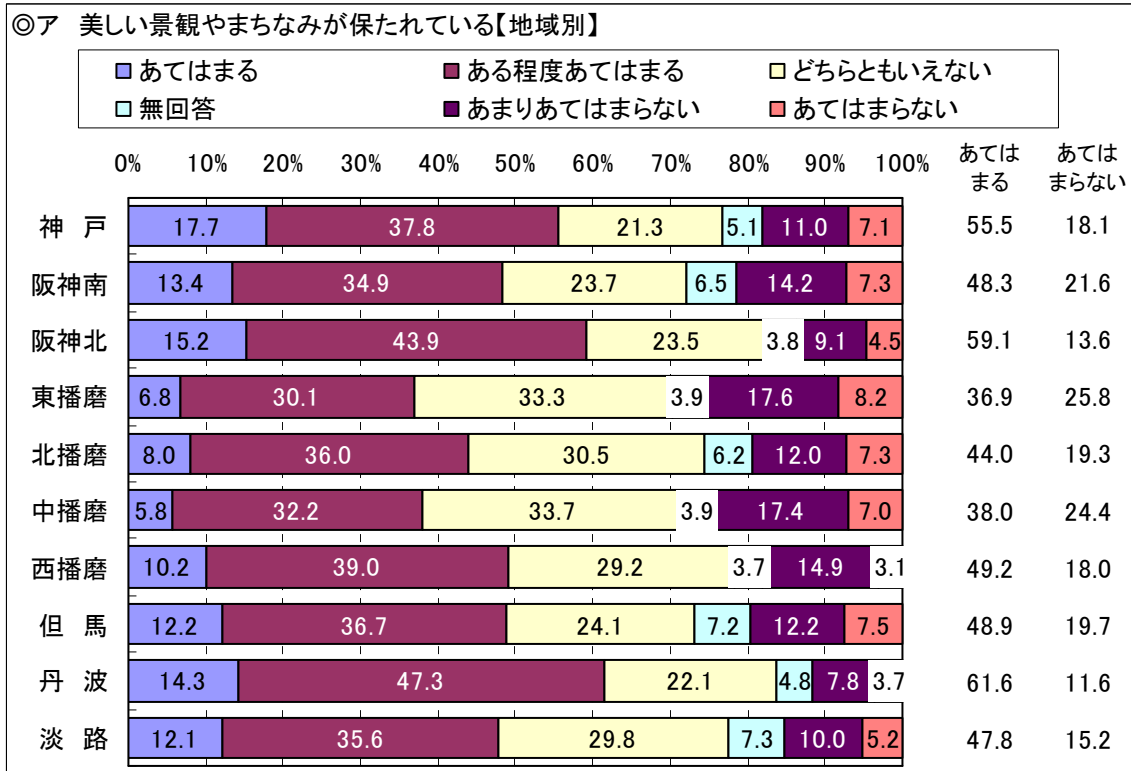
設問	問11													
	ア		イ		ウ		エ		オ		カ		キ	
	あてはまる	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
地域別	24.6	14.2	58.7	55.7	13.6	15.2	40.8	19.8	11.1	11.0	30.9	22.6	28.2	22.5
性別	2.4	1.5	1.5	1.2	3.1	3.4	9.0	3.6	3.1	0.5	2.2	0.0	4.7	4.8
年代別	11.7	9.9	12.4	10.0	6.2	7.0	8.8	20.0	15.4	12.9	15.1	10.3	22.0	4.0
年代別(男性)	14.5	11.8	19.2	10.9	18.2	24.0	14.6	19.2	9.0	14.0	9.9	21.4	14.4	12.2
年代別(女性)	11.5	9.8	18.2	10.5	10.4	7.3	13.7	23.3	20.2	13.3	21.3	7.1	27.8	9.0
職業別	21.4	9.4	20.7	7.6	12.0	8.8	27.3	10.4	13.5	6.2	17.0	16.5	16.3	18.4
世帯収入別	19.2	9.6	8.8	2.9	11.0	13.5	23.3	10.0	11.4	10.9	12.6	5.4	15.6	9.3
世帯構成員別	9.7	6.4	23.8	13.0	9.8	7.5	11.6	9.6	10.3	6.0	8.1	8.2	11.3	6.0
居住年数別	14.7	7.8	19.8	13.7	9.0	7.4	15.8	11.3	14.3	8.4	9.8	13.2	16.0	7.7

設問	問11													
	ク		ケ		コ		サ		シ		ス		セ	
	あてはまる	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない	あてはまる	あてはまらない
地域別	21.6	17.1	30.6	34.1	10.7	19.3	8.2	19.4	11.7	16.8	17.0	18.9	25.6	23.9
性別	2.1	0.4	1.8	0.4	3.3	0.3	1.9	4.7	2.4	2.7	5.5	1.3	0.2	1.2
年代別	25.1	9.1	8.0	7.0	15.0	19.0	13.7	7.6	14.8	11.8	5.5	13.5	30.0	4.9
年代別(男性)	20.7	10.9	9.0	11.0	29.3	28.9	13.9	15.0	10.2	26.2	10.6	26.1	20.9	20.4
年代別(女性)	29.3	10.5	13.0	11.7	8.9	14.2	19.1	5.1	24.5	14.5	6.7	11.9	34.8	11.9
職業別	16.5	17.1	19.6	12.2	11.3	16.5	17.9	12.3	19.5	28.8	10.6	15.2	14.6	13.1
世帯収入別	17.4	11.3	13.5	7.6	8.2	8.5	10.7	13.1	15.4	14.2	12.0	10.0	15.9	12.1
世帯構成員別	16.5	7.7	24.8	13.0	12.1	13.1	33.9	12.9	9.7	21.7	12.0	9.6	20.8	7.4
居住年数別	14.7	9.3	14.1	9.2	18.0	9.9	12.0	10.6	14.6	14.9	9.1	16.6	22.7	11.1

◎ア 美しい景観やまちなみが保たれている

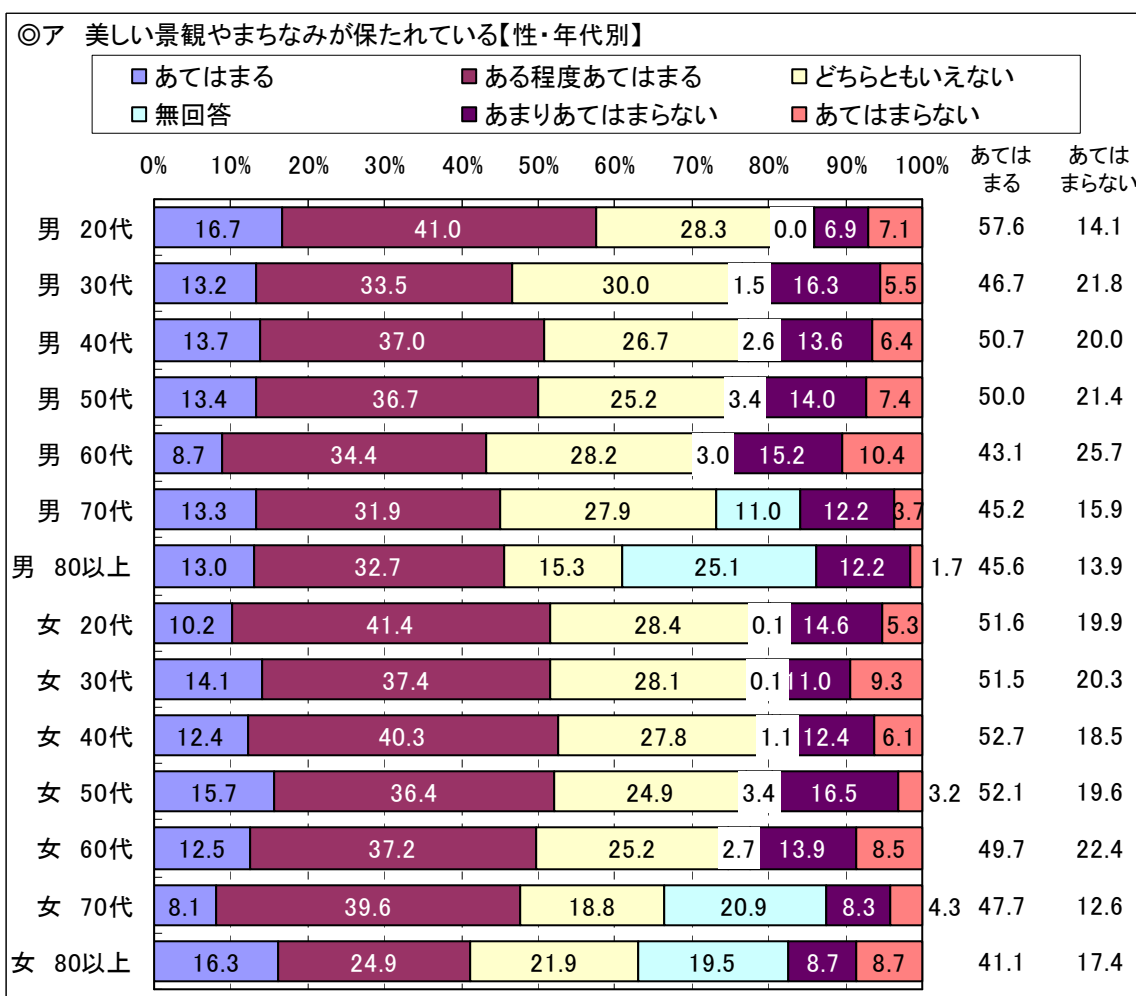
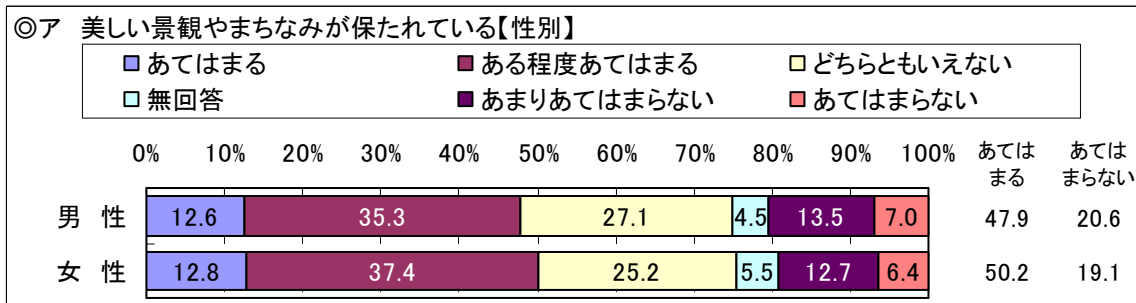
◆地域別

- 地域別でみると、『あてはまる』は、丹波(61.6%)、阪神北(59.1%)、神戸(55.5%)で5割を超え、他の地域では概ね4割台であるが、東播磨(36.9%)と中播磨(38.0%)では3割台である。
- 『あてはまらない』は、東播磨(25.8%)や中播磨(24.4%)、阪神南(21.6%)で2割を超えているが、他の地域では1割台である。



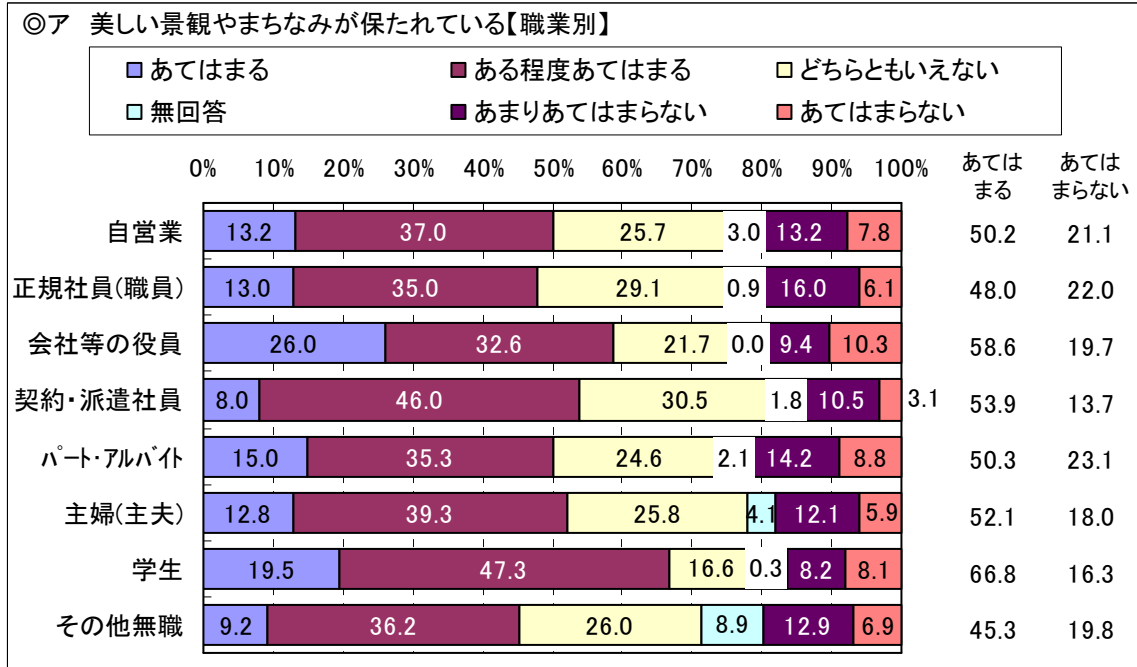
◆性別／性・年代別

- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別で見ると、男女いずれの年代でも、『あてはまる』は概ね5割前後で、『あてはまらない』も概ね2割前後となっている。
- 男女とも70代以降で、「どちらともいえない」や無回答が増える傾向にある。



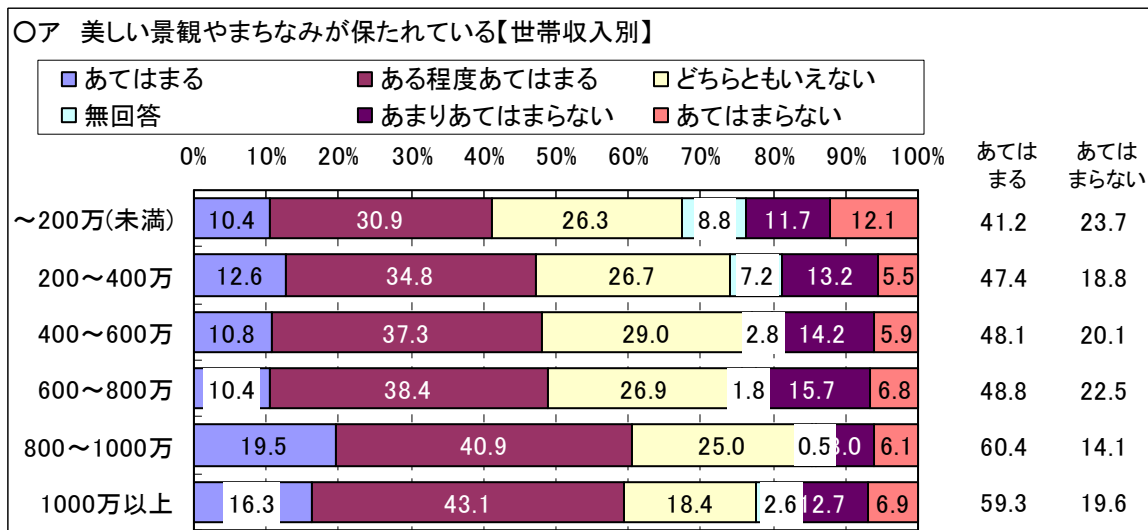
◆職業別

- 職業別でみると、『あてはまる』は、学生(66.8%)で3分の2を超え、会社等の役員(58.6%)で6割近くになるが、他の職業では概ね5割前後である。
- 『あてはまらない』は、2割前後の職業が多いなか、契約・派遣社員(13.7%)では1割台前半である。



◆世帯収入別

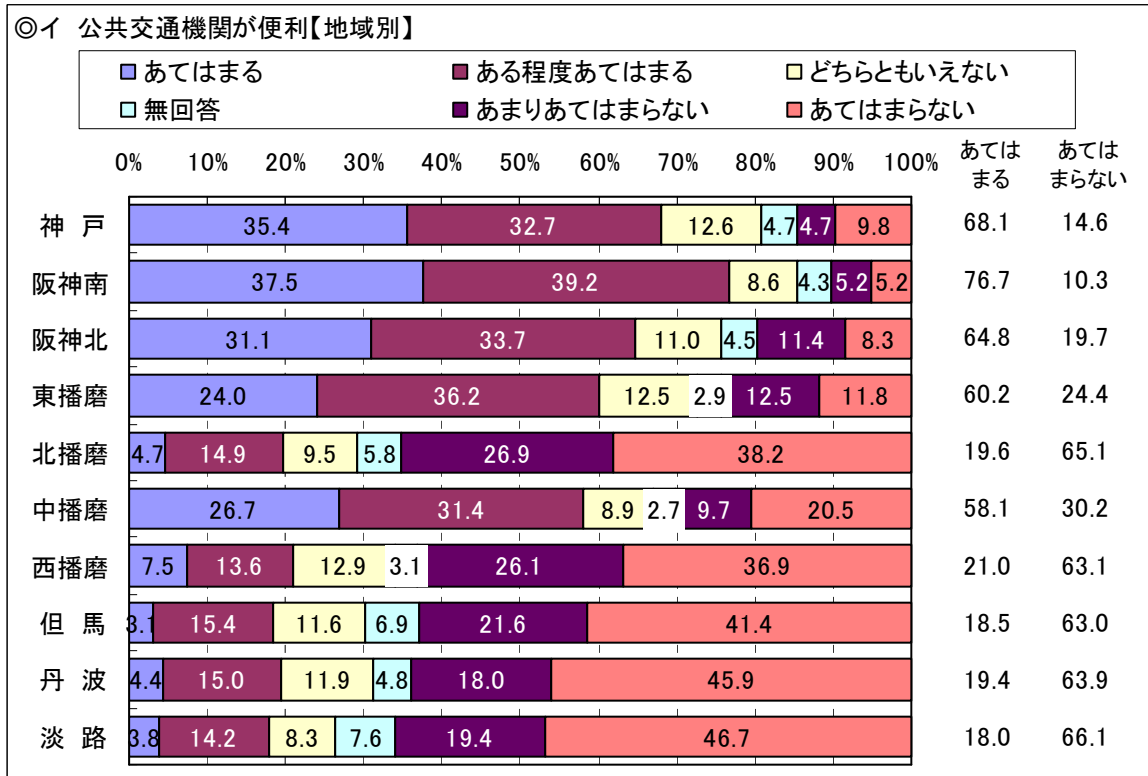
- 世帯収入別でみると、『あてはまる』は収入が多いほど増える傾向にあり、200万円未満の世帯(41.2%)では4割であるが、800～1000万円(60.4%)や1000万円以上(59.3%)の世帯では約6割である。



◎イ 公共交通機関が便利

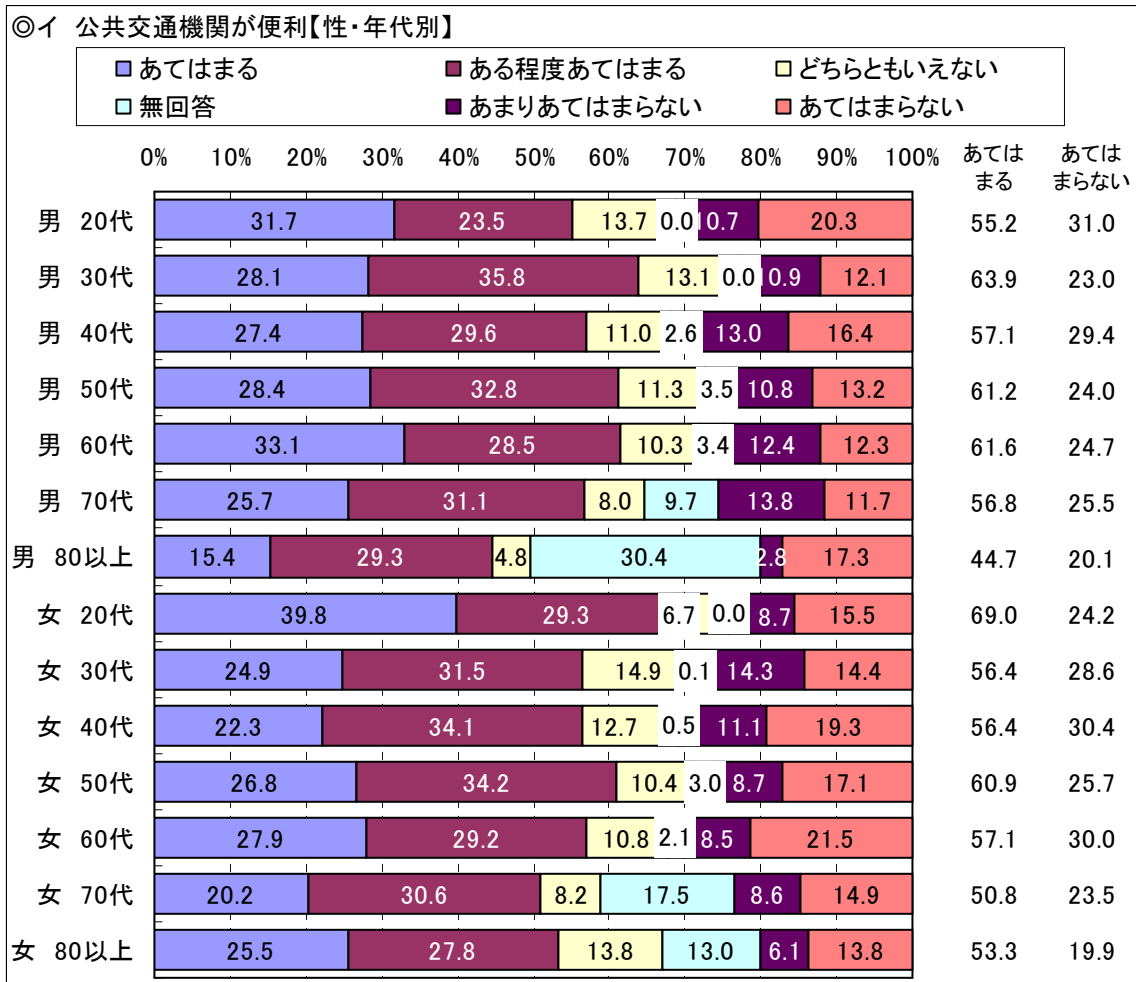
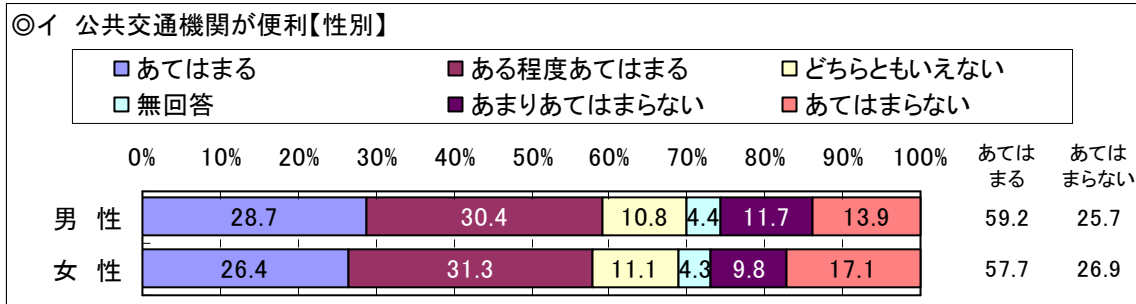
◆地域別

- 地域別で見ると、『あてはまる』は、阪神南(76.7%)や神戸(68.1%)など、阪神間や本州瀬戸内沿岸部の5地域(神戸、阪神南、阪神北、東播磨、中播磨)で概ね6割を超えている。
- 逆に、『あてはまらない』は、淡路(66.1%)や北播磨(65.1%)など上記以外の5地域(北播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路)で6割を超えている。



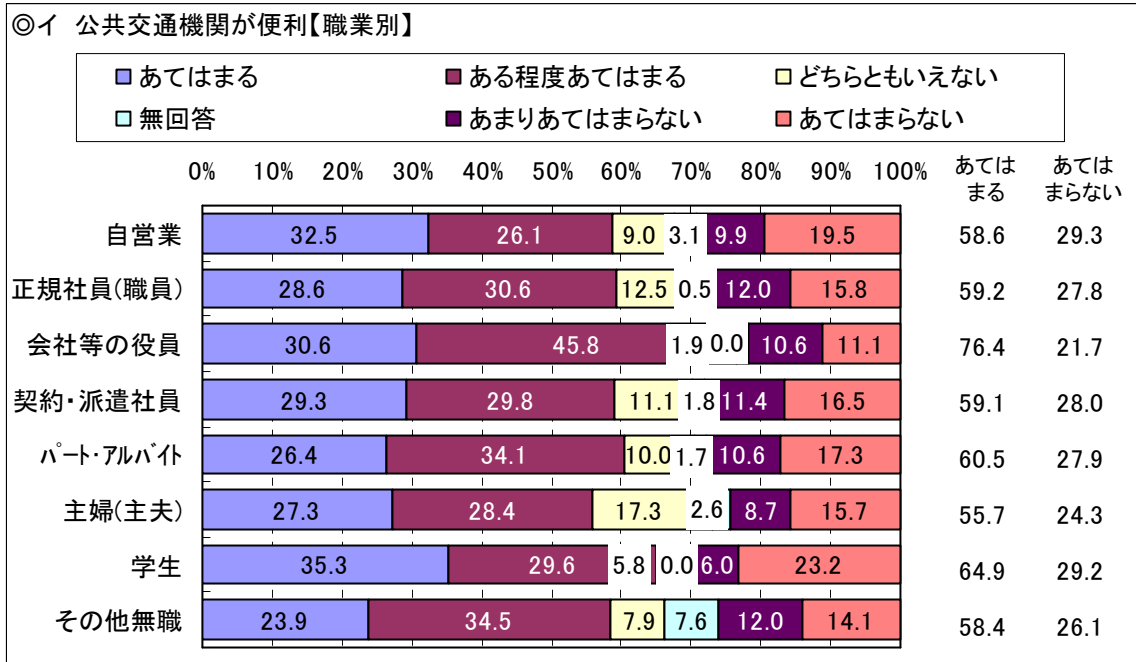
◆性別／性・年代別

- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別でみると、男性では、『あてはまる』は、80歳以上(44.7%)を除き、いずれの年代でも6割前後である。一方、『あてはまらない』は、3割台の20代(31.0%)を除き、いずれの年代も2割台である。
- 女性では、『あてはまる』は、20代(69.0%)で7割近いが、他の年代では概ね5割台である。一方、『あてはまらない』は、40代(30.4%)と60代(30.0%)で3割あるが、他の年代では概ね2割台である。



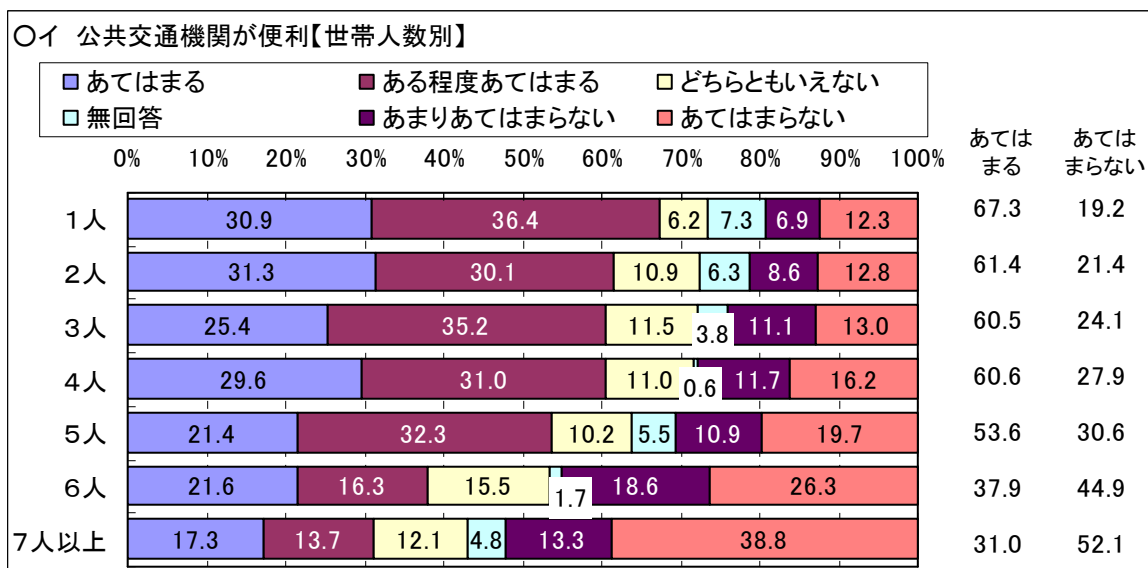
◆職業別

- 職業別にみると、『あてはまる』は、会社等の役員(76.4%)で4分の3を超えるが、他の職業では6割前後である。一方、『あてはまらない』は、いずれの職業でも2割台である。



◆世帯人数別

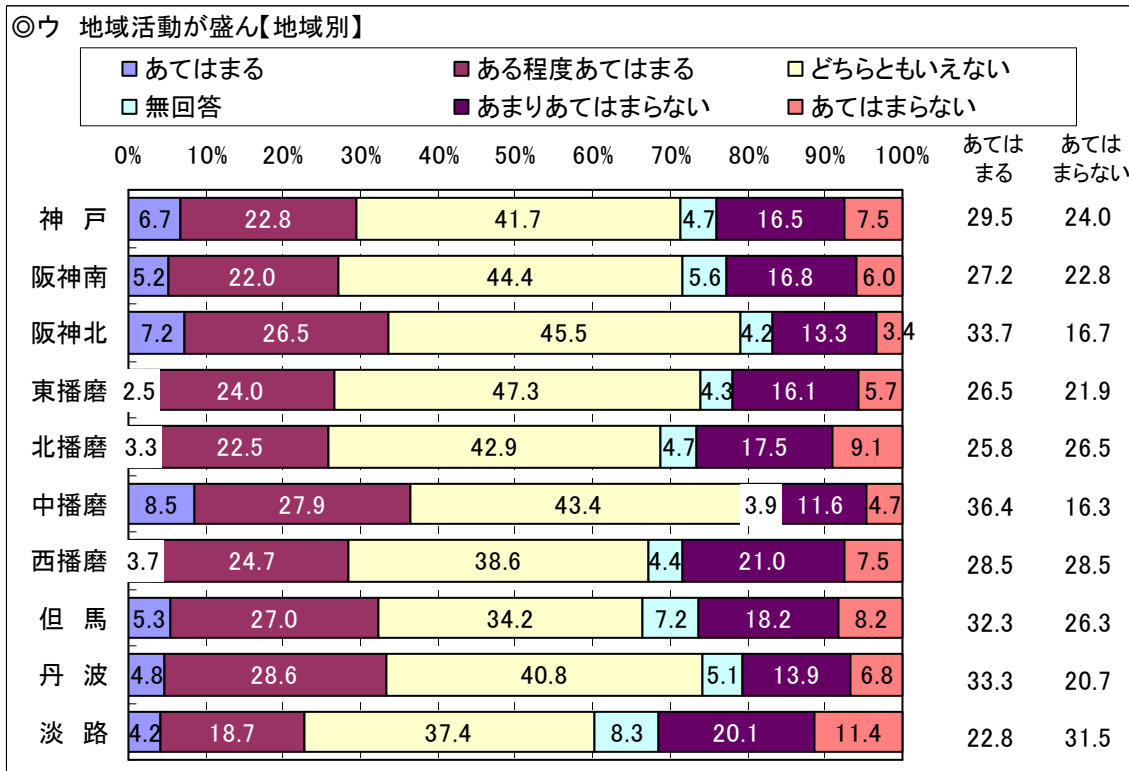
- 世帯人数別では、『あてはまる』は、世帯人数が多いほど減少する傾向にあり、1人世帯(67.3%)で6割台後半と最も多く、4人世帯までは6割台であるが、5人世帯(53.6%)で5割台、6人以上の世帯(37.9%、31.0%)では3割台となっている。
- 逆に、『あてはまらない』は、世帯人数が多いほど増加しており、7人以上世帯(52.1%)で5割台と最も多く、次いで6人世帯(44.9%)で4割台となっており、1人世帯(19.2%)では2割を下回る。



◎ウ 地域活動が盛ん

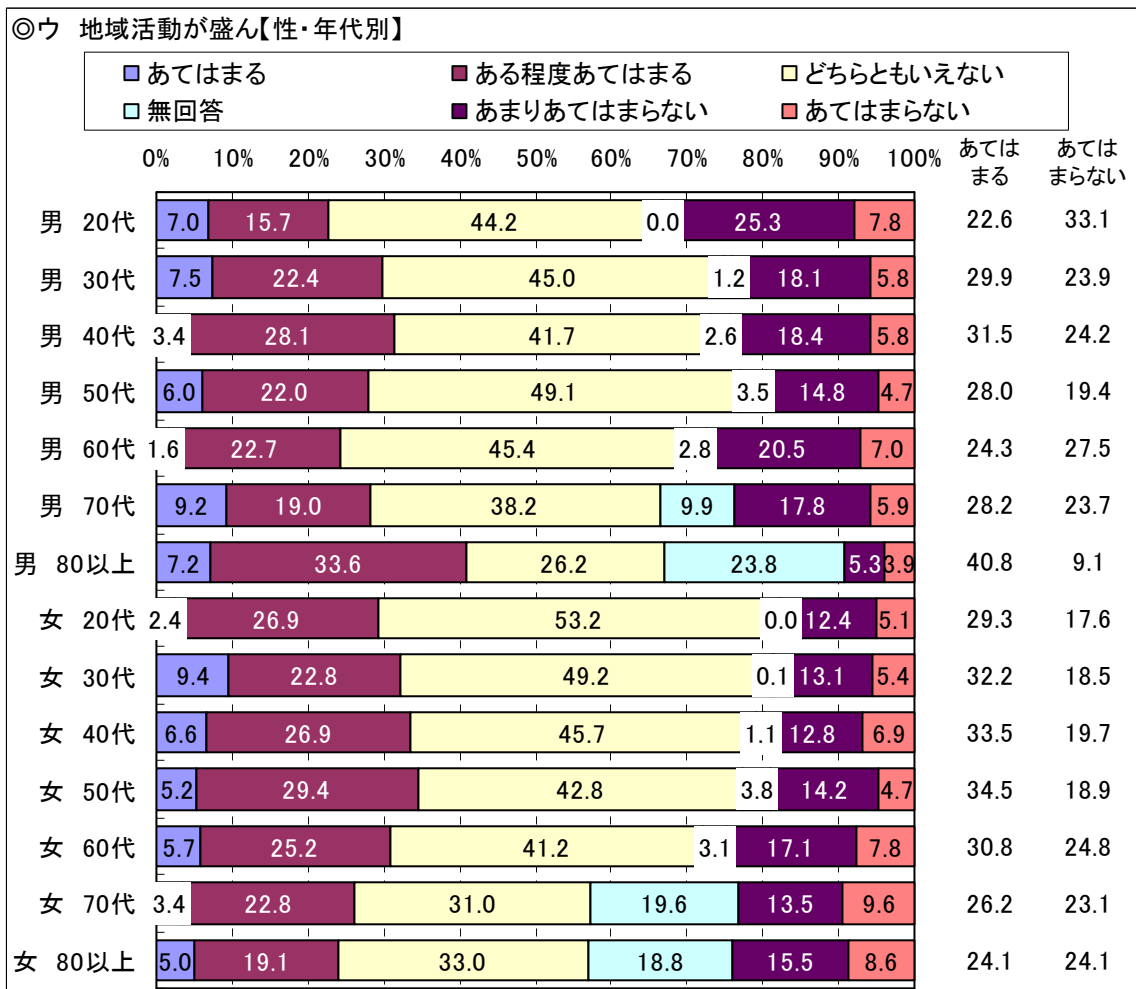
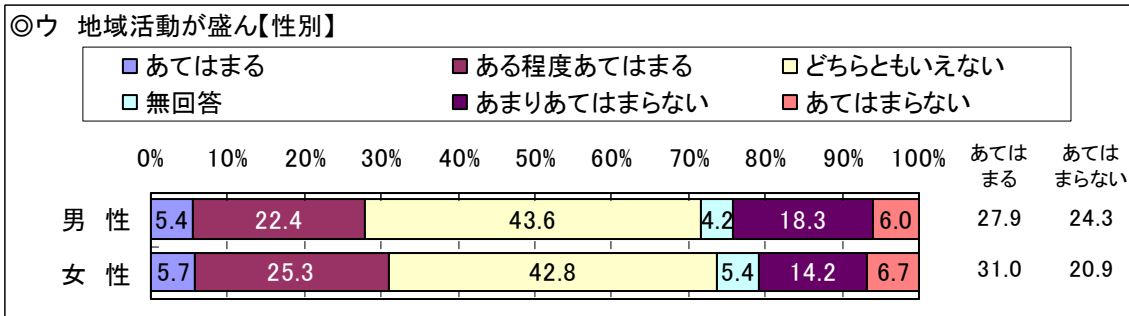
◆地域別

- 地域別にみると、『あてはまる』は、中播磨(36.4%)で最も多く、3割前後の地域が多いなか、淡路(22.8%)では2割強に止まる。一方、『あてはまらない』は、淡路(31.5%)で3割を超え、2割台の地域が多いなか、中播磨(16.3%)や阪神北(16.7%)では1割台である。
- 『あてはまる』が『あてはまらない』を上回る地域の方が多いが、北播磨と淡路では『あてはまらない』が『あてはまる』を上回り、西播磨では同率になっている。
- また、「どちらともいえない」は、東播磨(47.3%)で半数近くを占めるなど、いずれの地域でも最も多い回答となっている。



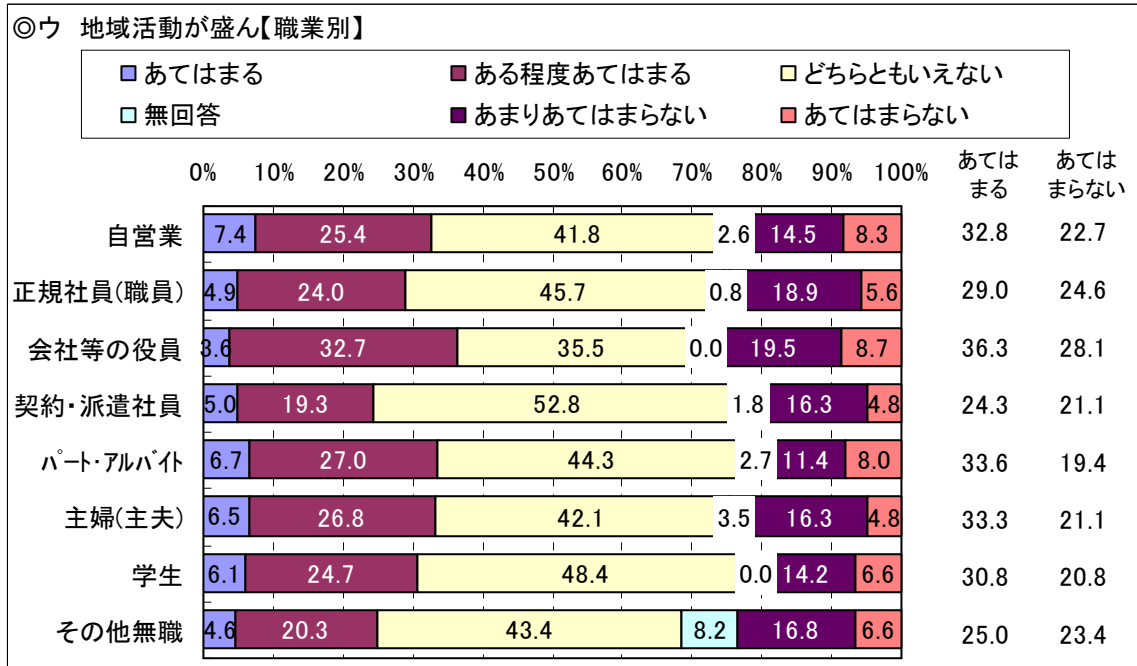
◆性別／性・年代別

- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別でみると、男性では、『あてはまる』は、80歳以上(40.8%)と40代(31.5%)を除き2割台である。一方、『あてはまらない』も、20代(33.1%)と80歳以上(9.1%)除くと2割台であり、20代と60代では『あてはまらない』が『あてはまる』を上回っている。
- 女性では、『あてはまる』は、いずれの年代でも3割前後となっている。一方、『あてはまらない』は、50代までは1割台、60代以降では2割台と、年代が上がると増える傾向にあるが、80歳以上で『あてはまる』と同率になるに止まり、男性のように上回ることはない。
- 男女いずれの年代においても、「どちらともいえない」との回答が多く、無回答も加味すると4割を超え、他の回答を上回っている。



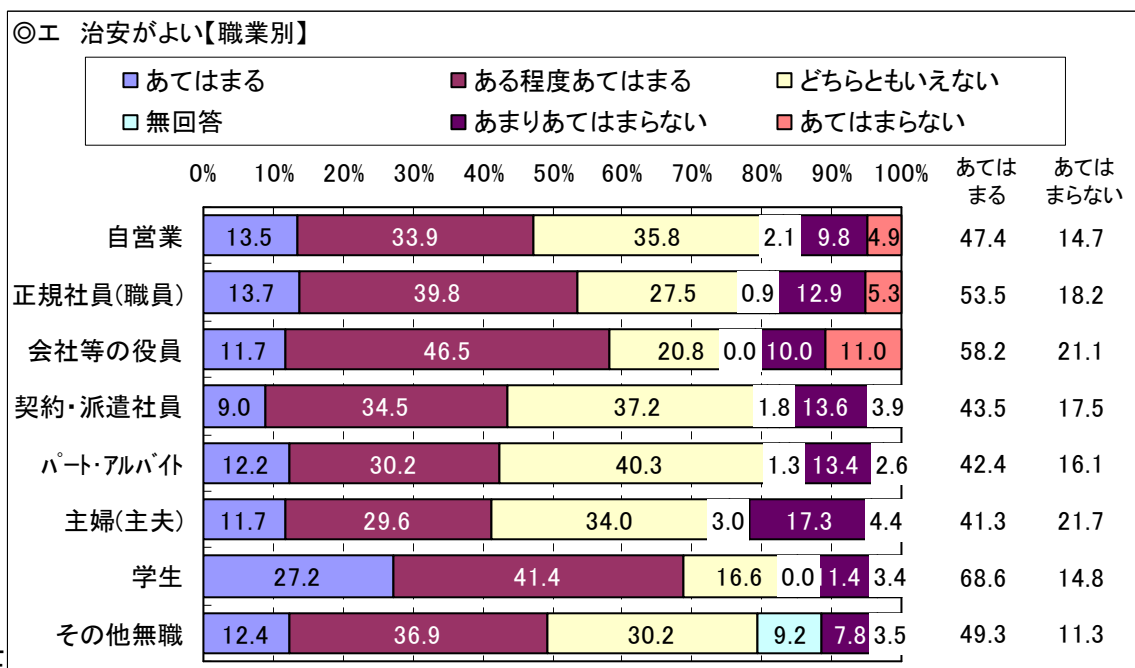
◆職業別

- 職業別にみると、いずれの職業でも、概ね、『あてはまる』は3割前後、『あてはまらない』は2割前後であり、いずれも『あてはまる』が『あてはまらない』を上回っている。
- また、いずれの職業でも「どちらともいえない」との回答が最も多い。



◆職業別

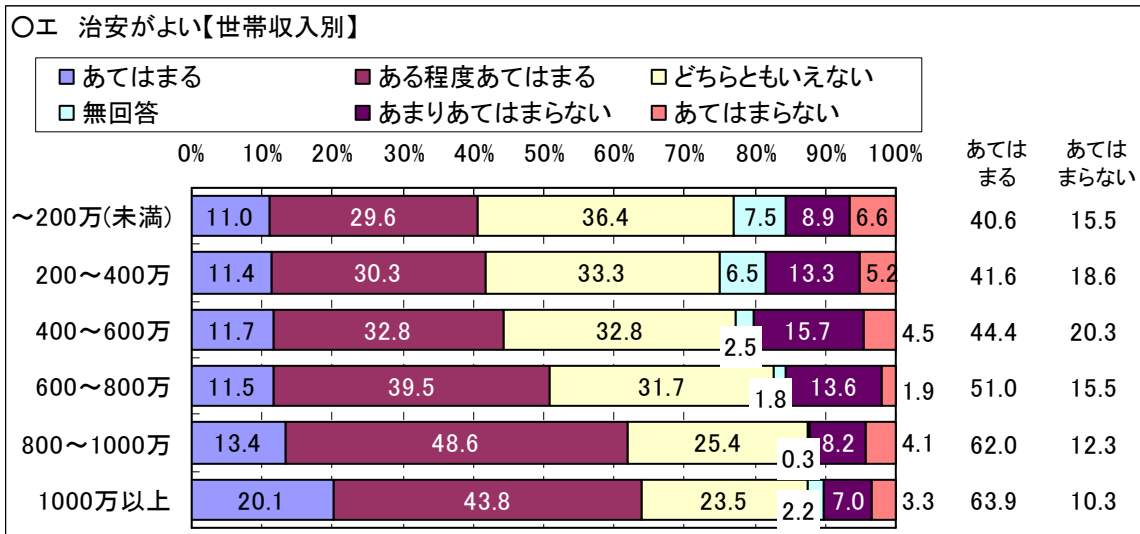
- 職業別にみると、『あてはまる』は、学生(68.6%)で7割近く、会社等の役員(58.2%)や正規社員(53.5%)では5割を超えるが、これら以外の職業(41.3%~49.3%)では4割台である。一方、『あてはまらない』は、1割台(11.3%~18.2%)の職業が多いなか、主婦(21.7%)と会社等の役員(21.1%)では2割を超えている。



◆世

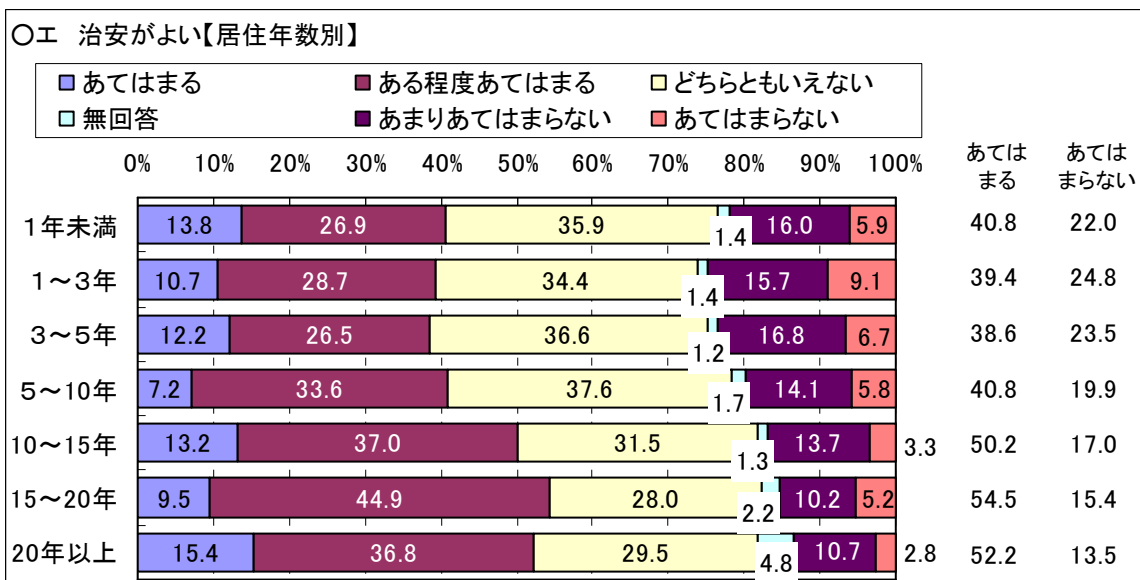
- 世帯収入別では、『あてはまる』は、収入が多いほど増加しており、400万円未満の世帯(40.6%、

41.6%)では約4割であるが、800万円以上の世帯(62.0%、63.9%)では6割を超えている。一方、『あてはまらない』は、400～600万円の世帯(20.3%)で2割あるが、他の世帯では1割台(10.3%～18.6%)である。



◆居住年数別

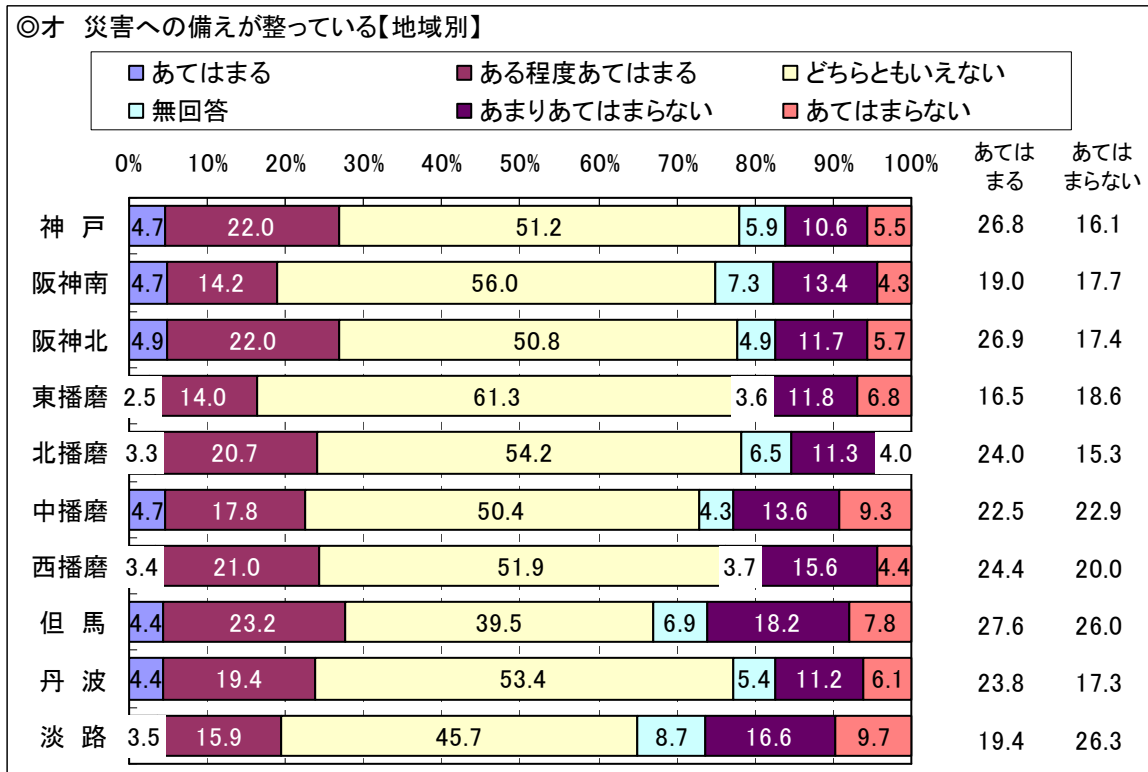
○ 『あてはまる』は、居住年数が10年未満では約4割に止まる一方、10年以上では5割台となっており、居住年数10年を境に差が生じている。一方、『あてはまらない』は、1～3年(24.8%)の2割台半ばをピークに居住年数が長くなるほど減少し、20年以上(13.5%)では1割台前半である。



オ 災害への備えが整っている

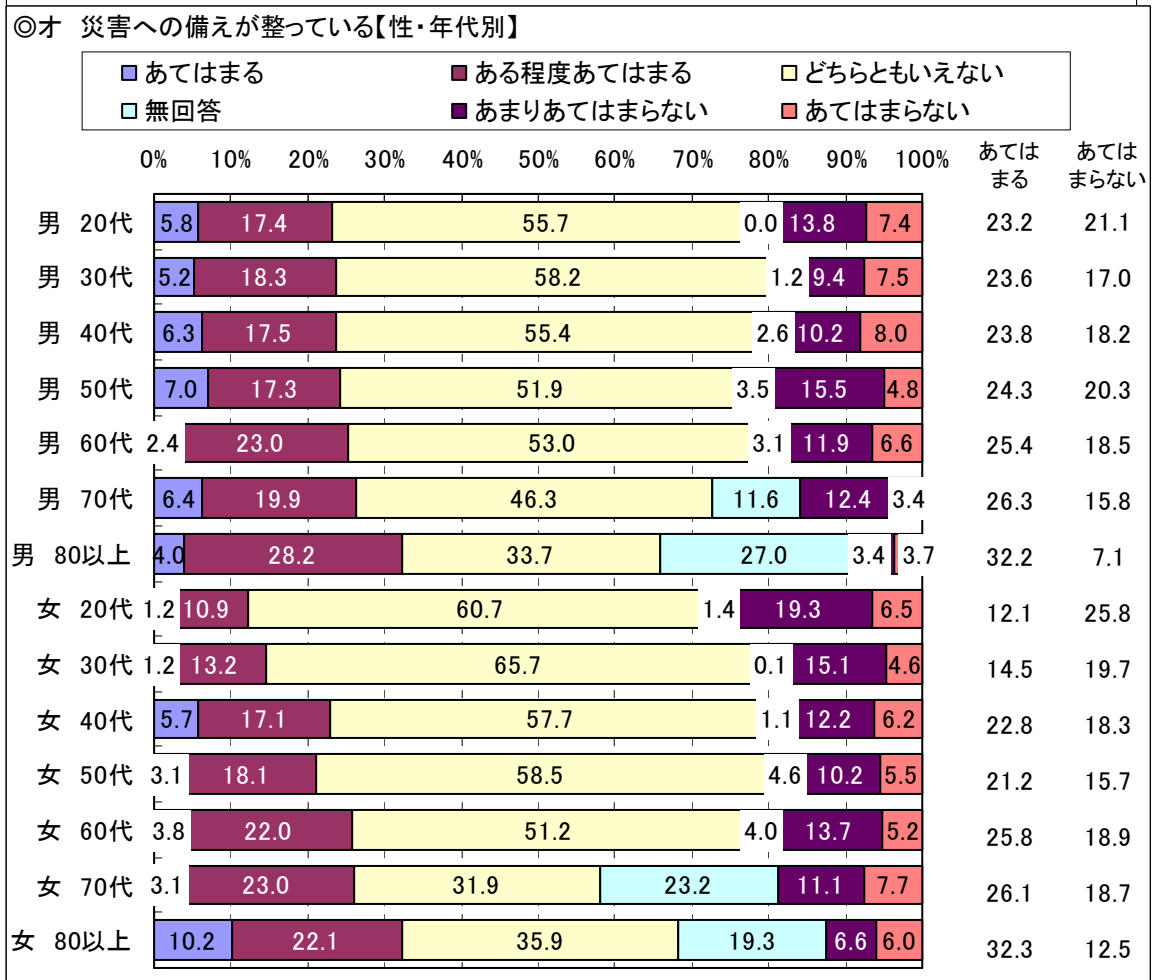
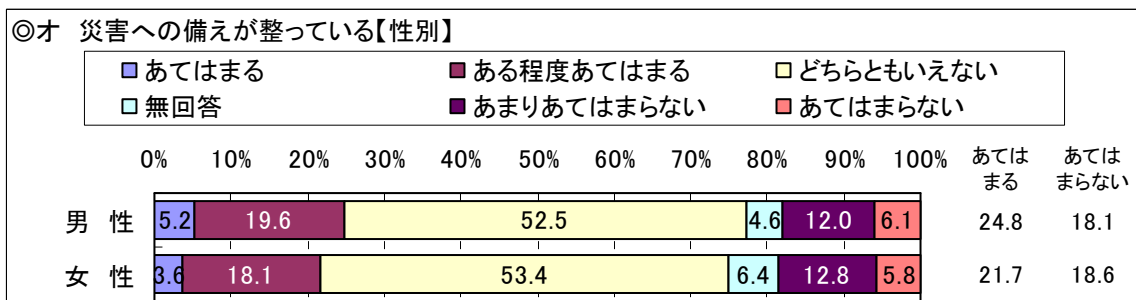
◆地域別

- 地域別でみると、いずれの地域でも、『あてはまる』は2割前後(16.5%~27.6%)、『あてはまらない』も2割前後(15.3%~26.3%)であり、東播磨と中播磨、淡路の3地域のみ『あてはまらない』が『あてはまる』を上回っている。
- また、いずれの地域でも「どちらともいえない」との回答が最も多く、但馬(39.5%)と淡路(45.7%)を除き5割を超えている。



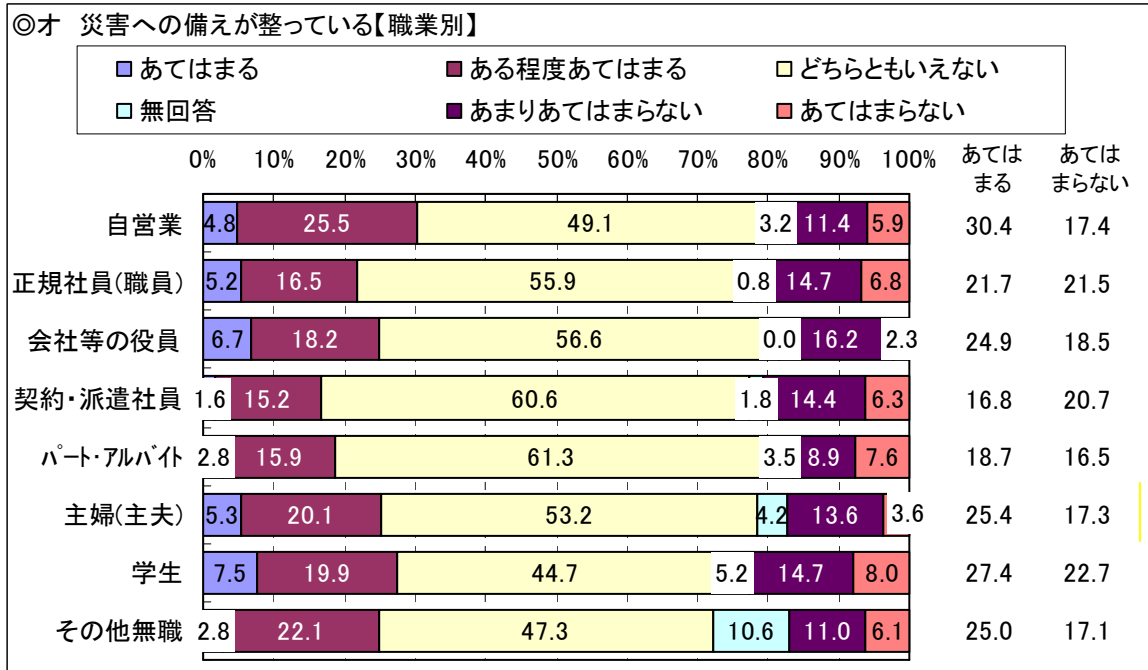
◆性別／性・年代別

- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別でみると、男性では、『あてはまる』は、80歳以上(32.2%)で3割を超えるが、他の年代では2割台(23.2%~26.3%)である。一方、『あてはまらない』は、80歳以上(7.1%)で1割未満であるが、他の年代では2割前後(15.8%~21.1%)となっている。
- 女性では、『あてはまる』は、1割強の20代(12.1%)から3割台の80歳以上(32.3%)へと、年代が上がるが増加する傾向にある。一方、『あてはまらない』は、20代(25.8%)と80歳以上(12.5%)を除き1割台後半(15.7%~19.7%)であり、20代と30代では『あてはまらない』が『あてはまる』を上回っている。
- 男女いずれの年代でも「どちらともいえない」と無回答の比率が5割を超えている。



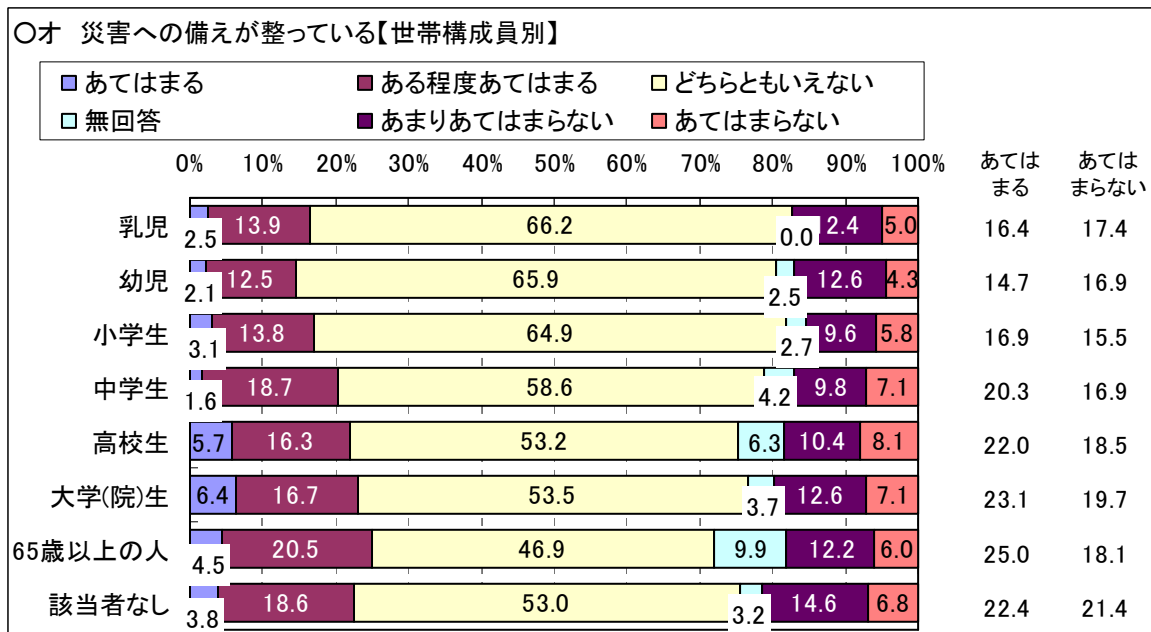
◆職業別

- 職業別では、『あてはまる』は、自営業(30.4%)で3割あるが、パート・アルバイト(18.7%)と契約・派遣社員(16.8%)では2割を下回っている。一方、『あてはまらない』は、いずれの職業でも2割前後(16.5%~22.7%)であり、契約・派遣社員でのみ『あてはまらない』が『あてはまる』を上回っている。
- いずれの職業でも「どちらともいえない」との回答が最も多い。



◆世帯構成員別

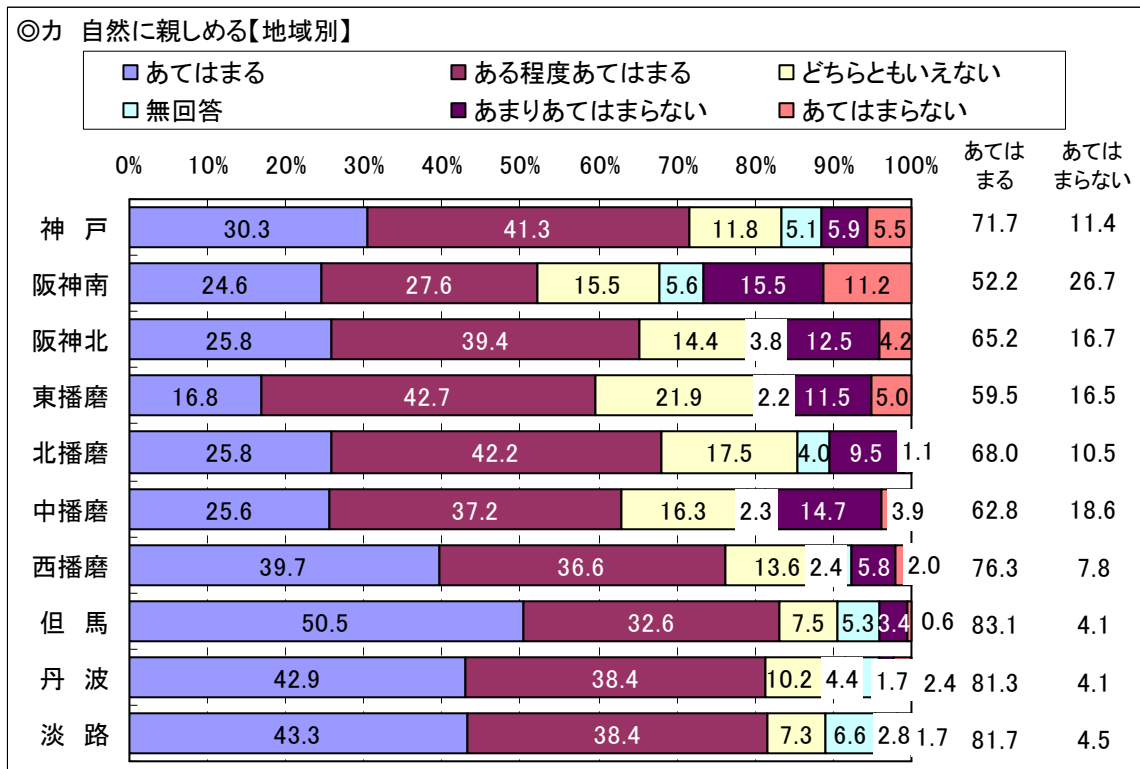
- 『あてはまらない』は、世帯構成員による特段の差がみられないが、世帯構成員の年齢が上がるにつれて、「どちらともいえない」(66.2%→46.9%)が徐々に減少し、『あてはまる』(14.7%→25.0%)が徐々に増加する傾向が見受けられる。



カ 自然に親しめる

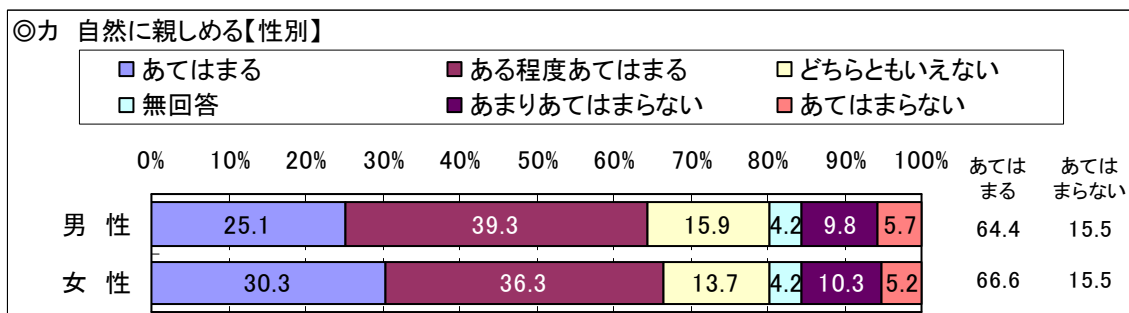
◆地域別

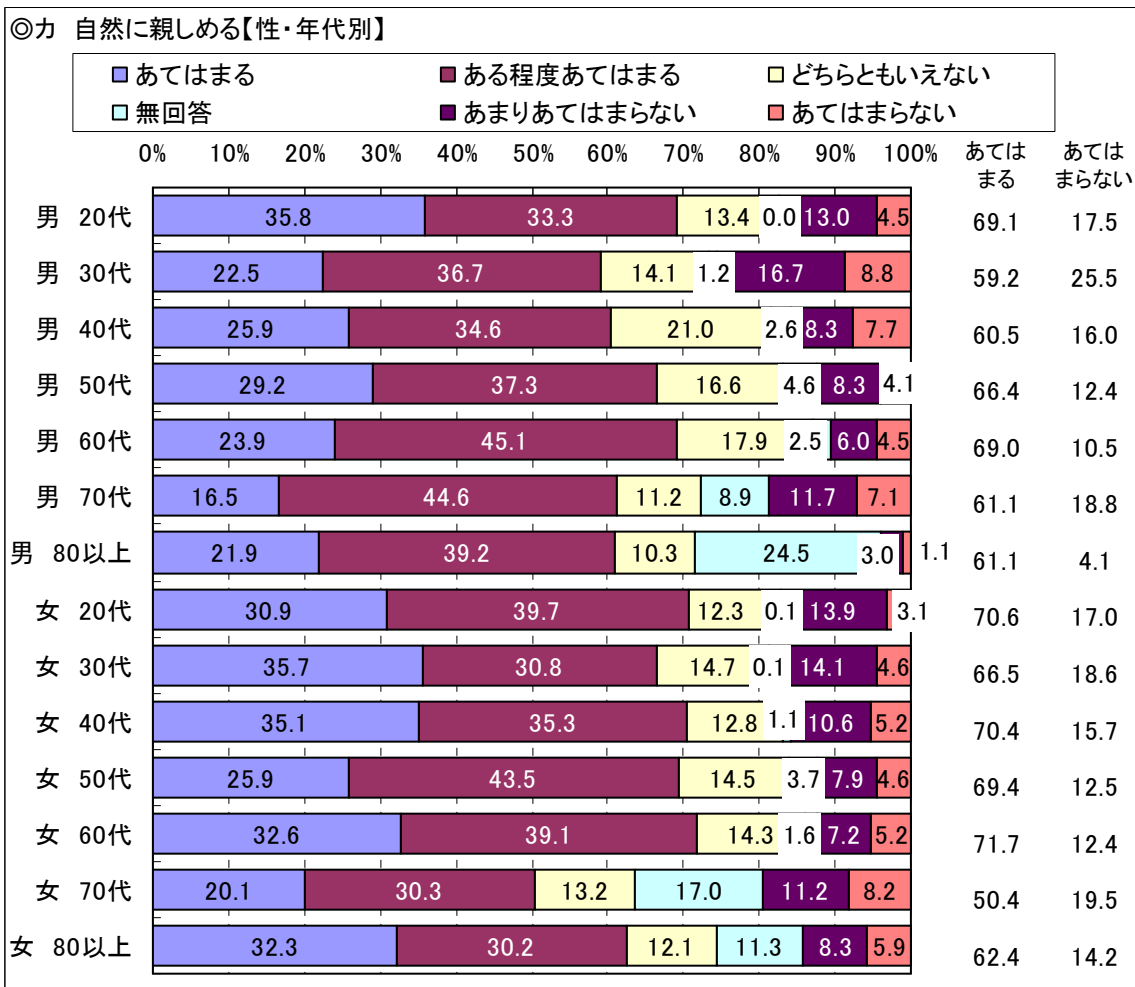
- 地域別でみると、『あてはまる』は、但馬(83.1%)、淡路(81.7%)、丹波(81.3%)で8割を、西播磨(76.3%)と神戸(71.7%)では7割を超えており、残る5地域のうち、東播磨(59.5%)と阪神南(52.2%)では6割を下回っている。
- 一方、『あてはまらない』は、阪神南(26.7%)で2割を超えているが、他の地域では1割台もしくは1割未満(4.1%~18.6%)である。



◆性別／性・年代別

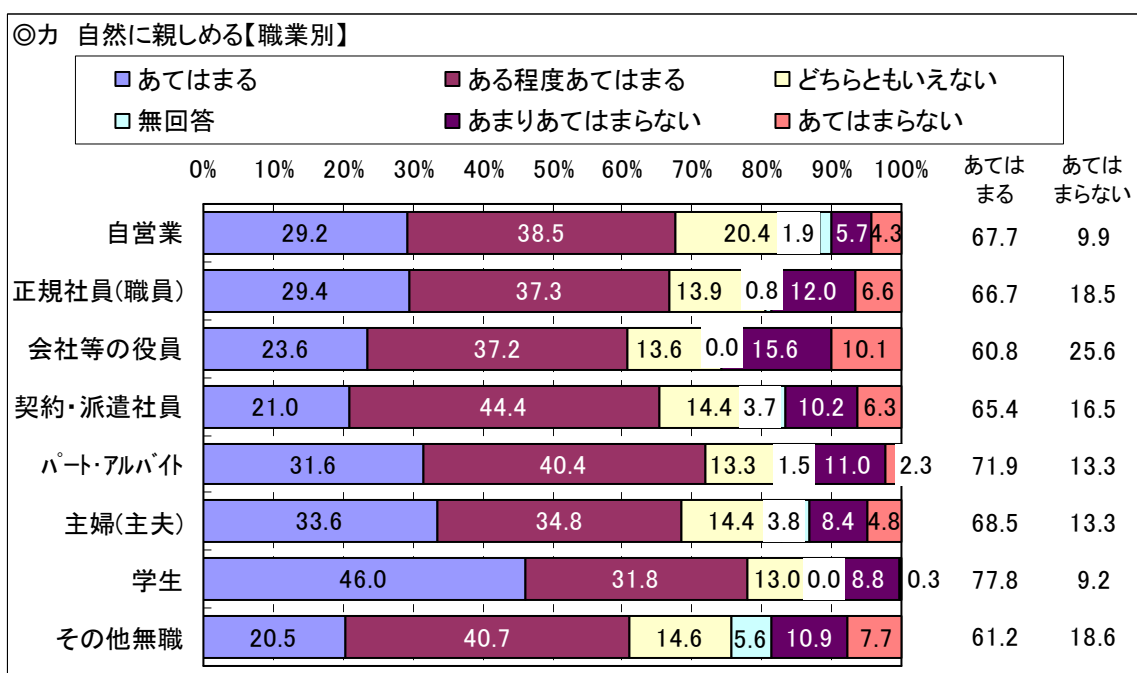
- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別でみると、男性では、『あてはまる』は、いずれの年代でも概ね6割台(59.2%~69.1%)である。一方、『あてはまらない』は、30代(25.5%)で2割を超え、80歳以上(4.1%)を除き1割台(10.5%~18.8%)である。
- 女性では、『あてはまる』は、70代(50.4%)と80歳以上(62.4%)を除き7割前後(66.5%~71.7%)となっており、一方、『あてはまらない』は、いずれの年代でも1割台(12.4%~19.5%)である。





◆職業別

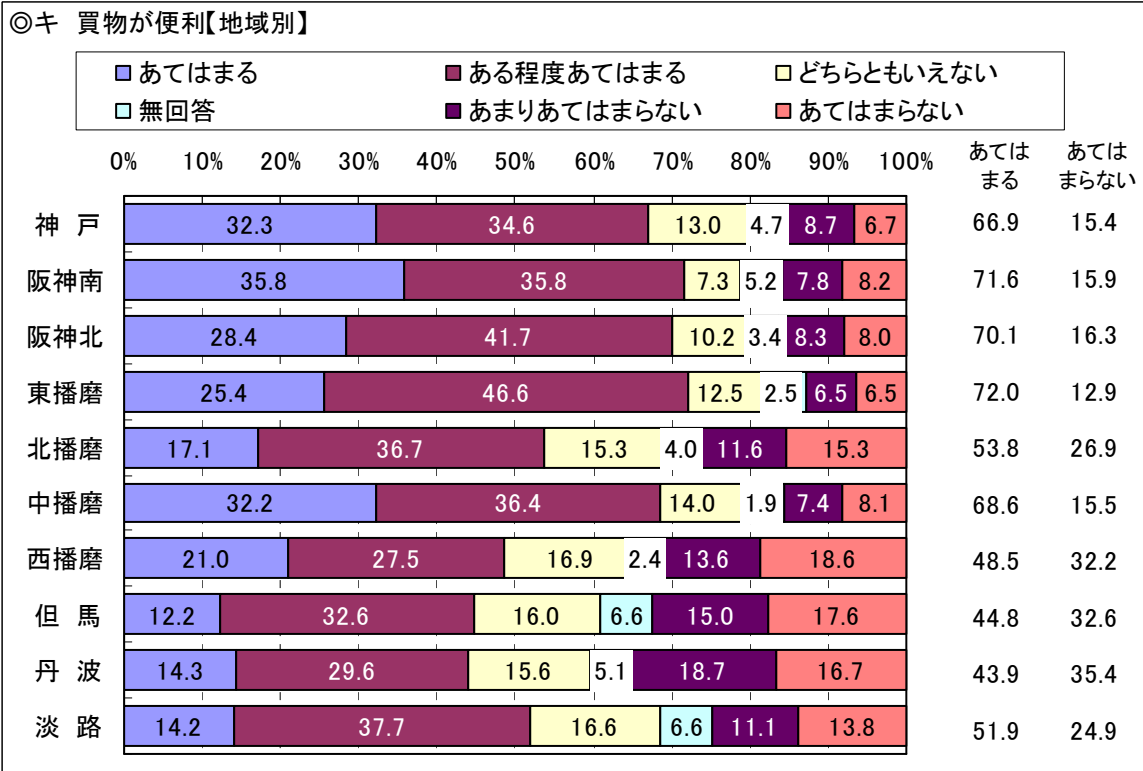
- 職業別にみると、『あてはまる』は、学生(77.8%)とパート・アルバイト(71.9%)で7割を超えているが、他の職業では6割台(60.8%~68.5%)である。一方、『あてはまらない』は、会社等の役員(25.6%)で4分の1を越えるが、他の職業では概ね1割台(9.2%~18.6%)である。



キ 買物が便利

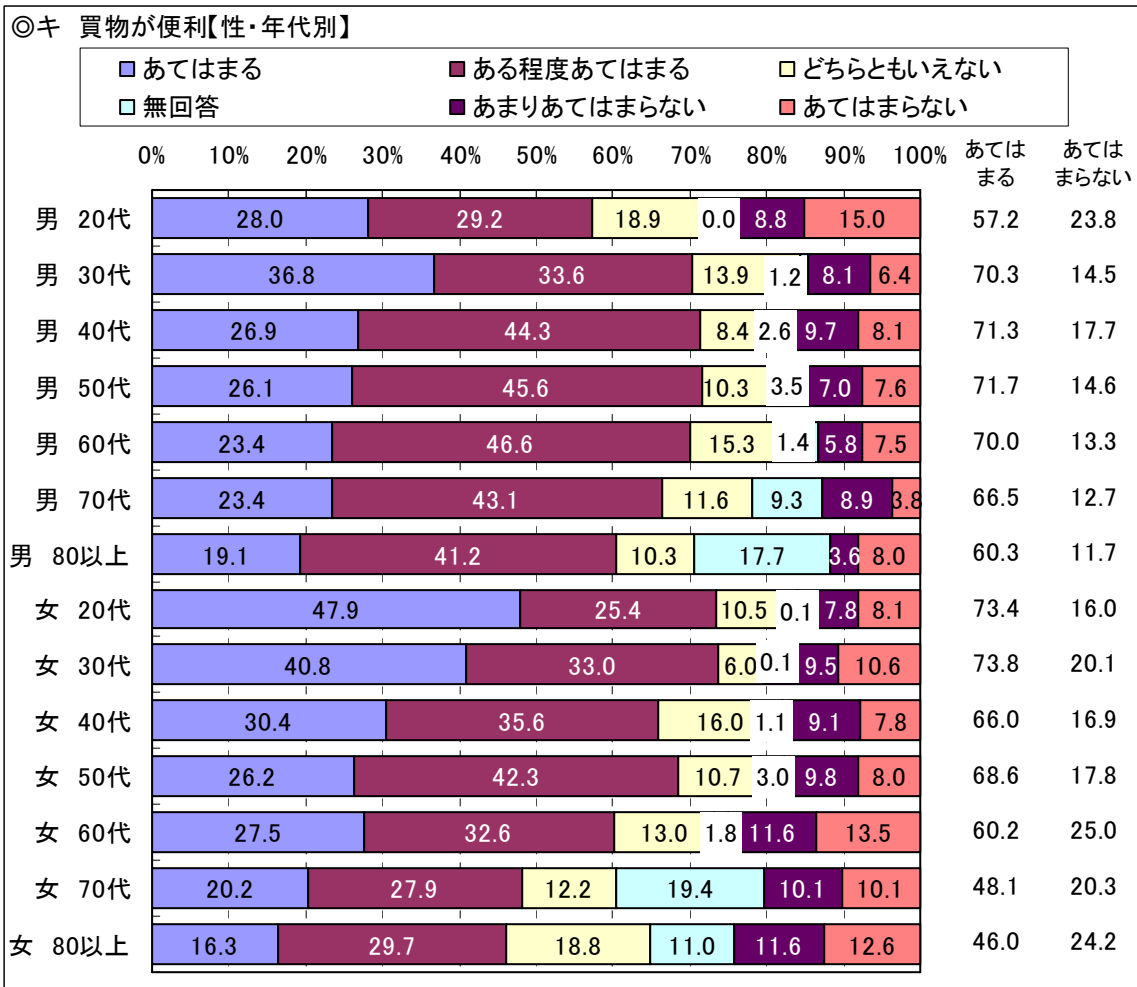
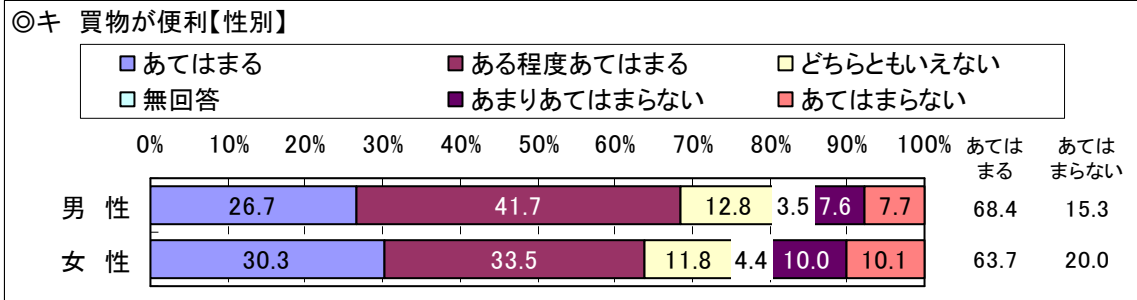
◆地域別

- 地域別で見ると、『あてはまる』は、東播磨(72.0%)や阪神南(71.6%)、阪神北(70.1%)で7割台、中播磨(68.6%)や神戸(66.9%)で6割台と、阪神間や本州瀬戸内沿岸部の5地域では多いが、丹波(43.9%)や但馬(44.8%)、西播磨(48.5%)では5割を下回っている。
- 一方、『あてはまらない』は、東播磨(12.9%)や神戸(15.4%)など阪神間や本州瀬戸内沿岸部5地域では1割台(12.9%~16.3%)に止まるが、丹波(35.4%)や但馬(32.6%)、西播磨(32.2%)で3割を超え、北播磨(26.9%)、淡路(24.9%)でも2割台半ばとなっている。



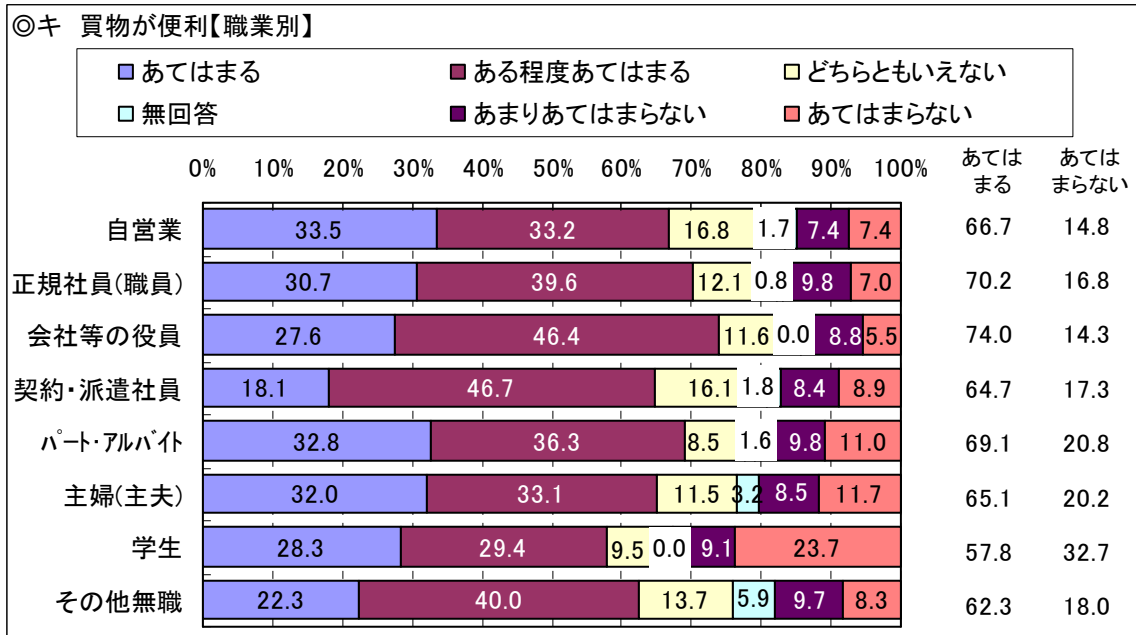
◆性別／性・年代別

- 性別では、『あてはまる』は女性(63.7%)より男性(68.4%)でやや多く、『あてはまらない』は男性(15.3%)より女性(20.0%)でやや多い。
- 性・年代別でみると、男性では、『あてはまる』は、20代(57.2%)では5割台に止まるが、30代～60代(70.0%～71.7%)では7割台、70代以降(66.5%、60.3%)では6割台となっている。一方、『あてはまらない』は、20代(23.8%)で2割を超えるが、他の年代(11.7%～17.7%)では1割台である。
- 女性では、『あてはまる』は、30代以下(73.4%、73.8%)での7割台から、70代以降(48.1%、46.0%)での4割台へと、年代が上がるにつれて減少する傾向にある。一方、『あてはまらない』は、いずれの年代層でも概ね2割前後(16.0%～25.0%)である。



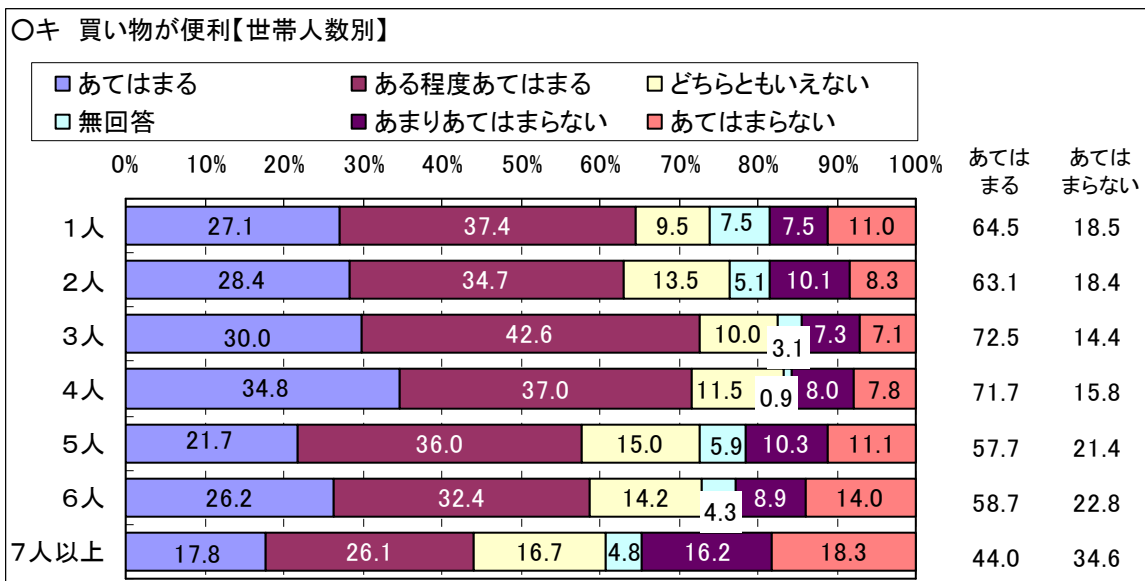
◆職業別

- 職業別でみると、『あてはまる』は、5割台の学生(57.8%)を除き、7割前後(62.3%~74.0%)である。一方、『あてはまらない』は、学生(32.7%)で3割を超えているが、他の職業(14.3%~20.8%)では2割程度に止まる。



◆世帯人数別

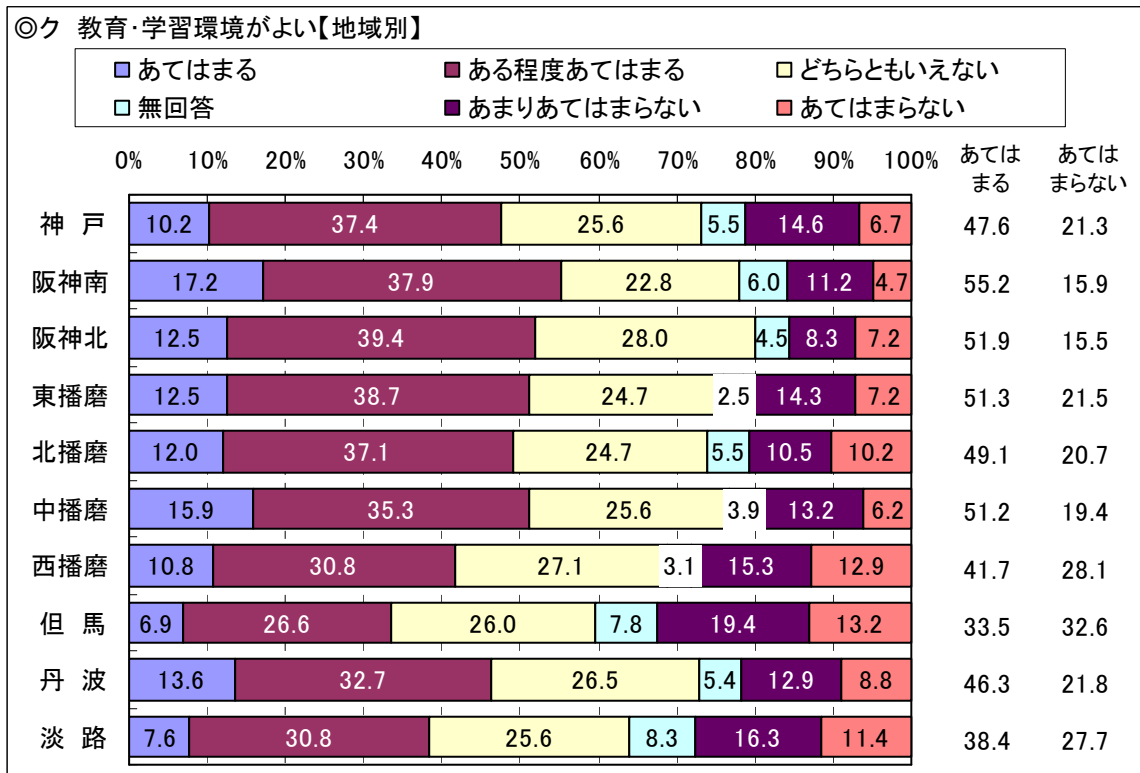
- 世帯人数別でみると、『あてはまる』は、1人(64.5%)や2人(63.1%)の世帯では6割で、3人(72.5%)と4人(71.7%)の世帯で7割を超えているが、5人以上の世帯では減少に転じ、7人以上(44.0%)では5割を下回っている。
- 一方、『あてはまらない』は、4人以下(14.4%~18.5%)の世帯では1割台であるが、5人以上の世帯では2割を超え、7人以上の世帯(34.6%)では3割台半ばになっている。



ク 教育・学習環境がよい

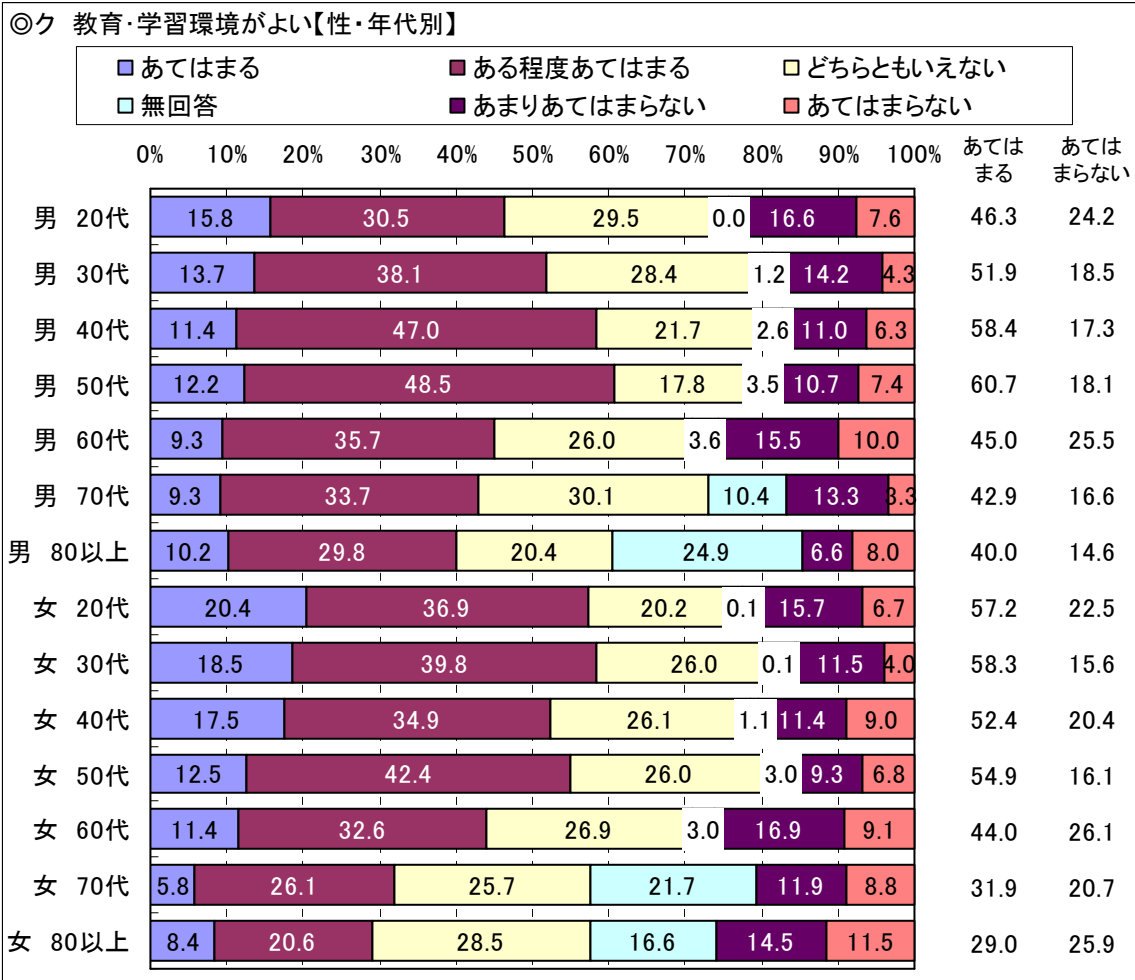
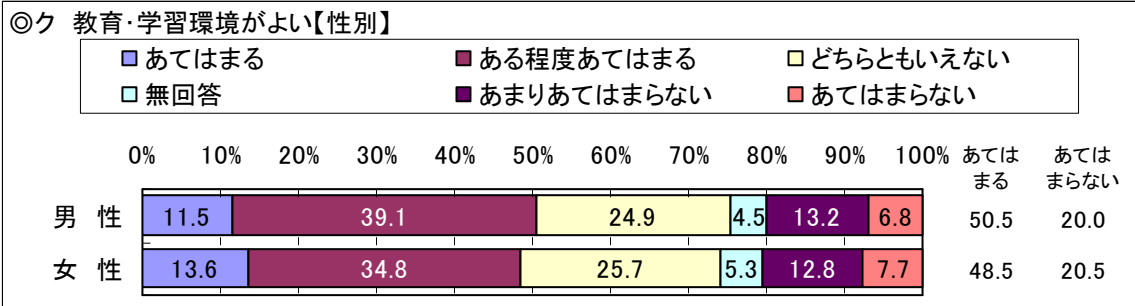
◆地域別

- 地域別でみると、『あてはまる』は、阪神南(55.2%)、阪神北(51.9%)、東播磨(51.3%)、中播磨(51.2%)で5割台、神戸(47.6%)、北播磨(49.1%)、西播磨(41.7%)、丹波(46.3%)で4割台、但馬(33.5%)、淡路(38.4%)では3割台となっている。
- 一方、『あてはまらない』は、西播磨(28.1%)、但馬(32.6%)、淡路(27.7%)で3割前後あるが、他の地域では2割前後(15.5%~21.8%)であり、『あてはまらない』が『あてはまる』を上回る地域はない。



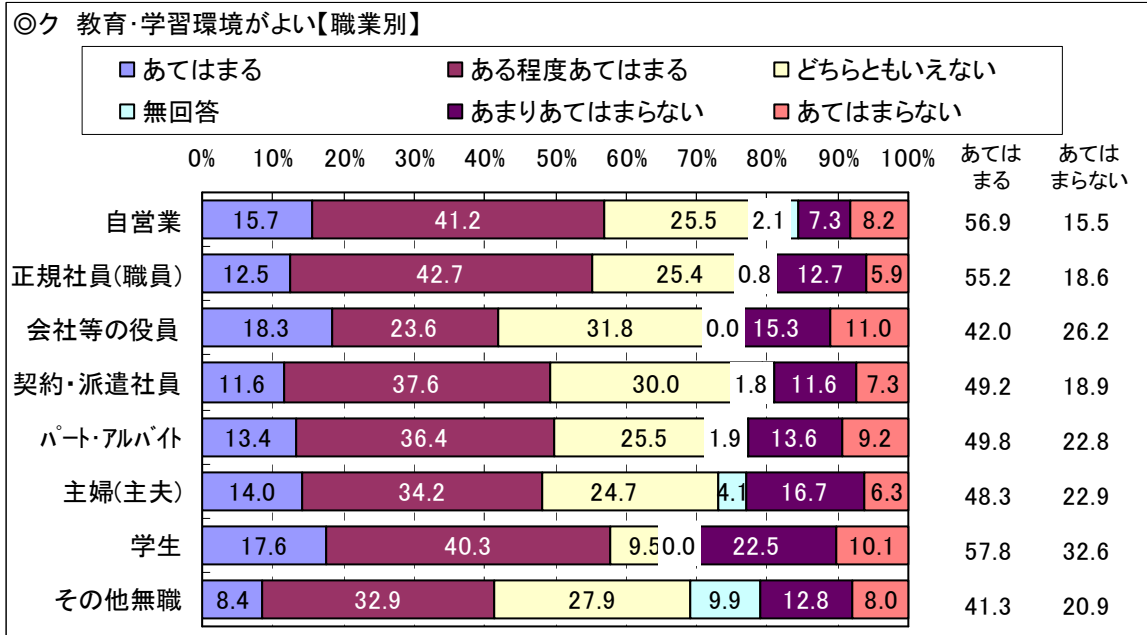
◆性別／性・年代別

- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別でみると、男性では、『あてはまる』は、50代(60.7%)と40代(58.4%)で6割前後、30代(51.9%)では5割強であるが、他の年代では4割台となっている。一方、『あてはまらない』は、60代(25.5%)と20代(24.2%)で2割を超えているが、他の年代では1割台である。
- 女性では、『あてはまる』は、50代までは5割を超えているが、60代以降では、年代が上がるにつれて減少し、80歳以上(29.0%)では3割を下回っている。一方、『あてはまらない』は、1割台の30代(15.6%)と50代(16.1%)を除き、2割台である。



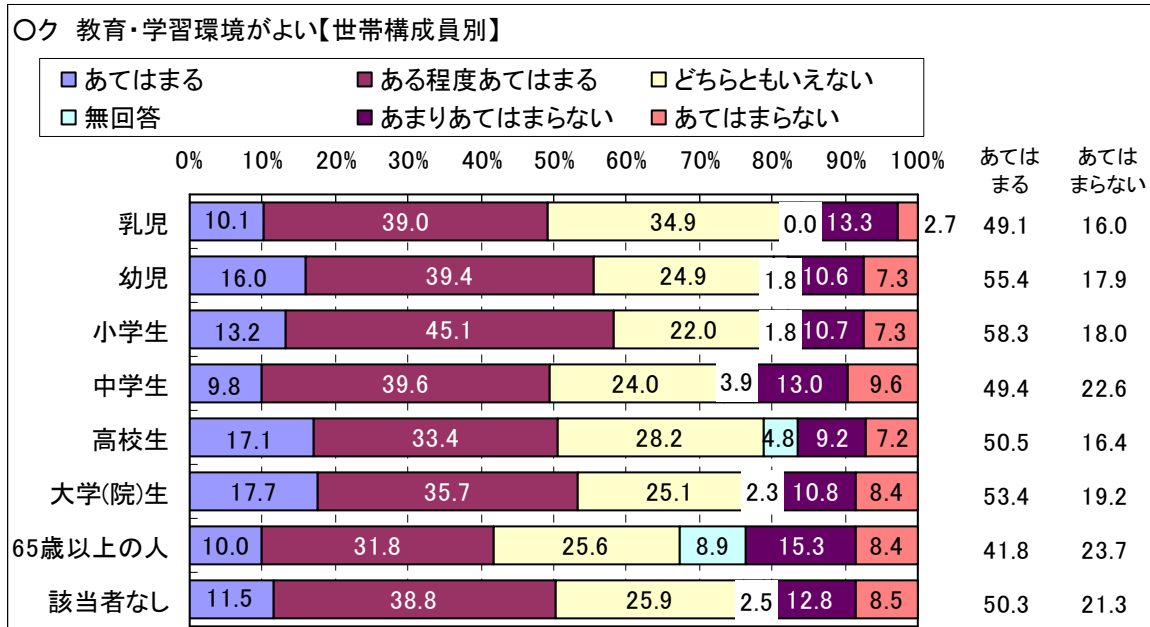
◆職業別

- 職業別では、『あてはまる』は、学生(57.8%)、自営業(56.9%)、正規社員(55.2%)で5割を超えるが、他の職業では4割台となっている。
- 『あてはまらない』は、学生(32.6%)で3割を超えるが、契約・派遣社員(18.9%)、正規社員(18.6%)、自営業(15.5%)では2割を下回っている。



◆世帯構成員別

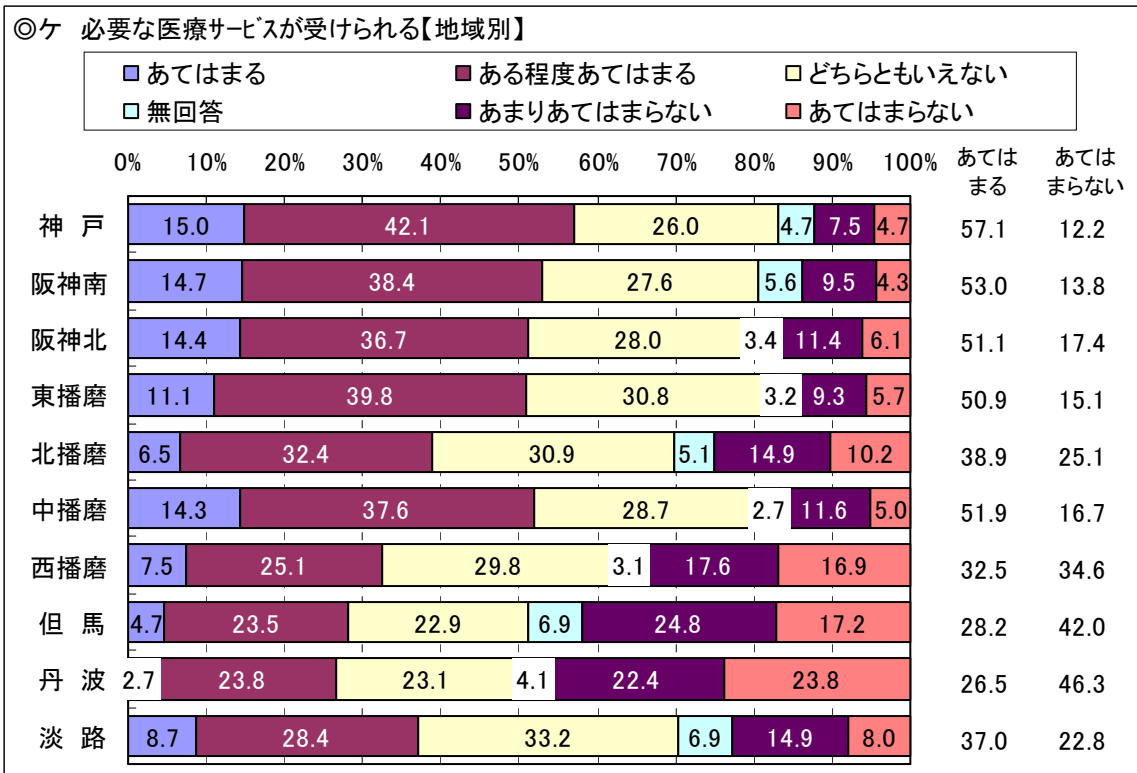
- 世帯構成員別でみると、『あてはまる』は、幼児(55.4%)や小学生(58.3%)のいる世帯で5割台半ばを超えており、他の世帯では、65歳以上の人のいる世帯(41.8%)を除き5割前後(49.1%~53.4%)である。



ケ 必要な医療サービスが受けられる

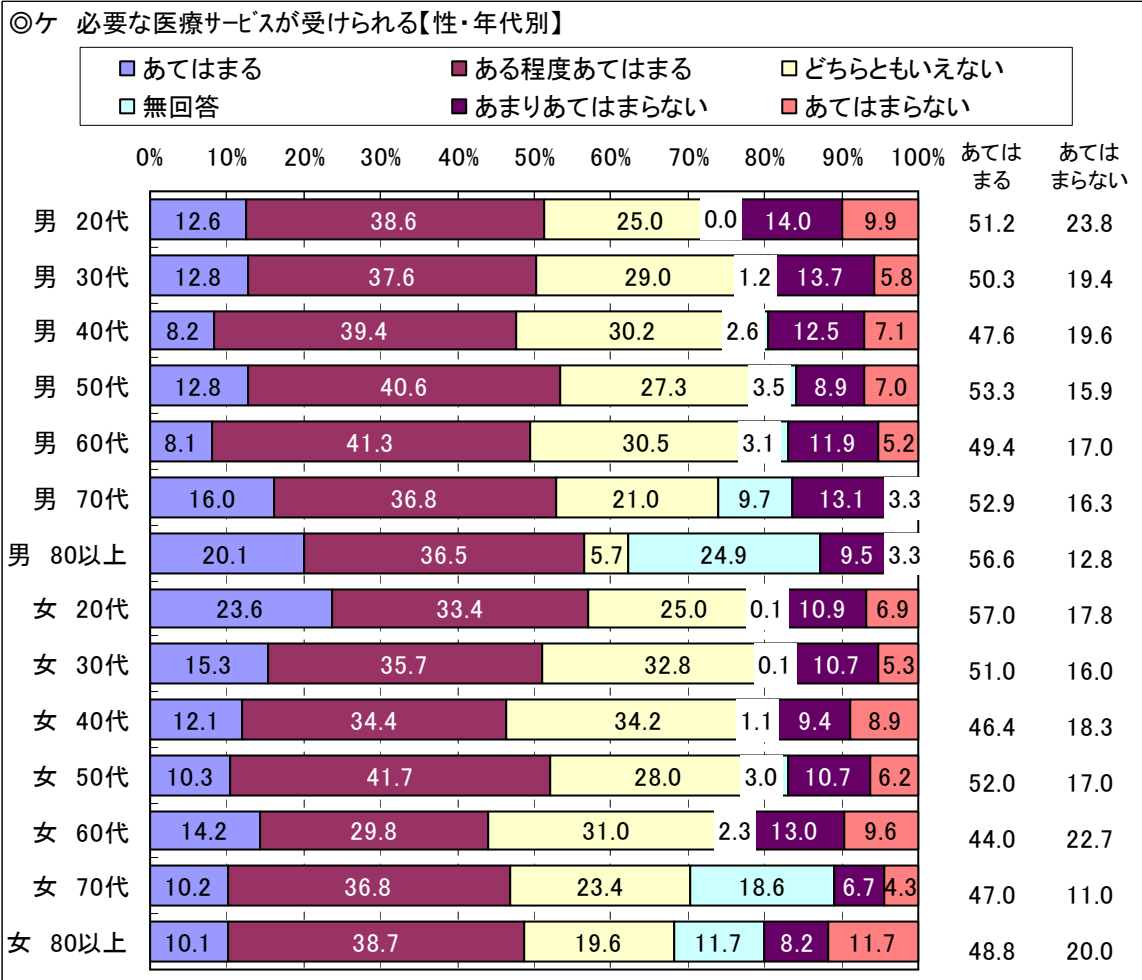
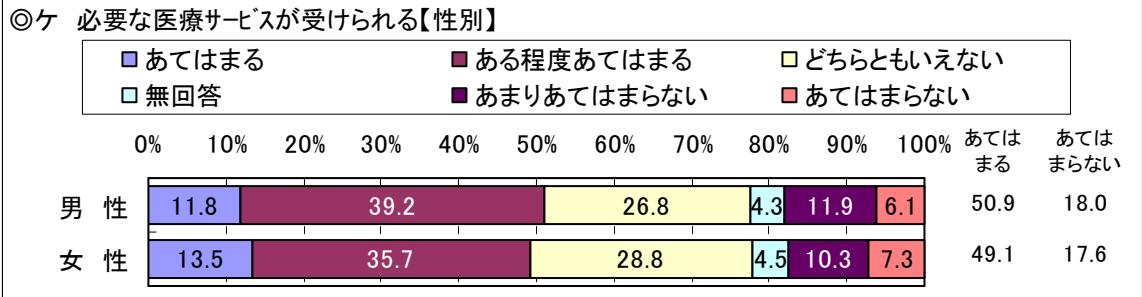
◆地域別

- 地域別でみると、『あてはまる』は、神戸(57.1%)や阪神南(53.0%)など阪神間や本州瀬戸内沿岸部の5地域で5割を超えるが、他の5地域では、北播磨(38.9%)や淡路(37.0%)、西播磨(32.5%)で3割台、但馬(28.2%)や丹波(26.5%)では2割台となっている。
- 一方、『あてはまらない』は、阪神間や本州瀬戸内沿岸部の5地域では1割台に止まるが、丹波(46.3%)や但馬(42.0%)で4割、西播磨(34.6%)で3割を超えており、これら3地域では、『あてはまらない』が『あてはまる』を上回っている。



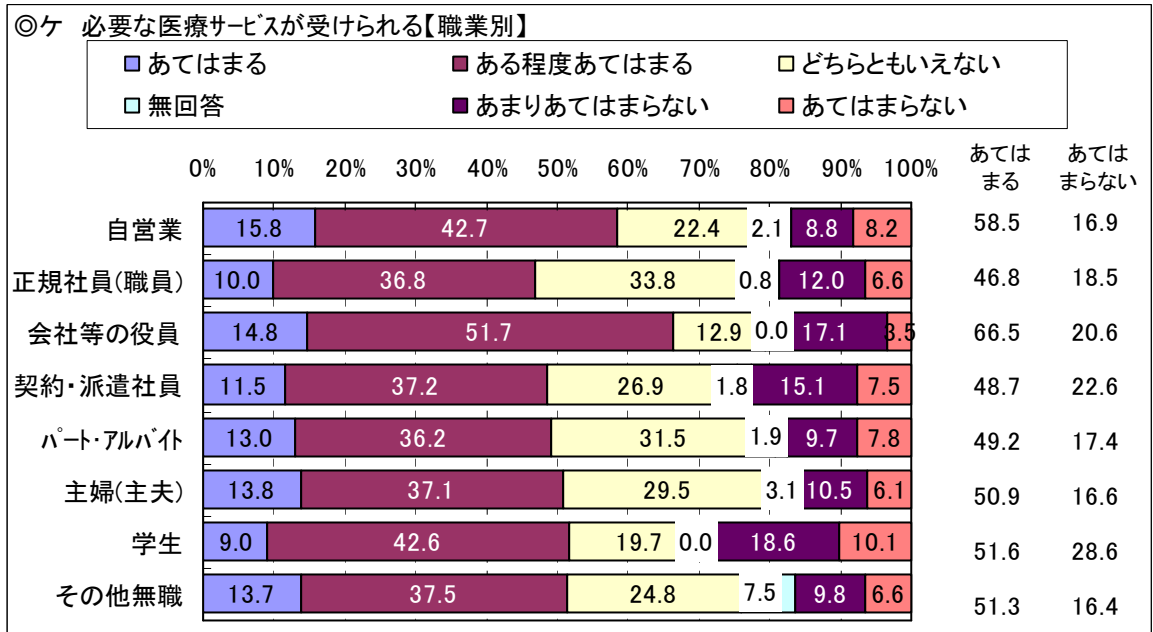
◆性別／性・年代別

- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別でみると、『あてはまる』は、男女ともに、いずれの年代でも概ね5割前後になっている。一方、『あてはまらない』は、男女ともに1割台の年代が多いが、男性では20代(23.8%)で、女性では60代(22.7%)と80歳以上(20.0%)で2割を超えている。



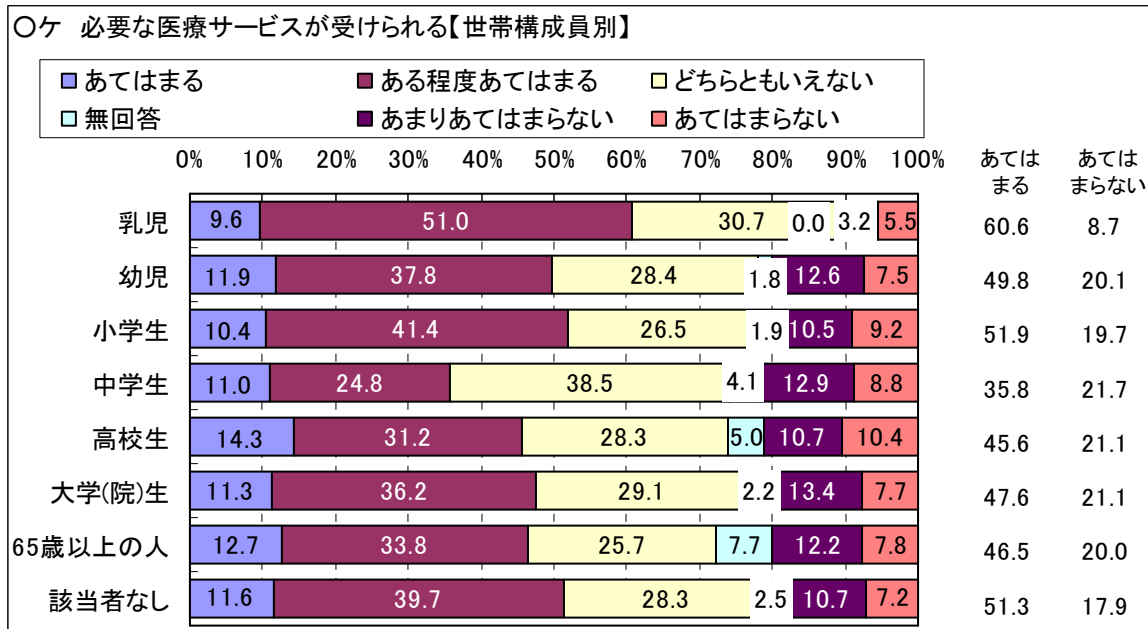
◆職業別

- 職業別では、『あてはまる』は、会社等の役員(66.5%)で6割をこえるが、他の職業は概ね5割前後となっている。一方、『あてはまらない』は、いずれの職業でも概ね2割前後である。



◆世帯構成員別

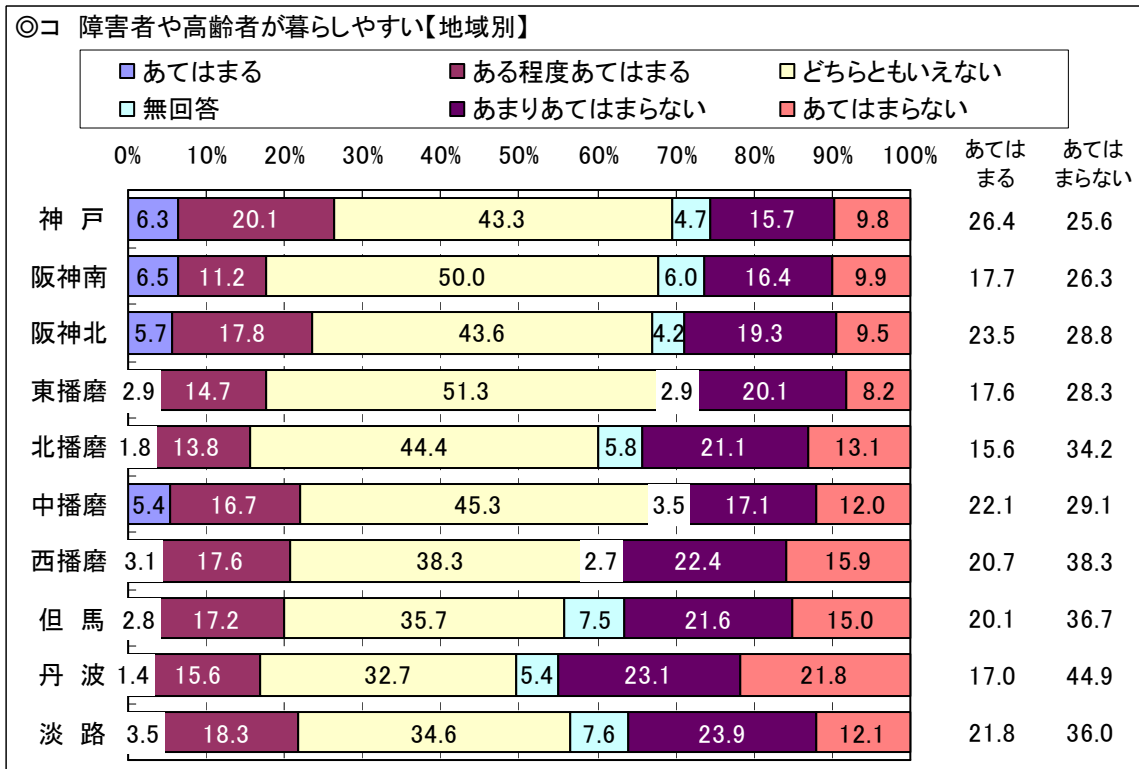
- 世帯構成員別でみると、『あてはまる』は、5割前後の世帯が多いなか、乳児のいる世帯(60.6%)で6割を超え、逆に、中学生のいる世帯(35.8%)では3割台半ばとなっている。一方、『あてはまらない』は、2割前後の世帯が多いなか、乳児のいる世帯(8.7%)で1割を下回っている。



コ 障害者や高齢者が暮らしやすい

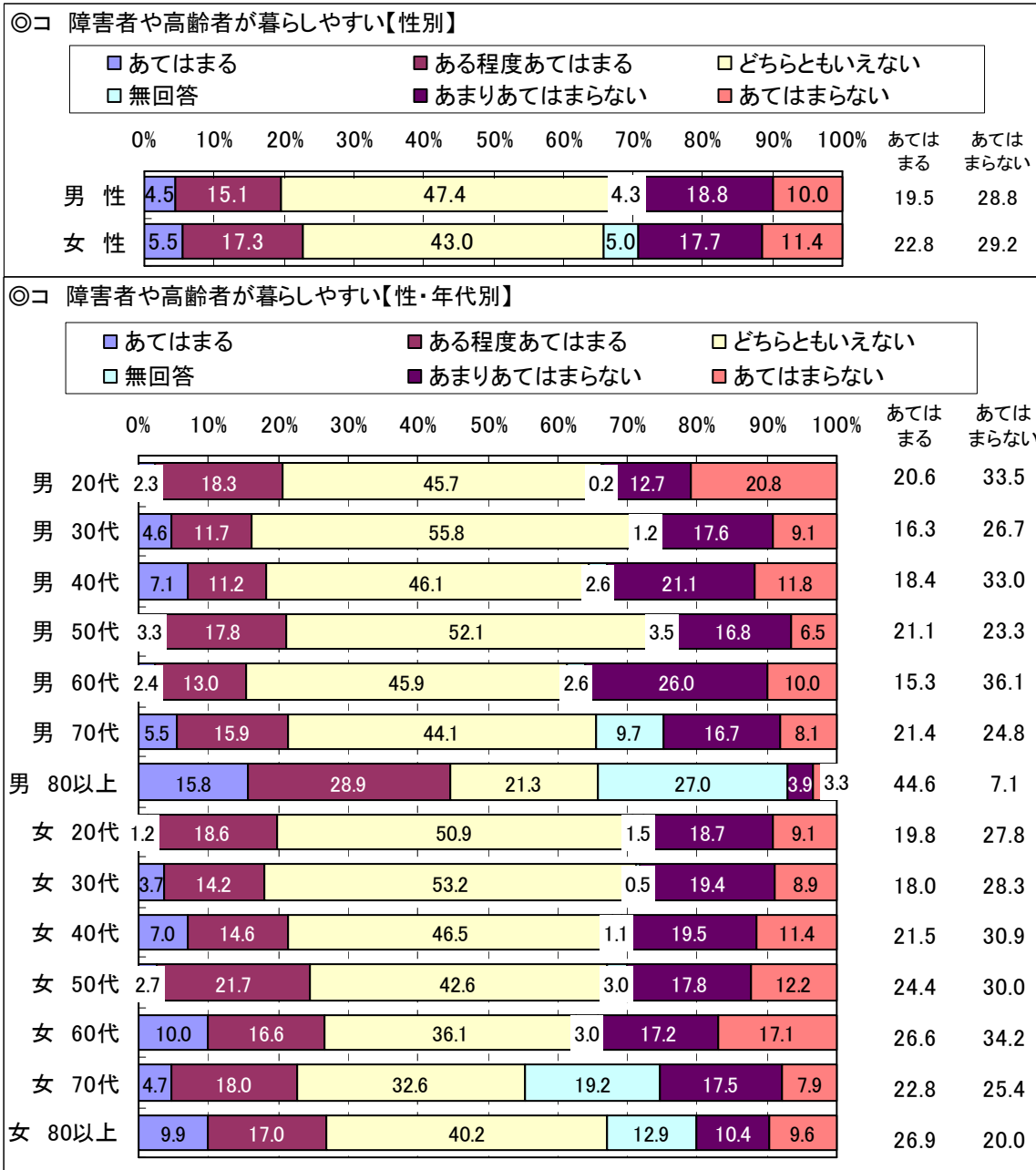
◆地域別

- 地域別で見ると、『あてはまる』は、いずれの地域でも概ね2割前後となっている。
- 『あてはまらない』は、神戸(25.6%)や阪神南(26.3%)など阪神間や本州瀬戸内沿岸部の5地域で3割を下回っているが、丹波(44.9%)では4割台半ばになるなど他の5地域では3割を超えている。
- 『あてはまらない』が『あてはまる』を上回る地域が多いなか、神戸では『あてはまる』が『あてはまらない』を上回っている。なお、いずれの地域でも「どちらともいえない」が3割を超えており、阪神南(50.0%)や東播磨(51.3%)では5割台である。



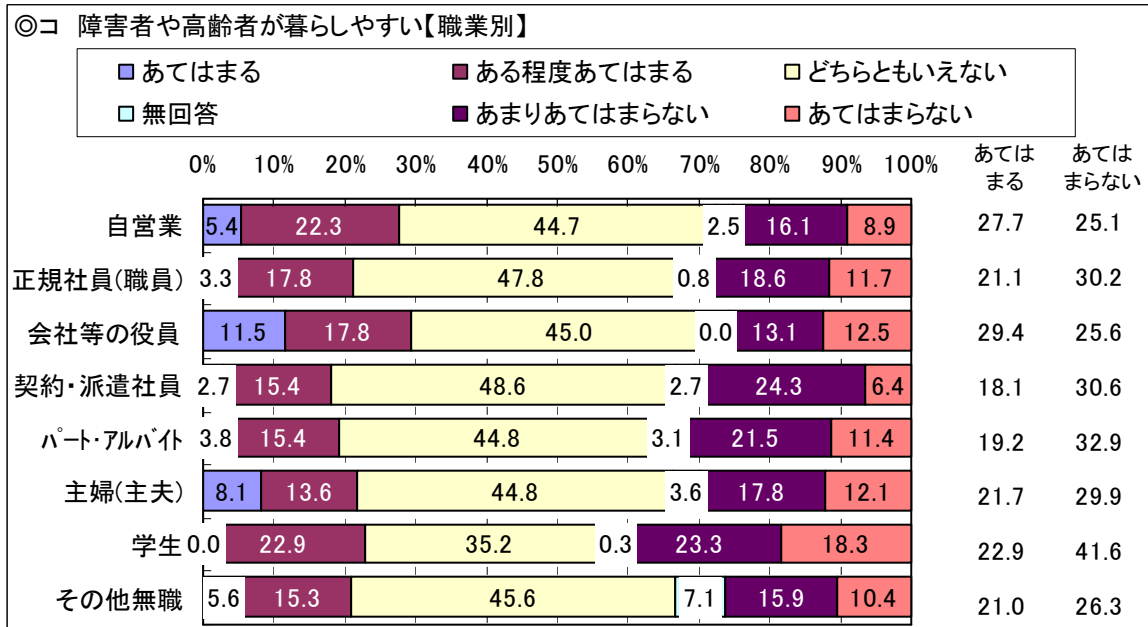
◆性別／性・年代別

- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別でみると、男性では、『あてはまる』は、4割台の80歳以上(44.6%)を除き、2割前後(15.3%~21.4%)であり、一方、『あてはまらない』は、1割未満の80歳以上(7.1%)を除き概ね3割前後(23.3%~36.1%)となっている。
- 女性では、『あてはまる』は、いずれの年代でも概ね2割前後(18.0%~26.9%)であり、一方、『あてはまらない』は、2割に止まる80歳以上(20.0%)を除くと3割前後(25.4%~34.2%)である。
- 『あてはまらない』が『あてはまる』を上回っている年代が多いなか、男女とも80歳以上のみで『あてはまる』が『あてはまらない』を上回っている。



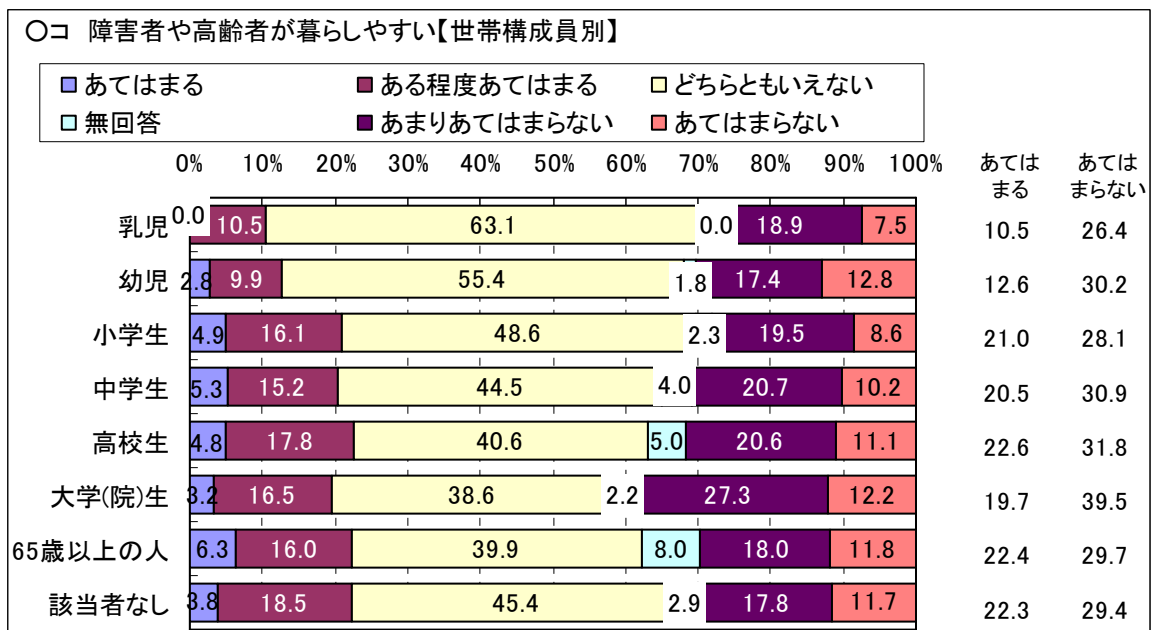
◆職業別

- 職業別では、『あてはまる』は、会社等の役員(29.4%)や自営業(27.7%)で2割台後半であるが、他の職業では2割前後(18.1%~22.9%)となっている。一方、『あてはまらない』は、4割台の学生(41.6%)を除き、3割前後(25.1%~32.9%)となっている。
- 『あてはまらない』が『あてはまる』を上回る職業が多いなか、自営業と会社等の役員では『あてはまる』が『あてはまらない』を上回っている。



◆世帯構成員別

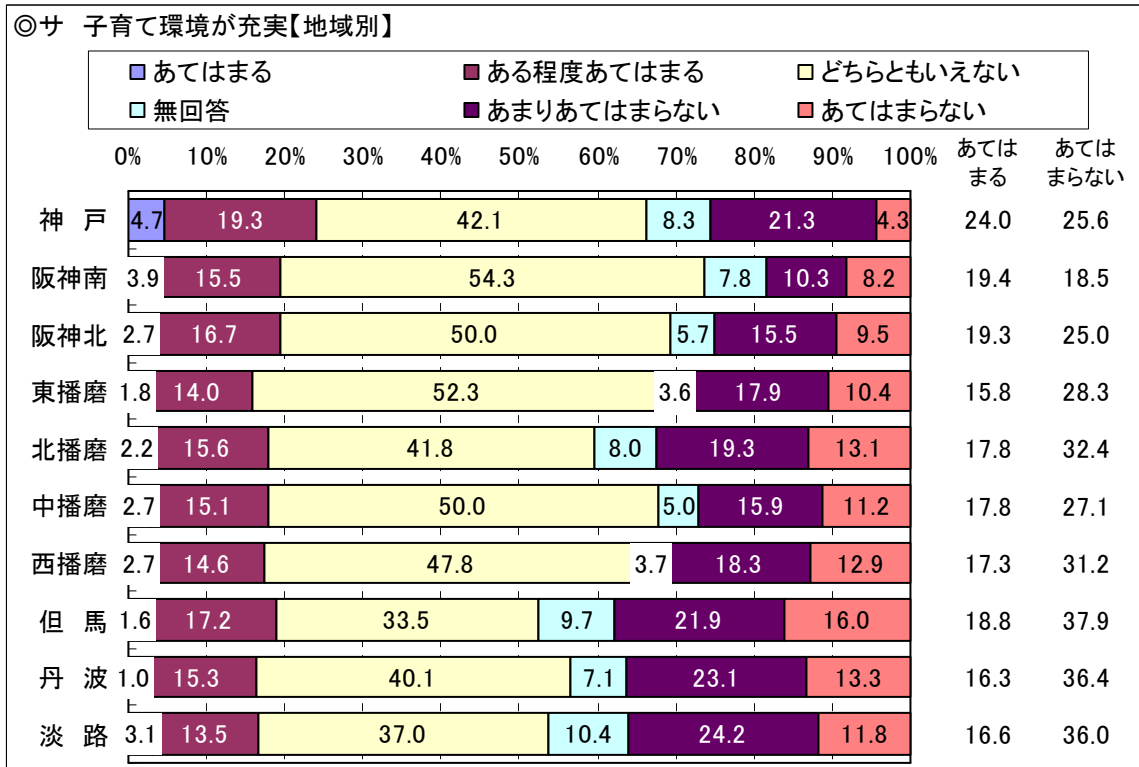
- 世帯構成員で見ると、『あてはまる』は、乳児(10.5%)や幼児(12.6%)のいる世帯で1割強に止まるが、他の世帯では2割前後(19.7%~22.6%)である。一方、『あてはまらない』は、大学生のいる世帯(39.5%)で約4割あるが、他の世帯では3割前後(26.4%~31.8%)である。
- いずれの世帯でも、『あてはまらない』が『あてはまる』を上回っており、「どちらともいえない」は、乳児のいる世帯(63.1%)では6割、幼児のいる世帯(55.4%)では5割を超えている。



サ 子育て環境が充実

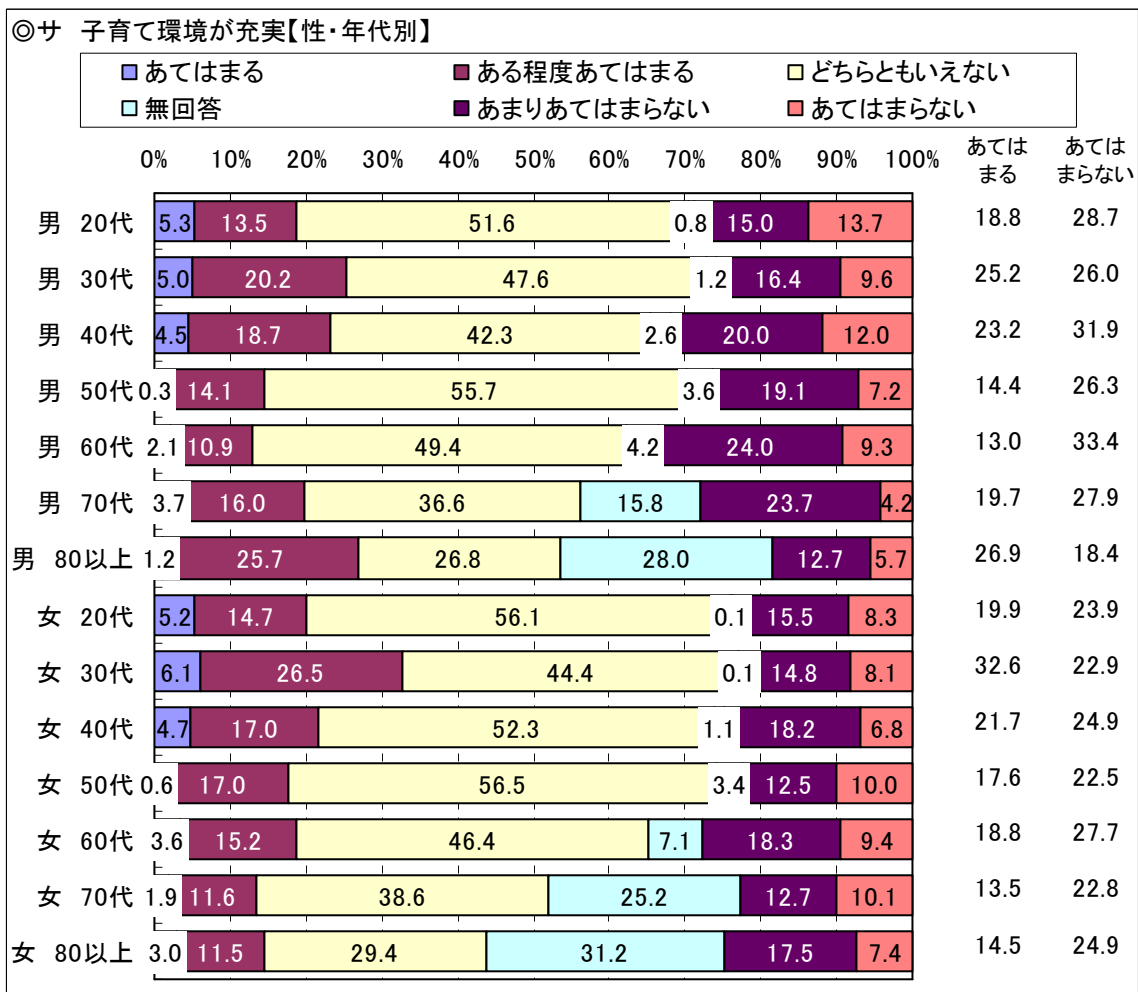
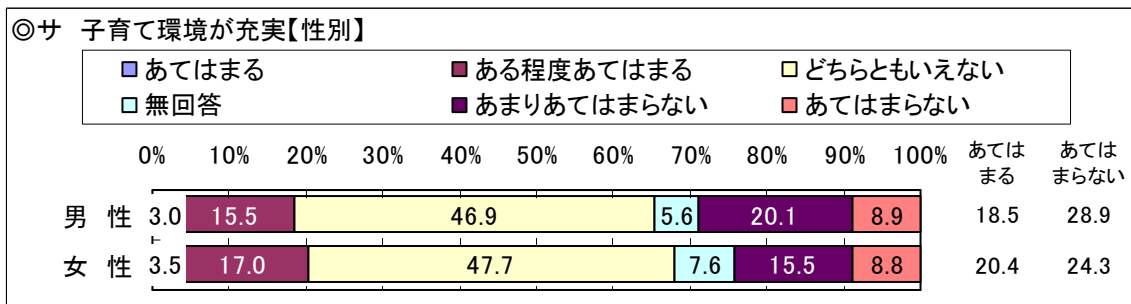
◆地域別

- 地域別でみると、『あてはまる』は、2割台の神戸(24.0%)を除き、いずれの地域も1割台である。一方、『あてはまらない』は、但馬(37.9%)、丹波(36.4%)、淡路(36.0%)で3割台半ばを超え、他の7地域では、1割台の阪神南(18.5%)を除き、3割前後(25.0%~32.4%)となっている。
- 阪神南のみで『あてはまる』が『あてはまらない』を上回っているが、いずれの地域でも「どちらともいえない」と無回答が4割以上(43.2%~62.1%)を占めている。



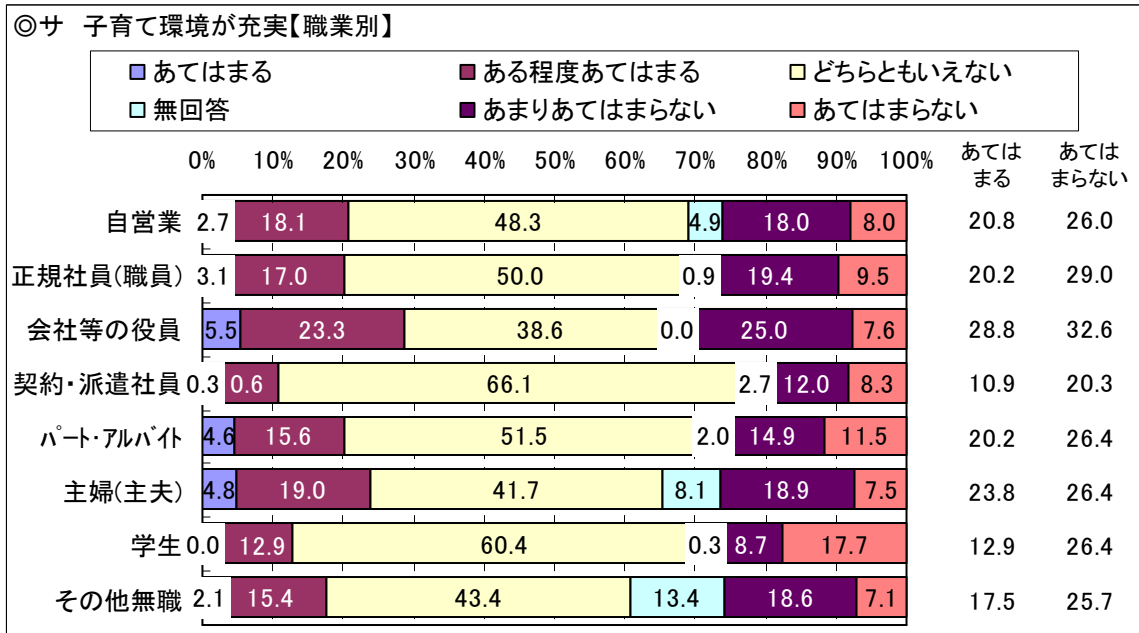
◆性別／性・年代別

- 性別では、『あてはまらない』が、女性(24.3%)より男性(28.9%)でやや多い。
- 性・年代別でみると、男性では、『あてはまる』は、50代(14.4%)と60代(13.0%)でやや少ないが、他の年代では概ね2割前後(18.8%~26.9%)となっている。一方、『あてはまらない』は、1割台の80歳以上(18.4%)を除き、3割前後(26.0%~33.4%)となっている。
- 女性では、『あてはまる』は、3割台の30代(32.6%)を除き、概ね1割台(13.5%~21.7%)となっており、一方、『あてはまらない』はいずれの年代でも2割台となっている。
- 『あてはまらない』が『あてはまる』を上回っている年代が多いなか、男性の80歳以上と女性の30代では『あてはまる』が『あてはまらない』を上回っている。なお、男女いずれの年代でも「どちらともいえない」と無回答が4割台半ば以上あり、女性の70代や80歳以上では6割を超えている。



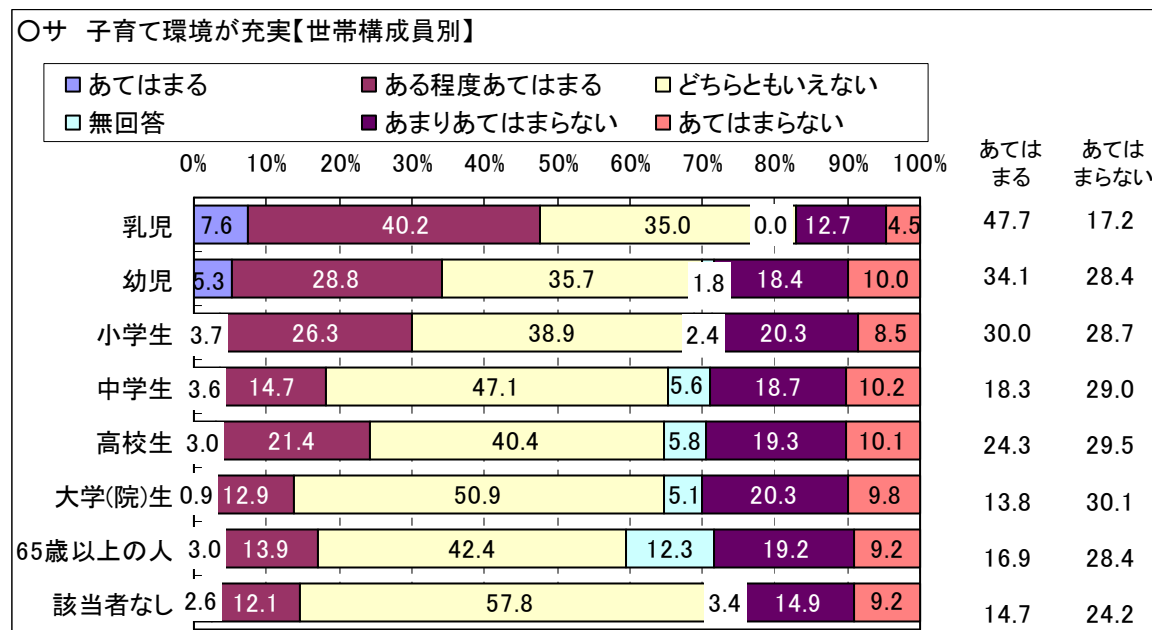
◆職業別

- 職業別でみると、『あてはまる』は、会社等の役員(28.8%)で3割近いが、契約・派遣社員(10.9%)や学生(12.9%)では1割程度に止まり、他の職業では2割前後(17.5%~23.8%)である。一方、『あてはまらない』は、3割台の会社等の役員(32.6%)と2割の契約・派遣社員(20.3%)を除くと、いずれの職業でも2割台後半である。
- いずれの職業でも『あてはまらない』が『あてはまる』を上回るが、「どちらともいえない」が、最も少ない会社等の役員(38.6%)で4割近く、最も多い契約・派遣社員(66.1%)では6割台半ばを超えている。



◆世帯構成員別

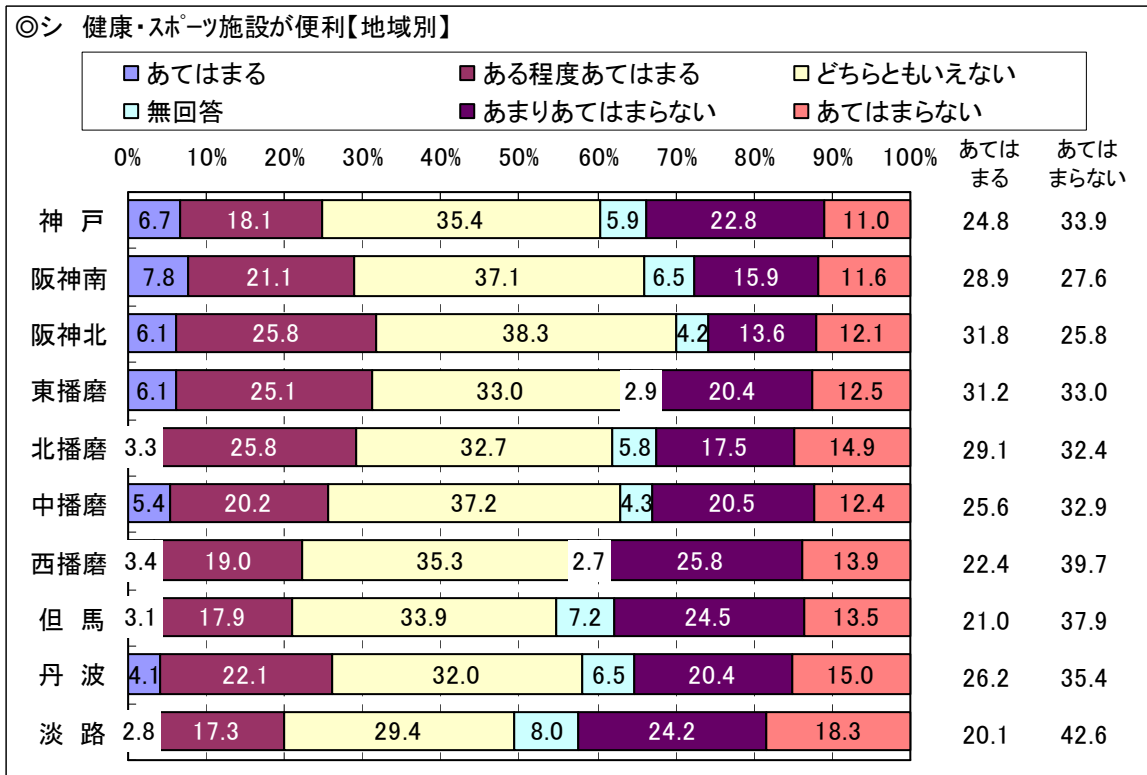
- 世帯構成員別でみると、『あてはまる』は、乳児のいる世帯(47.7%)で4割台、幼児(34.1%)や小学生(30.0%)のいる世帯で3割台であるが、他の世帯では概ね2割前後(13.8%~24.3%)に止まる。一方、『あてはまらない』は、1割台の乳児のいる世帯(17.2%)を除き、概ね2割台(24.2%~30.1%)であり、乳児や幼児、小学生のいる世帯では、『あてはまる』が『あてはまらない』を上回っている。



シ 健康・スポーツ施設が便利

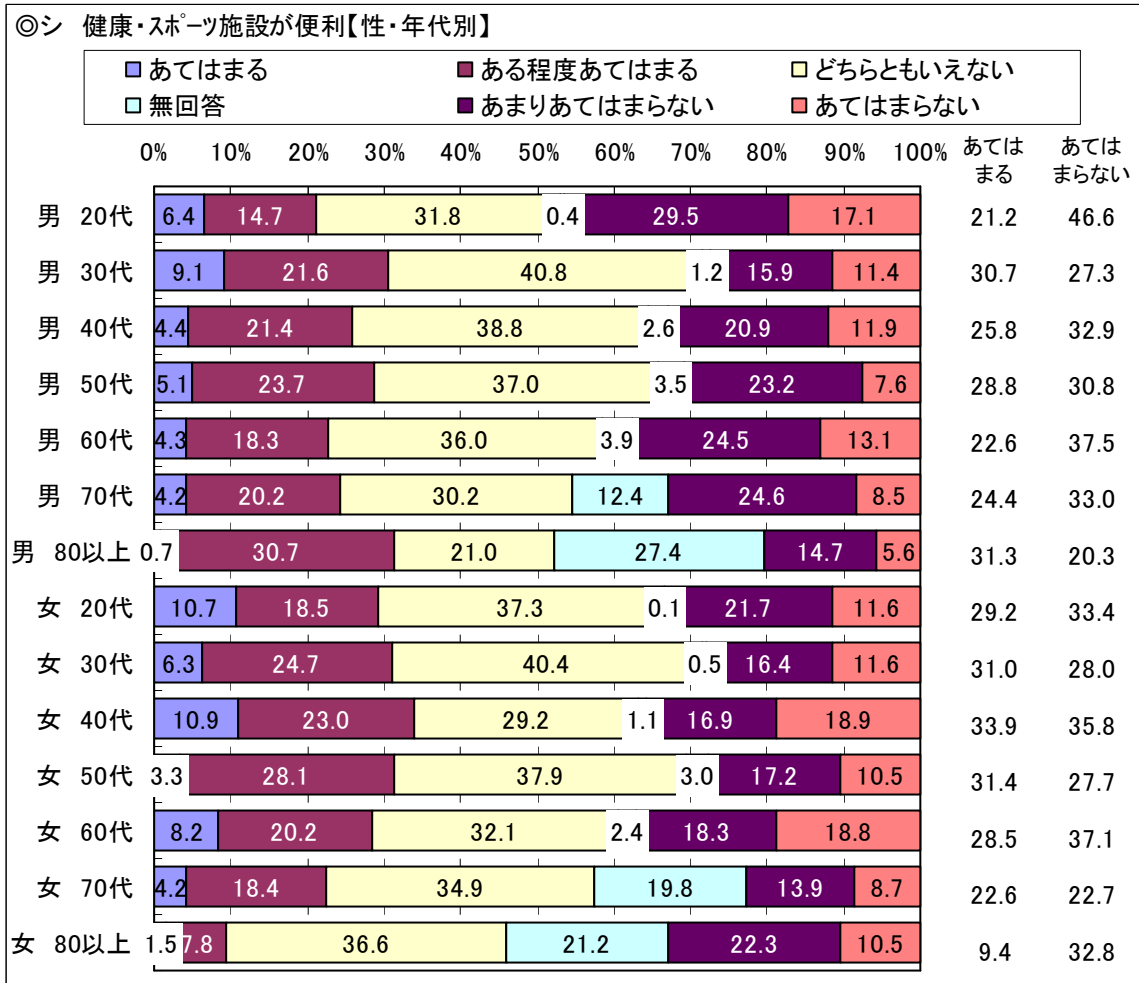
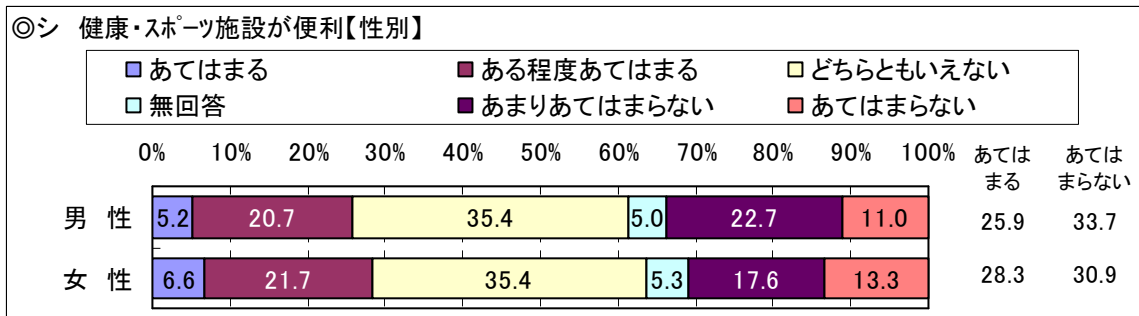
◆地域別

- 地域別で見ると、『あてはまる』は、阪神北(31.8%)と東播磨(31.2%)で3割を超えているが、西播磨(22.4%)や但馬(21.0%)、淡路(20.1%)では2割程度に止まる。一方、『あてはまらない』は、淡路(42.6%)や西播磨(39.7%)、但馬(37.9%)で4割程度あるが、他の地域では3割前後(25.8%~35.4%)に止まる。
- 阪神南と阪神北では、『あてはまる』が『あてはまらない』を上回っているが、いずれの地域も「どちらともいえない」(29.4%~38.3%)が概ね3割台を占めている。



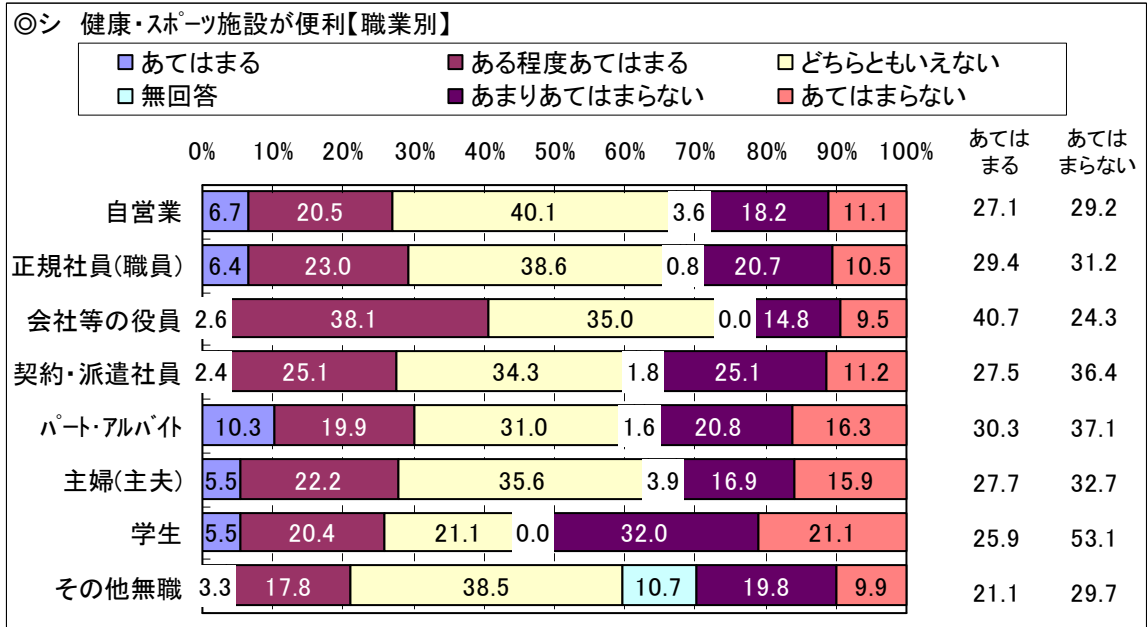
◆性別／性・年代別

- 性別では、特段の差はない。
- 性・年代別でみると、男性では、『あてはまる』は、いずれの年代も概ね2割台であるが、30代(30.7%)と80歳以上(31.3%)で3割を越えている。一方、『あてはまらない』は、4割台の20代(46.6%)と2割に止まる80歳以上を除くと概ね3割台(27.3%~37.5%)となっている。
- 女性では、『あてはまる』は、60代までは3割前後(28.5%~33.9%)であるが、70代以降(22.6%、9.4%)では2割もしくは1割未満となっている。一方、『あてはまらない』は、2割台前半の70代を除くと概ね3割前後(27.7%~37.1%)となっている。
- 男性の30代と80歳以上、女性の30代と50代では『あてはまる』が『あてはまらない』を上回っているが、男女いずれの年代でも「どちらともいえない」と無回答が3割以上を占めており、女性の70代以降では5割を超えている。



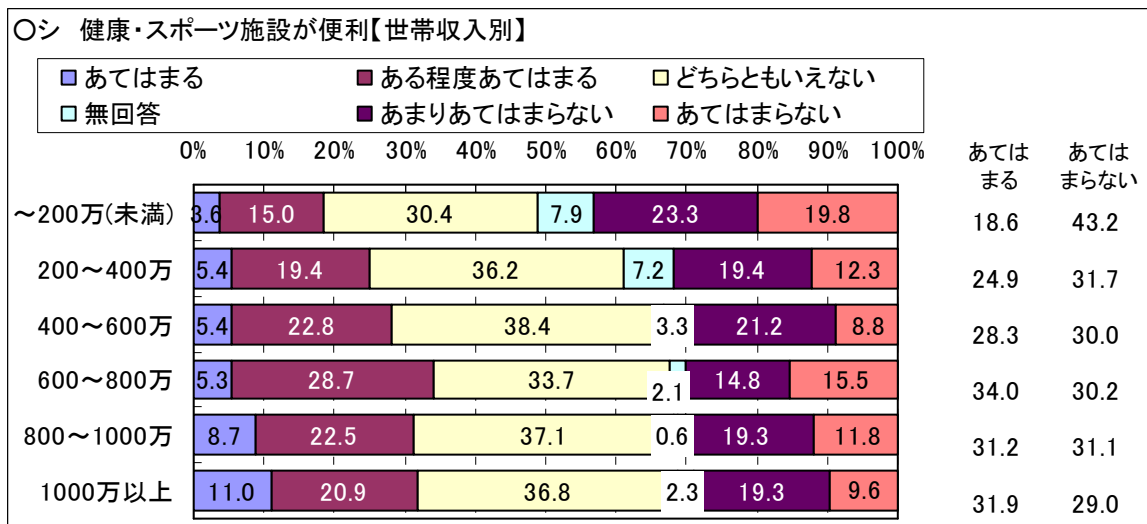
◆職業別

- 職業別でみると、『あてはまる』は、4割ある会社等の役員(40.7%)と2割強のその他無職(21.1%)を除くとは、概ね2割台後半(25.9%~30.3%)である。一方、『あてはまらない』は、5割を超える学生(53.1%)と2割台半ばの会社等の役員(24.3%)を除き、概ね3割台(29.2%~37.1%)であり、会社等の役員でのみ『あてはまる』が『あてはまらない』を上回っている。



◆世帯収入別

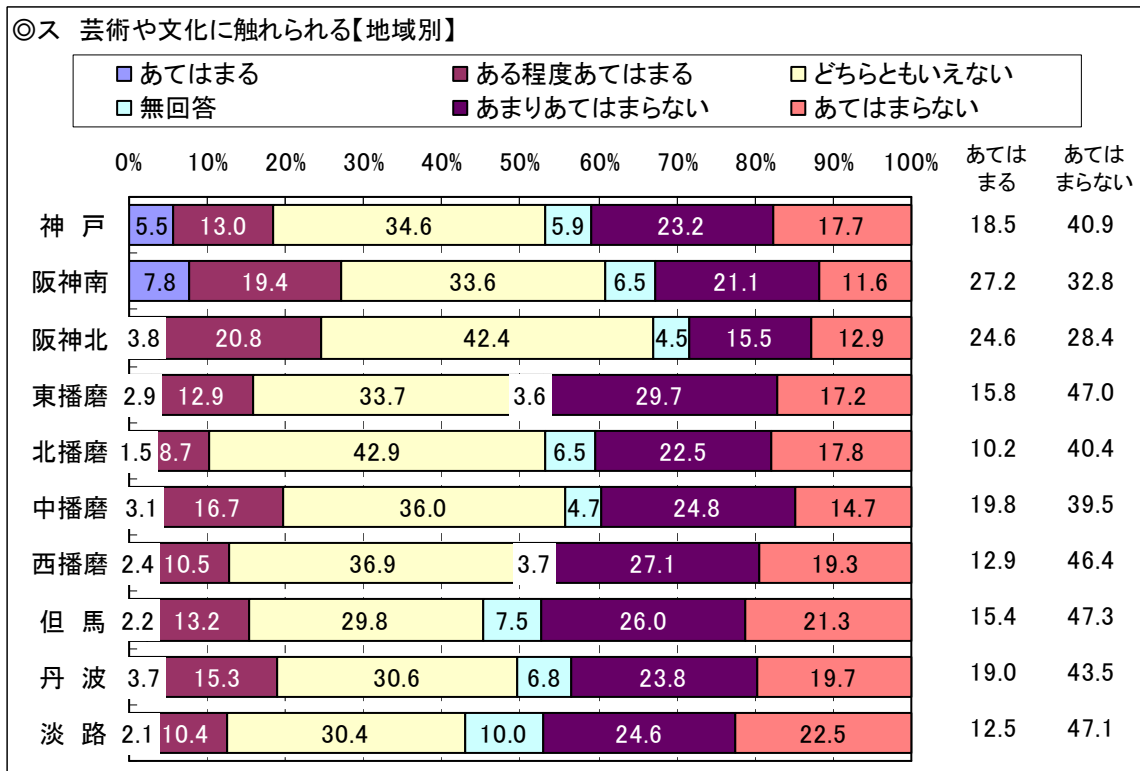
- 世帯収入別でみると、『あてはまる』は、収入600万円以上(34.0%、31.2%、31.9%)で3割を超えているが、200万円~600万円(24.9%、28.3%)では2割台、200万円未満(18.6%)では1割台である。一方、『あてはまらない』は、200万円未満(43.2%)で4割を超えるが、他の収入階層は3割程度であり、600万円未満では、『あてはまらない』が『あてはまる』を上回っている。



ス 芸術や文化に触れられる

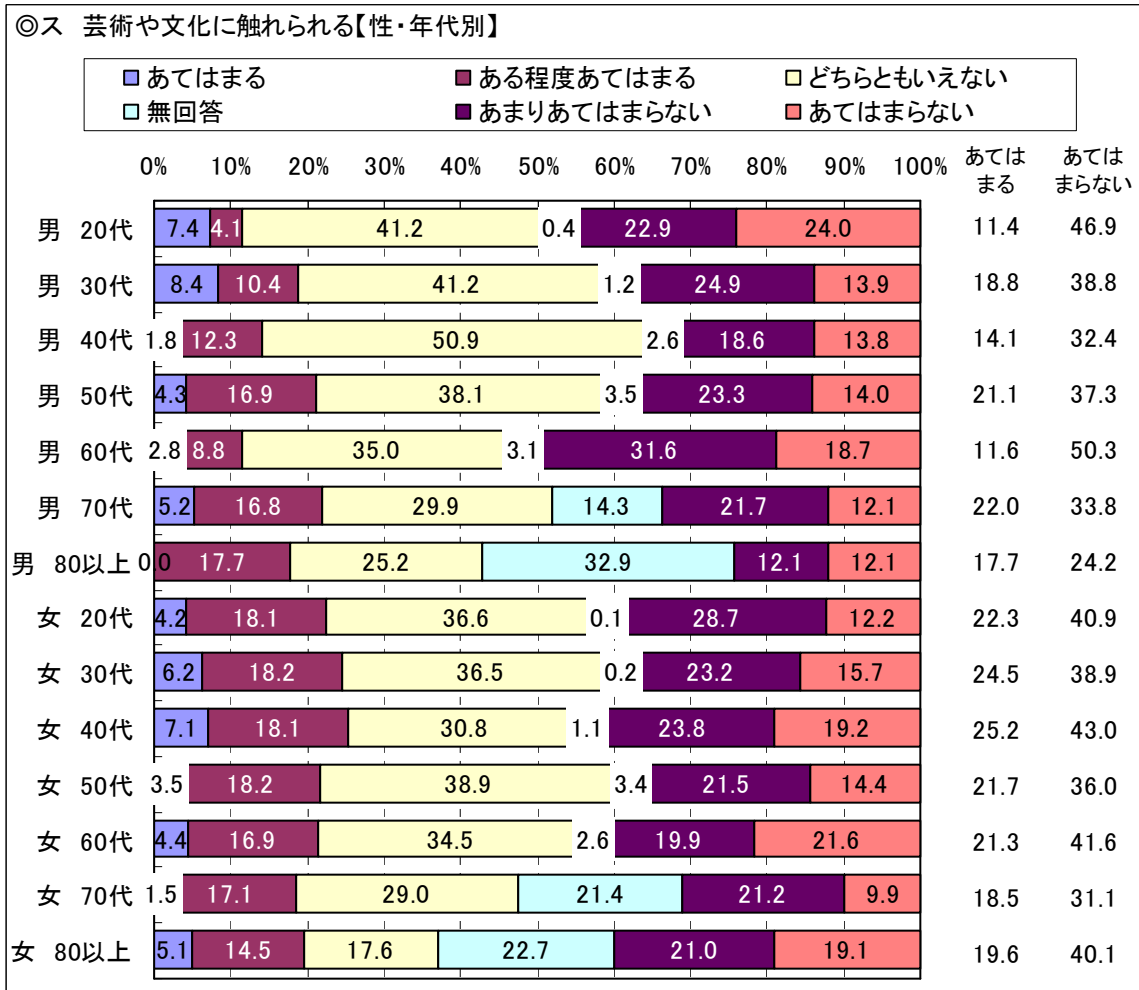
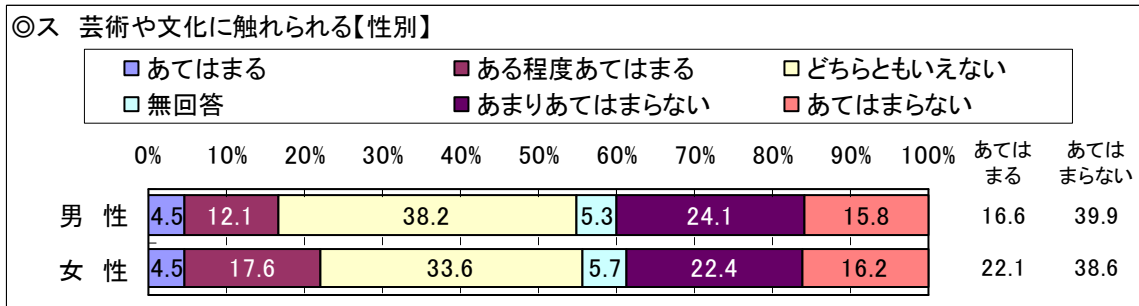
◆地域別

- 地域別でみると、『あてはまる』は、2割台の阪神南(27.2%)と阪神北(24.6%)を除き1割台(10.2%~19.8%)であり、一方、『あてはまらない』は、3割前後の阪神南(32.8%)と阪神北(28.4%)を除き、概ね4割台(39.5%~47.3%)であり、いずれの地域も『あてはまらない』が『あてはまる』を上回っている。
- なお、いずれの地域も「どちらともいえない」と無回答が3~4割台(37.3%~49.4%)を占めている。



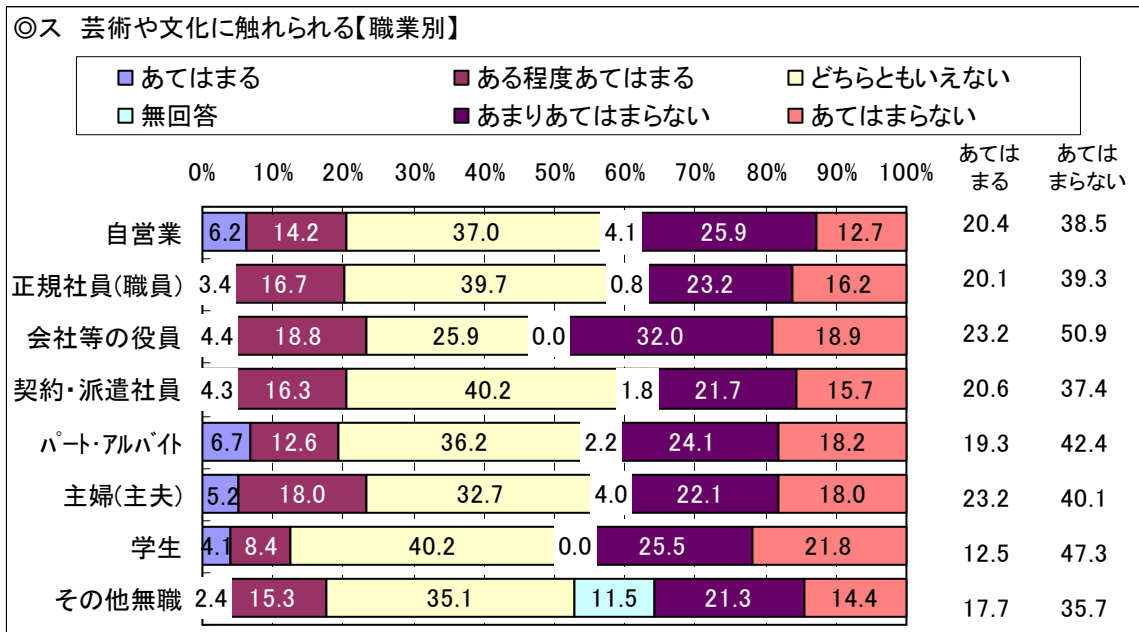
◆性別／性・年代別

- 性別では、『あてはまる』が男性(16.6%)より女性(22.1%)でやや多い。
- 性・年代別でみると、男性では、『あてはまる』は、50代(21.1%)と70代(22.0%)で2割を超えるが、他の年代では1割台(11.4%~18.8%)に止まる。一方、『あてはまらない』は、60代(50.3%)で5割、20代(46.9%)で4割を超え、他の年代でも2割台の80歳以上(24.2%)を除き3割台(32.4%~38.8%)である。
- 女性では、『あてはまる』は、いずれの年代も2割前後(18.5%~25.2%)であり、一方、『あてはまらない』は、3割強の70代(31.1%)を除き4割前後(36.0%~43.0%)である。



◆職業別

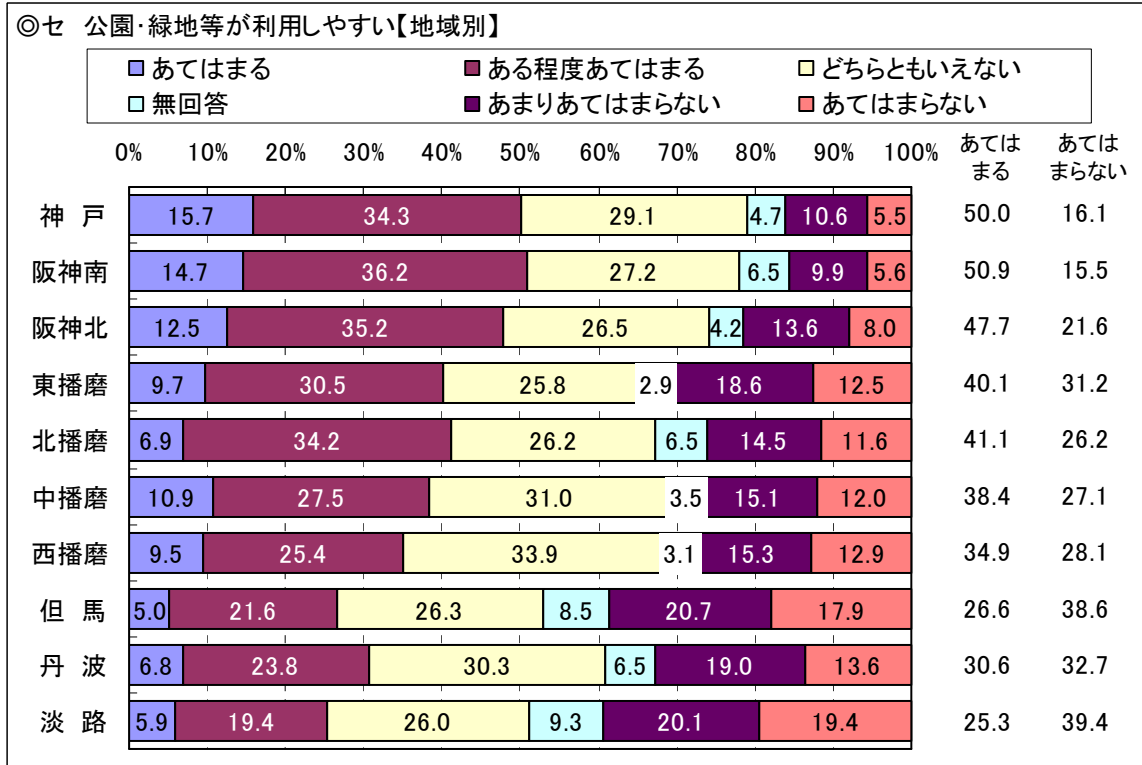
- 職業別でみると、『あてはまる』は、1割強の学生(12.5%)を除き、いずれの職業も2割前後(17.7%~23.2%)であり、一方、『あてはまらない』は、5割ある会社等の役員(50.9%)と4割台後半の学生(47.3%)を除き、4割前後(35.7%~42.4%)となっている。



セ 公園・緑地等が利用しやすい

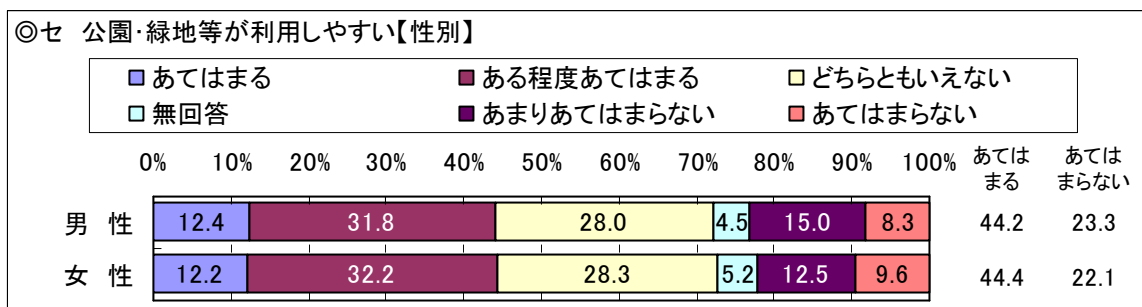
◆地域別

- 地域別でみると、『あてはまる』は、神戸・阪神間の3地域で5割前後(47.7%~50.9%)、播磨4地域で4割前後(34.9%~41.1%)、但馬や丹波、淡路で3割程度(25.3%~30.6%)となっている。
- 一方、『あてはまらない』は、淡路(39.4%)と但馬(38.6%)で4割近く、播磨4地域と丹波で3割前後(26.2%~32.7%)、神戸・阪神間の3地域で2割前後(15.5%~21.6%)となっており、但馬、丹波、淡路では『あてはまらない』が『あてはまる』を上回っている。

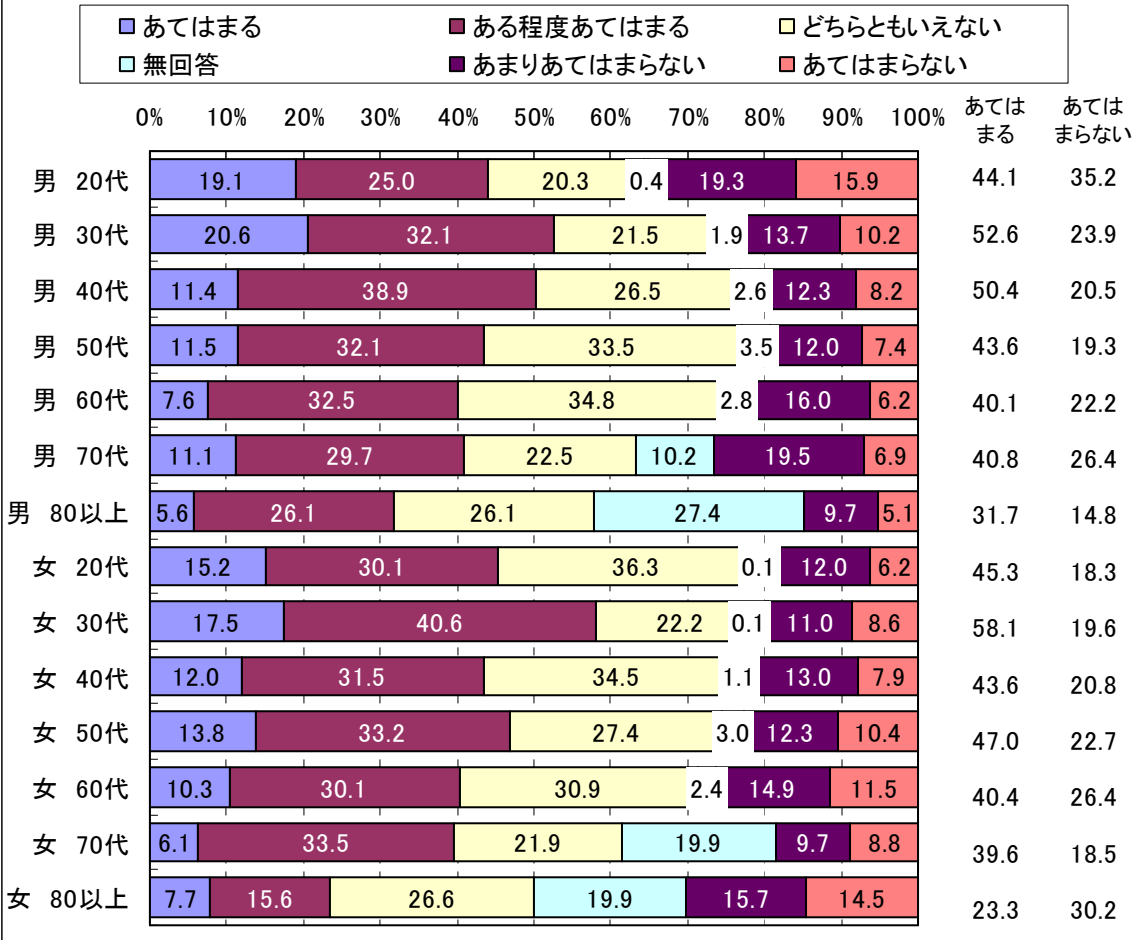


◆性別／性・年代別

- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別でみると、男性では、『あてはまる』は、30代(52.6%)と40代(50.4%)で5割を超え、他の年代では、3割台の80歳以上(31.7%)を除き、4割台前半(40.1%~44.1%)である。一方、『あてはまらない』は、3割台の20代(35.2%)と1割台の80歳以上(14.8%)を除き、概ね2割前後(19.3%~26.4%)となっている。
- 女性では、『あてはまる』は、30代(58.1%)では6割近く、逆に80歳以上(23.3%)では2割台であるが、他の世代は概ね4割台(39.6%~47.0%)である。一方、『あてはまらない』は、3割ある80歳以上(30.2%)を除き、概ね2割前後(18.3%~26.4%)となっている。
- 女性の80歳以上を除き、男女いずれの年代も『あてはまる』が『あてはまらない』を上回っている。



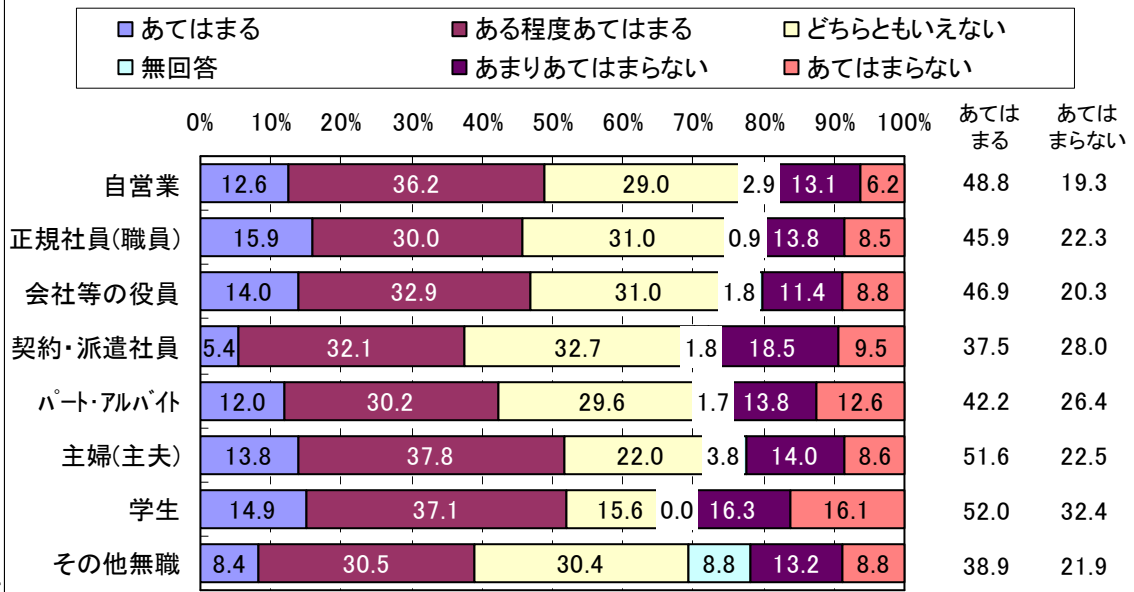
◎セ 公園・緑地等が利用しやすい【性・年代別】



◆職業別

- 職業別でみると、『あてはまる』は、学生(52.0%)と主婦(51.6%)で5割を超えるが、その他無職(38.9%)や契約・派遣社員(37.5%)では4割を下回っている。一方、『あてはまらない』は、学生(32.4%)で3割を越えるが、他の職業では概ね2割台(19.3%~28.0%)となっている。

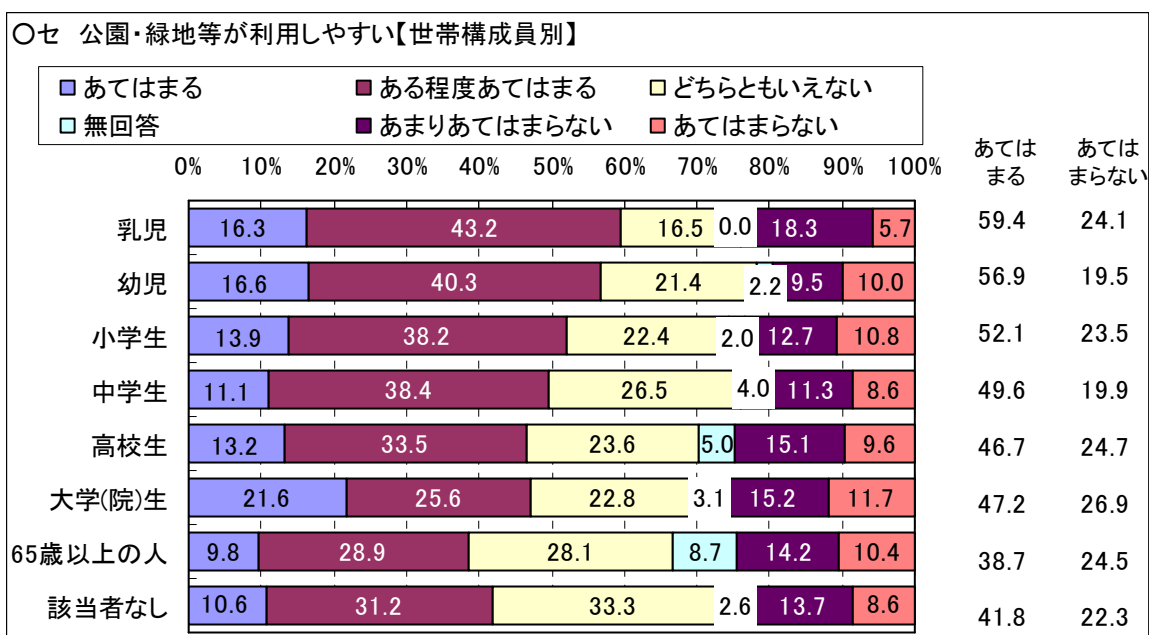
◎セ 公園・緑地等が利用しやすい【職業別】



◆世

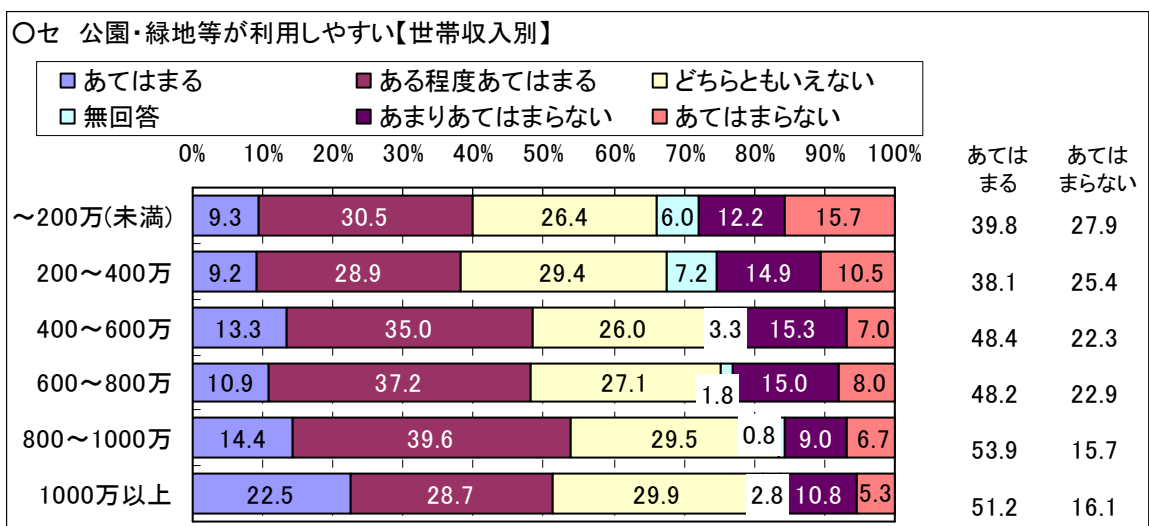
- 世帯構成員別でみると、『あてはまる』は、乳児のいる世帯(59.4%)で6割近いが、乳児(56.9%)、

小学生(52.1%)、中学生(49.6%)と構成員の年齢が上がるにつれて減少する傾向にある。一方、『あてはまらない』は、いずれの構成員でも概ね2割前後(19.5%~26.9%)となっている。



◆世帯収入別

○ 世帯収入別で見ると、『あてはまる』は、400万円未満(39.8%、38.1%)では4割弱だが、600万以上(48.2%~53.9%)では5割前後である。一方、『あてはまらない』は、200万円未満(27.9%)では3割近いが、400万円以上(22.3%、22.9%)では2割台半ばを、800万円以上(15.7%、16.1%)では2割を下回っている。



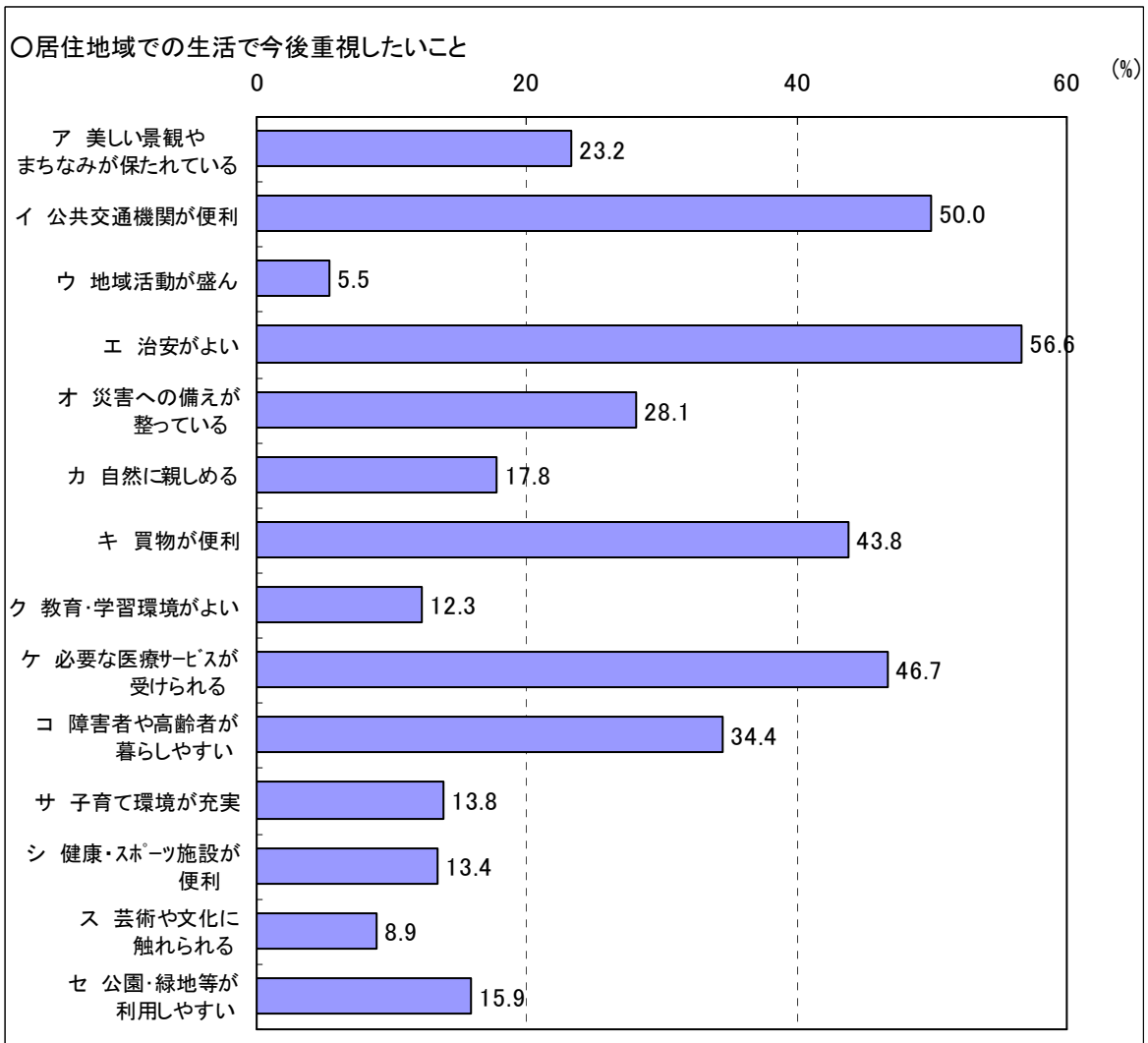
(2) 居住地域での生活で重視したいこと

問 11-2 問 11 のア～セの項目の中で、あなたがお住まいの地域で今後生活する上で特に重視したい項目を4つ選んで、下欄にカタカナで記入してください。

--	--	--	--

○ 居住地域での生活で重視したいこととしては、「エ 治安がよい」(56.6%)と「イ 公共交通機関が便利」(50.0%)の2項目が5割を越えており、「ケ 必要な医療サービスが受けられる」(46.7%)と「キ 買物が便利」(43.8%)が4割台で続いている。

一方、「ウ 地域活動が盛ん」(5.5%)や「ス 芸術や文化に触れられる」(8.9%)は1割未満となっている。



◆地域別

- 地域別でみると、地域間の差が大きい項目としては、「ケ 必要な医療サービスが受けられる」で31.7ポイント、「エ 治安がよい」で27.3ポイントあり、「イ 公共交通機関が便利」(19.4ポイント)や「キ 買い物便利」(19.3ポイント)、「ア 美しい景観やまちなみが保たれている」(18.0ポイント)で20ポイント近く生じている。
- 地域ごとでの順位に着目すると、全県1位の「エ 治安がよい」は、6地域で1位を占めるが、但馬と丹波では4位に下がっている。全県2位の「イ 公共交通機関が便利」は、5地域で2位を、4地域で3位を占めるが、淡路では5位になっている。全県3位の「ケ 必要な医療サービスが受けられる」は、4地域で1位を占め、2位と3位も2地域ずつあるが、神戸と阪神南では4位になっている。全県4位の「キ 買い物便利」は、神戸や阪神(南・北)では3位で、4地域で4位にあるが、北播磨、但馬、丹波では5位以下である。全県5位の「コ 障害者や高齢者が暮らしやすい」は、但馬、丹波で2位、北播磨、淡路で3位であり、4地域で5位になっているが、阪神南と中播磨では6位である。
- 概ね、全県での上位5項目が、地域ごとの上位5項目を占めているが、全県6位の「オ 災害への備えが整っている」が、東播磨、中播磨、丹波で5位(同率5位を含む)に入り、全県7位の「ア 美しい景観やまちなみが保たれている」が阪神南で5位に入っている。

◎居住地域の生活で今後、重視したいこと【地域別】

(%)

	ア 美しい景観やまちなみが保たれている	イ 公共交通機関が便利	ウ 地域活動が盛ん	エ 治安がよい	オ 災害への備えが整っている	カ 自然に親しめる	キ 買物が便利	ク 教育・学習環境がよい	ケ 必要な医療サービスが受けられる	コ 障害者や高齢者が暮らしやすい	サ 子育て環境が充実	シ 健康・スポーツ施設が便利	ス 芸術や文化に触れられる	セ 公園・緑地等が利用しやすい
	順位: 位:	順位: 位:	順位: 位:	順位: 位:	順位: 位:	順位: 位:	順位: 位:	順位: 位:	順位: 位:	順位: 位:	順位: 位:	順位: 位:	順位: 位:	順位: 位:
全 県	7:23.2	2:50.0	14: 5.5	1:56.6	6:28.1	8:17.8	4:43.8	12:12.3	3:46.7	5:34.4	10:13.8	11:13.4	13: 8.9	9:15.9
地域別														
神戸	6:26.0	2:54.7	14: 5.5	1:57.1	7:24.4	8:20.9	3:47.2	13:7.9	4:42.9	5:34.6	11:11.4	10:12.6	12: 8.3	9:15.0
阪神南	5:30.6	2:50.0	14: 5.2	1:59.5	7:27.6	8:22.4	3:40.5	11:14.7	4:36.6	6:30.2	12:11.2	10:15.9	13: 8.2	9:17.2
阪神北	6:24.2	2:51.1	14: 4.5	1:56.4	7:23.5	8:17.8	3:49.6	11:12.9	4:49.6	5:34.5	9:15.2	13:9.1	12: 9.8	9:15.2
東播磨	8:20.1	3:49.5	14: 6.1	1:60.6	5:31.9	12:11.8	4:41.2	10:13.6	2:52.0	5:31.9	11:13.3	9:14.7	13: 9.3	7:21.1
北播磨	8:16.4	3:42.5	14: 5.1	2:48.0	6:32.4	8:16.4	5:41.5	11:13.8	1:52.0	3:42.5	7:17.1	10:14.9	13:7.6	12:12.0
中播磨	7:19.8	2:48.4	14: 5.8	1:65.5	5:34.5	12:13.2	4:44.2	10:15.5	3:46.5	6:32.9	9:15.9	11:13.6	13: 8.1	8:16.7
西播磨	8:14.6	2:51.5	14:4.4	3:47.5	6:27.8	9:13.9	4:45.1	12:13.2	1:59.0	5:38.6	7:17.3	9:13.9	13: 9.2	11:13.6
但 馬	11:13.2	3:39.2	14: 7.2	4:38.2	6:33.9	8:14.7	5:36.7	10:14.4	1:63.6	2:40.8	7:20.4	12:11.9	8:14.7	12:11.9
丹 波	11:12.6	3:42.2	14: 4.8	4:41.2	5:31.6	10:13.3	6:30.3	9:14.6	1:68.4	2:44.9	7:20.4	8:16.0	13: 8.8	12:10.9
淡 路	8:18.3	5:35.3	14: 7.6	1:48.1	6:31.5	9:15.9	4:36.3	13:10.4	2:47.1	3:39.8	7:19.0	10:13.8	12:10.7	11:11.8
地域間の差	18.0	19.4	3.2	27.3	11.0	10.6	19.3	7.6	31.7	14.7	9.2	6.9	7.1	10.3

◆性別／性・年代別

- 性別で見ると、男女の差は最も多い「キ 買い物が便利」で7ポイントに止まっており、男女それぞれの順位が大きく異なる項目もない。
- 性・年代別で見ると、男女とも年代差が大きく生じており、男性では、「ア 美しい景観やまちなみが保たれている」「コ 障害者や高齢者が暮らしやすい」「サ 子育て環境が充実」で30ポイント程度あり、女性では、「エ 治安がよい」「コ 障害者や高齢者が暮らしやすい」「サ 子育て環境が充実」で30ポイントを超えている。
- 全県1位の「エ 治安がよい」は、男性では60代(4位)以外の年代では1位を占めており、女性でも1位の年代が多いが、50代で2位、70代以降では4位に下がっている。また、比率的には、男性の50代以下と女性の40代以下でそれぞれ6割を超えており、若い年代に多い傾向にある。
- 全県2位の「イ 公共交通機関が便利」は、男性では、30代と40代で2位、他の年代では3位であり、女性では、50代と70代で1位、他の年代では2位又は3位(30代、60代)である。また、比率的には、男性では、いずれの年代も概ね4割台であるが、女性では、50代以下で5～6割を占めており若い世代で多い傾向にある。
- 全県3位の「ケ 必要な医療サービスが受けられる」は、男性では、50代以降で1位(60代)又は2位を占めるが、40代以下では4位又は5位(20代)である。女性では、70代以降で1位(80歳以上)又は2位を占めるが、60代以下では、50代(3位)を除き4位又は5位(20代、60代)に下がっている。また、比率的には、男性の50代と60代、女性の40代と50代で5割を超えており中年層で多い傾向にある。
- このほか、男女ともに、全県4位の「キ 買い物が便利」は40代以下で、全県10位の「サ 子育て環境が充実」は30代以下で比率や順位が高く、逆に、全県5位の「コ 障害者や高齢者が暮らしやすい」は概ね50代以降の比率や順位が高い傾向にある。

◎居住地域の生活で今後、重視したいこと【性別／性・年代別】

(%)

	ア 美しい景観やまちなみが保たれている 順位: 7 23.2	イ 公共交通機関が便利 順位: 2 50.0	ウ 地域活動が盛ん 順位: 14 5.5	エ 治安がよい 順位: 1 56.6	オ 災害への備えが整っている 順位: 6 28.1	カ 自然に親しめる 順位: 8 17.8	キ 買い物が便利 順位: 4 43.8	ク 教育・学習環境がよい 順位: 12 12.3	ケ 必要な医療サービスが受けられる 順位: 3 46.7	コ 障害者や高齢者が暮らしやすい 順位: 5 34.4	サ 子育て環境が充実 順位: 10 13.8	シ 健康・スポーツ施設が便利 順位: 11 13.4	ス 芸術や文化に触れられる 順位: 13 8.9	セ 公園・緑地等が利用しやすい 順位: 9 15.9
全 県	7 23.2	2 50.0	14 5.5	1 56.6	6 28.1	8 17.8	4 43.8	12 12.3	3 46.7	5 34.4	10 13.8	11 13.4	13 8.9	9 15.9
性別														
男 性	7 26.9	3 46.7	14 7.0	1 57.2	6 28.8	8 20.6	4 40.0	12 11.6	2 46.7	5 32.1	10 14.7	11 14.1	13 10.1	9 17.9
女 性	7 20.5	2 52.6	14 4.3	1 56.2	6 27.7	8 15.4	3 46.9	11 12.8	4 46.7	5 36.3	10 13.1	12 12.7	13 8.0	9 14.2
性別間の差	6.4	6.0	2.7	1.0	1.1	5.3	7.0	1.2	0.1	4.3	1.6	1.5	2.0	3.7
性・年代別														
男 性														
20代	4 44.7	3 45.1	14 6.2	1 61.1	6 26.1	8 24.6	2 47.2	12 13.1	5 33.1	10 21.7	7 25.9	11 16.8	13 11.4	9 22.4
30代	6 28.7	2 49.9	14 6.0	1 65.9	7 23.3	8 19.2	3 45.7	9 18.7	4 43.3	10 17.0	5 33.8	11 15.3	13 7.0	12 14.6
40代	5 28.8	2 48.9	14 3.2	1 65.2	8 21.4	7 23.6	3 45.2	10 15.1	4 45.0	6 25.9	12 11.9	11 13.4	13 10.8	9 16.8
50代	7 27.0	3 49.7	14 3.5	1 62.6	5 32.4	8 19.3	4 37.6	13 6.8	2 58.8	6 32.2	11 10.1	10 14.3	12 9.3	9 15.6
60代	7 21.0	3 47.7	12 11.7	4 47.6	6 32.4	8 20.0	5 39.0	14 5.4	1 51.5	2 48.1	13 8.8	10 17.2	11 12.7	9 19.4
70代	7 25.3	3 38.2	13 7.8	1 46.5	5 31.9	9 21.3	6 29.4	10 15.7	2 38.4	4 34.9	14 7.7	12 8.5	11 11.0	8 23.2
80以上	10 8.1	3 40.2	9 12.5	1 56.1	6 31.5	8 14.8	4 38.0	7 15.4	2 41.3	5 32.5	12 3.9	11 7.8	14 0.4	13 2.2
年代間の差	36.6	11.8	9.4	19.5	11.1	9.8	17.8	13.4	25.7	31.2	29.9	9.3	12.3	21.0
女 性														
20代	9 17.3	2 61.3	14 6.4	1 70.0	6 23.0	8 18.9	3 52.0	12 11.4	5 36.7	10 16.6	4 37.8	7 19.1	13 9.7	11 13.1
30代	10 19.2	3 52.8	14 2.4	1 67.6	6 27.7	11 16.3	2 55.2	7 26.5	4 43.7	8 26.0	5 27.8	12 8.5	13 5.4	9 19.6
40代	7 21.0	2 57.3	14 4.3	1 66.3	5 33.7	9 15.1	3 54.6	8 18.2	4 51.1	6 29.8	12 8.4	10 13.8	13 7.2	11 13.0
50代	7 27.0	1 56.0	14 6.8	2 54.9	6 29.9	10 12.8	4 43.4	11 9.5	3 54.2	5 42.9	12 9.4	8 14.6	13 9.1	9 13.5
60代	7 19.7	3 47.6	14 3.0	1 52.0	6 30.4	10 14.1	4 45.8	12 7.9	5 42.5	2 49.0	13 6.0	9 14.9	11 12.9	8 16.5
70代	7 16.3	1 47.8	13 4.4	4 37.8	6 20.7	8 15.9	5 35.4	11 7.2	2 44.6	3 41.0	14 1.6	10 7.9	12 4.5	9 10.6
80以上	7 19.4	2 43.1	14 1.9	4 38.8	6 21.3	8 19.1	5 38.6	11 4.5	1 53.5	3 40.4	12 4.0	9 8.7	13 3.6	10 6.3
年代間の差	10.7	18.2	4.9	32.2	13.0	6.3	19.8	21.9	17.5	32.3	36.2	11.2	9.4	13.3

◆職業別

- 職業別でみると、職業間の差は、「コ 障害者や高齢者が暮らしやすい」で33.4ポイントと最も大きく、「エ 治安がよい」と「キ 買い物が便利」で20ポイントを超えている。
- 全県で上位の項目が、概ね各職業での上位項目を占め、順位が大きく上下しているものは少なく、全県5位の「コ 障害者や高齢者が暮らしやすい」が学生で12位(11.1%)に、全県8位の「自然に親しめる」が主婦で11位(15.3%)にそれぞれ下がっており、逆に、全県11位の「健康・スポーツ施設が便利」が学生で6位(27.6%)に上がっているのが目に付く程度である。

◎居住地域の生活で今後、重視したいこと【職業別】

(%)

	ア 美しい景 観やま ちなみ が保た れている	イ 公共交 通機関 が便利	ウ 地域活 動が盛 ん	エ 治安が よい	オ 災害へ の備え が整っ ている	カ 自然に 親しめ る	キ 買物が 便利	ク 教育・学 習環境 がよい	ケ 必要な 医療サ ービス が受け られる	コ 障害者 や高齢 者が暮 らしや すい	サ 子育て 環境が 充実	シ 健康・ス ポーツ 施設が 便利	ス 芸術や 文化に 触れら れる	セ 公園・緑 地等が 利用し やすい
	順: 位:	順: 位:	順: 位:	順: 位:	順: 位:	順: 位:	順: 位:	順: 位:	順: 位:	順: 位:	順: 位:	順: 位:	順: 位:	順: 位:
全 県	7:23.2	2:50.0	14: 5.5	1:56.6	6:28.1	8:17.8	4:43.8	12:12.3	3:46.7	5:34.4	10:13.8	11:13.4	13: 8.9	9:15.9
職業別														
自営業	7:27.0	3:49.5	13: 7.5	1:63.7	5:32.1	8:22.0	4:34.1	14:6.5	2:55.2	6:30.6	11:11.2	9:12.4	12:10.0	10:12.3
正規社員(職員)	7:27.9	2:49.2	14: 5.0	1:62.8	5:29.0	8:19.5	3:46.9	12:13.6	4:45.6	6:28.8	9:19.5	11:14.6	13: 9.6	10:15.7
会社等の役員	6:30.1	4:45.4	14: 4.4	1:71.5	7:21.1	10:16.3	3:47.3	11:13.9	2:47.9	5:44.1	8:17.3	12:11.5	13:5.4	9:16.4
契約・派遣社員	8:20.6	2:57.6	13: 9.5	1:60.9	5:26.4	9:17.7	4:47.3	14: 8.2	3:54.1	6:23.2	10:13.6	12:12.9	11:13.3	7:21.6
パート・アルバイト	7:25.6	1:56.4	14:3.3	2:56.1	6:33.1	8:17.7	4:45.0	10:14.2	3:48.5	5:36.8	12:12.0	9:15.9	13: 8.3	11:13.5
主婦(主夫)	7:18.0	2:51.2	14: 3.6	1:56.7	6:28.5	11:15.3	3:47.0	10:16.3	4:46.3	5:40.6	9:16.6	12:12.2	13: 8.1	8:17.1
学生	5:33.1	1:62.1	13:10.2	2:61.1	8:17.6	7:19.4	3:54.4	11:13.8	4:45.0	12:11.1	9:16.6	6:27.6	14: 9.8	10:14.7
その他無職	8:17.2	2:45.7	14: 6.9	1:45.8	6:25.2	9:17.2	5:42.1	11:10.8	4:43.4	3:44.5	12:7.5	10:11.4	13: 7.3	7:18.6
職業間の差	15.9	16.7	6.9	25.7	15.4	6.7	20.3	9.8	11.9	33.4	12.0	16.2	7.9	9.4

8 近所づきあい

(1) 日頃、あいさつや立ち話、密接に関係している近所の人的人数

問 12 あなたのご近所づきあいについてお聞きします。次のア～ウについて、それぞれあてはまる人数を記入してください。特にいない場合は、2に○印をつけてください。

ア いつもあいさつをする近所の人

1 約 人いる 2 特にいない

イ 立ち話をよくする近所の人

1 約 人いる 2 特にいない

ウ おすそわけをしたり、おみやげをあげたりもらったりする近所の人

1 約 人いる 2 特にいない

- いつもあいさつをする人の人数は、「10人」(19.4%)が約2割で最も多く、次いで「5人」(16.4%)、「3人」(10.6%)と続き、『いる』人(78.5%)は8割近いが、「特にいない」(18.2%)が2割近くある。
- 立ち話をする人の人数では、「特にいない」(37.5%)が4割近くあり、「2人」(14.5%)、「3人」(13.7%)、「5人」(11.7%)が1割を超えているが、『いる』人(59.3%)は6割程度である。
- おすそわけやおみやげをする人の人数でも、「特にいない」(30.5%)が3割あり、「2人」(17.7%)、「3人」(15.8%)、「1人」(11.1%)、「5人」(10.6%)が1割を超えているが、『いる』人(66.6%)は3分の2である。

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
ア いつもあいさつをする人	18.2	78.5	2.2	6.9	10.6	3.6	16.4	4.8	1.5	3.2	0.2	19.4	0.1
イ 立ち話をする人	37.5	59.3	5.1	14.5	13.7	3.1	11.7	2.8	0.8	0.7	0.1	5.3	0.1
ウ おすそわけやおみやげをする人	30.5	66.6	11.1	17.7	15.8	4.5	10.6	2.1	1.0	0.8	0.1	2.4	0.1

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人～	不明
ア いつもあいさつをする人	0.6	0.0	0.0	1.6	0.1	0.0	0.1	0.0	4.9	1.6	0.2	0.6	3.3
イ 立ち話をする人	0.1	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.0	0.1	3.2
ウ おすそわけやおみやげをする人	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	3.0

◎ア いつもあいさつをする近所の人

◆地域別

○ 地域別でみると、『いる』人はいずれの地域でも7割以上あり、東播磨(82.8%)と但馬(80.6%)では8割を越えている。一方、「特にいない」人は、いずれの地域でも1割以上あるが、北播磨(22.5%)と中播磨(22.9%)では2割を超えている。

◎ア いつもあいさつをする近所の人【地域別】 (%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	18.2	78.5	2.2	6.9	10.6	3.6	16.4	4.8	1.5	3.2	0.2	19.4	0.1
地域別													
神戸	18.5	77.6	2.0	7.1	9.4	2.4	16.5	5.9	2.4	4.3	0.4	16.1	0.0
阪神南	15.9	79.7	0.9	9.1	6.5	3.4	17.7	6.0	1.3	3.4	0.0	22.8	0.0
阪神北	18.2	78.4	3.0	4.2	13.3	4.5	10.2	3.0	1.1	3.0	0.0	26.9	0.0
東播磨	15.8	82.8	2.5	6.5	15.8	5.4	16.1	4.7	1.4	2.5	0.0	21.1	0.0
北播磨	22.5	74.2	2.5	6.9	12.0	4.7	17.1	5.1	1.5	2.2	0.0	12.7	0.4
中播磨	22.9	75.6	3.1	5.0	9.7	3.5	20.9	3.5	0.8	3.1	0.4	13.6	0.4
西播磨	19.0	78.3	2.4	7.5	12.5	4.4	17.6	3.4	1.0	1.0	0.0	18.6	0.0
但馬	15.0	80.6	2.2	8.5	8.2	2.8	15.7	4.1	0.9	2.8	0.6	23.5	0.0
丹波	18.7	77.9	4.1	9.2	13.9	4.8	16.3	3.1	1.4	1.4	0.0	16.0	0.0
淡路	17.6	77.5	3.1	8.0	12.5	2.4	18.7	1.7	1.0	1.7	0.3	18.3	0.0

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人～	不明
全県	0.6	0.0	0.0	1.6	0.1	0.0	0.1	0.0	4.9	1.6	0.2	0.6	3.3
地域別													
神戸	0.4	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	2.4	0.4	0.4	3.9
阪神南	0.4	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.4	4.3
阪神北	0.8	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	2.7	0.0	0.4	3.4
東播磨	0.7	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.4	0.0	1.8	1.4	0.0	0.7	1.4
北播磨	0.7	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.4	0.0	5.1	0.7	0.0	0.4	3.3
中播磨	1.2	0.0	0.0	2.7	0.4	0.0	0.4	0.0	3.9	1.6	0.4	1.2	1.6
西播磨	0.0	0.3	0.0	2.0	0.3	0.3	0.0	0.0	3.4	2.0	0.3	1.0	2.7
但馬	0.3	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	6.6	1.3	0.0	0.9	4.4
丹波	0.3	0.3	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.3	0.7	0.7	3.4
淡路	0.3	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.3	0.0	3.8	2.1	0.0	0.7	4.8

◆性別、性・年代別

○ 性別でみると、『いる』人は、男性(72.7%)より女性(82.9%)で多く、「特にいない」人は、女性(14.1%)より男性(23.6%)が多い。

◎ア いつもあいさつをする近所の人【性別】 (%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	18.2	78.5	2.2	6.9	10.6	3.6	16.4	4.8	1.5	3.2	0.2	19.4	0.1
性別													
男性	23.6	72.7	2.3	7.3	11.3	3.0	16.5	3.5	0.8	1.8	0.1	17.8	0.0
女性	14.1	82.9	2.0	6.6	10.1	4.1	16.4	5.7	2.0	4.3	0.2	20.6	0.1

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人～	不明
全県	0.6	0.0	0.0	1.6	0.1	0.0	0.1	0.0	4.9	1.6	0.2	0.6	3.3
性別													
男性	0.2	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.2	0.0	4.6	0.9	0.1	0.7	3.7
女性	0.8	0.0	0.0	1.7	0.1	0.0	0.0	0.0	5.2	2.1	0.3	0.5	3.0

○性・年代別でみると、男性では、『いる』人は、20代(54.3%)の5割台から70代(83.1%)の8割台まで、年代が上がるほど多くなるが、80歳以上(68.9%)では6割台に減少している。「特にいない」人は、逆に年代が上がるほど少なくなるが、80歳以上(18.6%)では70代(8.6%)より増加している。

○女性では、『いる』人は、20代(61.5%)を除き、いずれの年代でも8割台となっており、一方、「特にいない」人は、20代(36.5%)で最も多く、男性と同様、年代が上がるほど少なくなる傾向にあり、80歳以上(10.6%)で増加に転じている。

◎ア いつもあいさつをする近所の人【性・年代別】 (%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	18.2	78.5	2.2	6.9	10.6	3.6	16.4	4.8	1.5	3.2	0.2	19.4	0.1
性・年代別													
男 性													
20代	45.1	54.3	5.8	5.6	8.2	0.4	18.5	1.8	0.0	0.0	0.0	11.7	0.0
30代	36.1	63.5	2.1	10.2	12.8	5.7	14.3	0.7	0.0	1.6	0.0	13.8	0.0
40代	30.2	65.3	0.7	8.5	9.0	2.5	20.9	2.8	0.8	1.8	0.7	10.7	0.0
50代	18.7	77.1	1.8	11.7	15.7	3.3	13.4	1.8	2.0	1.9	0.0	17.6	0.0
60代	16.5	81.5	2.1	5.4	9.3	2.6	19.3	6.6	0.1	3.4	0.0	22.7	0.0
70代	8.6	83.1	3.1	1.8	11.7	3.1	13.7	6.4	2.1	0.3	0.0	24.4	0.3
80以上	18.6	68.9	0.0	2.7	10.3	1.8	15.6	0.0	0.0	2.5	0.0	22.7	0.0
女 性													
20代	36.5	61.5	2.9	10.5	13.3	6.8	8.4	4.3	4.2	0.0	0.0	9.4	0.0
30代	16.6	83.4	1.6	6.2	9.9	5.0	22.8	5.5	1.4	3.1	0.0	21.9	0.0
40代	13.7	84.6	1.7	6.3	11.6	3.1	14.4	4.8	1.0	2.2	0.0	23.3	0.0
50代	11.0	85.9	1.3	10.0	10.0	5.3	20.3	3.1	1.1	4.1	0.1	21.2	0.0
60代	8.6	87.7	1.3	4.9	7.2	3.5	14.6	8.0	2.1	7.3	0.1	22.0	0.0
70代	8.8	85.1	2.0	3.3	10.2	2.7	14.4	6.6	3.0	6.3	1.6	23.5	0.5
80以上	10.6	82.5	6.0	4.2	12.3	1.0	14.4	9.6	3.4	5.7	0.0	16.6	0.0

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50人～	不明
全県	0.6	0.0	0.0	1.6	0.1	0.0	0.1	0.0	4.9	1.6	0.2	0.6	3.3
性・年代別													
男 性													
20代	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.6
30代	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.2	0.0	0.0	0.4
40代	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	1.2	0.0	1.5	4.5
50代	0.1	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	1.4	0.0	0.3	4.2
60代	0.4	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	5.9	0.7	0.2	0.9	2.0
70代	0.8	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	10.9	1.8	0.0	0.8	8.3
80以上	0.4	0.0	0.0	3.9	0.0	1.1	0.0	0.0	4.1	0.0	0.4	3.4	12.5
女 性													
20代	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	2.0
30代	0.5	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	1.2	0.0	0.0	0.0
40代	1.6	0.2	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	3.6	0.0	0.0	1.7
50代	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4	2.6	0.0	0.7	3.0
60代	1.7	0.1	0.0	3.3	0.5	0.0	0.0	0.0	7.3	1.7	0.4	1.7	3.7
70代	0.5	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0	7.4	2.7	0.0	0.0	6.1
80以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	3.0	3.0	0.0	6.8

◆職業別

- 職業別でみると、『いる』人は、8割台の職業が半数以上を占めるが、正規社員(69.5%)、契約・派遣社員(70.6%)で7割前後、学生(59.1%)では約6割となっている。逆に、「特にない」人は、1割台の職業が半数以上を占めるなか、正規社員(28.7%)、契約・派遣社員(29.4%)で3割近く、学生(40.1%)で4割となっている。

◎ア いつもあいさつをする近所の人【職業別】

(%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	18.2	78.5	2.2	6.9	10.6	3.6	16.4	4.8	1.5	3.2	0.2	19.4	0.1
職業別													
自営業	14.3	85.0	2.0	7.2	11.5	4.4	18.6	7.4	1.6	3.5	0.1	20.1	0.0
正規社員(職員)	28.7	69.5	3.3	10.6	11.1	4.0	15.0	1.3	1.4	2.3	0.2	14.1	0.0
会社等の役員	18.7	80.0	2.1	5.3	6.2	0.3	31.8	4.4	0.6	0.0	0.0	19.0	0.0
契約・派遣社員	29.4	70.6	1.3	11.3	12.0	5.2	13.1	5.7	1.6	0.3	0.0	13.8	0.0
パート・アルバイト	15.7	81.8	1.8	5.4	11.3	3.7	20.1	4.5	0.3	2.9	0.0	21.0	0.3
主婦(主夫)	10.0	87.4	1.3	4.9	7.3	4.2	15.8	6.3	3.1	5.3	0.1	24.3	0.0
学生	40.1	59.1	1.9	7.3	5.0	2.3	23.7	0.0	0.0	5.2	0.0	13.4	0.0
その他無職	10.9	87.6	2.7	4.1	13.2	2.8	14.2	7.9	1.6	4.2	0.7	23.9	0.1

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人～	不明
全県	0.6	0.0	0.0	1.6	0.1	0.0	0.1	0.0	4.9	1.6	0.2	0.6	3.3
職業別													
自営業	0.5	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	0.9	0.1	1.1	0.7
正規社員(職員)	0.7	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	1.0	0.0	0.4	1.8
会社等の役員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	7.5	0.3	0.5	0.3	1.3
契約・派遣社員	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.5	0.0	0.2	0.0
パート・アルバイト	1.1	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.1	0.0	4.7	2.1	0.0	0.4	2.5
主婦(主夫)	0.5	0.0	0.0	2.0	0.3	0.0	0.0	0.0	8.2	2.0	0.9	0.9	2.6
学生	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.8
その他無職	0.4	0.1	0.0	1.3	0.0	0.1	0.3	0.0	6.8	2.4	0.0	0.8	1.5

◆未既婚別

- 未既婚別では、『いる』人は、既婚[配偶者有](81.1%)、既婚[離・死別](82.4%)ともに8割台前半であるが、未婚(63.3%)では6割台前半に止まっている。

◎ア いつもあいさつをする近所の人【未既婚別】

(%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	18.2	78.5	2.2	6.9	10.6	3.6	16.4	4.8	1.5	3.2	0.2	19.4	0.1
未既婚別													
既婚(配偶者有)	15.5	81.1	2.0	6.4	9.6	3.7	17.5	5.0	1.8	3.5	0.1	21.0	0.1
既婚(離・死別)	14.6	82.4	1.9	6.5	15.0	3.0	13.1	6.4	0.6	3.1	1.1	19.5	0.0
未婚	34.9	63.3	3.5	9.8	11.8	4.0	13.9	2.2	1.0	1.9	0.0	11.7	0.0

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人～	不明
全県	0.6	0.0	0.0	1.6	0.1	0.0	0.1	0.0	4.9	1.6	0.2	0.6	3.3
未既婚別													
既婚(配偶者有)	0.4	0.0	0.0	2.0	0.1	0.0	0.2	0.0	5.6	1.4	0.1	0.7	3.4
既婚(離・死別)	2.1	0.0	0.0	0.9	0.0	0.1	0.0	0.0	4.3	3.1	1.0	0.7	3.0
未婚	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	1.1	0.0	0.0	1.8

◆居住年数別

- 居住年数別でみると、『いる』人は、いずれの年数でも概ね8割前後あるが、1～3年(72.1%)で7割前半、1年未満(62.3%)では6割前半にとどまる。一方、「特にない」人は、居住年数が長いほど少なくなる傾向にあり、1年未満(37.1%)では3割を超えるが、1～3年(25.4%)、3～5年(21.9%)、5～10年(20.6%)で2割台となり、20年以上(14.8%)では1割台半ばとなっている。

◎ア いつもあいさつをする近所の人【居住年数別】

(%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	18.2	78.5	2.2	6.9	10.6	3.6	16.4	4.8	1.5	3.2	0.2	19.4	0.1
居住年数別													
1年未満	37.1	62.3	4.1	3.8	11.2	8.2	4.3	5.0	0.0	4.7	0.0	17.4	0.0
1～3年	25.4	72.1	2.0	7.6	12.9	6.0	16.0	7.2	1.1	1.4	0.0	14.7	0.0
3～5年	21.9	78.1	1.0	13.7	9.5	4.0	15.4	5.7	2.4	6.1	0.0	13.7	0.0
5～10年	20.6	76.9	1.3	6.8	10.1	5.9	15.9	4.3	2.0	1.4	1.0	21.5	0.0
10～15年	17.2	80.8	3.6	7.1	11.2	3.1	20.0	3.8	1.1	3.9	0.0	17.0	0.0
15～20年	19.6	79.8	1.9	11.3	12.5	2.8	14.9	4.7	2.7	2.2	0.0	19.2	0.0
20年以上	14.8	83.3	2.3	5.6	10.3	2.6	17.2	4.9	1.5	3.6	0.1	22.3	0.1

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50人～	不明
全県	0.6	0.0	0.0	1.6	0.1	0.0	0.1	0.0	4.9	1.6	0.2	0.6	3.3
職業別													
1年未満	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.6
1～3年	0.0	0.2	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.6	0.0	0.0	2.5
3～5年	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	0.8	0.0	1.2	0.0
5～10年	0.8	0.0	0.0	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	3.8	0.9	0.0	0.4	2.5
10～15年	0.8	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	2.3	0.0	0.7	2.0
15～20年	0.7	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.9	0.0	2.4	0.7	0.0	0.1	0.6
20年以上	0.5	0.0	0.0	2.1	0.1	0.0	0.1	0.0	7.2	1.8	0.4	0.7	1.8

◎イ 立ち話をよくする近所の人

◆地域別

○ 地域別でみると、『いる』人は、但馬(68.7%)で7割近く、他の地域ではいずれも6割前後(55.6%～65.4%)となっている。一方、「特にいない」人は、概ね3割台(33.3%～40.7%)の地域が多いが、但馬(27.0%)、淡路(28.0%)では2割台に止まっている。

◎イ 立ち話をよくする近所の人【地域別】 (%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	37.5	59.3	5.1	14.5	13.7	3.1	11.7	2.8	0.8	0.7	0.1	5.3	0.1
地域別													
神戸	37.4	59.1	5.5	14.6	15.7	0.8	9.1	3.1	1.2	0.4	0.4	6.3	0.4
阪神南	40.5	55.6	4.7	15.1	11.6	3.9	10.8	3.0	0.9	0.9	0.0	3.9	0.0
阪神北	38.6	58.0	6.4	13.3	11.7	3.4	12.9	1.5	0.0	1.5	0.0	5.3	0.0
東播磨	39.8	59.1	3.6	16.5	13.3	3.2	13.6	2.9	0.4	0.0	0.0	3.9	0.0
北播磨	40.7	56.7	4.4	14.2	12.0	3.6	10.2	4.4	0.7	0.4	0.4	6.2	0.0
中播磨	34.9	63.2	5.4	13.6	13.2	6.2	13.6	2.7	0.8	0.8	0.0	5.4	0.0
西播磨	34.6	62.4	4.4	13.6	13.9	3.7	16.9	1.7	1.0	1.4	0.0	3.4	0.0
但馬	27.0	68.7	3.1	13.8	16.9	4.4	14.1	3.8	0.6	0.0	0.0	10.7	0.0
丹波	33.3	62.6	5.1	16.3	16.7	4.1	13.6	1.0	1.0	0.7	0.0	3.1	0.0
淡路	28.0	65.4	6.2	12.8	18.0	2.4	13.8	1.4	0.7	0.7	0.0	7.6	0.0

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50人～	不明
全県	0.1	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.0	0.1	3.2
地域別													
神戸	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	3.5
阪神南	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	3.9
阪神北	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.4	0.0	0.0	3.4
東播磨	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0	0.4	1.1
北播磨	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
中播磨	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0	0.4	1.9
西播磨	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.3	0.0	0.0	0.7	0.3	0.0	0.3	3.1
但馬	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	4.4
丹波	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	4.1
淡路	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	0.0	6.6

◆性別、性・年代別

○ 性別では、『いる』人は、男性(48.6%)より女性(67.4%)で多く、「特にいない」人は、女性(29.9%)より男性(47.6%)が多い。

◎イ 立ち話をよくする近所の人【性別】 (%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	37.5	59.3	5.1	14.5	13.7	3.1	11.7	2.8	0.8	0.7	0.1	5.3	0.1
性別													
男性	47.6	48.6	4.9	13.5	9.5	1.9	9.6	1.9	0.4	0.5	0.3	4.7	0.0
女性	29.9	67.4	5.0	15.4	17.0	4.0	13.4	3.3	1.0	0.8	0.0	5.8	0.2

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50人～	不明
全県	0.1	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.0	0.1	3.2
性別													
男性	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1	0.0	0.2	3.7
女性	0.2	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4	0.0	0.1	2.7

- 性・年代別で見ると、男性では、『いる』人は、20代(25.5%)の2割台から70代(65.5%)の6割台まで、年代が上がるほど多くなっているが、80歳以上(55.9%)で5割台に減少している。「特にいない」人は、逆に年代が上がるほど少なくなるが、80歳以上(30.9%)では70代(26.2%)よりもやや増加している。
- 女性では、『いる』人は、20代(31.0%)を除き、いずれの年代も6割以上あり、60代以降(77.2%~78.3%)では8割近い。一方、「特にいない」人は、20代(67.0%)で6割台と最も多く、年代が上がるほど少なくなる傾向にあり、60代以降(16.2%~19.0%)では2割を下回る。

◎イ 立ち話をよくする近所の人【性・年代別】 (%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	37.5	59.3	5.1	14.5	13.7	3.1	11.7	2.8	0.8	0.7	0.1	5.3	0.1
性・年代別													
男性													
20代	73.8	25.5	5.3	10.4	3.7	0.9	2.7	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0
30代	66.4	33.1	4.5	10.3	9.3	2.0	3.1	1.8	0.6	0.0	0.0	1.6	0.0
40代	57.2	38.3	5.2	12.7	5.2	0.7	9.4	1.3	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0
50代	46.1	49.4	4.7	14.6	12.1	2.0	8.5	1.3	1.0	0.0	0.0	3.7	0.0
60代	36.0	62.1	5.0	15.0	14.2	2.3	11.0	2.4	0.2	0.8	0.2	9.6	0.0
70代	26.2	65.5	5.9	15.9	5.5	3.2	17.0	4.5	0.4	1.9	0.0	7.4	0.0
80以上	30.9	55.9	1.2	9.8	15.7	0.0	22.5	1.1	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0
女性													
20代	67.0	31.0	12.2	9.2	6.7	1.7	0.2	0.2	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0
30代	39.3	60.6	3.8	13.6	16.2	3.4	15.2	2.9	0.5	0.0	0.0	4.5	0.0
40代	30.8	67.6	3.1	23.2	15.6	1.7	14.7	0.1	2.4	1.2	0.0	5.7	0.0
50代	26.3	70.7	3.7	17.1	18.7	6.1	15.1	2.3	1.2	1.2	0.0	3.8	0.0
60代	19.0	78.1	4.9	13.2	18.8	5.6	13.2	5.8	1.2	1.5	0.0	8.9	1.0
70代	16.2	77.2	1.8	15.7	20.1	4.3	16.4	5.5	0.7	0.2	0.0	10.6	0.0
80以上	18.4	78.3	11.5	12.9	20.8	1.9	15.8	7.7	0.9	0.0	0.0	5.0	0.0

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20~29人	30~39人	40~49人	50人~	不明
全県	0.1	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.0	0.1	3.2
性・年代別													
男性													
20代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
30代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
40代	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
50代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.1	4.4
60代	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1	0.0	0.6	1.8
70代	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.3	0.0	0.0	1.5	0.3	0.0	0.0	8.3
80以上	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.6	0.0	0.0	13.2
女性													
20代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
30代	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
40代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
50代	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	3.0
60代	1.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.4	2.9
70代	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.5	0.0	0.0	6.7
80以上	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	3.3

◆職業別

○ 職業別でみると、『いる』人は、主婦(78.2%)とその他無職(71.4%)で7割台、パート・アルバイト(66.8%)、自営業(64.0%)で6割台であるが、正規社員(39.1%)や学生(30.0%)では3割台に止まる。一方、「特にいない」人は、学生(69.2%)で約7割、正規社員(59.0%)で約6割、契約・派遣社員(48.7%)で5割近くとなっている。

◎イ 立ち話をよくする近所の人【職業別】

(%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	37.5	59.3	5.1	14.5	13.7	3.1	11.7	2.8	0.8	0.7	0.1	5.3	0.1
職業別													
自営業	35.0	64.0	5.1	19.7	14.5	3.4	9.4	4.6	0.5	0.4	0.0	5.0	0.0
正規社員(職員)	59.0	39.1	4.8	12.5	8.9	1.5	5.9	0.7	0.5	0.4	0.4	2.8	0.0
会社等の役員	38.9	59.8	3.0	16.2	17.9	0.6	8.8	0.3	0.0	2.5	0.0	9.6	0.0
契約・派遣社員	48.7	51.3	6.1	19.9	9.2	2.7	6.5	1.3	0.0	0.3	0.0	4.5	0.0
パート・アルバイト	31.0	66.8	5.8	16.5	16.4	4.2	13.4	2.2	0.0	0.5	0.1	6.8	0.0
主婦(主夫)	20.6	78.2	3.6	12.3	20.1	5.7	17.5	4.9	2.7	1.2	0.0	6.6	0.6
学生	69.2	30.0	9.1	0.8	16.3	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他無職	26.6	71.4	5.5	15.7	13.9	2.9	19.0	4.3	0.5	0.1	0.0	6.6	0.0

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人～	不明
全県	0.1	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.0	0.1	3.2
職業別													
自営業	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.0	0.4	1.1
正規社員(職員)	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	1.9
会社等の役員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	1.3
契約・派遣社員	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
パート・アルバイト	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	2.2
主婦(主夫)	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.8	0.0	0.2	1.3
学生	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
その他無職	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.1	0.0	0.0	1.0	0.5	0.0	0.0	2.0

◆未既婚別

○ 未既婚別では、『いる』人は、既婚[配偶者有](64.5%)、既婚[離・死別](64.1%)ともに6割を超えるが、未婚(31.0%)では3割強に止まる。

◎イ 立ち話をよくする近所の人【未既婚別】

(%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	37.5	59.3	5.1	14.5	13.7	3.1	11.7	2.8	0.8	0.7	0.1	5.3	0.1
未既婚別													
既婚(配偶者有)	32.4	64.5	5.1	14.8	15.3	3.5	13.5	2.8	1.0	0.7	0.0	6.1	0.1
既婚(離・死別)	32.8	64.1	4.6	15.8	14.6	2.7	12.2	5.4	0.2	0.9	0.0	5.4	0.0
未婚	67.1	31.0	5.4	12.8	5.5	1.1	3.1	0.3	0.0	0.3	0.7	1.6	0.0

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人～	不明
全県	0.1	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.0	0.1	3.2
未既婚別													
既婚(配偶者有)	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.2	0.0	0.2	3.2
既婚(離・死別)	1.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.7	0.0	0.0	3.2
未婚	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0

◆居住年数別

- 居住年数別では、『いる』人は、1年未満(39.8%)や1～3年(43.1%)では4割前後であるが、3年以上20年未満の間では5割台(54.3～57.5%)で、20年以上(68.6%)では7割近い。

◎イ 立ち話をよくする近所の人【居住年数別】

(%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	37.5	59.3	5.1	14.5	13.7	3.1	11.7	2.8	0.8	0.7	0.1	5.3	0.1
居住年数別													
1年未満	60.2	39.8	6.3	7.7	12.4	0.9	5.3	4.8	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0
1～3年	55.9	43.1	4.7	11.9	13.5	3.0	6.1	1.5	0.0	0.3	0.0	0.9	0.0
3～5年	45.2	54.8	6.2	18.4	12.8	3.2	6.7	2.0	1.3	0.0	0.0	2.8	0.0
5～10年	40.5	57.5	5.9	14.7	12.7	3.2	11.1	3.9	0.8	0.1	0.8	3.2	0.0
10～15年	42.8	55.3	4.5	18.2	11.0	3.2	9.5	0.9	0.8	0.9	0.0	5.1	0.0
15～20年	45.0	54.3	5.5	15.5	11.3	3.5	11.6	0.8	1.1	1.7	0.3	1.6	0.0
20年以上	29.4	68.6	4.7	13.9	16.0	3.3	15.5	3.6	0.8	0.8	0.0	8.0	0.2

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50人～	不明
全県	0.1	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.0	0.1	3.2
職業別													
1年未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1～3年	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
3～5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0
5～10年	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.0	0.0	2.0
10～15年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	2.0
15～20年	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
20年以上	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.3	0.0	0.3	1.9

◎ウ おすそわけやおみやげをする人

◆地域別

○ 地域別でみると、『いる』人は、8割近い但馬(79.3%)など4地域で7割台後半あり、北播磨を除く播磨3地域で約7割、神戸・阪神(南・北)で6割台前半となっている。一方、「特にない」人は、3割前後の地域が多いなか、北播磨(21.5%)、但馬(16.6%)、丹波(18.7%)、淡路(18.0%)では2割程度までに止まっている。

◎ウ おすそわけやおみやげをする人【地域別】 (%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	30.5	66.6	11.1	17.7	15.8	4.5	10.6	2.1	1.0	0.8	0.1	2.4	0.1
地域別													
神戸	33.1	63.4	12.2	20.1	12.6	3.5	9.4	1.2	0.8	0.8	0.4	2.0	0.4
阪神南	35.3	60.8	12.5	15.1	14.7	4.3	9.1	1.3	1.3	0.9	0.0	0.9	0.0
阪神北	32.6	64.0	9.8	18.2	15.5	3.8	9.1	3.0	0.8	0.4	0.0	3.4	0.0
東播磨	29.7	69.5	10.4	17.2	19.0	4.7	11.8	1.1	1.4	1.1	0.0	2.5	0.0
北播磨	21.5	76.7	8.4	20.4	18.5	6.2	9.8	5.8	1.1	1.5	0.0	5.1	0.0
中播磨	29.5	68.6	11.2	15.5	15.1	6.2	12.8	3.9	0.4	0.4	0.0	2.7	0.0
西播磨	27.5	70.2	9.2	17.3	20.0	5.4	12.9	1.7	0.3	0.7	0.0	2.0	0.0
但馬	16.6	79.3	8.2	16.3	20.1	6.6	17.2	2.8	2.5	1.3	0.0	3.4	0.0
丹波	18.7	77.9	10.2	16.0	30.6	4.1	10.5	2.4	1.0	0.7	0.0	2.0	0.0
淡路	18.0	77.9	10.7	20.1	14.9	5.9	15.9	2.4	0.7	0.7	0.0	5.9	0.0

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人～	不明
全県	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	3.0
地域別													
神戸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5
阪神南	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9
阪神北	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4
東播磨	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.7
北播磨	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
中播磨	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	1.9
西播磨	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	2.4
但馬	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	4.1
丹波	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	3.4
淡路	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	4.2

◆性別、性・年代別

○ 性別では、『いる』人は、男性(61.2%)より女性(70.5%)で多く、「特にない」人は、女性(26.9%)より男性(35.3%)が多い。

◎ウ おすそわけやおみやげをする人【性別】 (%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	30.5	66.6	11.1	17.7	15.8	4.5	10.6	2.1	1.0	0.8	0.1	2.4	0.1
性別													
男性	35.3	61.2	10.6	16.3	14.5	3.5	9.7	2.1	0.5	1.0	0.3	2.2	0.0
女性	26.9	70.5	11.2	18.8	16.8	5.3	11.2	2.1	1.4	0.6	0.0	2.6	0.2

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人～	不明
全県	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	3.0
性別													
男性	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	3.4
女性	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	2.6

- 性・年代別でみると、男性では、『いる』人は年代が上がるほど多くなり、逆に、「特にない」人は年代が上がるほど少なくなっている。
- 女性では、『いる』人は、20代(36.3%)で4割を下回るが、30代～50代で7割前後、60代、70代では8割を超え、80歳以上(67.3%)では6割台に低下している。一方、「特にない」人は、20代(61.6%)が最も多く、年代が上がるほど少なくなる傾向にあり、70代(11.5%)では1割強になるが、80歳以上(29.9%)では増加に転じている。

◎ウ おすすめやおみやげをする人【性・年代別】 (%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	30.5	66.6	11.1	17.7	15.8	4.5	10.6	2.1	1.0	0.8	0.1	2.4	0.1
性・年代別													
男 性													
20代	57.0	42.4	11.3	12.6	6.5	3.2	5.6	0.0	0.0	0.0	2.5	0.7	0.0
30代	49.2	50.6	8.2	15.4	14.1	3.9	3.9	0.5	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0
40代	41.5	54.0	7.4	17.9	12.4	2.7	9.9	0.8	0.2	0.8	0.0	0.6	0.0
50代	34.3	61.2	13.2	18.7	12.4	3.2	9.8	1.0	0.3	0.2	0.0	2.2	0.0
60代	27.2	71.5	11.2	15.5	18.4	2.6	14.0	3.7	1.5	1.0	0.0	2.9	0.0
70代	19.6	72.3	11.4	15.8	18.1	5.1	12.1	4.7	0.2	3.2	0.0	1.0	0.0
80以上	16.9	72.8	7.5	17.0	17.5	7.7	6.4	4.6	0.0	5.2	0.0	6.8	0.0
女 性													
20代	61.6	36.3	12.0	12.4	9.2	0.0	1.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	30.8	69.2	10.6	25.0	13.7	4.4	10.9	1.9	1.1	0.5	0.0	1.1	0.0
40代	24.4	74.1	7.5	17.8	19.7	6.5	17.1	0.3	1.6	0.0	0.0	2.6	0.0
50代	26.9	70.5	12.8	18.5	18.1	7.3	7.4	1.8	0.3	2.0	0.0	0.6	1.0
60代	17.0	80.2	12.3	16.9	17.4	5.9	15.6	3.7	1.7	0.3	0.0	6.0	0.0
70代	11.5	81.7	11.4	22.3	18.7	5.7	14.3	2.4	2.6	0.1	0.0	4.0	0.0
80以上	29.9	67.3	11.5	14.2	21.2	4.3	7.1	2.1	3.2	0.5	0.0	3.3	0.0

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50人～	不明
全県	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	3.0
性・年代別													
男 性													
20代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
30代	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
40代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	4.5
50代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4
60代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.2	1.3
70代	0.0	0.2	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	8.2
80以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3
女 性													
20代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
30代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.5
50代	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6
60代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	2.8
70代	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8
80以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8

◆職業別

職業別でみると、『いる』人は、8割近い主婦(79.6%)など7割台の職業が多いが、正規社員(53.9%)と契約・派遣社員(55.9%)で6割を、学生(44.0%)で5割をそれぞれ下回っている。一方、「特にいない」人は、学生(55.1%)で半数を超え、正規社員(44.4%)と契約・派遣社員(44.1%)で4割を超えているが、他の職業(19.1%~28.3%)では3割を下回っている。

◎ウ おすすめやおみやげをする人【職業別】 (%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	30.5	66.6	11.1	17.7	15.8	4.5	10.6	2.1	1.0	0.8	0.1	2.4	0.1
職業別													
自営業	23.6	75.6	7.4	22.2	18.6	5.4	11.6	2.4	0.7	1.2	0.0	4.5	0.0
正規社員(職員)	44.4	53.9	9.8	15.3	12.8	3.4	8.8	1.3	0.0	0.3	0.4	1.3	0.0
会社等の役員	28.3	70.5	15.2	18.0	15.6	3.5	11.0	0.8	0.3	4.0	0.0	2.0	0.0
契約・派遣社員	44.1	55.9	14.1	11.5	15.4	2.9	5.6	0.2	0.8	2.8	0.0	0.7	1.8
パート・アルバイト	26.0	72.1	14.4	19.2	15.9	3.6	12.0	2.5	1.8	0.0	0.0	2.5	0.0
主婦(主夫)	19.1	79.6	10.7	19.6	17.1	7.8	15.6	2.2	2.0	0.4	0.0	3.5	0.0
学生	55.1	44.0	9.5	15.5	11.6	0.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他無職	26.2	72.4	11.9	19.0	18.9	4.7	8.9	3.5	1.2	1.1	0.0	2.5	0.0

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20~29人	30~39人	40~49人	50人~	不明
全県	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	3.0
職業別													
自営業	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.7	0.7
正規社員(職員)	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
会社等の役員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
契約・派遣社員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パート・アルバイト	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.9
主婦(主夫)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	1.3
学生	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
その他無職	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5

◆未既婚別

○ 未既婚別では、『いる』人は、既婚[配偶者有](71.3%)で7割強、既婚[離・死別](66.2%)で6割台半ばであるが、未婚(43.9%)では4割台前半となっている。

◎ウ おすすめやおみやげをする人【未既婚別】 (%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	30.5	66.6	11.1	17.7	15.8	4.5	10.6	2.1	1.0	0.8	0.1	2.4	0.1
未既婚別													
既婚(配偶者有)	25.8	71.3	11.9	18.7	16.0	5.4	11.6	2.3	1.0	0.8	0.0	2.8	0.1
既婚(離・死別)	30.4	66.2	8.1	18.2	20.4	2.0	9.7	1.3	2.1	1.7	0.0	1.9	0.0
未婚	54.2	43.9	9.3	12.5	11.0	2.3	5.8	1.5	0.1	0.0	0.7	0.7	0.0

	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20~29人	30~39人	40~49人	50人~	不明
全県	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	3.0
未既婚別													
神戸	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.2	2.9
阪神南	0.0	0.1	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4
阪神北	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9

◆居住年数別

- 居住年数別でみると、『いる』人は、居住年数が長いほど多くなっており、1年未満(42.1%)では4割強に止まるが、1年以上10年未満の間では5割台(53.8～58.3%)で、10年以上では6割を超え、20年以上(77.2%)では8割近くになる。
- 「特にいない」人は、逆に居住年数が長いほど少なくなる傾向にあり、1年未満(56.5%)で5割台半ばと最も多く、1年以上10年未満の間では4割台、10年以上20年未満の間は3割台、20年以上(21.2%)では2割台前半となっている。

◎ウ おすそわけやおみやげをする人【居住年数別】 (%)

	いない	いる	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人
全県	30.5	66.6	11.1	17.7	15.8	4.5	10.6	2.1	1.0	0.8	0.1	2.4	0.1
居住年数別													
1年未満	56.5	42.1	12.7	9.8	9.4	4.8	3.6	0.3	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
1～3年	44.5	54.5	12.7	20.6	8.2	4.3	6.4	1.5	0.1	0.7	0.0	0.0	0.0
3～5年	46.2	53.8	12.6	18.5	7.0	2.1	5.3	2.4	2.2	0.0	0.0	2.4	0.0
5～10年	40.0	58.3	12.4	14.4	12.7	2.9	10.1	1.1	1.4	0.3	0.8	0.9	0.0
10～15年	32.9	65.5	12.1	21.5	11.7	4.0	10.8	0.8	0.7	1.3	0.0	1.8	0.7
15～20年	30.6	68.7	14.9	20.9	10.4	7.9	8.8	1.4	0.3	1.8	0.0	1.1	0.0
20年以上	21.2	77.2	9.4	17.2	22.7	5.2	13.1	3.2	1.0	0.8	0.0	4.0	0.0

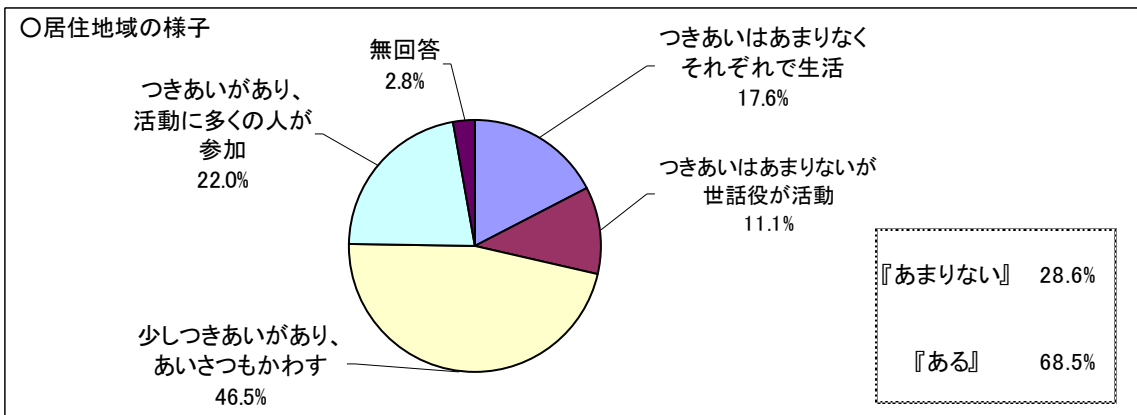
	12人	13人	14人	15人	16人	17人	18人	19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50人～	不明
全県	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	3.0
職業別													
1年未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
1～3年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
3～5年	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5～10年	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.7
10～15年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
15～20年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.7
20年以上	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	1.6

(2) 居住地域の様子

問 13 あなたが住んでいる地域（近所・町内・校区など）は、どのような様子の地域ですか。最もあてはまるものを次の中から1つ選んで番号に○印をつけてください。

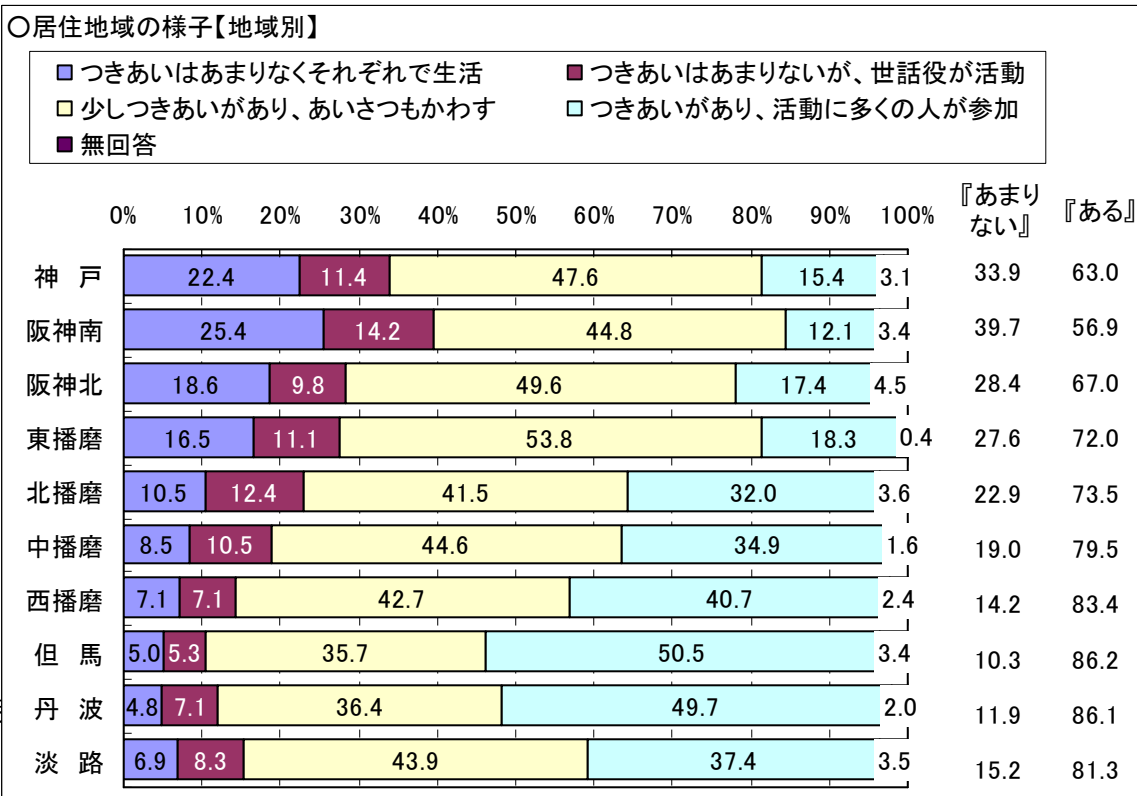
- 1 地域のつきあいがあまりなく、それぞれで生活している
- 2 地域のつきあいはあまりないが、地域の世話役の人たちの活動が目にはいる
- 3 地域のつきあいは少しあり、住民がお互いに挨拶をかわすこともある
- 4 地域のつきあいはかなりあり、何かのときには多くの人が参加する

○ 居住地域の様子としては、「少しつきあいがあり、あいさつもかわす」(46.5%)が4割台半ばで最も多く、「つきあいがあり、活動に多くの人が参加」(22.0%)とあわせると、地域でのつきあいが『ある』人(68.5%)が7割近くになっている。



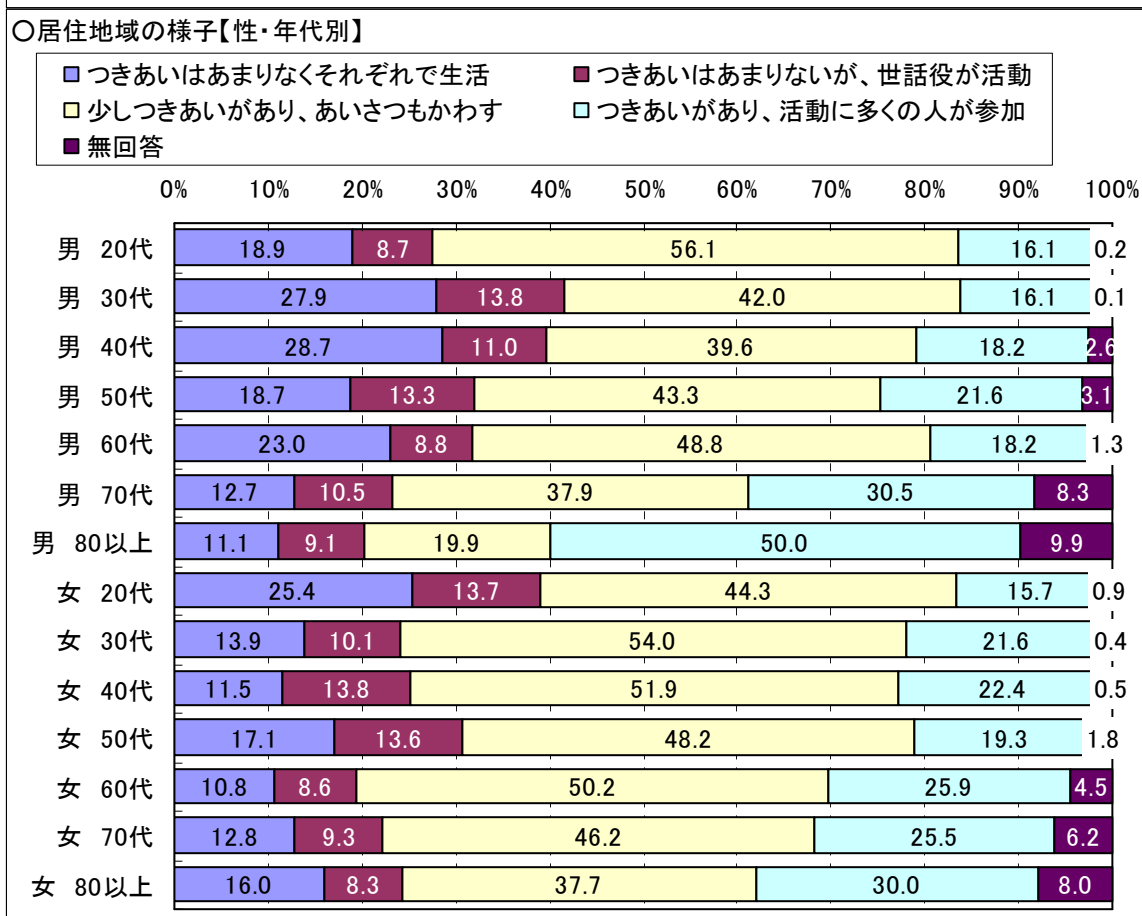
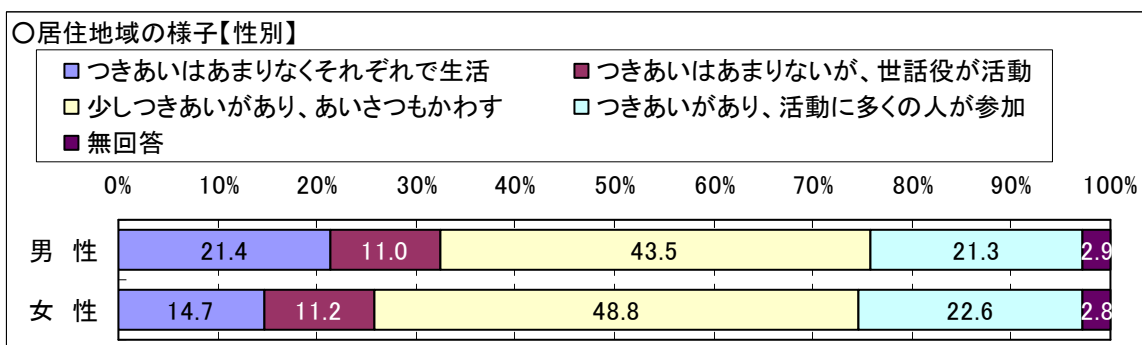
◆地域別

○ 地域間の差は、「つきあいがあり、活動に多くの人が参加」(但馬:50.5%、阪神南:12.1%)で38.4ポイントあり、「つきあいはいらないが、それぞれで生活」(阪神南:25.4%、丹波:4.8%)での20.6ポイントが続いている。中播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路では、つきあいが『ある』人が概ね8割を超え、『あまりない』人は1割台に止まるが、他の5地域では、つきあいが『ある』人は5割台後半から7割台前半に止まり、『あまりない』人が2割から3割台後半となっている。



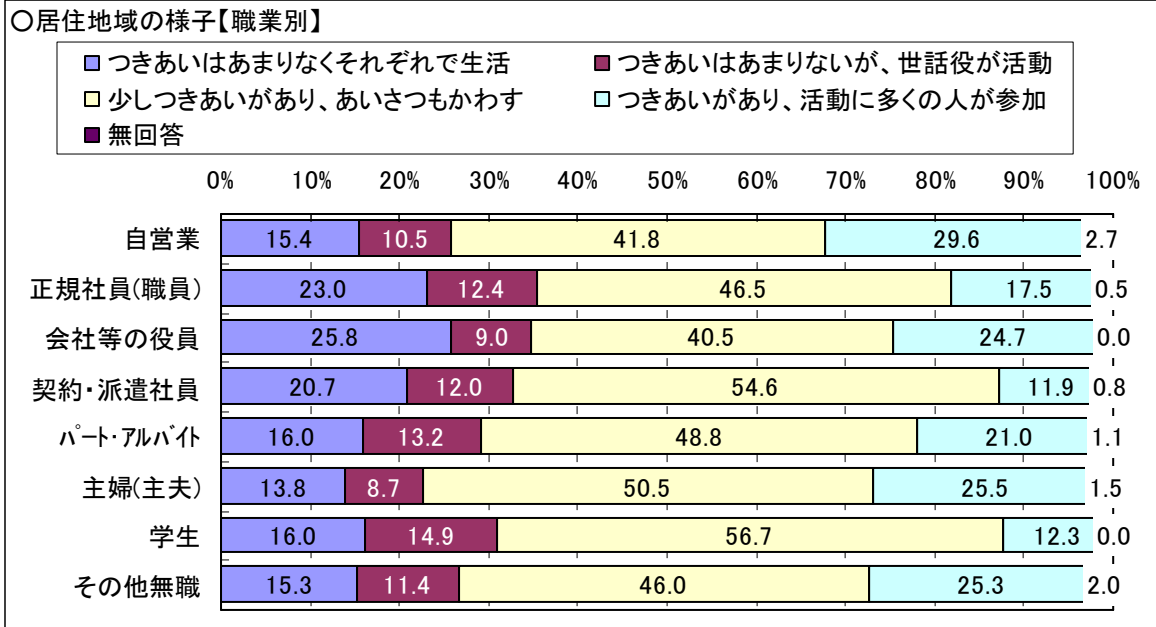
◆性別

- 性別では、「つきあいがあまりなく、それぞれで生活」が、女性(14.7%)より男性(21.4%)で多く、「少しつきあいがあり、あいさつもかわす」は、男性(43.5%)より女性(48.8%)が多い。
- 性・年代別でみると、男性では、「つきあいはあまりなく、それぞれで生活」は、30代(27.9%)、40代(28.7%)、60代(23.0%)で2割を超えており、他の年代では1割台である。一方、「つきあいがあり、活動に多くの人が参加」は、80歳以上(50.0%)では5割あり、70代(30.5%)で3割あるが、年代が下がるほど減少する傾向にあり、20代、30代(ともに16.1%)では1割台半ばである。
- 女性では、「つきあいはあまりなく、それぞれで生活」は、20代(25.4%)で2割台半ばあるが、他の年代では1割台である。一方、「つきあいがあり、活動に多くの人が参加」は、80歳以上(30.0%)で3割、70代(25.5%)と60代(25.9%)で2割台半ばあるが、他の年代では2割前後である。



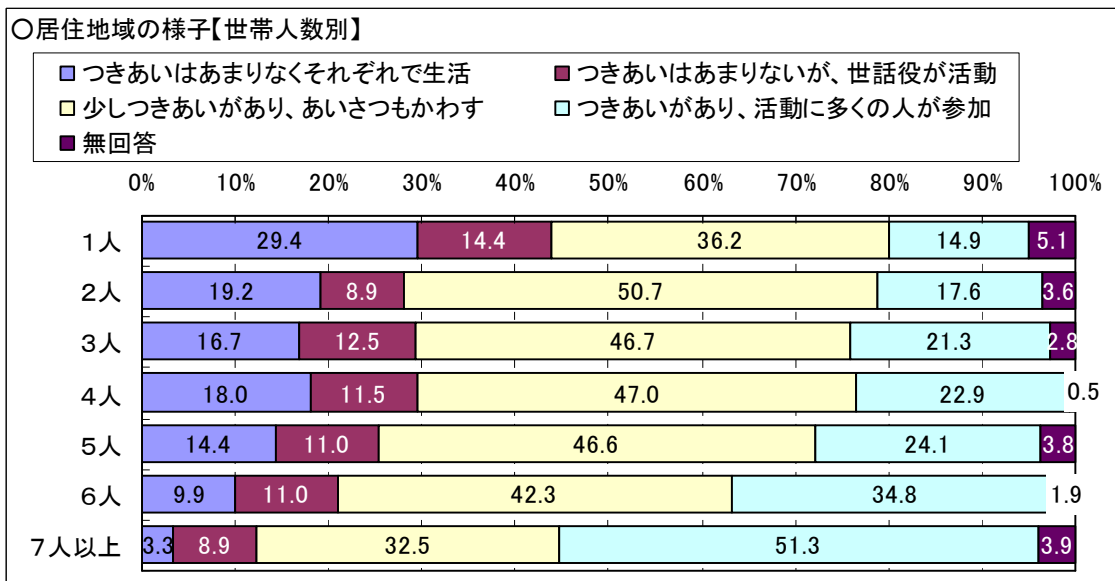
◆職業別

- 職業別では、「つきあいはあまりなく、それぞれで生活」は、正規社員(23.0%)、会社等の役員(25.8%)、契約・派遣社員(20.7%)で2割を超えており、一方、「つきあいがあり、活動に多くの人が参加」は、2割台の職業が多いなか、正規社員(17.5%)、契約・派遣社員(11.9%)、学生(12.3%)では1割台に止まっている。



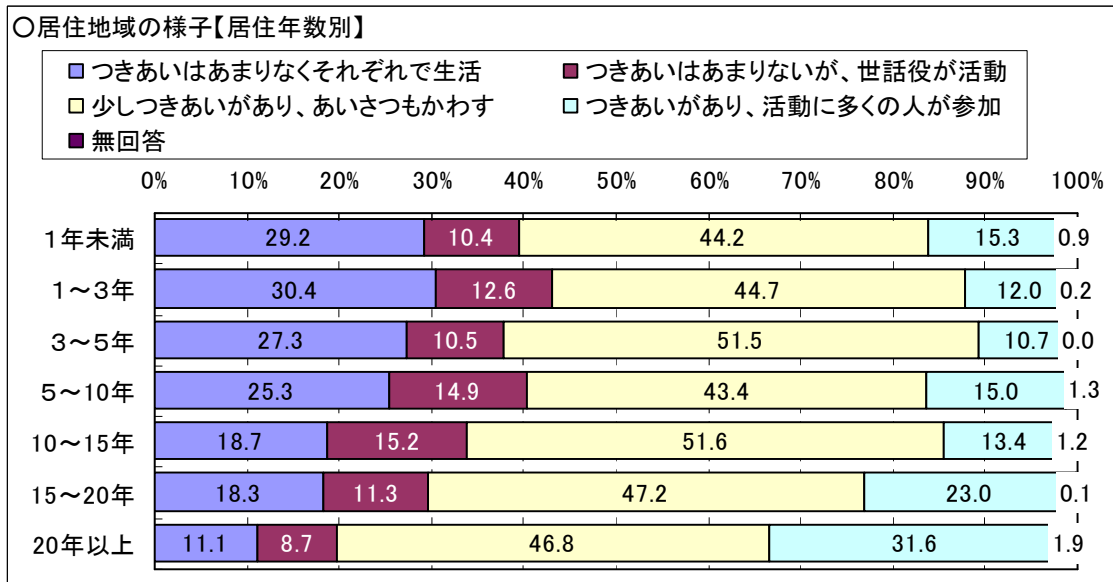
◆世帯人数別

- 世帯人数別では、「つきあいはあまりなく、それぞれで生活」は、1人の世帯(29.4%)では3割近いが、2人～5人の世帯では1割台、6人以上の世帯(9.9%、3.3%)では1割を下回っている。一方、「つきあいがあり、活動に多くの人が参加」は、1人の世帯(14.9%)では1割台半ばに止まるが、3人～5人の世帯で2割台、6人(34.8%)で3割台半ば、7人以上(51.3%)では半数を超えている。



◆居住年数別

○居住年数別でみると、「つきあいはあまりなく、それぞれで生活」は、居住年数10年未満では概ね2割台後半となっているが、10年以上では1割台である。逆に、「つきあいがあり、活動に多くの人が参加」は、15年未満では1割台半ばに止まるが、15～20年(23.0%)で2割、20年以上(31.6%)では3割を超える。



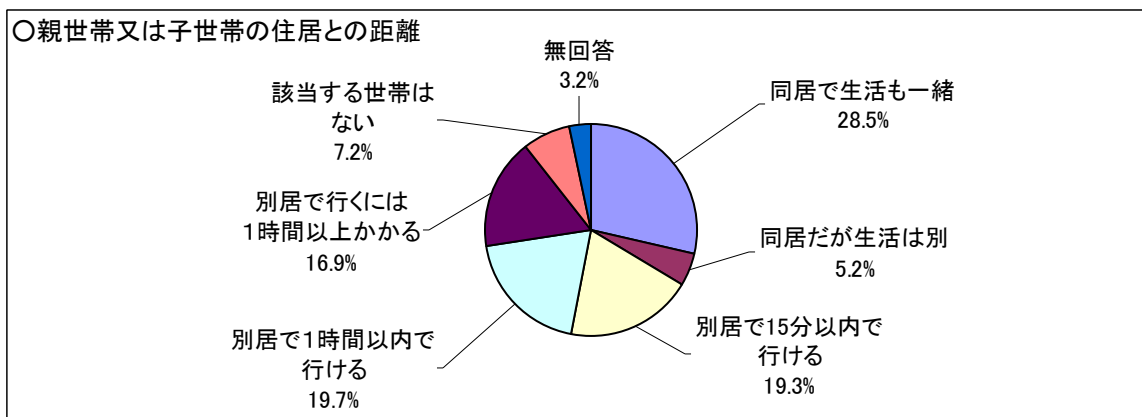
9 親・子世帯との関わり

(1) 親世帯又は子世帯の住居との距離

問 14 あなたの世帯と親世帯又は子世帯の関係についてお聞きします。居住の状況について、次のうちあてはまるものを1つ選んで番号に○印をつけてください。対象となる世帯が複数ある場合は、最も近くに住んでいる親世帯又は子世帯についてお答えください。

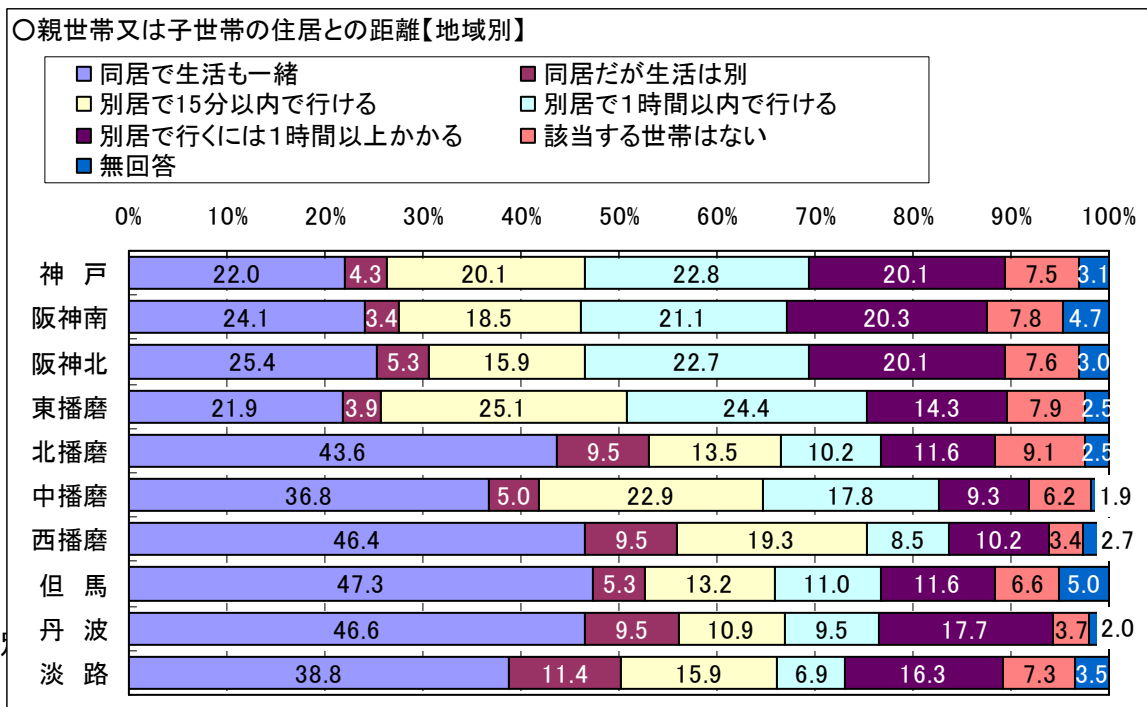
- 1 同一敷地内に居住しており、生活もともにしている
- 2 同一敷地内に居住しており、生活は別にして
- 3 別居しており、おおむね15分以内で行けるとところに住んでいる
- 4 別居しており、おおむね1時間以内で行けるとところに住んでいる
- 5 別居しており、1時間以上かけないと行けないところに住んでいる
- 6 いずれの世帯もない

○ 親世帯又は子世帯との居住状況では、『同居』(33.7%)が3分の1で、『別居』(55.9%)が半数を超えるが、行くのに1時間以上かかる遠方に住んでいるのは(16.9%)1割台半ばである。



◆地域別

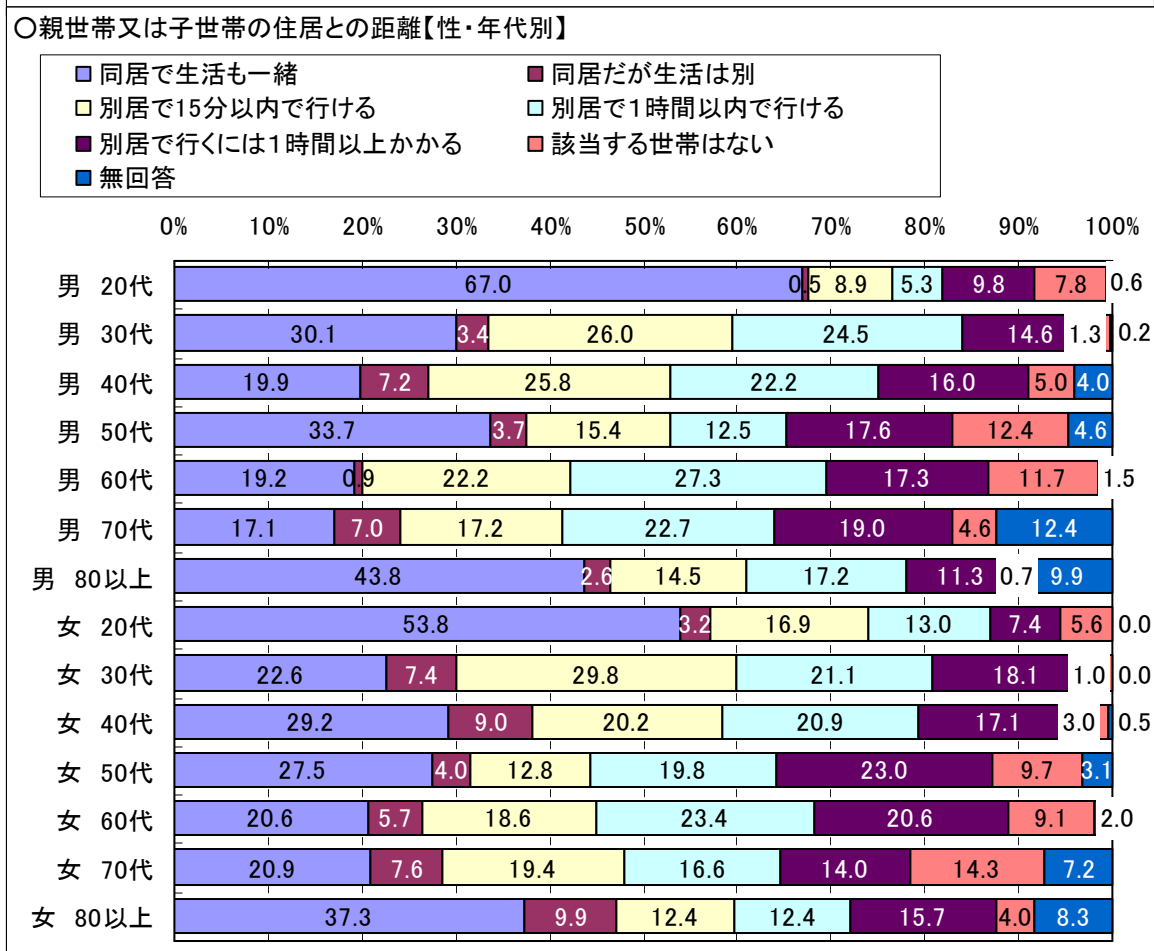
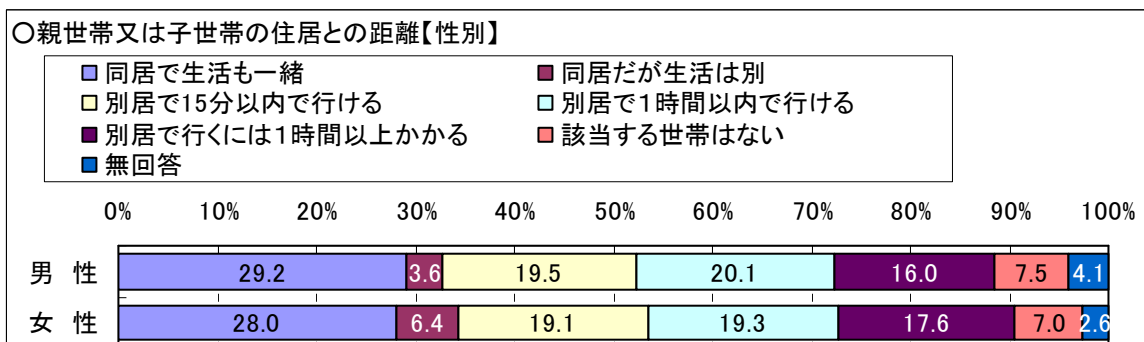
○ 地域別でみると、神戸、阪神(南・北)、東播磨では『同居』が3割程度で、『別居』が6割前後を占めている。中播磨では『同居』が4割、『別居』が5割となり、北播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路では『同居』が5割を超え、『別居』は4割を下回っている。



◆性別

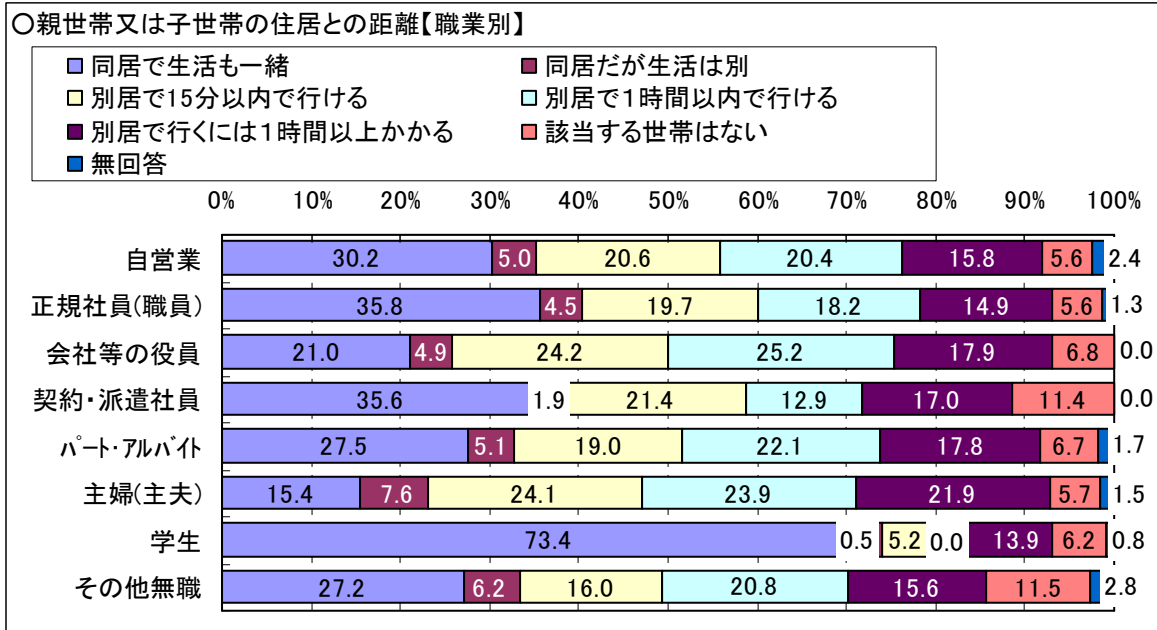
○

○ 性・年代別でみると、男女ともに、「同居で生活も一緒」は、20代(男:67.0%、女:53.8%)で最も多く、次いで80歳以上(男:43.8%、女37.3%)となっている。また、「同居で生活も一緒」は、女性では30代から70代にかけて2割台となっているが、男性では3割台の50代(33.7%)と30代(30.1%)で、2割弱の他の年代を上回っている。



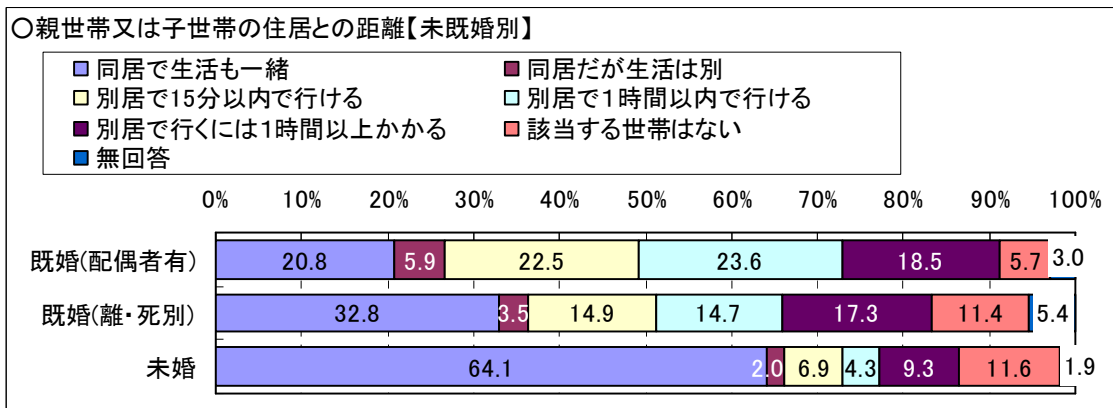
◆職業別

- 職業別では、「同居で生活も一緒」は、学生(73.4%)で7割を超え、逆に主婦(15.4%)や会社等の役員(21.0%)では2割前後に止まるが、他の職業では3割前後となっている。



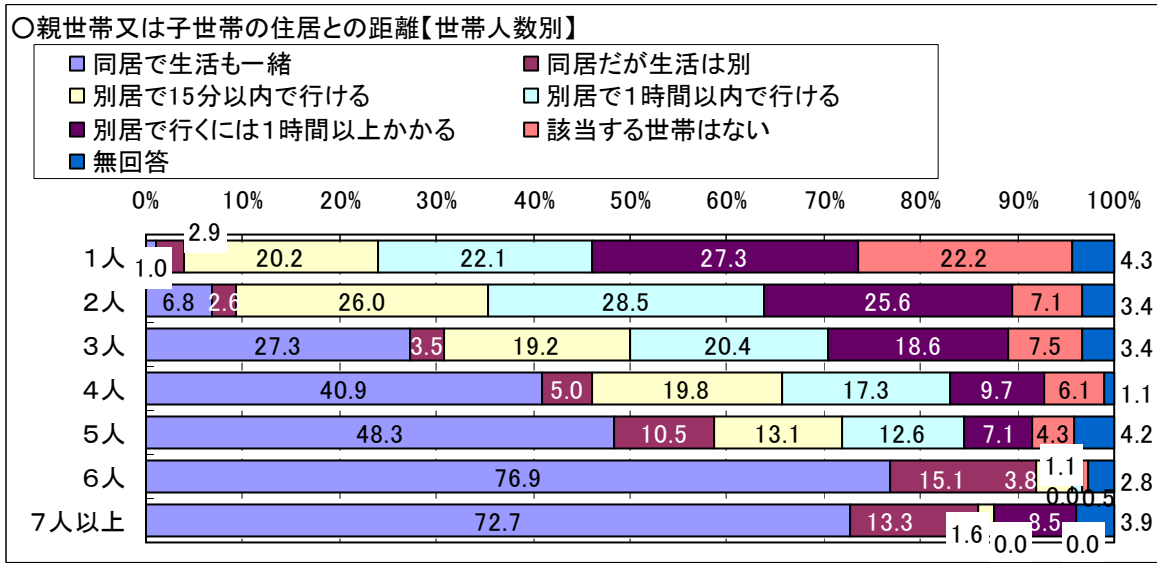
◆未既婚別

- 未既婚別では、「同居で生活も一緒」は、既婚[配偶者有](20.8%)で2割、既婚[離・死別](32.8%)で3割前半であるが、未婚(64.1%)では6割台半ばとなっている。



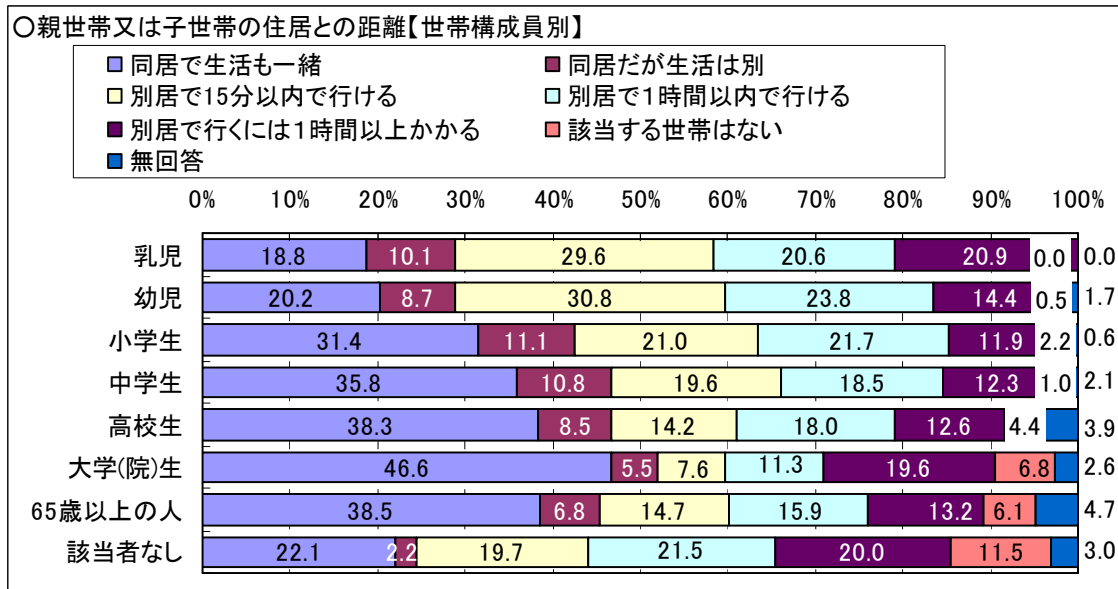
◆世帯人数別

- 世帯人数別でみると、「同居で生活も一緒」は、世帯人数が5人(48.3%)になると5割近くになり、6人以上の世帯(76.9%、72.7%)では7割を超えている。



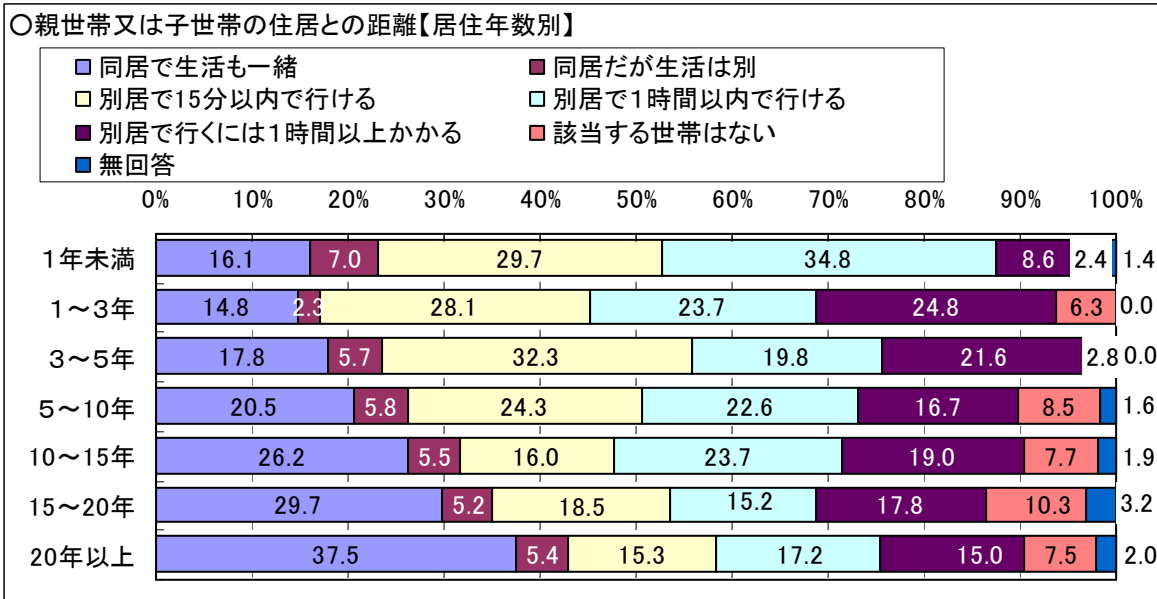
◆世帯構成員別

- 世帯構成員別では、「同居で生活も一緒」は、乳児(18.8%)や幼児(20.2%)がいる世帯では2割前後に止まるが、小学生から高校生や60歳以上の人のいる世帯(31.4%~38.5%)では3割台、大学生のいる世帯(46.6%)では4割台半ばを超えている。



◆居住年数別

- 居住年数別でみると、「同居で生活も一緒」は、居住年数が5年未満では2割を下回るが、15～20年(29.7%)で約3割、20年以上(37.5%)では3割台後半と、居住年数が長くなるほど多くなる傾向にある。

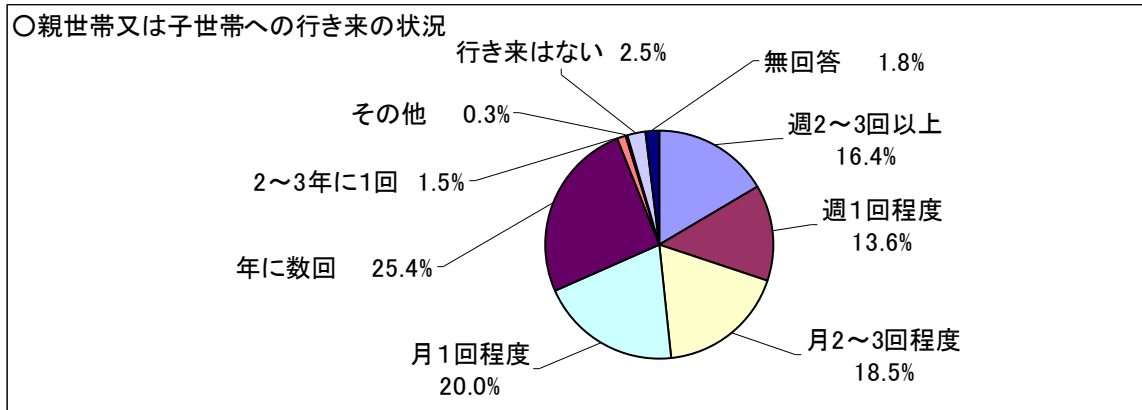


(2) (別居している人に)親世帯又は子世帯への行き来の状況

問 14-2 問 14 で 3～5 を選択した方にお聞きします。行き来の程度は次のうち、どれにあてはまりますか。1つ選んで番号に○印をつけてください。

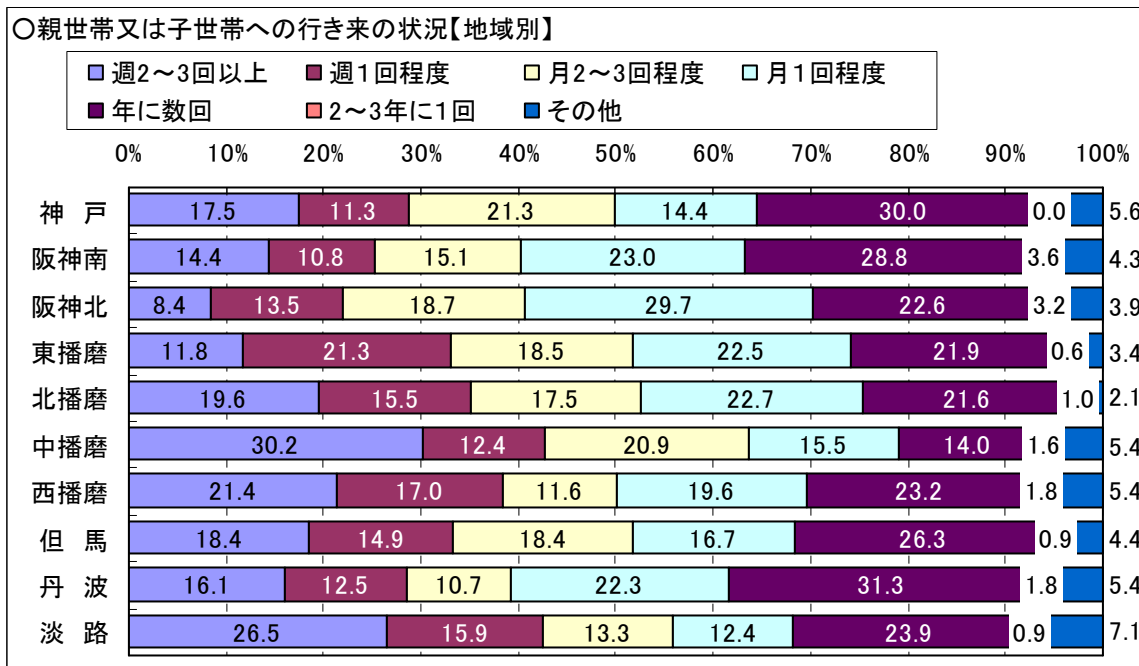
- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 週2～3回程度又はそれ以上 | 2 週1回程度 |
| 3 月2～3回程度 | 4 月1回程度 |
| 5 年に数回 | 6 2～3年に1回 |
| 7 その他 () | 8 ほとんど行き来はない |

○ 親世帯又は子世帯への行き来の状況では、「年に数回」(25.4%)が4分の1あるが、月1回以上を合計(68.5%)すると7割近くに及んでおり、「行き来はない」(2.5%)はわずかである。



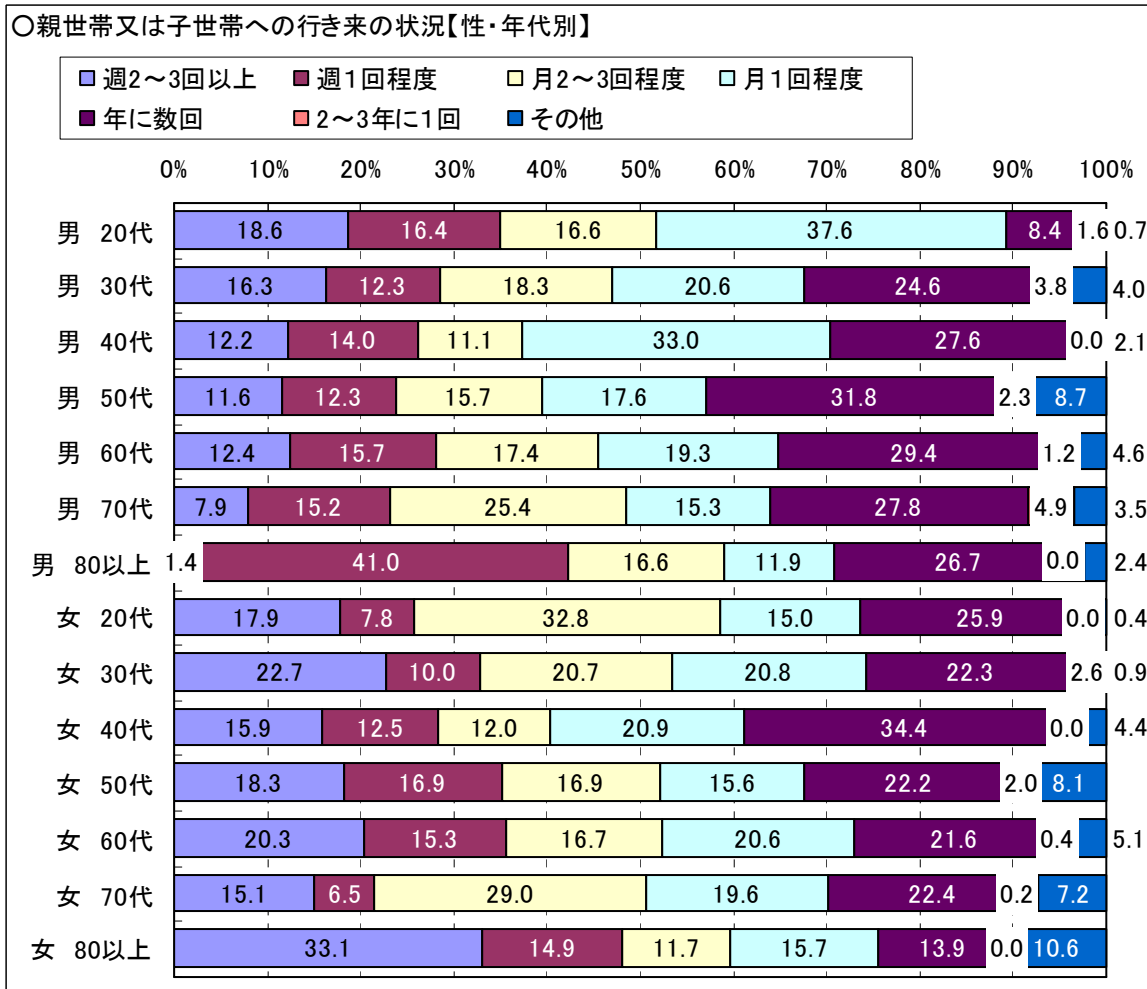
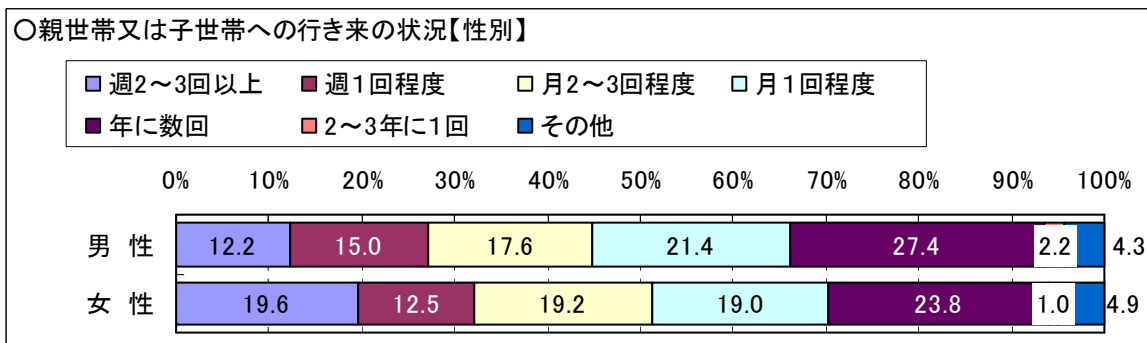
◆地域別

○ 地域間の差は、「週2～3回以上」(中播磨:30.2%、阪神北:8.4%)で21.8ポイントあり、「月に1回程度」(阪神北:29.7%、淡路:12.4%)と「年に数回」(丹波:31.3%、中播磨:14.0%)での17.3ポイントが続いている。月1回以上を合計すると、中播磨(79.0%)で8割近く、阪神北、東播磨、北播磨(70.3%～75.3%)で7割台、残る6地域(61.6%～69.6%)が6割台となっている。



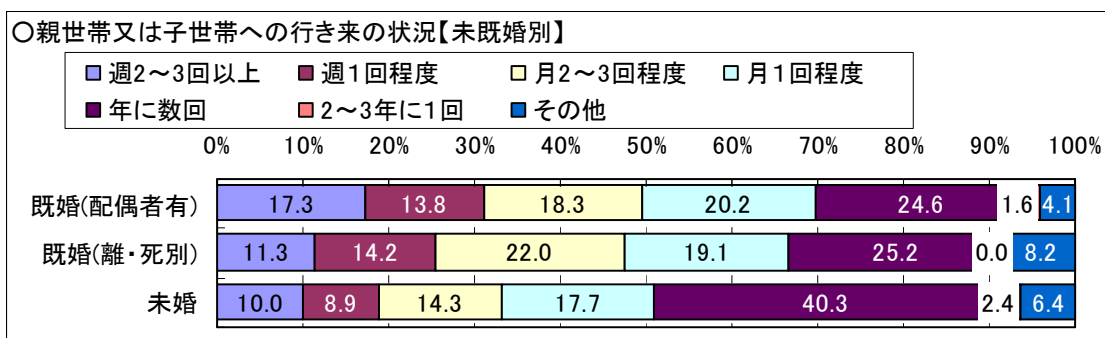
◆性別、性・年代別

- 性別では、「週2～3回以上」が男性(12.2%)より女性(19.6%)で多くなっているが、他に特段の差はみられない。
- 性・年代別で見ると、男性では、「週1回程度」が80歳以上(41.0%)で4割を超え、最も少ない30代、40代(ともに12.3%)と28.7ポイントの差が生じている。このほか、「月1回程度」(80歳以上:11.9%、20代:37.6%)と「年に数回」(20代:8.4%、50代:31.8%)でも20ポイントを超える差が生じている。
- 女性では、「月2～3回以上」(80歳以上:11.7%、20代:32.8%)や「年に数回」(80歳以上:13.9%、40代:34.4%)、「週2～3回以上」(70代:15.1%、80歳以上:33.1%)で20ポイント前後の差が生じている。



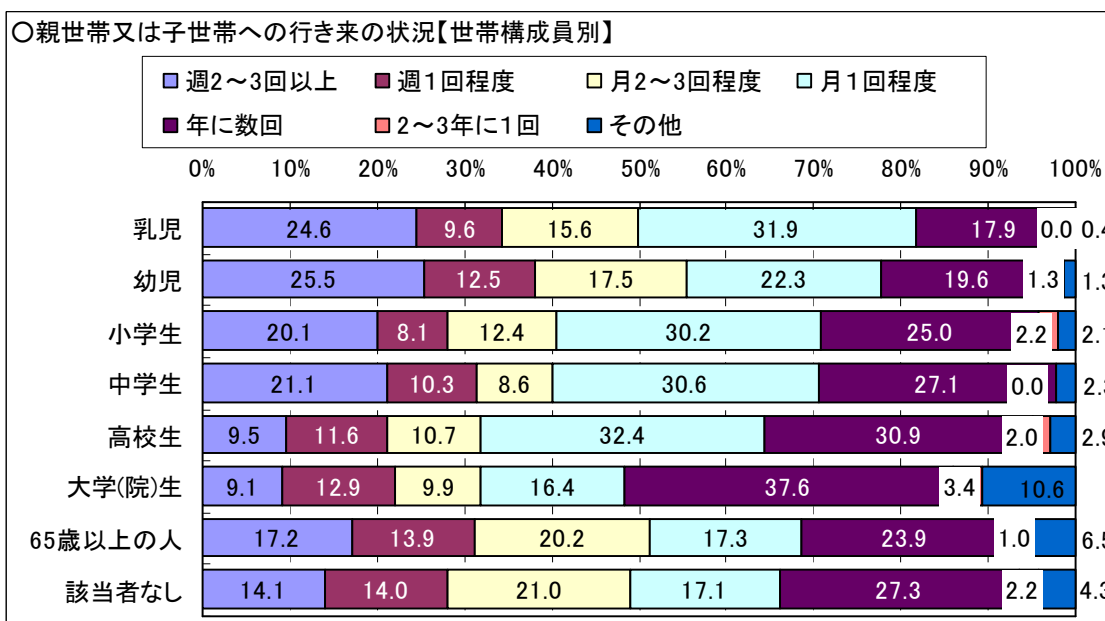
◆未既婚別

○ 未既婚別では、「年に数回」は、既婚[配偶者有](24.6%)と既婚[離・死別](25.2%)では2割台半ばであるが、未婚(40.3%)では4割となっている。



◆世帯構成員別

○ 世帯構成員別でみると、「週に2~3回」は、中学生以下のいる世帯(20.1%~25.5%)で2割を超えるが、高校生(9.5%)や大学生(9.1%)のいる世帯では1割を下回っている。逆に、「年に数回」は、乳児(17.9%)や幼児(19.6%)のいる世帯で2割を下回るが、高校生(30.9%)や大学生(37.6%)のいる世帯では3割を超えている。

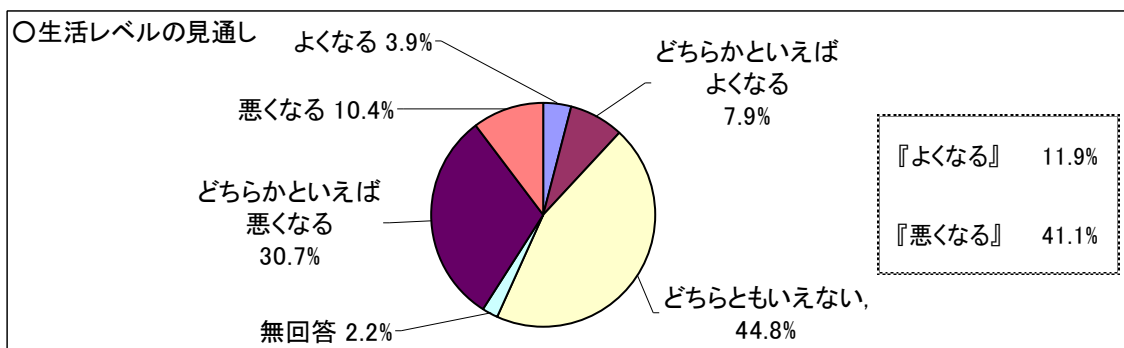


10 将来の生活レベル
 (1) 生活レベルの見通し

問 15 これから先、あなた自身やあなたの家族の生活レベルはよくなると思いますか。次の中から一つ選んで番号に○印をつけてください。

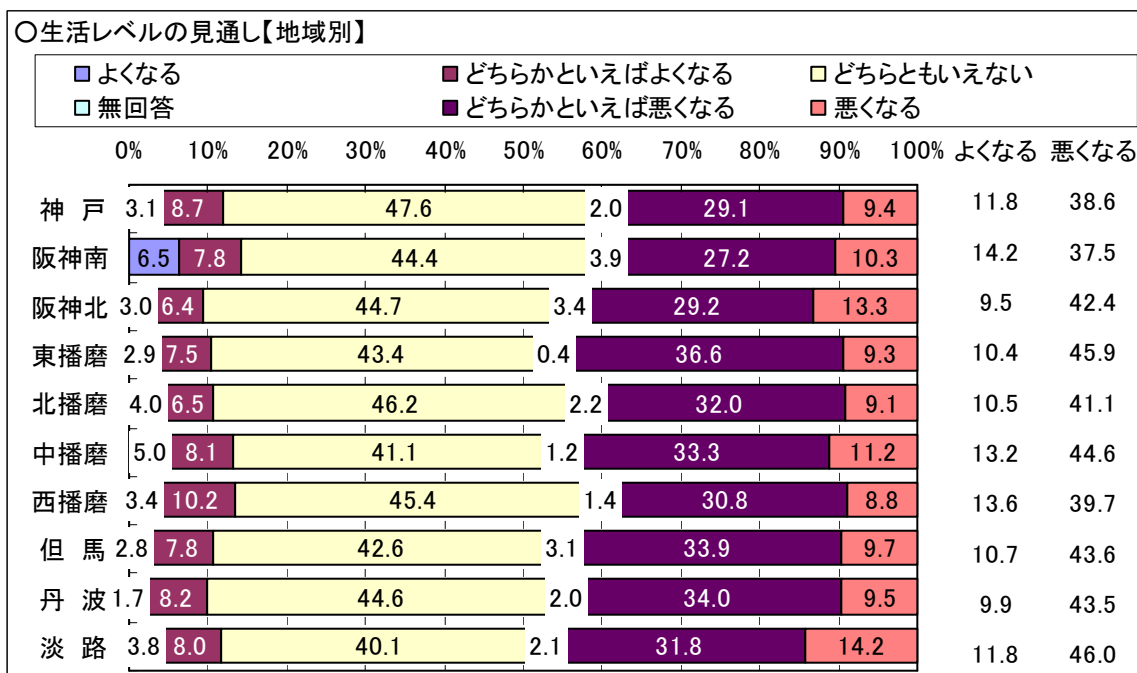
- 1 よくなる
- 2 どちらかといえばよくなる
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば悪くなる
- 5 悪くなる

○ 生活レベルの見通しとしては、「どちらともいえない」(44.8%)が4割半ばと最も多く、次いで『悪くなる』(「どちらかといえば悪くなる」と「悪くなる」の合計41.1%)が4割強であり、『よくなる』(「よくなる」と「どちらかといえばよくなる」の合計11.9%)は1割強に止まっている。



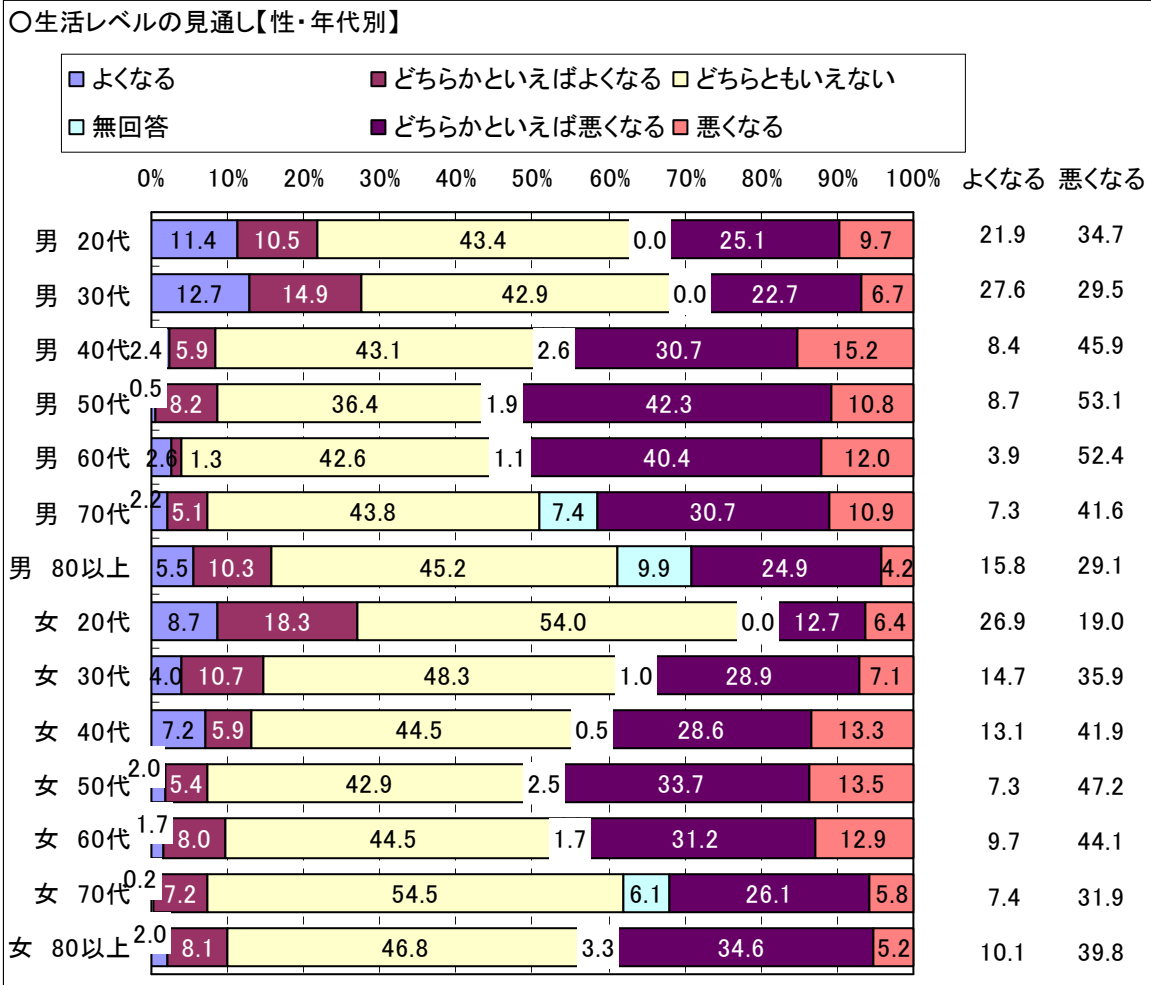
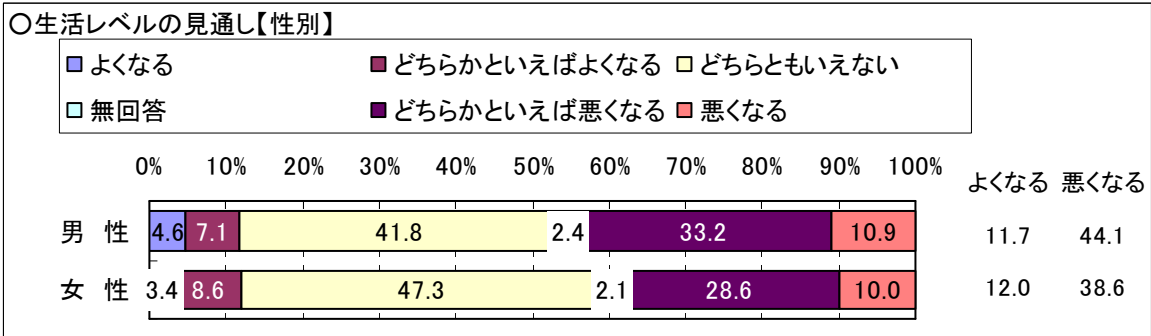
◆地域別

○ 地域別でみると、いずれの地域でも、『よくなる』は1割前後、『悪くなる』は4割前後、「どちらともいえない」は4割台となっているが、東播磨、中播磨、但馬、淡路では『悪くなる』が「どちらともいえない」を上回っている。



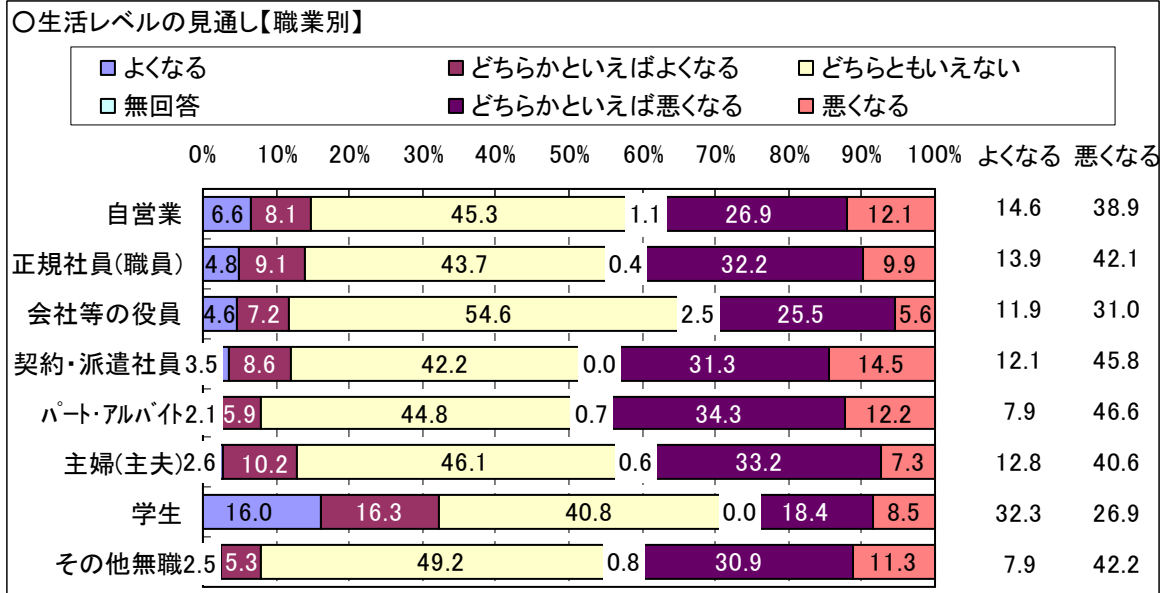
◆性別、性・年代別

- 性別では、「どちらかといえば悪くなる」が女性(28.6%)より男性(33.2%)で多く、「どちらともいえない」が男性(41.8%)より女性(47.3%)で多くなっている。
- 性・年代別で見ると、男性では、『よくなる』は30代以下(21.9%、27.6%)で2割を、80歳以上(15.8%)で1割を超えるが、他の年代では1割未満である。一方、『悪くなる』は、30代以下(34.7%、29.5%)と80歳以上(29.1%)で3割前後であるが、他の年代では4割を超え、50代(53.1%)、60代(52.4%)では5割を超えている。
- 女性では、『よくなる』は、20代(26.9%)で4分の1を超えるが、他の年代では1割前後(7.3%~14.7%)である。一方、『悪くなる』は、20代(19.0%)で2割を下回るが、30代(35.9%)と70代以降(31.9%、39.8%)で3割台、40代~60代(41.9%~47.2%)では4割台であり、女性の20代でのみ『よくなる』が『悪くなる』を上回っている。



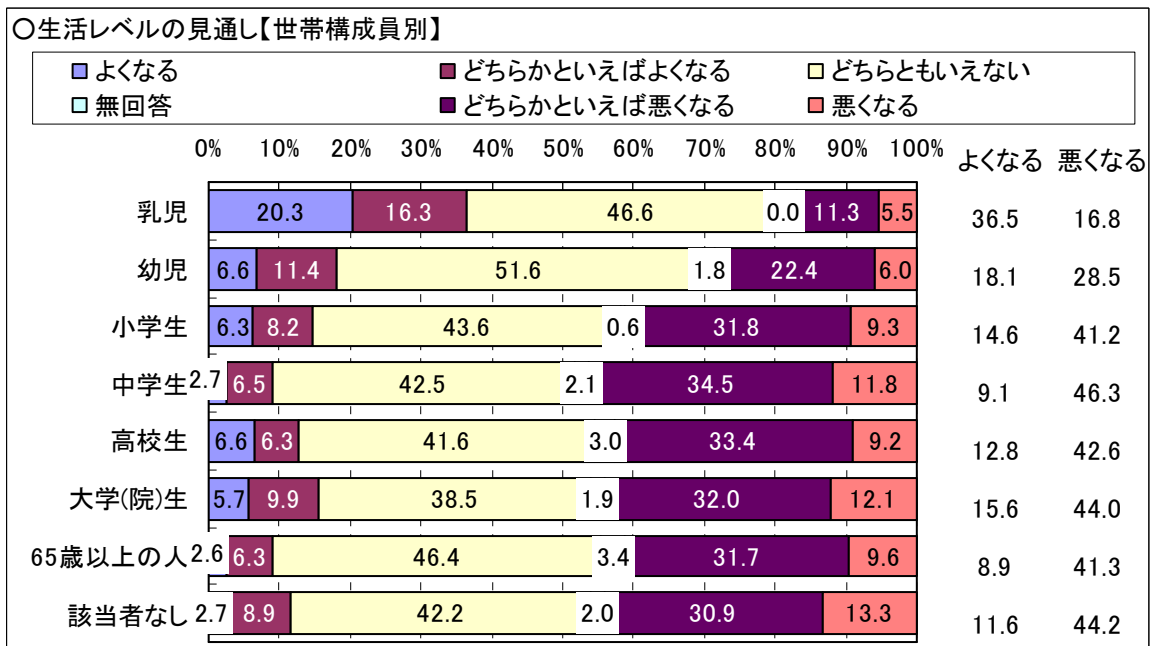
◆職業別

- 職業別では、『よくなる』は、3割台の学生(32.3%)を除き、いずれの職業でも概ね1割前後(7.9%~14.6%)である。一方、『悪くなる』は、3割前後の学生(26.9%)と会社等の役員(31.0%)を除く職業で4割前後(38.9%~46.6%)となっており、学生のみ『よくなる』が『悪くなる』を上回っている。



◆世帯構成員別

- 世帯構成員別でみると、『よくなる』は、乳児のいる世帯(36.5%)で3割台半ば、幼児のいる世帯(18.1%)で2割近いが、他の世帯では1割前後(8.9%~15.6%)である。一方、『悪くなる』は、幼児のいる世帯(16.8%)で1割台、幼児のいる世帯(28.5%)で2割台に止まるが、他の世帯では4割台となっており、乳児のいる世帯のみ『よくなる』が『悪くなる』上回っている。



◆世帯収入別

○ 世帯収入別では、『よくなる』は、収入が増えるほど多くなり、400万円未満(7.3%、8.7%)では1割に満たないが、400万円以上では1割を超え、1000万円以上(22.2%)では2割台となっている。逆に、『悪くなる』では、収入が増えるほど少なくなり、200万円未満(52.4%)では5割を超えるが、600万円以上では4割を下回り、1000万円以上(30.5%)では3割となっている。

